

二 同盟及聯合國ノ土國及洪國トノ平和条約締結一件 八一

八一 八月十八日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

対土平和条約調印国問合ノ件

第六四一号

貴電第一二八七号ニ関シ

対土平和条約調印国中日本及ヒ伊太利ノ二国洩レ居ル処右ハ勿論調印ヲ了セルコトト思ハルルモ為念回電有リ度シ

八二

八二 八月十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

対土平和条約調印国ニ付回電ノ件

第一三一七号

（八月二十日接受）

貴電第六四一号対土条約調印国ハ英、仏、伊、日本、「アルメニア」、白耳義、希臘、波蘭、葡萄牙、羅馬尼亞、「チエッコ、スロヴァキア」及土耳其ノ十二国ナリ

事項三 國際聯盟理事会ニ関スル件

八三 一月五日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際聯盟第一回理事会ニ松井大使出席ノ旨通告シタル件

第一七号

（一月六日接受）

往電第七号ノ（註）並ニ往電第一四号ノ（註）ニ関シ國際聯盟第一回理事会ハ条約実施後数日内ニ巴里ニ於テ開催セラルベク其ノ正式招集状ハ米国大統領ヨリ發セラルベキニ付同理事会ニ対スル本邦代表者氏名至急通知アリタキ旨會議書記官長ヨリ申込アリタルヲ以テ本使之ニ出席スベキ旨回答シタリ

註 前出ニ文書

八四 一月十二日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

第一回理事会ニ正式代表者トシテ出席セラレ度旨指示ノ件

第二六号

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 八三 八四 八五

九二

貴電第一七号ニ関シ（至急）

貴官ハ第一回聯盟理事会ノ正式本邦代表者トシテ出席セラレ度ク尚貴官ノ帝國政府代表方ニ関シ何等手續ヲ必要トスル場合ニハ折返シ電報アリタシ將又軍事上ノ問題ニ関シ必要生シタル場合ニハ他国ノ振合ヲ參酌シ大使館附陸海軍武官ヲ帶同出席セラルルカ又ハ同武官ノ意見ヲ徴セラルル様適宜取計ハレタシ

八五 一月十四日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

國際聯盟第一回理事会ニ日本政府代表者ノ出席ヲ希望スル旨米国大使ヨリ通告越ノ件

附記 一月十三日附在本邦米国大使ヨリ内田外務大臣宛書翰

第三七号 至急

在本邦米国大使ハ本国政府ノ電訓ニ基キ米国大統領ハ國際聯盟理事会ノ第一會議カ一月十六日午前十時三十分仏国外

九三

務省ニ於テ開催セラルヘキニ付日本政府ヨリ其代表者ヲ同會議ニ出席セシムルコトヲ希望スル旨十四日ニ通告シ来リ右米國政府ノ電訓中本件ハ一月十三日日本政府ニ通告スヘキ旨指定セラルモ電報遲着ノ為メ十四日通告セラル次第ナリ
テノコトナリ

(附 記)

一月十三日附在本邦米國大使ヨリ内田外務大臣宛書翰

EMBASSY OF THE

UNITED STATES OF AMERICA

Tokyo, January 13, 1920.

#320

Excellency:

Under instruction of my Government I have the honor to transmit to Your Excellency the following:

In compliance with Article Five of the Covenant of the League of Nations, which went into effect at the same time as the Treaty of Versailles of June 28, 1919, of which it is a part, the President

of the United States, acting on behalf of those Nations which have deposited their instruments of ratification in Paris as certified in a procès-verbal drawn up by the French Government, dated January 10, 1920, has the honor to inform the Government of Japan that the first meeting of the Council of the League of Nations will be held in Paris at the Ministry of Foreign Affairs on Friday January 16th at 10:30 A. M.

The President earnestly ventures the hope that the Government of Japan will be in a position to send a representative to this first meeting. He feels that it is unnecessary for him to point out the deep significance attached to this meeting or the importance which it must assume in the eyes of the world. It will mark the beginning of a new era in international cooperation and the first great step toward the ideal concert of nations. It will bring the League of Nations into being as a living

force devoted to the task of assisting the peoples of all countries in their desire for peace, prosperity and happiness. The President is convinced that progress will accord with the noble purpose to which it is dedicated.

I avail myself of this occasion to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Sgd) Roland S. Morris.

His Excellency

Viscount Uchida,

His Imperial Japanese Majesty's

Minister for Foreign Affairs,

etc., etc., etc.

(右和訳文) (註 仮訳文ナリ)

本使ハ本国政府ノ訓令ニ基キ左ノ通閣下ニ轉達スルノ光榮ヲ有シ候

千九百十九年六月二十八日ヴェルサイユニ於テ調印セラレタル條約ノ一部トシテ同條約ト同時ニ実施セラルルニ

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 八五

至リタル國際聯盟規約第五条ニ從ヒ米國大統領ハ千九百二十年一月十日附ヲ以テ仏國政府ノ作成シタル寄託調查中ニ認證セラレタル通り既に批准書ヲ巴里ニ寄託シタル諸國ニ代リ日本政府ニ對シ國際聯盟理事会第一回會議カ一月十六日金曜日午前十時三十分ヲ以テ巴里外務省ニ於テ開催セラルル旨通告スルノ光榮ヲ有シ候
大統領ハ日本政府ニ於テ該第一回會議ニ代表者一名ヲ派遣セラレムコトヲ希望シ且該會議ノ重要ナル意義又ハ其ノ世界ニ對シテ把持スヘキ權威ヲ特ニ愛ニ指示スルノ必要ナキヲ信シ候又同會議ハ國際協力ニ関スル新紀元ヲ画ス可キモノニシテ諸國民ノ理想的協調ニ向テ進ム可キ重大ナル第一歩ト存候
尚該會議ハ平和繁榮及幸福ニ對スル各國民ノ希望ニ助力スルヲ以テ務トセル一個ノ活力トシテ國際聯盟ヲ實現スヘク又大統領ハ該會議ノ進展カ該聯盟ノ生命トスル貴重ナル目的ト一致スヘキモノナルコトヲ確信スルモノニ有之候

右通報旁本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

八六 一月十六日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯盟第一回理事会ニ於ケル議長選出各理事ノ
演説等ニ関シ報告ノ件

第一〇〇号

(一月十八日接受)

一月十六日午前十時半國際聯盟第一回理事会仏国外務省
時計ノ間ニ於テ開催 Léon Bourgeois (仏国)、Lord
Curzon (英国)、Ferraris (伊国)、Hymans (白耳義)、
Cunha (伯刺西爾)、Quinones de Leon (西班牙)、
Venizelos (希臘)並ニ本使理事席ニ着ク聯盟事務局書記官
竝ニ各理事ノ書記官ノ外会衆トシテ各国「デレゲー」及ビ
外交団ヨリ出席者凡ソ二百名ヲ算シタリ Léon Bourgeois
氏仮議長トシテ聯盟規約第五条ニ基キ米國大統領ノ招請ニ
依リテ爰ニ第一回理事会成立ニ至レル所以ヲ述ベ直チニ議
長ノ選挙ニ移リタルガ「ヴェニゼロス」及ビ「カーゾン」
卿ノ動議案ニ基キ全理事一致ヲ以テ「ブルジョワ」氏ヲ議
長ニ推ス
議長ハ先ツ「ヴェルサイユ」条約成立以来今日ニ至ル迄ノ
「ドラモンド」氏ノ聯盟ニ対スル劣ヲ謝シ聯盟規約第六条

ニ一囑シ書記官長ト協議決定セシムルコトトシ正午散會セ
リ本日ノ議事順序ニ付テハ前夜「ブルジョア」氏ノ邸ニ於
テ前記六国理事ノ間ニ打合せヲ遂ゲタル次第ニテ委細ハ後
電ニテ御承知アリ度シ

八七 一月十九日

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

軍事上ノ問題ニ関シ必要ノ場合ニ対スル措置
方ニ付指示ノ件

第五一号

往電第二六号ニ関シ

第一回聯盟理事会ニ於テ軍事上ノ問題ニ関シ必要生シタル
場合ニハ大使館附陸海軍武官ヲ帶同出席セラルルカ又ハ同
武官ノ意見ヲ徴セラルヘキ旨電訓シタルカ其後陸軍側ヨリ
ハ渡辺少将ヲ海軍側ヨリハ飯田少将若ハ大角大佐ヲ之ニ充
テタキ旨通知有リ別ニ異議無キニ付必要ノ場合右ニヨリ措
置サレタシ

ニ依リ同氏ヲ書記官長ニ任命スルコトヲ宣シ次テ外交団ニ
對シテ其來會ヲ謝スルト共ニ將來聯盟ノ援助者トシテ其尽
力ヲ希望スル旨ヲ述ヘタル後聯盟成立ノ由來并ニ其將來ノ
任務ヲ詳述シ永久ニ例年一月十六日ハ正ニ新世界出產ノ日
トシテ永ク記念セラル可ク茲ニ列國共存ノ礎ヲ築カザル可
カラザル所以ヲ述ヘタルガ之ニ次テ「カーゾン」卿亦聯盟
ヲシテ一ツノ理想ト為サズシテ其理想実現ノ為メ執行力ヲ
有スル機關ト為サザル可カラズ華盛頓労働會議ノ如キ既ニ
此世界の機關活動ノ实例ヲ示スモノニシテ人類進歩ノ為メ
大ニ貢獻スル所アル可キハ期シテ待ツ可シ而テ國民ニ重キ
負担ヲ課シツアル列國ノ軍備撤廢ノ如キ固ヨリ近キ將來
ニハ之ヲ期待ス可カラザルモ聯盟ノ努力ニ依リ何レノ日カ
之ヲ実現セザル可カラズト説キタリ(脱)并ニ伯刺西爾代
表者次デ各々一場ノ演説ヲ為セリ次ニ議長ハ「ザール」河
谿境界確定委員ヲ任命ス可キ旨ヲ宣シ理事会ノ選定ス可キ
三名ノ委員ハ Colonel Waice (英国) Commandant
Lambert (白耳義) 及小林砲兵少佐(巴里)全会一致可決
セラレタリ第二回理事会ノ場所ニ付テハ議長ノ發議ニ基キ
倫敦ニ開催スルコト可決セラレ其日取及議題ニ付テハ議長

八八 一月十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯盟第一回理事会開催ニ付各国理事会合打合
ニ関スル件

第一一三号

(一月二十一日接受)

一月十五日夕刻聯盟理事会開催ニ関スル打合せノ為、各國
理事「ブルジョア」氏宅ニ会合シタルガ(理事会ハ一月十
六日午前十時三十分開催)「ブルジョア」仮議長トナリ、
直チニ議長選挙ヲ行ヒ「ブルジョア」氏ヲ議長ニ推スニ定
マリ、同氏ヨリ右ノ機會ニ於テ為スベキ演説ノ内容ヲ示
シ、「カーゾン」ヨリモ一場ノ演説ヲ為シ、華盛頓労働會
議ニ付一言スルコトトナリ、次ニ当日ノ議事ナル「ザー
ル」河谿境界確定委員選任ノ件ニ付「ブルジョア」ハ仏獨
両委員ノ外、英、白耳義、「ブラジル」ヨリ委員ヲ選任シタ
リト述べ、右諸國ハ直ニ同意ヲ表シタルガ本使ハ嘗テ五國
會議ニ於テ本条実施ニ関スル相談ノ際「ピション」氏ヨリ
本件委員ハ國際連盟(脱)任命スル筈ナルガ必要ノ場合五國
中ヨリ参加セシムルノ用意アルヤト問ハレタルニヨリ自分
ハ用意シアリト答ヘタル次第ヲ述べタル所、本件委員ハ聯

盟理事会ニテ任命スベキモノニテ五国会議ノ管掌ニ非ズトノ說出デ「カーゾン」モ本使ニ対シ日本委員任命ノ提議ヲ撤回スル様態シタルガ本使ハ我方ニテハ已ニ其積ニテ將校一名引充テ巴里ニ引留メアルヲ以テ今更之ヲ變更スルハ迷惑ナル次第ナリト説明シタル処、「ブラジル」大使ハ三国等ガ本件ニ同意シタルハ全ク聯盟及仏国政府ニ対スル好意ニ出デタルモノナレバ右ノ如キ事情ナルニ於テハ「ブラジル」委員任命ハ撤回スベシト陳ベタル結果、日、英、白三国委員任命ノコトトナリ「ブルジョア」ハ「ブラジル」大使ニ対シ、最近ノ機会ニ於テ「ブラジル」ニ名譽ヲ与フベシト慰藉シ本件ニ関スル理事会ハ倫敦ニ於テ開催ノコトニ定メ散会シタリ

在欧米各大使へ転電セリ

八九 一月二十一日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

倫敦第二回理事会ニハ出席シ兼又ルニ付速ニ理事任命方稟請ノ件

第一五七号 （一月二十七日接受）

往電第一四四号ニ関シ（在英大使往電第八三号）倫敦ニ開カル可キ第二回理事会ニハ本使ハ大使會議ノ關係上出席致シ兼又ル次第ナルニ依リ珍田大使ニ出席ヲ請フノ外ナキ処同大使モ今後引続キ出席ノコトハ困難ナル事情モアル可キニ付キ政府ニ於テ速ニ理事任命相成ル様致シ度ク尚第三回理事会ハ羅馬ニ開カルルコトナル由聞込メリ

在英大使へ転電セリ

九〇 一月二十六日 内田外務大臣ヨリ
在本邦米國大使宛

國際聯盟第一回理事会招集ニ関シ回答ノ件

政二送第九号

以書翰致啓上候陳者本月十三日附貴翰ヲ以テ貴国政府ノ命ニ依リ貴國大統領ノ聯盟理事会開催ニ関スル通告御伝達相成致敬承候右ニ関シ帝國政府ハ早速巴里ニ電訓シ在仏松井全權大使ヲシテ帝國代表者トシテ同会ニ出席ノコトニ取計置候

右御通告ニ対シ謝意申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬具

九一 二月二日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第二回聯盟理事会ニ本邦理事ノ資格ニ於テ出席並同會議ノ議題ニ付請訓ノ件

第四二号 （二月八日接受）

國際聯盟事務局総長ヨリ一月二十八日附公文ヲ以テ第一回理事会ノ決議ニ基キ「ブルジョア」氏ニ於テ倫敦ニ開カル可キ第二回理事会開催期日ヲ二月十一日ニ決シ多分同十三日迄継続セラル可キ旨（脱）在仏国松井大使宛貴電講第八〇九号ノ趣旨ニ鑑ミ又同大使発閣下宛講第一五七号稟申ノ本邦理事選任モ間ニ合ハザル可キニ付本使ニ於テ理事ノ資格ニ於テ出席ス可キ御趣旨ト思考スルモ念ノ為メ経伺ス至急御返電アリ度シ尚同総長ヨリ左ノ課題ヲ送越セルニ付之ニ関シ注意ヲ必要トスル事項アラバ御電報相成度シ

一、理事会ノ議事手続

二、「ザール」河流域

(a) 行政委員五名ノ任命

(b) 同流域近傍住民ノ請願

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 九一 九二

三、「ダンチヒ」高級委員ノ任命

四、交通、港灣、水路、鉄道問題ニ関スル聯盟ノ義務

五、保健 health 問題ニ関スル國際団体ノ組織

六、常設國際司法裁判所ノ組織

七、波蘭少数民族保護条約ニ関スル聯盟ノ保障

註一 日本外交文書大正八年第三冊上卷六一文書

2 前掲八九文書

九二 二月七日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英國外相ト会谈ノ結果首相會議ニハ本使出席シ理事会ニハ松井大使又ハ安達公使出席ノコトト致度ニ付予メ認可方稟請ノ件

第五五号（至急） （二月十四日接受）

往電第五四号會議ニ次ギテ國際聯盟理事会ニ談及シ「カーゾン」卿ニ於テ其ノ議長ノ任ニ當ラルルコトト思考スル旨ヲ述べタル処同卿ハ自分ハ常住上院ニ出席ノ必要アリ旁々当初ヨリ國際聯盟ニ密接ノ關係アリタル「バルフォア」氏ニ議長ノ任ヲ委スル答ナリト答ヘ（理事会議長ハ理事ノ選

挙ヲ以テ決スル筈ナルモ「バルフォア」氏ノ今回議長タル可キハ既定ノ事実ナルガ如キ口吻ナリキ）日本側ヨリハ松井大使出席セラル可キヤト問ヒタルヨリ本使ハ松井大使ハ大使會議ニ出席ノ必要上来英致シ兼ヌ可ク多分本使ニ於テ列席ノ都合ト成ル可シト述べタル処同卿ハ頗ル怪訝ノ面持チヲ示シタルヲ以テ本使ハ新聞紙ノ所報ニ依リ首相會議モ同時ニ開催ノ趣ナルガ果シテ事実ナルヤト試問シタルニ（數日前当地夕刊新聞紙ニ近日洪牙利代表者来英シ同時ニ同盟諸国代表者モ当地ニ參集シ「セント、ジェームス」宮殿ニテ総會議ヲ開キ「ロイド、ジョウジ」氏之ヲ主宰ス可シ云々ノ記事アリタリ）同卿ハ既ニ仏伊兩首相ニ對シ招請ヲ發シ「ミラン」首相ヨリハ來ル十一日渡英方差支無キ旨回答ニ接シ只「ニッチ」首相ノ回答ヲ待チ居ル事情ニテ右會議ニハ日本モ利害關係ヲ有ス可キガ故ニ貴大使ニ於テ之ニ出席シ從而松井大使ハ理事会ニ出席ノコトト想像シ居タル次第ナリト答ヘラレタリ

元來近東問題ニ関スル首相會議ニハ本邦ヲ度外視スルコトナキヤ予テ心配ニ感シ居タル折カラ右ノ応答ハ我主張ノ素地ヲ作ル為逸スベカラザルヲ信シタルヲ以テ近東問題ニ

第五六号 (二月十五日接受)

本使發在仏大使宛電報御參考迄ニ転電ス
第一一七号

貴電第一一六号ト行キ違ヒタル大臣宛電第五五号ニ申述べタル通りノ次第ナルヲ以テ閣下ノ御來倫ヲ得バ最も好都合ト存ズ然ルニ首相會議ニ出席ノ儀日程前電ノ通り「カーゾン」卿ニ申込ミノ事情モアリ且ツ本使ニ於テハ未ダ本省大臣ヨリ國際聯盟理事会ニ於テ帝國ヲ代表スヘキ訓令ニ接シ居ラズ旁々閣下御來着ノ上ハ從來ノ權限ニ基キ理事会ニ御出席ヲ煩ハスコトト致シ度ク就テハ可成速ニ遅クモ十日迄ニ当地御來着相成ル様御取運ビアランコトヲ切望ス

九四 二月十一日 内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛 (電報)

第二回理事会ニ本邦代表者トシテ出席方ニ関スル件

第四八号
貴電第四二二号ニ関シ

第二回聯盟理事会ニ於テ貴官ノ帝國代表者トシテ出席セラ

関シテモ日本ガ利害關係ヲ有スルコト勿論ナルヲ以テ我代表者ハ当然出席スベキ儀ト信ズ從テ貴説ノ如ク理事会ト同時ナル場合ニ於テハ理事会ノ出席ニ付テハ如何様ニモ都合相付ク可キニ依リ本使ハ首相會議ニ出席ノコトト相成ル可キニ付テハ若シ右予定期日ニ於テ愈々「ニッチ」首相来英ノコトニ決定ノ上ハ至急政府並巴里ニ電報ノ必要アルニ付同首相返電着次第通報アリ度キ旨ヲ請ヒタルニ「カーゾン」卿ハ之ヲ快諾セラレタリ右ノ行懸ナルヲ以テ此際本使ニ於テ万障ヲ排シテモ首相會議ニ參加シ理事会ニハ松井大使ノ來英困難ナレバ安達公使ノ出席ヲ請フコト機宜ノ措置ト思考セラルル処時日切迫ノ場合到底請訓ノ余裕之ナキガ故ニ万事松井大使ト協議ノ上前頃ノ方針ヲ以テ臨機処弁致シ度ク予メ御認可ヲ請フ (六日)

在仏大使ヘ転電セリ

九三 二月七日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

倫敦理事会ニ出席方松井大使ニ希望シ置キタル件

ルルコトハ既ニ電訓済又軍事上ノ問題ニ関シテハ適宜伊丹少將ヲ帶同出席セラルルカ又ハ同武官ノ意見ヲ徵セラレタシ
在仏大使ヘ転電アリタシ

九五 二月十二日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

第二回聯盟理事会ノ開催、會議議題及議事手續ニ関シ松井大使ヨリ報告ノ件

第六三号 (二月二十日接受)
松井大使ヨリ

(聯盟理事会ノ一) 二月十一日正午國際聯盟第二回理事会ヲ「セント、ジェームス、パレス」ニ開ク出席理事英、Balfour 仏、Léon Bourgeois 伊、Ferraris 白、Hymans 西、Quinones de Leon 伯、Cunha 希、Caclamanos (在英國公使) 並本使ノ八名ニシテ聯盟職員ノ外会衆トシテ在英外交団並新聞記者等凡ソ百五十名ヲ算シタリ

Balfour 先ヅ英國政府ノ名ニ於テ各理事歡迎ノ辞ヲ述べ

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 九六 九七

タルガ「レオン、ブルジョア」之ニ一応ノ答札ヲ為シタル
後第一回理事会ノ決議ニ從ヒ聯盟書記官長ト評議ノ上今回
ノ議題ヲ作成シタル旨ヲ報告シテ之ヲ朗誦シ（在英大使
往電第四二号及第五〇号）^{（電）}次デ今次理事会ノ議長トシテ
「バルフォア」ヲ推薦シタルニ満場異議ナク其ノ動議ヲ可
決シタリ

依テ「バルフォア」ハ議長席ニ移リ議事手続トシテハ各
議題ニ付理事一名ヲ報告者トシテ其ノ説明ヲ聞クト同時ニ
之ヲ審議スルコトト成リ居ル処議事ノ便宜上右理事ノ審議
会ヲ一ノ委員會ト看做シ来ル十三日公開ノ會議ニ於テ同委
員会ノ結果ヲ發表スルト共ニ新聞紙ニモ之ヲ公表スルノ方
法ヲ執リタキ旨ヲ諮リタルニ理事会ハ之ヲ可決シ午後一時
一先ヅ散会シタリ
米、伊ニ転電ス

註 在英大使兼外務大臣宛第五〇号省略

九六 二月十四日 内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛（電報）

首相會議ニハ珍田大使出席シ理事会ニハ松井
大使出席方ノ件

九八 二月十四日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第二回理事会ニ於ケル各国代表ノ報告及決議
案等ニ関シ松井大使ヨリ報告ノ件

別 電一 二月十六日在英國珍田大使兼内田外務大臣宛電
報第六九号

國際裁判所設立ノ為ノ準備委員會組織ニ関スル
決議

二 同右電報第七〇号

常設交通機關設置ニ関スル決議

三 同右電報第七一号

常設ノ國際保健機關設置ニ関スル決議

四 同右電報第七二号

ザール地方行政委員任命決議

五 同右電報第七三号

ダンチッヒ高級委員ノ任命及同地区憲法草案起
草方決議

六 同右電報第七四号

少数民族保護ニ関スル五大国及波蘭間条約ハ聯
盟ノ保障下ニ置カル可キ旨ノ決議

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 九八

1011

第五三号至急

貴電第五五号ニ関シ右ト行違ニ貴官ハ理事会ニ帝國代表者
トシテ出席セラルヘキ旨電報シタル処御來電ノ次第モアリ
旁々貴官ハ首相會議ニ出席セラレ理事会ニハ松井大使出席
ノコトトシタキニ付此儀松井大使へ本大臣訓令トシテ伝ヘ
ラレ度シ

九七 二月十四日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第二回理事会ニ於テ各議題ニ関スル決議ハ公
表ノ事トシタル件

第六四号

（二月二十二日接受）

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ二

二月十一日午後並同十二日午前及午後公開セザル會議ニ於
テ各問題ニ就キ討議シ各議題ニ関スル決議ハ十三日之ヲ公
表スル事トシタリ右決議ニ就キ注意ヲ要スル議事ハ別ニ電
報ス

七 同右電報第七五号

瑞西ノ聯盟加入ニ関スル決議

八 二月十九日在仏國松井大使兼内田外務大臣宛電
報第三〇六号

國際財政會議開催決議

第六五号

（二月二十二日接受）

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三

二月十三日午前及午後公開ノ會議ニ於テ

(一) Léon Bourgeois 國際裁判所設置問題

(二) Quinones de Leon 交通會議開催問題

(三) Cunha 國際保健機關設置問題

(四) Caclamano Saar 行政委員任命問題

(五) Hymans Danzig 高級委員任命問題

(六) 本使 波蘭ニ関スル少数民族保護問題

(七) Balfour 瑞西ノ聯盟加入問題

ノ順序ヲ以テ各自報告ヲ為シタル後別電要領通ノ決議案ヲ
提出シタルガ理事会ハ順次同決議案ヲ可決シ之ヲ新聞紙ニ
公表スル事トシ次回理事会ニ就テハ特別ナル事情ノ変化ナ

1011

キ限り羅馬ニ開催スル事トシ其日取及議題ハ「バルフォア」及事務長官ノ協議決定ニ一任スル事トシテ茲ニ第二回理事會ヲ終了シタリ

(別 電一)

二月十六日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第六九号

國際裁判所設立ノ為ノ準備委員會組織ニ関スル決議

第六九号

(二月二十三日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電一

聯盟規約第十四条ノ規定ニ依リ國際紛争ヲ審議解決スル權限ヲ有スル國際裁判所設立ニ関シ理事会ハ各聯盟国ニ案ヲ提シテ其ノ承認ヲ得ザル可カラザルニ鑑ミ著名ナル國際法學者若干ヲ選任シテ一ノ委員會ヲ組織セシメ以テ該裁判所設立案ヲ作成セシム右國際法學者ハ左ノ十二名トス

英' Lord Phillimore 米' Elihu Root 仏' Fromageot 伊' Professor Fadda 日' 秋月 白' Baron Descamps 諾威' Gram 和蘭' Dr. Loder 塞耳比亜' Vesitch 西班牙' Rafael Altamira 亜爾然' Drago 伯刺西爾' Clovis Bevilacqua

(別 電二)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七〇号

常設交通機關設置ニ関スル決議

第七〇号

(二月二十三日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電二

聯盟規約第二十三条(五)ノ規定並各条約中交通ニ関スル規定實施ノ為メ常設ノ機關ヲ設定スルノ必要アルニ鑑ミ現ニ巴里ニ於テ開催中ノ交通會議ニ委嘱シテ(一)、右機關設定ニ関スル意見(二)、水路港湾並出來得レバ鐵道ニ關スル一般國際協定ヲ聯盟理事会ニ提出セシムルコトヲ決議ス

(別 電三)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七一号

常設ノ國際保健機關設置ニ関スル決議

第七一号

(二月二十三日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電三

聯盟規約第二三条(六)及第二五条ニ顧ミ英國政府斡旋ノ下ニ赤十字社ノ代理者ヲモ加ヘタル専門家會議ヲ催サシメ之ヲ

シテ前記諸条ノ實施ニ關連シテ必要ナル常設機關設置ニ関スル提案ヲ為サシムルコトヲ決議ス

(別 電四)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七二号

ザール地方行政委員任命決議

第七二号

(二月二十三日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電四

独逸ハ Saar 流域地方ヲ拋棄シテ其統治ヲ國際聯盟ニ委任シタルニ鑑ミ

M. Rault (Français)

M. Stanbock (Landrath de Sarrelouis, Sarrois)

M. Le Commandant Lambert (Belge)

M. Denolke Huidfelt (Danois) 及英人一名(後ニ指名ス)ノ五名ヲ向フ一年間「ザール」ノ行政委員ニ任命シ M. Rault ヲ其委員長トスルコトヲ決議ス

(別 電五)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七三号

ダンチツヒ高級委員ノ任命及ビ同地区憲法草案起草方決議

第七三号

(二月二十四日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電五

対独条約第一百条乃至百八条ノ規定ニ鑑ミ Sir Reginald Tower ヲ「ダンチツヒ」ニ於ケル國際聯盟ノ高級委員ニ任命シ之ヲシテ速カニ条約規定ニ準拠シテ「ダンチツヒ」自由区ノ憲法ヲ起草セシメ同憲法草案ヲ聯盟理事会ニ提出セシムル事ヲ決議ス

(別 電六)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七四号

少數民族保護ニ関スル五大国及波蘭間条約ハ聯盟ノ保障下ニ置

カル可キ旨ノ決議

第七四号

(二月二十四日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三、別電六

少數民族保護ニ関スル五大国及波蘭間ノ条約第十二条ニ顧ミ同条約第一条ヨリ第十一条ニ至ル迄ノ規定ハ少數民族ノ保護ニ關スル限り國際聯盟ノ保障ノ下ニ置カル可キコトヲ決議ス

(別 電七)

二月十六日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第七五号
瑞西ノ聯盟加入ニ関スル決議

第七五号

(二月二十四日接受)

松井大使ヨリ

聯盟理事会ノ三ノ別電七

Council of League of Nations, while affirming that conception of neutrality of members of League is incompatible with principle that all members will be obliged to co-operate in enforcing respect for their engagements, recognizes that Switzerland is in unique situation based on tradition of several centuries which has been explicitly incorporated in law of nations, and that the members of League of Nations signatories of Treaty of Versailles have rightly recognized by Article 435 that guarantees stipulated in favour of Switzerland by Treaties of 1815 and especially by Act of November 20 1815 constitute international obligations for maintenance

一〇六

of peace. The members of League of Nations are entitled to expect that Swiss people will not stand aside when high principles of League have to be defended.

It is in this sense that Council of League has taken note of declaration made by Swiss Government in its message to Federal Assembly August 4 1919 and in its memorandum January 13 1920 which declarations have been confirmed by Swiss Delegates at meeting of council, and in accordance with which Switzerland recognizes and proclaims duties of solidarity which membership of League of Nations imposes upon her, including therein duty of co-operating in such commercial and financial measures as may be demanded by League of Nations against Covenant-breaking State, and is prepared to make every sacrifice to defend her own territory, under every circumstance, even during operations undertaken by League of Nations, but will not be

China.

(別 電八)

二月十九日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第三〇六号
國際財政會議開催決議

第三〇六号

(二月二十二日接受)

聯盟理事会ノ三ノ別電八

財政上ノ窮迫ヲ研究シ之カ救済ノ途ヲ講シ並之ヨリ生スヘキ危険ナル結果ヲ緩和スル目的ヲ以テ國際會議ヲ招集スルコト並議長ノ指名ニ依リ理事中ヨリ選任セラレタル委員會ヲシテ利害關係ヲ有スル各国ヲ招請セシメ以テ成ルヘク速ニ右國際會議ヲ開催セシムルコトヲ決議ス

在欧米各大使ヘ転電セリ

註 次掲九九文書ノ第八参照

九九 二月十八日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二回理事会ニ於ケル各決議ニ関シ注意スベキ議事ニ付報告並議事手続案修正ニ付請訓ノ件

shortest possible time.

別電 二月二十日在仏國松井大使宛内田外務大臣宛電報

第三〇四号

聯盟事務局作成ノ理事會議事手續草案

第三〇三号

(二月二十二日接受)

往電聯盟理事會ノニ関シ注意スヘキ議事左ノ通

第一、瑞西ノ聯盟加入問題

本問題ニ関シ理事會ハ先ヅ瑞西政府ヲ代表シテ弁疏セラレタル「アドール」氏ノ陳述ヲ聴取シタルガ同氏ハ(一)瑞西ノ加入期限ニ付条約實施後二ヶ月以内即チ三月十一日迄ニ加入ノ通告ヲナサザルベカラザル処瑞西議會及瑞西聯邦議會ハ既ニ加入ヲ希望スル旨決議シタルモ瑞西憲法ニ從ヒ右決議ハ更ニ之ヲ人民ノ「レフエレンダム」ニ問ハザルベカラズ依テ同「レフエレンダム」ノ右期限内ニ終了セザル場合ニ於テハ瑞西ハ聯盟加入不可能ナルコト(二)永世中立ノ留保ニ付テハ右ハ數世紀ニ亘リテ國際法上公認セラレタル瑞西存立ノ根本義ナルヲ以テ他ニ類例ナキ此ノ歴史的理由ニ基キ又同國ガ西欧大國ノ間ニ介在シ中立ノ保障ナキニ於テハ何時兵燹ノ甚ト化セラルルヤモ計ラレザル位置ニ在ル地理的理由ニ依リ將又素ト平和ヲ好ム人民ナル人種ノ理由ヲ根

維持ハ即チ平和ノ擁護ニシテ結局聯盟ノ根柢ヲ鞏固ニスルモノナル処瑞西ノ中立ノ如キハ他ニ類例ナキ歴史の根柢ヲ有スル外ニ之ヲ軍事の中立ニ局限スルコトハ同政府ノ宣明スル所ニシテ而カモ聯盟規約第二十一条モ亦既ニ平和保障ノ為ニスル地方的國際協定ノ有効ナルコトヲ承認セルニ鑑ミ瑞西ノ中立維持ヲ条件トシテ聯盟加入ヲ許ストモ差支ナカルベキ旨ヲ述ベタルニ「レオン、ブルジョア」ハ右規約第二十一条ヲ援用スルトキハ之ヲ先例トシテ他ニモ亦条件付加入ヲ申出ヅルモノヲ生スベク以テ聯盟ノ將來ノ為面白カラザル結果ヲ見ルニ至ルヘキニ因リ瑞西ニ付テハ歴史上法律上他ニ類例ナキ場合ナルカ故ニ其ノ留保ヲ認ムルコトヲ宣明スルコト然ルヘキ旨ヲ附言シタリ依テ右等意見ヲ斟酌シテ決議文ヲ起草スルコトニ決シ以テ發表セラレタルモノ即チ往電聯盟理事會ノ(三)別電第七ノ通ナリ

第二、理事會ノ議事手續

本件ニ関シ報告者「フェラリス」ハ聯盟事務局ニ於テ作成シタル別電第三〇四号ノ通りノ既定草案ニ対シ理事會ノ任命ハ各國外務大臣ヨリ事務官長ニ通告スルコトトシ度キコト、討議セラルヘキ問題ニ依リテハ其任命ニ関シ各政府ニ

拠トシ以テ其ノ聯盟加入ニ方リテハ絶対ニ其ノ永久中立性留保ヲ条件トセラレタキコト但シ茲ニ所謂中立トハ単ニ軍事の中立(neutralité militaire)ヲ指スモノニシテ即チ自ラ軍事行動ニ参加セズ外國軍隊ノ通過ヲ認メズ及瑞西領土内ニ於テ何等軍事行動ヲ準備スルヲ許サザルニ止マルガ故ニ聯盟國トシテ執ラザルベカラザル商業上及財政上ノ措置ニ付テハ敢テ之ガ負担ヲ拒ムモノニアラザルコトヲ力説シタリ右ニ対シ「バルフォア」ハ今日迄ノ了解通り愈々「ジュネーヴ」ガ聯盟本部所在地ト確定セラルル場合ニハ各國ノ陸海軍將校同部ニ駐在スルコトナルベキ処此等將校ガ相互ニ特殊軍事行動ニ付テ意見ヲ交換シ又ハ其ノ結果ヲ各本國政府ニ通報スルカ如キモ瑞西ノ中立ヲ破ルモノト解スヘキヤヲ尋ネタルニ「アドール」ハ聯盟本部附將校トシテ其ノ職務上ノ意見ヲ交換スルガ如キハ素ヨリ前述ノ所謂瑞西國內ニ於テ行ハルル「オペラシオン、ミリテール」ノ準備行動ト看做スモノニアラザル旨ヲ答ヘタリ「アドール」退去ノ後「バルフォア」ハ「レフエレンダム」ニ付テハ瑞西政府ニ対シ之ヲ三月十日迄ニ終了セシムル為速ニ其ノ遂行ニ着手センコトヲ希望スルコト然ルベキ旨並中立ノ

十分ノ余裕ヲ与フル為メ理事會ノ任期ハ各政府ニ於テ定ムルコトトシテ更ニ理事會ノ代理者ヲ認ムルコトトシ、特ニ重大ナル問題ニ付テハ Délégué Extraordinaire ヲ選任派遣スルコトトシ度キコト、理事會ノ議長ニハ相当長キ期間ノ任期ヲ定メ而シテ議題ハ少クモ開會ニ週間前ニハ各理事會ニ配布セラレ度キコト等ヲ述ヘ是等希望ニ就テハ一ノ修正案ヲ提出シ度キ旨ヲ述ヘタルニ「バルフォア」ハ聯盟本部ガ愈々「ジュネーヴ」ニ確定セラレタル曉ハ兎ニ角目下ノ如ク理事會毎ニ其会場ヲ變更シツツアル間ハ議長ハ其都度之ヲ選任スルコト事務進捗ヲ計ル上ヨリ見テ却テ良策ナルヘシ其他「フ」氏ノ希望ハ主義トシテ異議ナキ旨ヲ述ベ「レオン、ブルジョア」モ亦大体之ニ賛成ノ意ヲ表シタリ本使ハ本邦ノ遠隔ノ地位ニアル關係上特殊ノ問題毎ニ Délégué Extraordinaire ヲ派遣スルコト困難ナルコト議題ニ付テモ予メ政府ノ訓令ヲ仰グ必要アル場合モアルベキ処戰爭以來通信機關ニ故障多キニ鑑ミ鮮クトモ三週間前ニハ通知ニ接シ度キ事及本件原案第七条ノ如キハ聯盟規約第五条ト抵触スル所アルヲ認ムルコトヲ注意シタルニ「バルフォア」ハ是等意見ヲ参照シテ原案ヲ改作セシムル為メ

之ヲ特別委員會ニ附託スルコトヲ主張シ一同之ニ賛成同委員ノ任命ハ之ヲ議長ニ一任スルコトトナリタリ而シテ右委員會ハ次回ノ理事会ニ新ニ之ヲ提出報告スルコト並ニ各国ハ書面ヲ以テ原案修正意見ヲ事務局宛提出シ得ルコトヲ決シタリ本件議事手續ハ將來聯盟運用ノ骨子ヲナスモノニシテ從テ帝國發言權ノ伸長ノ上ヨリ見テ慎重考慮ヲ要スヘキニ付本使ノ所言ニ基キテ修正案ヲ作成提出スル積リナルモ別ニ御意見アラハ至急御回答相成タシ

第三、「ザール」流域行政委員任命

第一回理事会ニ於テ「ザール」ノ国境確定委員トシテ任命セラレタル Commandant Lambert (白耳義) 今回更ニ行政委員ノ一人トシテ選任セラレタルヲ以テ国境確定委員ノ後任ヲ必要トスルニ至リタル所第一回理事会ノ際伯刺西爾ノ要求アリタルニ不拘我カ小林少佐ヲ任命シタル行懸リモアリ依テ右「ランベール」ノ後任国境確定委員トシテ伯刺西爾ヨリ Colonel Laite de Castro ヲ出スコトトナリタリ

尚「ザール」地方ノ行政ニ関シ同地方民ヨリ提出シタル請願書今回理事会ノ審議ニ附シタルガ報告者「カクラマノエ

々」ナル文句アリタル所波蘭少数民族条約第十二条ニハ理事会多数ノ同意ヲ得バ第一条ヨリ第十一条迄ノ条項ヲ改訂シ得ヘキ旨ノ規定アリ右ハ聯盟規約第五條理事会ノ決議ハ全会一致ヲ要スル旨ノ規定ト相容レザルカ如ク解シタルヲ以テ本使ハ理事会ニ於テ此点ヲ質疑シタルニ事務局側意見トシテ Directeur Dolas van Hammel ハ規約第五條ノ規定ハ國際聯盟自体ニ関スル問題假令ハ既ニ聯盟規約ニ予見セル問題等ヲ議決スル場合ノ原則ヲ明カニシタルモノニシテ其他ノ問題假令ハ本件波蘭少数民族条約ノ如キ場合ニ於テ其当事者カ敢テ理事会ノ全会一致ノ決議ヲ要求セズ其大多數ノ議決ニモ承服スルノ意思ヲ表明シタル場合ニハ理事会ハ素ヨリ規約第五條ニ拘束セラルル必要ナキヲ説明シタリ本使ハ若シ斯ル解決ヲ以テ將來諸種問題ニ関シ締約國カ理事会ハ大多數ノ決議ニ服スル旨ヲ約定シ理事会之ニ依リテ全会一致ニ依ラズシテ問題ヲ議決スルカ如キコトヲ許スハ最も慎重ノ考量ヲ要スヘキモノト思考シ此機會ニ於テ右趣旨ヲ表明シ置クノ必要ヲ認メタルニ依リ抑モ全会一致ノ規定ハ聯盟存立ノ為メニ最も重要ナル原則ヲ表明セルモノナリ然ルニ今事務局側ノ解釈ヲ容レ將來理事会ハ大多數ノ

ス」ノ提議ニ基キ右請願ノ審査解決ハ行政委員ノ考量ニ一任スルコトニ決シタリ

行政委員ニ与フヘキ訓令ハ郵送ス

在欧米大使ハ電報セリ

第四、國際保健機關設置

本件決議案確定ニ當リ本使ハ將來万国赤十字社ノ事業ト同機關ノ事業ト衝突スルコトナキヤヲ懸念シ一応念ノ為注意シ置クコトヲ必要ト認メタルヲ以テ抑々國際的ニ保健ノ道ヲ講スル為ニハ客年仏國以下各国専門家ノ会合アリ本年モ遠カラズ「ベルン」ニ於テ赤十字社代表者ノ会合催サルル処是等会合ト本件保健機關トハ如何ナル關係ニ立ツヘキヤ承知シ度キ旨ヲ述ヘタルニ「レオン、ブルジョア」ハ右ハ全然無關係ニシテ赤十字社モ聯盟保健機關モ別個ノ自治団体ナリ唯協力シテ國際保健衛生ノ為貢獻セントスルノミ故ニ本件保健會議ニ於テ赤十字社代表者ヲ参加セシムヘキヲ決議セントスルモノナル旨ヲ答ヘタリ

第五、波蘭少数民族条約

本問題ニ関シ事務局ニテ作製シタル決議文中ニハ「本件保証ヲ与フル約定ハ聯盟規約ノ各規約ニ適合セルニ顧ミ云

同意ヲ以テモ事ヲ決シ得ル条項ヲ有スル条約相次テ成立スル時ハ右聯盟ノ全会一致ノ原則ハ遂ニ空文トナルヘキヲ恐ルト述ヘタルニ「レオン、ブルジョア」ハ元ト聯盟ノ有スヘキ「マンダー」ニハ完全ナルモノト制限のモノトアリ完全ナル「マンダー」ヲ遂行スル場合ニハ理事会ノ慎重ナル決定ニ俟ツヲ要スルヲ以テ其全会一致ノ同意ニ依ラザルベカラザルモ制限的ノ「マンダー」ノ場合ニ於テハ大多數ノ議決ヲ以テ足ル而シテ波蘭少数民族条約ノ場合ノ如キハ後者ニ屬スルモノナリトノ説明ヲ加ヘ出席各国理事ハ前記「ハメル」氏ノ説明ヲ諒トシ特ニ反対ノ意見ナキ模様ナリシモ本使ハ純法理論上此際右書記局意見ノ通解釈スルコトハ穩当ナラズト認メ波蘭少数民族ハ既ニ批准セラレ聯盟ハ之ニ規定セル保証ヲ与ヘザルベカラザル事態ニ差懸リ居レリ依テ此特別ナル事実ノ必要ニ基キ而シテ条文ノ解釈論ハ後日ニ讓ルコトトシテ前掲「聯盟規約ノ各規定ニ適合セルニ鑑ミ云々」ナル一項ヲ削除シ以テ単ニ本件少数民族条約第十二條ニ基キ同条約第一条ヨリ第十一条迄ヲ聯盟ノ保証ノ下ニ置クコトヲ決議セハ足ルニアラズヤト述ヘタルニ全員之ヲ賛成シ以テ往電聯盟理事会ノ(三)別電第六ノ通りノ

決議ヲ經テ之ヲ公表スルコトナリタリ
在欧米大使ヘ転電セリ

第六、常設交通會議

本件決議ハ目下巴里ニ於テ開催中ノ交通會議ヲシテ國際聯盟ノ一分科トシテ必要ナル通過、交通ニ關スル常設機關設置ニ付キ一切ノ提議ヲ為サシメントスルモノニシテ決議末段鐵道ニ關スル國際協約案ヲ作成シテ理事会ニ提出セシムルノ一節ニ付テハ決議案文ニハ *s'il parait nécessaire* トアリタルヲ *si possible* ト訂正シタリ (往電聯盟理事會ノ(三)、別電第二号参照) 右ハ鐵道ニ付テモ固ヨリ其必要ヲ認ムルモ唯鐵道ニ付テハ技術上各国其運轉ノ態様ヲ異ニシ今協定ヲ纏ムルコト困難ナルニ顧ミ「出来得レバ」ト訂正シテ必ズシモ急速ニ鐵道ニ關スル協定ヲ作成スルヲ必要トセザル趣旨ヲ明カニセルモノナリ尚本件常設機關設置ニ關シ事務局ニ於テ作成シタル提案アリタルガ同案ハ巴里交通會議ニ委託審議セシムルコトナリタルヲ以テ茲ニ電報セズ

第七、次回議題

次回理事会ニ上ス可キ議題ハ議長「バルフォア」ト事務官

關ヲシテ此ノ種ノ決議ヲ發表セシムベキ財政上ノ理由モ主ナル動機ナルガ如キ印象ヲ保チタルヲ以テ本使モ其ノ儘賛成シ置キタリ

第九、「ダンチッヒ」高級委員任命

主タル同盟及聯合國ノ代表者タル高級委員ハ波蘭政府ト「ダンチッヒ」自由市トノ間ニ成立ス可キ諸條約ノ商議ヲ為サザル可カラザル処(條約第百四条) 右諸條約ハ「ダンチッヒ」ノ憲法ニ關係スル処尠カラザル可ク而シテ同憲法ニ就而ハ國際聯盟ノ代表者ナル高級委員ハ其ノ起草ニ与カラザル可カラザル(第百三条) ニ鑑ミ右兩委員ハ同一人ヲシテ之ヲ兼ねシムルコト便宜ナル可シトノ見解ニ基キ現ニ五大國ノ代表者トシテ任命セラレ居ル Sir Reginald Tower ヲシテ聯盟ノ代表者ヲモ兼ねシムルコトトシ從而(脱) 條約ニ關連シテ波蘭ト「ダンチッヒ」自由市トノ間ニ生ズ可キ爭議ヲ処理セシムルコトニ決シタリ
尚「ダンチッヒ」自由市ノ憲法ヲ起草ス可キ同自由市代表者選出ノ方法ハ條約中規定ナキ為メ事務局側ヨリ理事会ニ對シ聯盟ノ任命スル高級委員トシテ出来得ル限り広汎ニシテ且民主的ナル要件ニ依リ右代表者選出ノ方法ヲ決定セシ

長トノ協議ニ一任スルコトナリタル処其際二、三理事ノ希望ニ依リ右議題中ニ加ヘラル可シト予想セラルル問題ハ(一)聯盟國ノ確認並聯盟總會開會方法(二)聯盟ノ予算決定(三)事務局ノ構成(四)聯盟規約第九条ニ基ク委員會ノ開設等ナリ開會日取ハ二月末カ四月初メ頃ト期待セラル

第八、國際財政會議

本件ハ元今回理事会ノ議題ニ上リ居ラザリシガ目下歐羅巴各国財政上ノ危機ニ際シ貿易ノ平調ヲ保チ經濟上ノ調節ヲ計ランガ為メ種々ノ難問ニ逢着セルニ顧ミ之ガ為メ一ノ國際會議ヲ開キテ之等問題ノ解決ヲ計ルノ必要アリト云フヲ理由トシ將ニ理事会ヲ閉デントセシ二月十三日午後ノ會議開會前別室ニ赴キ各理事立話ノ間ニ決定セラレシ他ノ決議(脱) ナルガ各聯盟理事會ノ三別電第八号ノ通り發表セララルニ至リシモノナリ右決定ノ際本使ハ元來理事會ガ聯盟規約ニモ予見セザル此ノ種國際會議ヲ招集スル権限アリヤヲ推問シタルニ全員苟クモ國際關係ノ完全ナル發達ヲ目的トスル問題ハ聯盟ニ於テ是ヲ取扱ヒ差支無カルベシトノ意見ニテ英國側特ニ賛成ナルヤ不明ナルモ仏伊側ニ於テハ為替下落等ノ為メ財界漸ク動揺シ居ルニ顧ミ何等有力ナル機

ム可シトノ意見書ヲ提出シタルガ本件報告者「イーマンス」ハ右ニ對シテハ高級委員トシテ先ヅ其ノ意見書ヲ理事會ニ提出セシムルコト望マシキ旨ヲ述べタリ之ニ對シ「バルフォア」ハ斯而ハ茲ニ永キ時日ヲ要ス可キニ依リ「ダンチッヒ」ノ市會ヲシテ相當資格アルモノヲ推薦セシメ高級委員監督ノ下ニ選舉ヲ行ハシムルコト如何ト諮リタルニ「イーマンス」ハ「ダンチッヒ」市ハ「ダンチッヒ」ノ町ヨリモ更ニ広キ區域ヲ含ミ其ノ上ニ波蘭人アリ独逸人アリテ利害相交錯セルヲ以テ単ニ「ダンチッヒ」市會ノ定ムル処ノミニハ服セシメントスルモ困難多カル可シ故ニ高級委員ヨリ然ル可キ法案ヲ理事會ニ提出セシムルコト然ル可キ旨説明シ遂ニ「イーマンス」ノ主張ノ通り決定ス

(別電)

二月二十日在仏國松井大使宛内田外務大臣宛電報第三〇四号
聯盟事務局作成ノ理事會議事手續草案

第三〇四号

Draft order of procedure for the Council of the League of Nations.

Article 1. The Council shall meet as occasion may require, and at least once a year.

The meetings of the Council will be convened by the Secretary-General by letters containing the items of the Agenda.

He will be entitled to consult the President as to what items should be placed on the Agenda.

Matters of urgency but on the Agenda may not be dealt with at the Meetings.

Article 2. The Secretary-General shall bring before the Meeting all documents addressed to the Council or to the League which he considers of sufficient importance to require discussion. In cases of doubt, the Secretary-General shall consult the President and (脱) according to his decision.

Article 3. Members of the Council shall at the beginning of every meeting elect their President, who shall retain office until the next meeting, and may be re-elected.

The President may, in case of necessity, appoint another member of the Council to act as his substitute.

The preceding provisions regulating the presidency of the Council shall be reconsidered after the League of Nations shall be established at its permanent seat.

Article 4. Unless otherwise determined, the President shall declare the Meeting open so soon after the hour named in the notice convening the meeting as five or more of the Members mentioned in the 1st paragraph of Art. 4 of the Covenant are present, and shall declare the Meeting closed when less than five of these members are present.

Article 5. The Resolutions of the Council shall be drawn up and the minutes of the Meeting, kept by the Secretary-General or by his representative, and copies issued at once to the Members of the Council.

The text of Resolutions, if not approved at the Meeting, shall be definitely valid (脱) objections are entered by Members within 24 hours after the communication of copies.

The minutes shall be valid, if no objections are entered within 48 hours after the communication of copies.

They shall, when valid, be distributed to the Members of the Council and to the various States Members of the League.

Article 6. Voting shall be by a show of hands.

Article 7. All matters of procedure, including the appointment of Committees and the Members constituting those committees to investigate particular matters, may be decided by a majority of Members present.

Decisions on all other matters require the agreement of all Members present, unless a different mode of decision has been stipulated by Treaty.

In the event of an equity of votes, a second vote shall be taken at subsequent meeting, which shall be held within seven days from the day when the first vote was taken, and upon the Agenda of which it shall be expressly state that a second vote will be taken upon the matter in question. Unless there is at this subsequent Meeting a majority in favour of the motion, it shall be treated as last.

Article 8. Experts and officials of the League may be admitted to the Meetings to give information or assistance if required.

Matsui.

100 二月二十三日 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二回聯盟理事會の組織報告ノ件

第二二二号 (二月二十日接受)
聯盟理事會ノ函

今次理事会ハ英國ニ於テハ其國民ヲシテ聯盟ノ存在ヲ確認セシムル最初ノ機会ナリシヲ以テ英國政府トシテハ可成此門出ヲ盛ニシテ一般ニ對スル其印象ヲ深カラシメンコトヲ力メタルモノノ如ク「聖ゼームス」宮殿ヲ会場ニ充テ「バルフォア」ヲ理事トシテ會議ヲ主宰セシメタルガ如キ何レモ右ノ趣旨ニ出デタルモノト解スベシ然ルニ議題ニ至リテハ時事問題トシテ一般ノ視聽ヲ惹クニ足ルモノナク將又各國ノ政策ニ重大ノ關係ヲ有スルモノナクシテ単ニ條約實施上ノ事務ニ屬スルガ如キモノ多ク從テ必ズシモ前記ノ主旨ニハ副ハザルモノナリシガ右ハ全ク開會期ノ短キコト並當初ヨリ重要問題ヲ提起スルモ容易ニ諒解ヲ遂グルコト難ク從ツテ聯盟活動ノ第一歩ヨリ其運用ノ容易ナラザルヲ暴露スルノミニシテ却テ聯盟ノ前途ニ對シ面白カラザル印象ヲ与フルニ過ギザルコトヲ顧慮シ特ニ今回ノ如キ議題ニ局限シタルハ「バルフォア」「レオン、ブルジョア」共ニ本使ニ語リタル処ナリ

右ノ如クニシテ開カレタル理事会ハ公開ノ會議ニ於テハ会場ノ空氣如何ニモ地味ニ過ギ之ニ加フルニ問題ノ内容會衆ニ訴フル処薄カリシ為中途ヨリ退場シタルモノモ尠カラザ

ズ旁々最初ノ會合ノコトニモアリ互讓ノ態度ヲ以テ容易ニ全会一致ヲ得以テ事務ノ進捗ヲ見タル次第ナリ
今回ノ會合ニ付最も注意ヲ要ス可キハ條約ノ解釈ニ付五大國ノ立場ヲ以テセルモノト五大國ヲ超越セル聯合側ノ執ル解釈ト毎ニ必ズシモ一致セザル点ニシテ例ヘバ瑞西ノ聯盟加入問題中特ニ其加入申込期限ニ付五國會議ニ於テハ聯盟規約ハ數個存在シ得ルモノト認ムルヲ以テ其何レヲ含ム條約ニ付テ見ルモ其實施後二ヶ月以内ハ聯盟加入申込可能ナリトノ解釈ヲ執リタルニ反シ聯盟側ニテハ對獨條約ト聯盟規約ノミヲ認メ依テ其實施後二ヶ月以内即チ三月十日迄ニ加入申込ヲ了セザル可ラズトノ解釈ヲ持シテ此旨宣明シタル次第ニテ斯卡ル條約解釈ノ差異ハ將來他ノ條項ニ付テモ生ズルコトアルベク為ニ國際聯盟ノ関スル限り今日迄議和會議ノ持シ來レル解釈ヲ覆ヘスコト(脱)

在歐米各大使ヘ転電セリ

リシ狀態ニテ一般ニ与ヘタル印象ハ所期ノ如ク深甚ナルヲ得ザリシヤノ感ヲ抱カシメタリ但右ハ英人ノ性質上仏國等ニ於ケルガ如ク派手ナル「マニフェスタシヨン」ヲ好マザルニモ依ル可ク將又首相會議モ同時ニ倫敦ニ於テ開催セラレ世上ノ耳目ハ専ラ右首相會議ニ傾注セラレ居タルニモ依ルモノナル可シ公開セザル會議ニハ例ヘバ「ダンチッヒ」ノ如キハ独逸ハ條約ニ依リ「ダンチッヒ」ニ對スル一切ノ權利ヲ重ナル同盟國並聯合國ノ為ニ放棄スルコトナリ居ルニ止リ之ニ依リ「ダンチッヒ」ハ直ニ國際聯盟ノ管理ノ下ニ置カルベキモノニアラズ故ニ手續トシテハ五大國ガ條約ニ依リ独逸ヨリ得タル權利ヲ聯盟ニ移轉シタル後始メテ聯盟ニ於テ之ニ関スル決議ヲナスベキモノト解セラレザルニモアラズ波蘭少數民族條約ニ付テモ何等カノ形式ニテ五大國ヨリ同條約ヲ聯盟ノ保障下ニ置クコトヲ促スベキ手續ヲ執ル可キモノトモ解セラレ其他ノ議題ニ付テモ右ノ如キ点強テ議論セントセバ其余地ナキニアラザリシモ國際聯盟側トシテハ可成其手ニ權力ヲ收メントスルモノノ如ク又各國ニ取リテハ何レモ直接ノ利害薄カリシ為各理事ハ問題トナリ得可キ処ヲ指摘シナガラ別ニ之ヲ固ク主張セントモセ

一〇一 三月三日

在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露國事情調査委員派遣ハ理事会ニ於テ実行セラレ度旨最高會議議長ヨリ聯盟事務總長ニ申越シタル趣ヲ以テ同總長ヨリ理事会ヲ巴里ニ開催ノ旨通知アリタル件

第三七四号(至急)

(三月五日接受)

最高會議々長「ロイド、ジョルジ」ヨリ國際聯盟事務總長宛二月二十四日附書翰ヲ以テ聯合國最高會議ハ國際聯盟ノ分科タル國際労働局ノ考量中ニ屬スル露西亜事情調査委員派遣問題ヲ審議シタルガ露西亜ノ現状ニ関スル公平正確ナル情報蒐集ハ最も希望ニ堪ヘザル処該調査事業ガ國際聯盟理事会ノ管轄ノ下ニ遂行セラルルニ於テハ効果將來ニ大ナルヲ信ズ依テ茲ニ國際聯盟理事会ニ對シ実行ヲ着手セラレン事ヲ望ム旨申越シアリタル趣ニテ今般聯盟事務總長ヨリ理事會議長ノ命ニ依リ三月十二日巴里ニ於テ理事会ヲ開催スベキ旨通知アリタリ就テハ当日日本使同理事会ニ出席スルノ外無カルベキカト思考セラルルカ何等カ心得置クベキ事

アラバ折返シ御回電アリタシ
在英大使へ転電セリ

1011 三月十四日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第三回聯盟理事会巴里ニ於テ開催、露国実状
調査委員派遣問題討議ノ件

第四四二号

(三月十七日接受)

三月十二日仏国國際聯盟局ニ於テ第三回理事会ヲ開ク、露
西亜実状調査委員派遣問題ニ関シ同日午前ハ各理事(英、
「バルフォア」仏、「レオン、ブルジョア」伊、「チット
ニ」白、「イーマンス」西、「キノネス、ド、レオン」伯
刺西爾、「ダ、クンニア」希臘、「ロマノネス」並本使)
其ノ書記官及聯盟事務局職員ノ「Réunion privée」ニ
於テ又午後右八理事事務総長及「アルベル、トーマ」ノミ
ノ秘密会ニ於テ主トシテ(一)本件委員調査ノ目的、(二)之ニ対
シテ与フ可キ保証、(三)之ニ関シテ「ソヴィエツ」政府ヨ
リ取り付ク可キ保証、(四)聯盟派遣ノ委員ト労働理事会派遣
ノ委員トノ關係等ニ付意見ヲ交換シタル結果大体ノ議纏リ

タルモ未ダ成案ヲ得ルニ至ラズ依テ十三日朝更ニ会见スル
コトナリタリ但シ委員ヲ出ス可キ国ノ振当ハ大体英、
仏、伊、日、米、白、希臘及中立国ノ一ヨリ各一名之ニ勞
働理事会ヨリ派出ス可キ二名ヲ加フルコトニ決定セリ
右諸会合ニ於ケル議事ノ概要ハ別ニ電報ス可シ
在欧米各大使へ転電セリ

1011 三月十五日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第三回理事会ニ於テ露国実状調査委員派遣ニ
関シ聯盟派遣ノ委員ト労働事務局派遣委員ト
ノ關係及其他ノ問題ニ付討議ノ件

第四四九号

(三月十七日接受)

往電第四四二号ニ関シ十二日午後ノ秘密会ニ於ケル議事概
要左ノ通
(一)聯盟派遣ノ委員ト労働事務局派遣ノ委員トノ關係
午前ノ會議ニ於テ起リタル本問題ニ関シ「アルベル、ト
ーマ」ハ労働事務局ノ計画ハ素ヨリ本月十二日倫敦ニ開カル
ベキ理事会ニ於テ決定セラルベキモノナルモ大体備主代表

者五名労働者代表者五名ヲ以テ組織スル筈ニテ其ノ調査目
的ニ付テモ労働事務局ノ権限ハ対独条約第十三編中ニ明定
セラルルヲ以テ右権限ニ基キ其ノ範圍ニ於テ自由ニ調査セ
シムル計画ナリトテ聯盟派遣ノ委員トハ独立ニ活動セシム
ベキ意志ヲ表明シタルガ右ノ如クンバ同ジク聯盟及其ノ分
身ヨリ派遣セラルル委員ガ全然相異ル報告ヲ齎ス事無キヲ
保セズ為メニ何等一定ノ判断ヲモ為シ得ザルガ如キ事態ニ
至ラバ今回折角ノ計画モ水泡ニ帰スル次第ナルヲ以テ本件
委員構成ニ関スル事務局提出ノ覚書(往電第四四二号)ニ
予定セル労働事務局選出ノ代表者二名ナルモノヲ右「ト
ーマ」計画ノ十名委員中ヨリ抜キ右二名ハ双方ノ委員会ニ所
属シテ双方連絡協同ノ任ニ当リ以テ兩者調査ノ結果報告ノ
齟齬スルガ如キ事無キヲ期スル事トナルベシトノ説出デ
「トーマ」モ之ヲ承諾シ以テ双方委員折合ノ關係ヲツケタ
リ

(二)「ソヴィエツ」政府トノ交渉責任者

本問題ニ関シ「ブルジョア」ハ新ニ組織セラルベキ本件委
員会所屬ノ「スクレテール」ヲシテ其ノ任ニ当ラシムベキ
ハ既ニ首相會議ノ決議モアル処ナリト述べ「チトニー」氏

ハ右書記長ハ該委員会成立ノ上ニアラザレバ存在セザル筈
ノモノナレドモ委員全部ヲ任命シタル上「ソヴィエツ」
政府ト交渉ヲ開始シ同政府ヨリ右委員入国ヲ拒絕スルガ如
キ事アリテハ不面目ニ付先ヅ書記長ヲ任命シ追テ任命セラ
ルヘキ委員ノ入国ヲ許スベキヤ否ヤヲ同書記長ヲシテ之ヲ
交渉セシメ委員会ノ成立前「ソヴィエツ」ノ意向ヲ確カ
ムル事トシテハ如何ト云ヒ「ブルジョア」モ大体之ニ同意
シ聯盟事務総長ヲシテ之ヲ交渉セシメ「ソヴィエツ」ヨ
リ拒絕セラレンカ聯盟ノ權威ヲ削ガル事大ナルベシトノ
意見ニテ可成「ソヴィエツ」ノ交渉ハ之ヲ間接又ハ縁遠
キモノヲ経テ為ス事トシ度キ意向ヲ洩ラシタリ「ソヴィエ
ツ」ノ拒絕ニ会ヒテ多少ノ面目ヲ失フ事ハ何人ガ其ノ交
渉ノ任ニ当ルモ同様ナリ然レトモ別ニ之ガ為メニ聯盟ノ名
譽ヲ毀損セラルルガ如キ事モ無カルベシ蓋シ該拒絕ハ畢竟
露西亜ハ聯盟ヲ相手トシテ即チ世界ニ対シ何等ノ關係ヲ結
ブ事ヲモ欲セザル旨表明スルモノニシテ曲彼ニアルハ何人
モ容易ニ了解シ得ル処ナレバナリト主張シ数次論議ノ末遂
ニ「バルフォア」ノ意見ヲ採用シ「ブルジョア」ノミハ更
ニ「ミルラン」トモ協議ノ上確答スル事トナリタリ

(三) 本使ヨリ委員ヲ出ダス國ノ振當ヲ如何ニスベキヤニ付聞ヲ發シタルニ「ブルジョア」「バルフォア」ノ間ニ既ニ協議済ミナリシモノノ如ク其ノ一案ヲ示シタリ之ニ依ルニ英仏伊日白ノ外中立國ノ二ヨリ各一名ノ委員ヲ出ス事トシ中立國ハ其ノ一ヲ西班牙他ハ「スカンデナヴィヤ」ノ一國ヲ加フル事トナリ居リタルガ「ロマノス」ハ戰爭前希臘ト露西亜トノ經濟上ノ關係密接ニシテ年々五億乃至六億留ノ取引アリテ之ガ為露西亜ニアリテモ取引ニ從事スルモノ六万人ヲ算シタル事情ヲ述ベ依テ今回ノ計画ニ対シテモ是非希臘ノ委員加入方取計フベキ旨倫敦「ヴェニゼロス」ヨリ特別ノ訓令ヲ受ケ居ル趣ヲ述ベタリ此処ニ於テ「キノネース」「ハ西班牙ハ希臘ノ為メ其ノ地位ヲ讓リテ差支無キ旨ヲ述ベ伯刺西爾別ニ参加ヲ要求セズ依テ波蘭、羅馬尼等ヨリ希臘並ノ参加要求アリタル時ハ之ヲ如何ニスベキヤノ問題アリタルモ其ノ場合ニハ希臘ハ單ニ露西亜ニ対シ經濟上密接ノ利害アリト云フニ止マルモ波蘭等ハ露西亜ノ隣接國トシテ政治上ノ利害ヲモ有スルガ故ニ今回ハ之ヲ参加セシメズトノ理由ヲ以テ拒絕スル事トシ右提案ノ西班牙ノ代リニ希臘ヲ以テスル事ニ決セリ

(二) 調査目的ニ付テハ首相會議ノ書簡ニハ單ニ「Les conditions qui règnent actuellement en Russie」ニ関スル情報ヲ蒐集スルコト最モ肝要ナリトアル処右狀態ナル文字ヲ更ニ明白ニスル必要ナキヤト「ブルジョア」ノ間ニ対シ「バルフォア」ハ之ヲ社会的經濟的並政治的狀態ト起草スヘク出来得レハ露西亜ノ採ルヘキ政体ニ付テモ研究セシムルコト然ルヘシト答ヘタルガ「ブルジョア」ハ内政干涉ハ固ヨリ之ヲ避ケザルベカラズ故ニ苟クモ干涉ノ疑アルカ如ク解釈セラルル文字ハ之ヲ用ヒザルヲ可トスヘシト述ベ「イーマンス」ハ公表スヘキ調査目的トシテハ首相會議ノ書翰ノ儘ニテ可ナルヘキモ内訓トシテハ露西亜現在ノ政治狀態ヲモ調査セシムルコト必要ナルヘシト述ヘタルニ労働理事局側ヲ代表シテ同席シタル「アルベル、トマ」ハ最近莫斯科無線電信ノ報トシテ「ソヴィエット」側ニ於テハ

(一) 本件委員派遣ニハ敢テ反対セザルモ同委員ノ露西亜内政ニ干涉スルガ如キ一切ノ行動ヲ許サズ随テ苟クモ干涉ノ嫌アル場合ニハ委員ニ対シテ嚴重ナル処置ヲ取ルヘク
(二) 露西亜ハ目下國際聯盟ニ加入スルノ意思ヲ有セザルガ

在歐米各大使へ転電セリ

一〇四 三月十六日(註)

在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露國実情調査委員派遣問題ニ関シ首相會議ニ
對スル回答調査目的調査区域委員保障等ノ諸
問題ニ付討議ノ件

第四四八号

(三月二十日接受)

往電第四四二号ニ関シ

三月十二日午前ノ會合ニ於ケル議事概要左ノ如シ
「バルフォア」ノ提唱ニ基キ議長席ニ着キタル「レオン、ブルジョア」ハ今般倫敦ニ於ケル聯合國首相會議ノ招請(往電第三七四号)ニ依リ露西亜実情調査委員派遣ノ方法ヲ講ゼンカ為茲ニ理事會ヲ開クニ至リタル所以ヲ述ヘ順次左記諸問題ノ協議ニ出テタリ

(一) 首相會議ニ對スル回答

本件首相會議ノ招請ニ對シ之ヲ承引スヘキ旨回答スルコトヲ要スト「ブルジョア」ノ提議ニ對シ一同異議無ク可決ス往電第四五二号決議一ノ第一項即之ナリ

故ニ聯盟ニ對シテ何等(脱)認メヌ故ニ其派遣スル委員ハ單ニ之ヲ一外國ノ「ミッション」トシテ取扱フコトヲ言明セル趣「ラディオ」通信ニ報セラレ居ル旨ヲ告ケ仍テ結局首相會議ヨリノ書翰ノ儘之ヲ用ヒテ調査目的ヲ起草スルコトトナリタリ

(二) 調査区域

本問題ニ付キ「バルフォア」ハ主トシテ「ソヴィエット」露西亜ト云フコトニ限定シ其ノ他ノ地方ニ付キテモ有益ナル情報ハ之ヲ蒐集セシムルコトトスベキヲ述ベ「チットニー」ハ(不明)「バルチック」並ニ高架索ノ聯合側ニ於テ既ニ事實上政府トシテ承認ヲ与ヘタル地方ヲモ併セ含マシムルヤハ委員夫レ自身ニテハ決定シ難カル可キニ付キ理事會ニ於テ其調査ノ範圍ヲ定ムルコト必要ナリトノ旨ヲ述ベ次デ「バルフォア」ハ本使ニ對シ西比利亜ニ関シ何等意見アリヤヲ尋ネタルニ付キ本使ハ東部西比利亜ニ付キテハ今日ト雖聯合側ニ於テ来往スルコトヲ得從ツテ其ノ事情モ多少ハ知レ居ル処ナルヲ以テ之ヲ今回ノ調査ノ範圍ニ入ルル必要ナル可ク西比利亜ノ其他ノ部分ニ付キテハ其ノ現状ヲ知ルコト素ヨリ肝要ナル可キモ何分費用時日等共ニ

限リアル処ナルヲ以テ今回ノ調査区域ハ欧露ノミニ限定シ然ル可ク而シテ欧露中「ウクライナ」ノ如キハ「ソヴィエツト」ノ治下ニ在ルモノト別ノ政權ノ下ニ在ル部分トアルベキヲ以テ之等地方ノ調査ニ関シテハ特ニ手續ヲ要スルコトアルベシト答ヘ置キタリ次デ「ブルジョア」ハ同席ノ「マントー」ニ対シ首相會議ニ於ケル討論中本問題ノ参考トナル可キモノアリシヤヲ問ヒタルニ「マントー」ハ同會議ニテハ常ニ *Les parties inaccessibles de la Russie* ナル了解ノ下ニ「ソヴィエツト」露西亜及「ウクライナ」ノ如キハ今日迄全然交通杜絶シタルヲ以テ之等地方ニ付キ調査セシムル意味ナリシガ如シト答ヘ依ツテ「バルチック」及高架索地方等ハ今日ニテモ「アクセシブル」ノ地方ナリトノ理由ノ下ニ之ヲ除外スルコトナリタリ

(四) 委員ニ対シ聯盟ヨリ与フ可キ保障問題

本問題ニ関シ「レオン、ブルジョア」ハ委員保護ニ関シ聯盟ノ權威ヲ示スノ要アル処聯盟ニハ未ダ附屬ノ國際軍隊ナキヲ以テ(一)委員一行ニ対シ露西亜側ヨリ暴行脅迫ヲ加ヘタル時ハ各政府ハ之ヲ政府自身ニ対シ加ヘラレタルモノト見做シ以テ露西亜ニ対シ其責任ヲ問フ可キ旨各政府ヲシ

テ宣明セシムルコトスルカ(二)首相會議案ト類似ノ宣言ヲナサシムルカ(三)聯盟理事会ニ於テ首相會議ヨリ反対ノ意思表示ナキ限り同會議(脱)ニ関スル保障ヲ承引シタルモノト見做スコトスルカノ三箇ノ方法アルノミナル旨ヲ告ケ二三意見ノ交換アリタル後第三ノ方法ニ依ルコトナリタリ往電第四五二号決議一ノ第二項ハ右ノ趣旨ヲ以テ起草セラレタルモノナリ

(五) 「ソヴィエツト」政府ヨリ取付クベキ保障

派遣委員ノ為取付クベキ保障ニ付テハ聯盟事務局ヨリ「ソヴィエツト」政府宛發送スヘキ電報案ヲ提示シタルガ「チツトニー」ヨリ聯盟規約第七条ニ規定スル外交官ノ特權ヲモ要求スルコト然ルヘキ旨ヲ述ヘタルモ外交官特權ヲ援用スルハ如何アルヘキヤトノ意見モアリテ単ニ委員等ノ權利及不可侵等ヲ尊重スヘキ意味ヲモ附加起草スルコトナリタリ次ニ露西亜人(「テモアン」)ノ陳述ヲ聴ク必要アル処是等露西亜人ガ後日処刑セラルルカ如キコト無キ為「ソヴィエツト」ヨリ如何ナル保障ヲ与フヘキヤヲ明カニシ置ク必要アリトノ問題起リタルガ之ニ対シ明白ナル解決ノ方法ヲ発見セズ其儘トナリ更ニ労働局ヨリ派遣スヘキ委員ト

聯盟委員トノ關係ニ付問題起リ「ブルジョア」ハ元來本會調査委員派遣ノ議ハ公然トハ明言シ難キモ倫敦首相會議ガ之ヲ國際聯盟ニ押付ケタルカ如キ實際ノ行懸ニナリ居ルモノニ付右兩委員ヲ同時ニ一隊トシテ派遣ニ関シテハ篤ト労働側ノ意嚮ヲ聴取ル必要アリトテ「アルベル、トマ」ノ意見ヲ求メタルニ「トマ」ハ抑々本件委員派遣問題ノ発端ハ一月下旬労働理事会ニ於テ決議シタルニ始マリ其後首相會議ノ意見ヲ伺ヒタルニ首相會議ハ本件計画ヲ國際聯盟ヲシテ遂行セシムルコトトナリタルガ如キ次第ナリトノ成行ヲ述ベ右伺出當時直ニ許可セラレタランニハ労働事務局ノ名ニ於テ「ソヴィエツト」政府ヲシテ何等ノ疑ヲ抱カシムルコトナク露西亜ノ労働状態ヲ精密ニ視察シ且各政府ノ欲スルガ如キ政治上ノ情報ヲモ内密ニ齎スコト容易ナリシナリ

然ルニ其後彼我各般ノ事情ニ變化アリタルヲ以テ労働事務局当初ノ計画実現ハ困難トナリタリ但其後独逸モ調査委員ヲ派シ「ストラスブルヒ」社会主義者ノ会合ヨリモ將又英國「トレード、ユニオン」ヨリモ各々委員ヲ派遣スルコトトナリ居リタルヲ以テ労働事務局モ其計画ヲ中止スルコト能ハズ唯該計画ハ同理事局ノ自主權ニ基キテ行フ積リニテ

多少政治的意味ヲ含メル聯盟派遣ノ委員會ト協同スルカ如キハ労働者側ノ常ニ反対スル処ナリ而シテ折角労働者側ヨリモ信任ヲ得テ活動ヲ開始セントセル労働理事会ハ右(脱)シ此際労働者ノ希望ニ反スルカ如キ計画ニ協同スル能ハズトテ本件主動ノ聯盟側ニ移リタルニ対シ稍不滿ナルカ如キ語氣ヲ洩シタルガ「ブルジョア」ハ之ニ対シ労働理事局ノ自主ハ固ヨリ之ヲ認ム但「トマ」ノ言如何ニ不拘労働理事局ハ國際聯盟ノ一分科ニシテ其将来ト聯盟ノ休戚トハ之ヲ分離シテ考量スベカラザルモノナリトテ本件ニ關スル委員モ協同調査ニ当ルヘキヲ述ヘタルガ結局今後統テ之ヲ討議スルコトトナリタリ

在欧米各大使ヘ転電セリ(十六日午後十一時半)

註 本電報ハ内容其他ニ鑑ミ当然前掲一〇三文書ニ先行スベキモノナルモ技術的事情ニ依リ一日ノ遅延ヲ見タルモノト認メラ

ル

一〇五 三月十六日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露国実情調査委員派遣問題ニ関シ日本側委員

ノ参加ニ付意見具申ノ件

第四六二号

(三月十八日接受)

本使在英大使宛電報第二五二号
貴大臣御参考迄ニ転電ス

大臣宛本使宛來電第二一二号ニ関シ

(一)兼テ大臣ヨリ上田、宮川両名露西亜視察ノ為派遣方訓令
アリタルモ恰モ國際聯盟ニ於テ露西亜事情調査委員派遣
ヲ計画スルコトナリタルヲ以テ暫ク形勢ヲ觀望シ居リ
タル次第ナルニ依リ今次理事会ノ結果本邦ヨリモ委員ヲ
出シ之ニ顧問及書記官ヲ随伴セシメ得ルコトナリタル
ニ依リ三浦公使ヲ委員トシ上田、宮川ヲ随行セシメ然ル
可シト思考ス右閣下ニ於テ異議ナキニ於テハ貴地聯盟事
務局ニ通知方御取計ヒ相成タシ

(二)尚右聯盟派遣ノ委員會所屬ノ「スクレタリヤ」ヲ設ケラ
レ同時ニ右「スクレタリヤ」ト共ニ若干ノ「エキスペー
ル、テクニク」ヲ派遣シ得ルコトナリ(大臣宛往電
第四五二号、理事会決議参照)タルニ付其際本使ハ「ド
ラモンド」ニ対シ右「スクレタリヤ」ハ現在ノ聯盟事務
局職員ヲ抜キテ構成スベキヤヲ尋ネタルニ同氏ハ現在ノ
事務局員以外ニ之ヲ求メタキ所存ナリト答ヘタルヲ以テ

シ臨時ニ聯盟理事会ヲ催スニ至リタル成行ヲ説キ本問題ニ
付テハ後刻「バルフォア」ヨリ報告アル筈ナリト述べ次テ
第一回及第二回理事会ノ成績大要ヲ挙ケ國際聯盟力既ニ実
在ノ機關トシテ活動ヲナシ居ル所以ニ関シ一場ノ演説ヲナ
シタリ

二、「バルフォア」ハ遣露委員問題ニ関シ昨日ヨリノ会合
ノ大要ヲ述ヘ特ニ(一)今回調査委員ノ派遣ニ當リテハ何等政
治的意義ヲ有セザルコト(二)聯盟派遣ノ委員ト労働理事局派
遣ノ委員ト互ニ重複若クハ矛盾スルカ如ク見ユルモ前者ハ
労働問題ヲモ含ム露西亜ノ全般状態ヲ視察セントスルモノ
ニシテ後者ハ目下各国ニ於テ最モ「インテレスト」ヲ置ク
労働問題ノミニ付狭ク且深ク調査センコトヲ目的トスルモ
ノナルコトヲ説明シ以テ別電第四五二号ノ通りノ決議案ヲ
朗読シテ各理事ノ承認ヲ求メ理事会ハ全会一致之ヲ承認シ
タリ三、各方面ヨリノ報道ニ依レハ波蘭ニ於テ奎扶斯獵獵
ヲ極メ居ル趣ノ処之ニ対シ適當ノ措置ヲ(脱)赤十字同盟
大会(一)ニ宛テ「バルフォア」ヨリ前記理事會議長ノ資
格ニ於テ赤十字事業ノ益發達センコトヲ希望スル旨ノ公開
狀(三月十三日附公第七〇号公信ヲ以テ郵送セリ)ヲ送り

本使ハ更ニ各国ヨリ新ナル人ヲ出シテ「スクレタリヤ」
ヲ構成スルカ如キ場合ニハ本邦人ヲ之ニ加フルコトヲ得
ベキヤト尋ネタルニ未ダ何等決定シタルコトナキ旨ヲ答
ヘタルニ付若シ其余地アラバ考慮ニ入レ置カレタキ旨ヲ
述べ該委員會ノ事務ノ(脱)多数トナル可キモノナル処
前記「エキスペール」トシテハ目下適當ノ人ナキ關係上
少クモ同「スクレタリヤ」ニ人ヲ出シ置クコト可然重光
ヲシテ之ニ當ラシメタシト思考ス

閣下ニ於テ御異議ナクハ「ドラモンド」ニ今一応御話下
サラバ好都合ト存ズ

大臣及各大使ヘ転電セリ

一〇六 三月十八日

在仏岡松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露國実情調査委員派遣決議ノ件

第四五一号

(三月二十四日接受)

往電第四四二号ニ関シ三月十三日午後外務省時計ノ間ニ於
テ三回ノ理事会ヲ開ク議事概要左ノ通り

一、「ブルジョア」ハ今回露國事情調査委員派遣問題ニ関

タルニ対シ各理事ノ承認ヲ經タキ旨「バルフォア」ヨリ要
求アリ理事会ハ右措置ヲ追認シ其勞ヲ謝シタリ

四、最後ニ「ブルジョア」ハ今回ノコトハ単ニ波蘭ノミナ
ラズ右疫病ノ西欧羅巴ニ伝播スルヲ防ギ以テ多数國民ヲ保
護スル所以ニシテ正ニ國際聯盟ノ事業トスベキ処ナリトノ
理由ニ基キ別電第四五二号ノ通決議アリタキ旨「バルフォ
ア」ヨリ提議スル処アリ理事会ハ右決議案ヲ承認シタリ
五、本月二日「ゼネヴァ」ニ於テ開カレタル万国聯盟協會
ノ問題トナリシ遣露委員派遣ニ関シ或ハ再ビ巴里ニ於テ臨
時理事会ヲ開クコトナキヲ保セザルモ第三回理事会トシテ
確定セル羅馬ニ於ケル会合ハ多分四月二十五日頃ナルベキ
旨ヲ告ゲテ閉会シタリ

一〇七

四月三日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

四月上旬倫敦開催ノ理事会ニ松井大使出席方
並專任理事決定迄同大使ニ於テ引続キ我代表
ノ任ニ当ルベキコトニ確定方稟請ノ件

第二八三号

(四月六日接受)

國際聯盟次回理事会ハ御承知ノ通本月下旬羅馬ニ開催セラ
ルベキモ右ニ先ダチ本月上旬中（日取未定）倫敦ニ於テ同
会ヲ招集シ専ラ「アルメニア」委任統治ノ担任問題ヲ討議
スベキ予定ナル処当地外相大使會議ハ既電ノ通り来週ヨリ
引續キ開会ノ都合ナルガ故ニ本使ニ於テ理事会ニ出席スル
事ハ日取次第實際不可能ナルベキノミナラズ右理事会討議
主題ハ畢竟外相大使會議ヨリノ提議ニ係リ從テ同會議ニ於
テハ「カーゾン」卿ヲ代表者トシテ理事会中一場ノ説明ヲ
与ヘシムベキ事ニ決議シタルニ依テ考フルモ本使ガ兩会ニ
兼勤スル事体面上面白カラズ旁々今回モ又松井大使ノ来倫
ヲ請フノ外無カルベシト思考セラルルニ付至急必要ノ御發
令相成リタシ

尚本件ニ関シテハ上述ノ如キ偶発ノ便否問題ヲ離レ此ノ際
一定ノ方針ヲ立テ置クノ必要ヲ感シ左ニ愚見ヲ開陳ス
國際聯盟專任理事ヲ簡派スルノ緊要ニ関シ曩ニ在仏大使ヨ
リ上申ノ次第ハ本使ニ於テモ全然協賛スル処ニシテ政府ニ
於テモ折角熟考中ノ儀ト信ゼラルル処元來聯盟理事会ニ對
スル代表ハ首相又ハ外相大使會議等ノ如キ臨時的ノ會議ト
其ノ選ヲ異ニシ条約所定ノ規定ニ基キ其ノ性質上永続的ノ

日午前貴地ニ聯盟理事会招集セラレ議題ハ

一、「アルメニア」問題ニ関スル三月十二日附最高會議來

電ニ對シ聯盟トシテ如何ナル回答ヲナスベキヤ

二、最高會議書記官「ハンケー」來簡ニ對シ如何ナル回答
ヲナスベキヤ

ナル由ニテ右閣下ニ電報方依頼シ來レリ

然ルニ右ハ外相大使會議予テノ諒解ニ異レル為メ本三日早
朝「ドラモンド」ヲ訪ヒ之ヲ尋ネタルニ同人ハ理事会ハ當
初倫敦ニテ開会ノ筈ナリシモ「ブルジョア」氏「カイヨ
ー」審問事件ノ為メ巴里ヲ離ルル能ハザルヨリ同地ニテ催
スノ外ナキ事トナリ議題ニ関スル説明ハ充分当地ニ於テ之
ヲ最高會議ヨリ聴取シ得ベケレバ「カーゾン」卿ニ於テ巴
里出張不可能トアレバ最高會議代表者ノ出席ヲ待タズ討議
ニ附スル心算ニテ巴里招集ノ事ニ通知ヲ發セル次第ナリト
答ヘタリ（三日）

一〇九 四月七日 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

四月上旬倫敦開催ノ理事会ニ出席方指示ノ件

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一〇九 一一〇

モノナルニ鑑ミ可成不動ノ方法ニ依リ代表者ヲ選定スル事
肝要ナルガ故ニ若シ随次ノ便否ニ依リ之ヲ定ムル時ハ吾ニ
於テ國際聯盟ヲ輕視スルガ如キ外觀ヲ免レザルノミナラズ
實際ノ弁務上鈔カラザル不便不利ヲ感ズルノ慮リ無キ能ハ
ズ幸ニ松井大使ハ理事会成立以來終始一貫帝國ヲ代表セラ
レタルヲ以テ他日愈々專任理事御決定ニ至ル迄同大使ニ於
テ依然此ノ任ニ当ルベキ事ニ主義上御確定相成様切望ニ堪
ヘズ右ハ必然（？）心得置クベキ必要アルニ付高裁ノ結果
可成速カニ御回示ヲ仰ゲ

在仏大使ヘ転電セリ

一〇八 四月三日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯盟事務總長ヨリ第四回理事会ハ四月九日巴
里開催ノ旨並議題ニ付松井大使ニ電報方依頼
シ來レル件

第二九六号 （四月六日接受）

本使發在仏大使宛第四三二号

大臣宛拙電第二八三号發電後聯盟事務總長ヨリ來ル四月九

第二九四号

珍田大使發本大臣宛第二八三号中段ニ関シ貴官ハ帝國代表
者トシテ本月上旬倫敦ニ開催セラルヘキ聯盟理事会ニ出席
セラレ度シ尚同電後恒久的代表者ノ件ハ追テ電報ス
在英大使ニ転電アリ度シ

一一〇 四月十二日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第四回聯盟理事会ニ於テ土耳其少数民族保護
及アルメニア保護問題ニ関スル事務總長報告
ノ件

第六五九号 （四月十五日接受）

國際聯盟第四回理事会ノ一

四月九日午前十時巴里上院議長官舎ニ於テ聯盟第四回理事
会ヲ開ク出席者仏、「レオン、ブルジョア」英、「フィッ
シャー」（文部大臣）伊、「ボナン、ロンガール」日、本
使白、「ゲフィエ」西班牙「キノネス、ド、レオン」伯刺
西爾「ダ、クンニヤ」希臘「ヴェニゼロス」

同日午前ハ先ツ打合せ会ノ体ニテ理事ノミ会合シ前回理事

一二七

会ニ於テ問題トナリタリル(一)土耳其少數民族保護及(二)「アルメニヤ」保護問題(往電第四六七号ノ(三)及(四))ニ関スル事務総長ノ報告ヲ聴取シタルガ総長ハ本問題ニ関シ其後首相會議トノ往復ノ結果ヲ述ヘタル上事務局ニ於テ作成シタル覚書ヲ朗読シタリ(一)ニ関スル覚書ノ要領ハ(イ)首相會議ヨリ内示ヲ受ケタル土耳其條約中少數民族保護ニ関スル原則ヲ掲ケ他方聯盟理事会ト協議ノ上右原則実行ノ方法ヲ定メントスルモノナル処理理事会ハ右ニ對シ單純ニ右條項ノ挿入ニ異議ナキ旨ヲ回答スヘキヤ將又各條項ニ付意見ヲモ述フベキヤ(ロ)右條項第四條ヲ以テ少數民族移住ノ自由ヲ確メ擁護スル為混合委員會ヲ設ケ聯盟理事会ハ其ノ代表者ヲ右委員會ニ出シ得ルコト及土耳其ノ虐殺ヲ怖レ千九百十四年八月一日各地ニ通飢セル Non-Turc ナル住民ヲシテ速ニ其ノ郷土ニ還ラシメ之ニ其ノ財産ヲ回復セシムル為聯盟理事会ニ依リテ任命セラルル仲裁委員會ヲ設クルコトニ関スル規定アル処理理事会ハ右責任ヲ負フヘキヤ將又聯盟ノ任命シタル委員ハ聯盟ニ對シテノミ責任ヲ有スルモノナリヤ或ハ聯盟ハ単ニ之ヲ任命スルノミニシテ職務遂行ニ當リテハ條約ニ從ヒ締約國ノ命令ニ服スヘキモノナリヤ(イ)ニ所謂原

在欧米各大使ヘ転電セリ

一一一 四月十三日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第四回理事会ニ於ケルアルメニヤ保護ダンチ
ツヒ問題停廢送還ニ関スル議事報告ノ件

第六六〇号

(四月十五日接受)

聯盟第四回理事会ノ二

四月九日午後ヨリ正式ノ會議ニ移リ「レオン、ブルジョア」議長トシテ議事ヲ続行シタリ左ノ通

一、午前ノ會議ニ於テ提起セラレタル「アルメニヤ」問題ニ関シ「ヴェニゼロス」ハ「アルメニヤ」委任統治國確定セバ問題解決容易ナル処未ダ同委任國ナキ今日國際聯盟果シテ「アルメニヤ」ノ保護ヲ引受ケ得ルヤ否ヤ慎重考慮ヲ要ス、但シ「アルメニヤ」ノ悲惨ナル歴史ニ顧ミ更ニ聯盟規約第二二条ノ精神ヨリ推論セバ聯盟ハ右委任國ナシト云フヲ理由トシテ「アルメニヤ」ノ保護ヲ拒ム能ハザルガ如シ唯聯盟ニハ右保護ヲ實現スルニ必要ナル手段殊ニ財力及兵力ヲ欠如セルコトモ困難トスル処ナルガ之為ニハ更ニ首相會議ニ訴フルノ外ナク即チ兵力ニ付テハ聯合各國ヨリ

則実行ノ方法ニ関スル首相會議トノ協議ハ何日ニ之ヲ開始スベキモノナルヤ等ノ質問ヲ提起セルモノニシテ(一)ニ関スル覚書ハ(イ)主義ノ問題トシテ「アルメニヤ」ニ對シ聯盟規約第二二条ニ規定セル委任統治ヲ承諾スル國アルニ於テハ聯盟ハ同條規定ニ從テ右統治ノ遺漏ナキヤヲ監視スレハ足ルモノナルニヨリ今一応右委任國ヲ得ンコトニ努ムルコトトスルカ(ロ)或ハ聯盟ノ任命スル援助委員會ニ依リテ「アルメニヤ」ヲ擁護スルコトトセザルベカラザル処(ロ)場合ニ於テ「アルメニヤ」ヨリ土耳其軍ヲ撤退セシムル為如何ナル手段ヲ施スヘキカ其他將來ノ國防ノ為要スル軍隊ヲ如何ニ編成スヘキカ「バツーム」ヲ自由港トシテ「アルメニヤ」ヲシテ之ヲ使用セシムル為十分ナル保障ヲ与フル必要ナキヤ「アルメニヤ」自身ノ財源ヲ以テ償フコトヲ得ザル國費ニ付テハ外債募集ヲ以テ之ヲ支弁スルノ外ナキ処如何ナル保障ヲ以テ之ヲ募集シ得ルヤ或ハ土耳其條約締約國ニ對シ「アルメニヤ」ノ為ニ各種ノ顧問ヲ供給スルコト必要ナラズヤ等ノ問題ヲ提起セルモノナリ

総長ノ右覚書朗読ノ後二三ノ質問応答アリタルガ午後ノ會議ニ於テ本問題ヲ審議スルコトトシタリ(十二日)

支給ヲ受クベク財源ニ付テハ將來聯盟ニ於テ其負担ニ任ズベキモ右ハ聯盟總會ノ決議ヲ經ルヲ要スルヲ以テ右總會開會ニ至ル迄首相會議ニ於テ何トカ引受ケンコトヲ求ム可シト主張シ「フィッシャー」モ「アルメニヤ」ノ同情ニ値スベキ歴史ニ言及シ「アルメニヤ」ヲ獨立國トシテ遇スルコトハ世界平和ノ為結局各國ノ利益トスル処ナリトテ「ヴェニゼロス」ノ説ヲ支持シタルガ但シ委任統治國アラバ問題最モ容易ニ解決セラルベキニ依リ先ツ首相會議ニ對シ該委任統治國選定周旋ヲ請フコトトシ何レノ國モ其委任統治ヲ引受ケザル時ハ聯盟ハ如何ニシテ「アルメニヤ」保護ヲ實現シ得ルヤニ付テハ特ニ今日之ヲ審議スル要ナカル可シト述ベタルニ各理事何レモ之ニ賛意ヲ表シタリ

最後ニ「ブルジョア」ハ抑モ聯盟ハ一ノ國家ニアラズシテ國ト國トノ間ニ立チテ常ニ調停ノ勞ヲ執ルヲ以テ其ノ本務トナスモノナリ此ノ本務ヲ完ウスルガ為ニハ常ニ國ノ外ニ立チテ公平ナル立場ヲ持セザルベカラズ然ルニ今聯盟ガ「アルメニヤ」ノ委任統治ヲ引受クルハ自ラ一ノ國家ト同等ノ地位ニ置クモノニシテ斯クノ如キハ聯盟本來ノ性質ニ反スルモノナリ聯盟規約ニ予見セザル斯卡ル義務負担ハ

独り聯盟總會ニ於テノミ決セラルベキモノニシテ理事会ノ決スル能ハザル問題ナリ但シ「アルメニヤ」ノ慘虐ニ同情シ而シテ其ノ獨立國タラントスル要望ニ對シ聯盟ハ少クモ之ヲ承認スベキ道義上ノ義務アルコトハ各理事ノ一致シテ認メラルル所ナルヲ以テ

(イ)聯盟ガ其ノ有スル権能ノ範圍内ニ於テ右義務ヲモ完ウシ得ル為先ツ首相會議ニ對シ「アルメニヤ」ノ委任統治ヲ承諾スベキ一國ノ選定方ヲ依頼スルコト

(ロ)他方聯盟ハ何等財政上ノ資源ヲ有セザルニ依リ少クトモ聯盟總會開會ニ至ル迄首相會議ニ於テ「アルメニヤ」ノ財政保証ノ為必要ナル前貸ヲナシ得ルヤ否ヤ

(ハ)土耳其ヲシテ條約ヲ履行セシメ將又「アルメニヤ」ノ國防ノ為必要ナル兵力ハ首相會議ニ於テ之ヲ供給シ得ルヤ否ヤ

(ニ)海港近接ハ「アルメニヤ」ノ獨立ノ為ノミナラズ「アルメニヤ」ト其ノ受任國トノ交通ヲ完ウスル為必要ナル処首相會議ハ「バツーム」港ニ關シテ如何ナル処分ヲナサントスルヤ等ヲモ併セ確ムルヲ要スベシト述べ結局右各意見ヲ參酌シテ首相會議ニ對スル回答案ヲ起草スルコト

ヲ羅馬理事会ニ於ケル議題ノ一トスルコトナリ居リシ処該俘虜ハ一日モ早ク其ノ窮狀ヨリ救出スルヲ要ストノ理由ニ依リ本問題今回ノ理事会ニ提出セラレタリ「ボナン、ロソナル」ノ一応ノ説明ニ基キ本問題可決セラレタルガ右事業ヲ託スベキ人ハ危險ヲ冒スコトヲモ意トセズ又俘虜ニ對シ多大ノ勞ヲ執リタル人ナルヲ要ストノ見地ヨリ諾威ノ探検家「ナンセン」氏ヲ招請スルコトトシ同氏ノ承諾ヲ得ル為直チニ電報ヲ發スルコトトシタリ但シ同氏不承諾ノ場合ニハ議長ニ託シ事務總長協議ノ上適當ノ人選ヲ行フコトニ決ス

四、四月二十五日羅馬ニ於テ開催セラルル管ナリシ理事会ニ關シ伊太利側ヨリ延期方希望アリタルヲ以テ理事会ハ之ヲ五月七日頃マデ延期スルコトトシ伊太利理事ヨリ之ヲ伊太利政府ニ通ジ同政府ニ於テ右日取ヲ確定シ更ニ聯盟ニ通知スルコトナレリ

右在欧米各大使へ転電セリ

一一二 四月十三日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

土耳其少数民族保護問題討論ノ件

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一一二

ニ決シタリ

二、第二回聯盟理事会ノ決議第五(在英大使發第三七三號)ニ基キ「ダンチヒ」ノ憲法制定委員選舉ニ關シ「ダンチヒ」港旧委員ハ右選舉ヲ出來得ル限り広汎ニシテ民主的ナル基礎ニ依リテ行フ趣旨ニ基キ一ノ選舉法案ヲ提出スルコトトナリタル処今回同港委員ヨリ右法案ヲ提出スルト同時ニ右選舉期日ヲ五月十六日ト定メ度キニ付至急回答アリ度キ旨事務總長宛申出アリ同總長ヨリ仮リニ同意ヲ与ヘ置キタル趣ヲ以テ今回ノ理事会ニ於テ審査ノ為右選舉法案提出セラレタルガ本問題ノ報告者タル「キノネース、ド、レオン」ハ今回ノ選舉法案審査ノ上之ヲ承認シ差支ナキヲ認メタル旨ヲ報告シ依ッテ理事会ハ全会一致該法案ヲ可決承認シタリ(法案「テキスト」ハ郵送ス)

三、俘虜ノ大多数未ダ故國ニ帰還シ得ザルモノアリ殊ニ西比利各地ニアルモノハ露西垂崩潰以來一層悲惨ナル境遇ニアリ之ガ為各種慈善団体等ニシテ個々ニ活動シテ右俘虜ノ送還ノ事業ニ当ラント企テツツアルモノアルモ右ハ此ノ団体ノ活動ヲ統括シテ該俘虜送還事業ヲ促進スルハ聯盟規約第二五条ノ趣旨ニ從ヒ正ニ聯盟ノ担当スベキ所ナリトシ之

第六六一号

(四月十五日接受)

聯盟第四回理事会ノ三(四月十日)

土耳其少数民族保護問題ヲ審議シタルガ先ツ「レオン、ブルジョア」ハ同少数民族條項ノ保護實現ノ方法ニ關スル部分(往電第四回理事会ノ一所載事務局提出ノ覺書要領參照)ハ後日首相會議ト協議ノ上確定セラルヘキ clauses suspensives ニシテ之ハ暫ク論外トスルモ同少数民族保護ノ原則ヲ規定シ之ガ為メ聯盟代表者トシテ委員ヲ任命スルヲ規定セル部分ニ就テハ理事会ノ態度ヲ定メテ首相會議ニ回答スルノ必要アルベキヲ指摘シ之ニ關スル各理事ノ意見ヲ求メタリ依テ「ベニゼロス」ハ土耳其ノ如キ輿論ノ力行ハレズ実力ニ依ルニアラザレバ何事モ行ハレザル國ニ對シ何等実力ヲ有セザル國際聯盟ガ同國內ノ少数民族ノ保護ニ任ゼムトスルハ甚ダ困難ナル事業ナルニハ相違ナキモ左リトテ此ノ任ヲ回避スルモ面白カラズ結局首相會議ノ提議ハ之ヲ承諾スルノ外ナカルベキヲ述べ「フィッシャー」ハ土耳其ニ於ケル少数民族ト称スベキ non-muslim 住民ハ其ノ數二百万人ニ上ルト云フ其ノ正当ナル要望ニ對シテハ之ヲ容レテ同民族ヲ保護スベキハ何人モ拒ム能ハザル

ベシ之ヲ法律的ニ考フルモ首相會議ハ國際聯盟ガ波蘭少数民族ノ保護ヲ承諾シテ負担シタル義務以上ノ責任ヲ土耳其ニ関シ國際聯盟ニ課セムトスルモノニアラザルベシ素ヨリ土耳其ハ之ヲ波蘭ト同一ニシテ論ズベカラズ土耳其ガ多ク輿論ニ耳ヲ貸サザルコトモ明カナリト雖モ聯盟ガ世界ノ輿論ヲ提ゲテ望マバ土耳其モ之ニ依リテ動カサルベシ依テ法律論トシテ聯盟ガ同民族ノ一般の保護ノ任ニ当ルベキニ就テハ理事会ハ之ヲ拒ム能ハズ只首相會議ニ對シテハ聯盟ハ保護ノ實現ニ必要ナル實際的手段ニ欠ケルコトヲ明カニシテ保護ノ原則ヲ規定セル条項ハ之ヲ承認シ混合委員ニ對スル聯盟代表者及ビ仲裁委員會任命ノ件ヲモ承諾スル旨ヲ回答シ然ルベシ

而シテ右代表者任命以後之ト聯盟トノ關係及所謂 *clauses suspensives* ニ關スル最後ノ決定ハ先ヅ條約案ヲ土耳其委員ニ交附シ其ノ對案ヲ俟チ其ノ意見ヲモ參酌シタル上ノコトトスベシト述ベタルニ各理事右「フィッシャー」ノ意見ニ同意シタリ「レオン、ブルジョア」モ國際聯盟ガ輿論ヲ代表シテ土耳其少数民族保護ノ任ニ當ル所以ヲ最も明ニスルノ必要ナル旨ヲ附言シ依ッテ本問題モ亦右各理事ノ意

關スルニ付キ本件ハ容易ニ引請クベキモノニ非ザルモ去リトテ世界ノ平和人道ノ擁護ヲ目的トスル聯盟ノ名ニ對シ一概ニ右任務負担ヲ拒絕スルハ名義上為シ難キ処ナルノミナラズ聯盟成立後間モナキ今日ニ於テハ諸事急進ヲ許サズ成ル可ク慎重ニ審議スルノ要アルヲ以テ旁々右ノ如ク控目ノ態度ヲ執リ余リ實際のナラザル決議ヲ為シタルモノナリト評スル者モアル可キモ今日トシテハ已ムヲ得ザル儀ト思フス

在米英伊ニ転電セリ

一一三 四月十三日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

アルメニア保護及土耳其少数民族保護問題ノ

審議続報ノ件

第六六二号

(四月十五日接受)

聯盟第四回理事会ノ四(四月十一日午前)

昨日迄ノ會議ニ於テ審議シタル処ヲ纏ムル為メ仏国々際聯盟局ニ会合ス

(一)「アルメニア」保護問題ニ付キ「フィッシャー」ガ其ノ作成ニ係ル首相會議ニ對スル回答案ヲ朗読シタルガ同

見ヲ參酌シテ首相會議ニ回答スルコトニ決シタリ
余談トシテ條約實施後國際聯盟ハ事ノ處理ニ當リ何人ヲ相手方トスベキヤニ付キ右ハ土耳其ニ非ズシテ聯合國首相會議ヲ相手トスベキモノニシテ例ヘバ聯盟ノ任命スル委員ニ對シ事變起リタル場合ニハ聯盟ハ首相會議ニ對シ抗議スベキモノナリトノ說アリ又聯盟ノ任命スル委員ハ一旦任命セラレタル以上ハ首相會議ニ對シテノミ其ノ責任ニ任ジ聯盟ニ對シテハ直接ノ責任ナク只委員會内ニ在リテ聯盟ノ意ヲ帶シテ行動スル一ノ *Gage* ニ過ギズトノ說モアリ但シ右ノ如クナラバ聯盟ハ委員ヲ任命スルニ非ズシテ之ヲ推薦スルニ過ギズ斯テハ聯盟ノ行ハントスル保護モ充分ナルヲ得ザル可シトノ說モアリタルガ此等ニ付テハ別ニ何等決定スル処ナシ

要之「アルメニア」保護及土耳其少数民族保護問題ハ聯盟理事会設置以來始メテノ重大問題ナルガ一方ニハ本問題ハ首相會議ガ其ノ處理ニ窮シ聯盟ニ押シ付ケタル感アリ然シテ他方ニ於テ聯盟ガ總テ実行手段ヲ有セザルガ故ニ該保護ノ任ヲ引請クルモ果シテ之ヲ完ウシ得ルヤ否ヤ疑問ニシテ然シテ之ヲ完ウスルコト能ハザル場合ニハ聯盟ノ信用ニモ

回答案ハ主トシテ往電第六六〇号ノ(一)「レオン、ブルジョア」ノ意見中(ロ)(ハ)(ニ)ヲ敷衍シタル後之等ノ点ニ付キ首相會議ニ於テ相當ノ保障ヲ与フルニ於テハ聯盟ノ一員又ハ他ノ国(暗ニ米國ヲ指ス)ニシテ「アルメニア」ノ委任統治ヲ引請クルモノナキヤヲ確メ若シ其ノ委任ヲ引請クルモノナキ場合ニ於テモ尚理事会ハ「アルメニア」ヲ拋棄スルモノニ非ズ更ニ首相會議ト協議シテ其ノ保護ノ方法ヲ講ゼントスルモノナルヲ述ベタルモノナリ各理事ハ右回答案ヲ承認シ午後公開ノ會議ニ於テ「フィッシャー」ハ同回答中公表シ差支ナキ部分ノ大要ヲ報告スルコトニ決シタリ

(二)土耳其少数民族保護問題ニ付キ「ゲフィエール」ハ公開ノ會議ニ於テ發表スベキ報告案並ニ首相會議ニ對スル回答案ヲ朗読シタルガ同回答案ハ既ニ討議セラレタル処ニ從ヒテ起草セラレタルモノニシテ首相會議ノ提議ハ理事会ノ承諾スル処ナルヲ述べ該保護ヲ實現スベキ方法ヲ確保スベキ方法ニ付キテハ理事会ハ首相會議ト会商決定スルヲ躊躇セザル旨ヲ附言セルモノナリ右朗読ノ後各理事ヨリ異議ナク之ヲ承認シタリ

(三) 在英大使宛貴電第一三七号ニ関シ秋月氏婦朝ノ為メ同氏ヨリ後任トシテ安達公使ヲ推薦セラレタル形ヲ以テ本使ヨリ事務総長宛同公使招請方然ル可ク取計ヒアリ度キ旨申入レ置タル処右本日ノ會議ニ提出セラレ理事会ハ安達公使ノ學識經驗ニ顧ミ同公使ニ対シ公法家會議ニ出席方招請スルコトニ決議シタリ

在欧米各大使へ転電セリ

~~~~~  
一一四 四月十三日 在仏国松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第四回聯盟理事会ハ四月十一日午後各報告ヲ

承認決議ノ上終了ノ件

第六六三号

(四月十五日接受)

聯盟第四回理事会ノ五

四月十一日午後「プチ、ルクサンブル」宮ニ於テ公開ノ理事会ヲ開ク日曜ナリシニ不拘外交団員及新聞記者凡ソ百名ノ会集アリ先ヅ「レオン、ブルジョア」今回理事会ヲ開クニ至リタル所以ヲ述ヘテ一場ノ挨拶ヲナシタル後「アルメニヤ」保護問題(報告者「フィッシャー」)土耳其少數民族保護問題(Gaiffier)西伯利俘虜送還問題(Bonin-

Longare) Danzig 憲法制定、選挙法問題(Quinones de Leon)ニ関シ既電ノ主旨ニヨリ順次報告セリ理事会ハ右報告承認ヲ決議シ玆ニ第四回理事会ヲ終了セリ

~~~~~

一一五 五月十一日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯盟理事会專任理事及在伊国本邦大使任命方

ニ関シ意見申ノ件

第八一七号

(五月十四日接受)

貴電第三一五号ニ関シ

一、当国ニ於テ聯盟專任理事ヲ任命シ相当「スタッフ」ヲ設ケ居ル模様ハ往電第七七五号ノ通ナル処聯盟事務ハ益々増大シ聯盟本部確定後ト雖モ理事会ノ会合モ随分頻繁ナル可シト想像セラレ日本ノ如ク遠隔ノ地ニアリテ而カモ重大利害關係ヲ有スル国トシテ聯盟總會開カレ聯盟本部確定ノ場合ニハ遅クトモ專任理事ヲ任命セラルルコト緊要ト存ズ尤モ人選等ノ關係上之ヲ許サザル場合ニハ後段述ブルガ如ク一時便宜ノ取計ヒヲナスコトヲ得ベキモ一方各種提案情報集散ノ中心タル聯盟事務局ニ対シテハ常ニ密接ノ接觸ヲ保

ツハ極而必要ナル可キヲ以テ「ジュネーヴ」ニ理事出張所ヲ設ケ專任理事不在ノ場合文書ノ処理等ニ関シ留守役ニ当ルト同時ニ閣下並理事ト事務局トノ連絡ヲ絶タザル為メ相当ノ外交官二、三名ヲ右出張所ニ派遣シ以テ事務局内ニアル本部役員其他聯盟規約所定各種委員會本邦委員トモ協力セシムルコト然ル可シト存ス

在瑞西公使ヲ以テ右出張所長ヲ兼任セシムルモ一方方便ナル可キモ「ベルン」ト「ジュネーヴ」トノ間紛カラザル距離ヲ隔ツルニ依リ實際ハ余リ利益ナカル可キカト存ズ右ハ「ジュネーヴ」ニ本部ヲ設クルコトヲ予想シテノ意見ナレ共若シ他ノ都市ニ之ヲ設クル場合ニハ自然變更ヲ来ス可キハ勿論ナリ

二、尤今日ノ如ク事務局確定セズ從而理事会会合ノ場所モ何等定ラザル状況ニアリテハ差当リ別ニ專任理事ヲ置カズ在欧ノ一大使ヲシテ臨時同会ニ出席セシムルモ已ムヲ得ザルコトナル可ク之ガ為メ在仏大使又ハ在英大使ハ最も便宜ノ地位ニアルニ間違ナシト雖一方条約実施事務乃至大使會議ノ關係上在仏大使ニ於テハ中余裕之ナク又在英大使ハ通常外交事務多端ニ有之兩官共其ノ任地ヲ離レテ聯盟理事

会ニ出席スルコト甚ダ困難ナルノミナラズ既ニ二月倫敦ニ於テ聯盟理事会ト最高會議ト同時ニ落合ヒ「サン、レモ」會議ノ際モ羅馬聯盟理事会ト落合フ筈ナリシ処同会延期トナリタル為メ本使ガ「サン、レモ」會議ニ出席スルコトヲ得タリシガ如キ次第ニテ本月羅馬ニ於ケル聯盟理事会終了間際ニハ「スパ」會議開カル可ク從而「スパ」ニハ珍田大使ヲ煩ハスノ外ナル可キカト思考セラル旁々聯盟事務ハ益々増大ス可ク既ニ之ニ関スル書類モ甚ダ數ク増加シ居ル様ノ次第ニテ在仏大使ニ於テ聯盟理事ヲモ兼摂スルハ事務上將タ健康上到底堪ヘ難キ処ナリ就テハ速ニ在伊大使ヲ任命相成リ追而專任理事並其ノ「スタッフ」定マル迄不取敢之等在歐大使中ノ一人ヲシテ便宜理事会ニ出席セシムルコトニ御取計ヒノコト一法カト存ズ本使「サン、レモ」出張中「ニッチ」ハ本使ニ対シ目下伊国大使ハ東京ニアラズ日本大使ハ羅馬ニアラズ若シ在伊大使ノアリタランニハ態々貴大使今回ノ御旅行ヲ煩ハスニ及バザリシナラント云ヒ何トナク在伊大使ノ来任ヲ待ツガ如キ口吻アリシニ徴シ將又當時堀田代理ヨリ伊集院大使婦朝以來既ニ三ヶ月ニ及ビ今ヤ各種ノ關係上後任大使来着ノ必要ヲ感ズルコト極而

痛切ナル旨ヲ語リタルニ顧ミルモ兎ニ角至急在伊大使ヲ任命セラルルコト必要ナル可ク左スレバ必要ノ場合在欧大使等ニ於テ相互ニ連絡ヲ図リ聯盟事務ニ関シ互ニ援助スルコトヲ得可シト存ズ

英、米、伊へ転電セリ

一一六 五月十七日

在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第五回理事会ニ於テ第一回聯盟總會招集シベ
リア俘虜送還其他ノ諸問題ヲ討論シタル件

第四七号

(五月十九日接受)

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事会ノ第一

五月十四日午前伊國殖民省ニ於テ開会出席理事英「バルフォア」、伊「チットニー」、仏「ブルジョア」、西在仏同國大使「キノネス、ド、レオン」、白「ジュール、デストレ」國務大臣、伯刺西爾在仏同國大使「ガスタオ、ダ、クンニャ」、希臘在伊同國公使「ラムプロス、コロミラス」並ニ本使ノ八名ニシテ十三日午後理事ノミ打合せ会ニ於テ

置キタリ

次ニ總會招集ノ場所ニ関シ巴里、「ブラッセル」等ノ説アリシカ白國代表者ハ之ヲ「ブラッセル」ニ開カムコトヲ懇望シ猶ホ条約上米國大統領ハ第一回總會ノ招集ノ時期、場所ニ関シ何等ノ制限ヲ受ケ居ラズ又聯盟本部所在地選定ノ際「ブラッセル」ニ対シ「ゼネヴァ」ヲ主張シタル關係モアリ此等ノ点ヲ明確ニセザル方米國大統領ノ意見ヲ尊重スル所以ナルヘシトノ説モアリシガ實際「ゼネヴァ」ハ總會開会式ノ如キ莊嚴ナル式ヲ挙グルニ充分ナル設備モナキコト故「ブラッセル」ト提議スルモ差支ナカルベク又時期ニ関シテモ十一月前半中トスルハ不都合ナカルベシトノ説多數ニシテ結局右ノ趣旨ヲ円滑ニ認メ大統領ニ於テ右招集方ヲ承諾セラルヘキヤ問合セノ件ヲ起草方事務總長ニ依嘱スルコトナレリ因ニ大統領ニ於テ右依頼ニ応ゼザル場合如何ニスヘキヤノ問題ニ関シテハ深く討論スル処ナカリシガ理事會多數ノ意嚮ハ同會ニ於テ自ラ總會招集ノ手續ニ出ヅベシトスルニアリシガ如シ

(二)西比利亞俘虜送還問題

本件ニ関シ諾威探検家「ナンセン」ニ電請ノ次第ハ往電第

予定シ置キタル議題順(右打合せノ結果往電第五四七号及往電第七二一号所報議題順ニ変更ヲ加ヘ更ニ新議題三ヲ加ヘタリ)ニ依リ「チットニー」司會ノ下ニ討論ニ入ル但シ議事ヲ公開セズ

(一)第一回聯盟總會招集問題

本件ニ関シ報告者希臘代表者ハ總會ノ招集ニハ尠クモ四五箇月ノ準備時期ヲ要スルモ聯盟加入ノ決議ヲ受ケムカ為メ總會ヲ待チ構ヘ居ル數多ノ新興國モ存スルニ就テハ本年十一月始メ若クハ遅クモ明年一月始メニハ總會ノ招集ヲ見ルニ至ラムコトヲ希望スト述ベ仏國代表者ハ平和条約實施ノ第一年内ニ總會ヲ開クコト能ハズシテ之ヲ次年度ニ譲リタリトセバ阪令數箇月ノ差異ニ過ギズトスルモ聯盟ニ対スル世人ノ失望ハ極メテ大ナルモノアルベシトテ是非共十一月初メニ之ヲ開カムコトヲ希望シ英伊兩代表者モ此ノ見解ヲ支持シ他國代表者之ニ異議ナシ本使モ亦之ニ異議ナキ旨ヲ表明スルト共ニ交通狀態猶ホ不便ノ今日遠隔ノ地ニ在ル日本ニ取リテハ書類ノ送達ニ約二箇月ヲ要シ又總會出席者ノ渡航ニモ同様ノ日數ヲ要スヘキヲ以テ議題如何ニ依リテハ決シテ充分ノ準備時日ヲ有スルモノニアラザル旨ヲ指摘シ

六六〇号(三)所報ノ如クナル処今回同氏ヨリ承諾ノ通報アリタルニ顧ミ報告者伊國代表者ハ「ナンセン」ノ好意ヲ謝シ其ノ獻策ヲ待タン事ヲ提議シ其ノ通り決セラル

(三)婦人小兒売買問題

報告者伯刺西爾代表者ヨリ規約第二十三條(一)ニ依レバ聯盟ハ本件防止ノ為メ或程度ノ責任ヲ有スル次第ナルガ近々右防止問題ニ関スル國際會議開催ノ模様ナルヲ以テ聯盟トシテハ何分ノ措置ニ出ヅルニ先チ此ノ種國際會議ノ決議若シクハ勸告ヲ待ツ方然ルベク尤モ本件研究ヲ怠ラザル為メニ今ヨリ事務局内ニ特ニ一名ノ役員ヲ任命スル事必要ナリト提議シ理事会ハ右提議ヲ承認ス

(四)「バルフォア」ノ中央歐羅巴救済方懸念ニ対スル赤十字聯盟ノ回答

本件ニ関シ報告者「バルフォア」ハ其懸念ニ係ル中央歐羅巴救済方ニ関スル(往電第四五一号ノ四)赤十字聯盟幹事總會ヨリ欣諾ノ回答ヲ受クルト共ニ赤十字側ニ於テ右救済ノ計画ヲ立ツル以前各國ヨリ右ニ必要ナル運搬具ノ保障ヲ受クル為メ國際聯盟ノ保証ヲ(不明)決議文トスル旨ヲ述べタル決議文ニ接シタル処其ノ後四月二十一、二十二ノ兩

日巴里ニ於テ英米仏以下十一ヶ国代表者等会合ノ結果其ノ多数ハ英米同様中欧諸国ニ対シ「クレデット」ヲ供与スルニ異議無キ旨ヲ表明シ且同会合ノ任命ニ係ル一委員会ハ本件救済ニ必要ノ材料高調査並ニ是ガ獲得ニ執掌シ居レル現況ニ顧ミ仮令聯盟理事會自身前記材料供給方保証ヲ与ヘ得ズトスルモ前顧幹事總會決議ノ次第ハ既ニ實現ノ途上ニアリ從テ赤十字聯盟ニ於テハ該決議ニ從ヒ今ヨリ其ノ救済計画ヲ立テ赤十字聯盟各國ノ応援ヲ求ムルヲ得ベシト述ベ同聯盟ニ通告スルニ右趣旨ノ覚書ヲ以テスル事ヲ提議シ一同之ニ異議無シ

(四)「オイッペン、マルメーデー」ニ関スル独逸ノ抗議
本件ニ関シ本使ハ報告者トシテ(イ)在英独逸代理大使四月二十日附事務總長宛書翰ヲ以テ対独条約第三十四条ノ実施ニ関シ國際聯盟ヨリ一ノ委員會ヲ派遣シ右地方統治ノ監督ノ任ニ当ランコトヲ求メ尚同大使ハ本月十日附ヲ以テ在伊独逸代理大使ハ同十四日附ヲ以テ夫々事務總長宛右地方ニ於ケル白国官憲ノ横暴ヲ訴ヘ来レル処右三十四条ニ依レハ民意公表実行ノ件ハ白国政府ニ一任セラレ而シテ条約実施後即チ一月十日以後六ヶ月ヲ経ザレバ右民意公表ノ結果ハ聯

盟ニ通告セラレザル筈ニテ右条文上聯盟ニ於テハ其時機ニ至ラザレバ何等ノ干涉ヲモ為シ得ベカラザル筋合ナリ依ツテ列席理事ニ於テモ此見地ニ異議ナクハ事務總長ヲシテ独逸ニ対シ右ノ趣回答書ヲ發セシメンコトヲ提議シタルニ一同異議ナク之ニ決ス

(ウ)尚在英独逸代理大使ハ事務總長ニ対シ四月二十日附ヲ以テ対独条約第三十五条ノ実施問題ニ関シ本年三月二十七日白独間國境画定委員ニ於テ白国委員ノ要求ニ基キ Montjoie 郡ナル Raeren-Kalterherberg 間鐵道ヲ同国ニ与フルノ決議ヲナシタルヲ不当トシ若シ聯合國ニ於テ本決議ノ撤回ニ躊躇スル時ハ本件ヲ以テ國際仲裁裁判所ノ審議ニ訴ヘント欲スル旨ヲ述ヘ来レル処条約第三十五条ハ本件ニ関シ何等國際聯盟ノ介入ヲ規定シ居ラズ已ニ事務總長ニ於テ右抗議書ニ対シ一片ノ受領狀ヲ以テ済マシタル以上之ヲ以テ充分ナルヘキ旨本使ヨリ披露シタルカ是亦一同異議ナク可決ス

(ハ)遣露視察団問題

本件ニ関シ事務總長ヨリ第三回理事會決議ノ結果採リタル準備措置ニ付簡單ナル報告ヲ為シタル後露西面入国ニ関ス

ル「ソヴィエット」政府トノ交渉経過ニ付(イ)三月十七日附ヲ以テ第三回理事會決定ノ電文(往電第四五三号)發送後同二十二日「ソヴィエット」外交委員ヨリ右電信ハ中央執行委員會議長 Kalinin ニ移牒セラレタルガ當時同人ハ旅行中ナル旨回答ニ接シタルコト(ウ)其ノ後何等公式ノ回答ニ接セザルヲ以テ更ニ五月一日附電報ヲ以テ右回答ヲ督促シタル処同五日附ニテ「カリニン」既ニ歸來シ前記電信傳達済ナルヲ以テ本件ハ次回中央執行委員會總會ノ議ニ上ルヘキ旨回答アリタルガ同五日發刊ノ「タイムス」ニ抛レハ莫斯科發無線電信トシテ中央執行委員會ハ主義トシテ聯盟派遣団ノ入国及ヒ便宜供与ニ異存ナキモ聯盟國中現在「ソヴィエット」ノ敵國タル波蘭ヲ支持スル国アルニ顧ミ斯クノ如ク中立ノ地位ヲ放棄シタル国ノ代表者ヲ包含スル代表者ハ軍事上ノ理由ニ依リ之カ入国ヲ許スコト能ハザル旨掲載セラレタルコト等ヲ報告シ最後ニ事務總長ハ「ソヴィエット」政府宛回答案トシテ派遣団員ハ聯盟理事會ノ任命ニ係リ同団ハ各國政府ニ対シ責任ナキ國際機關ナルカ故ニ「ソヴィエット」ニ於テ之カ入国ヲ拒ムノ理由ナク何レニシテモ団員中軍人ヲ包含スルコトナク又作戦区域ヲ視察スルノ

意図ナキ旨ヲ述ヘ本件ニ関シ此ノ上不確定ノ状態ヲ続クルハ聯盟理事會ノ忍ブ能ハザル処ニシテ或ハ為メニ視察団派遣ノ挙ヲ放棄スルノ已ムヲ得ザルニ至ルベシ若シ「ソヴィエット」政府ニシテ真ニ主義トシテ派遣団ノ入国ニ異議ナクバ来ル六月十五日以前理事會ニ対スル確答ヲ望ム旨申送ラムコトヲ提議シタリ

之ニ対シ白仏兩國代表者ハ「ソヴィエット」政府ノ回答振リヲ以テ真意ナキ單純ナル「マヌーヴル」ナリトシ其際「ソヴィエット」ニ送ルベキ回答案トシテハ成ルベク簡單ニ諸否ヲ問フニ止ムルヲ可トスベシトノ趣旨ヲ述ベタルガ英國代表者ハ右白仏兩國代表者ノ「ソヴィエット」ニ対スル不快ノ念ヲ諒トスルト共ニ既ニ「ソヴィエット」トノ交渉ヲ開始シタル以上我立場ヲ明ニシ置キ列國ハ視察団派遣ニ関シ別ニ目的ヲ有シタリシガ之ヲスルコト能ハザルガ故ニ(ハ脱)ナリトノ口実ヲ彼ニ与ヘザル様努ムルコト肝要ナルベシト注意シ結局是等ノ説ヲ参照シテ「バルフォア」、「ブルジョア」、「チットニー」ニテ回答案ヲ起草スル事トナレリ

(ハ)華府労働會議關係事務總長ノ措置承認問題

本件ニ関シ本官ハ報告者トシテ事務総長カ華府労働會議ノ勸告案及協約案謄本ヲ各聯盟国ニ送附シ又對独四二四条ノ規定ニ基ク留保ヲ以テ右總會準備会ノ為必要ノ前渡資金ヲ交附シ尚労働事務局ノ構成及ビ運用ノ為一定ノ支出（以上ノ費用ハ往電第七二九号聯盟予算案第一乙ノ二ノイ）（不明）ヲナシタルハ全ク條約ノ規定精神ニ基ク措置ナルガ故ニ之ニ承認ヲ与ヘンコトヲ求メタルニ一同異議ナク之ヲ可決ス

在欧米各大使ヘ転電セリ

一一七 五月十八日 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

條約ノ登録及公表並ルクサンブールノ聯盟加入要求アルメニア委任統治國際統計局設置公
法家會議等ノ問題ニ関スル件

第四八号

（五月二十日接受）

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事会ノ二（五月十四日午後）

（一）條約ノ登録並ニ公表問題

要求ヲ拒ムノ權利ヲ有スルノミナルヲ附言シタリ次デ「バルフォア」ハ規約第十八条ハ当初所謂秘密外交ヲ廢セントスル精神ニ出デタルモノナル処同条ヨリ起ル法律問題即チ條約ノ登録セラレアル場合聯盟ハ如何ナル責任ヲ負フ可キヤ該條約ノ聯盟規約若クハ其ノ精神ニ違背スル処ナキヤ否ヤヲ審査セザル可ラザルヤヲ尋ネタルニ事務局長ハ事務局ニ於テ條約登録ノ際一応之ヲ審査スベキモ一旦登録済ノ上疑義ヲ生ジタル場合ニハ常設國際司法裁判所ヲシテ審査セシム可キモノナルベシト答ヘ次デ「バルフォア」ハ登録ノ客體ニ関スル事務局側ノ主張ヲ字義通り適用セントスル時ハ困難多カル可シトテ例之バ取極メ若クハ議定ノ成立後直チニ履行ヲ必要トスル純粹ニ一時的ノモノアリトセンニ之ヲモ一々事務局ノ審査ヲ經テ登録スルヲ必要トスルヤヲ質問シ「チットニー」モ公文交換ノ如キ如何ヲ尋ネタルニ法務局長ハ規約第十八条ノ規定ニ拠レバ右ハ何レモ登録セザル可ラズ假令口頭ニ依ル取極ト雖同様ナリト解釈ス但シ當事者間ニ於テ登録セズシテ尚之ヲ履行スルハ其ノ自由ナリト答ヘタリ右ニ付キ「ブルジョア」ハ登録ヲ必要トスル條約等ヲ愛ニ提議シ若クハ規約第二〇条ニ所謂規定違反ノ協

本問題ニ関シ事務局ヨリ聯盟規約第十八条ニ基キ先ヅ登録ノ客體トナル可キモノニ付キ單ニ條約若クハ協約ノミナラズ苟モ國民若クハ政府相互ノ間ニ法律上ノ義務ヲ發生セシム可キ國際的協約若クハ議定書ノ如キモノ總テ之ヲ含ミ又條約ノ改訂更新又ハ廢棄ニ関スル約定ノ如キモ前記第十八条ニ依リテ支配セラル可シトノ見解ヲ取り之ト同時ニ之等條約ニ関シ聯盟事務局内ニ條約登録局ヲ設ケ之ヲシテ登録簿ノ保存謄本ノ発給等ヲ取扱ハシムルコトトシ右ニ関スル詳細ナル手續ヲ記載セル覚書ヲ作成シ之ヲ理事会ノ審議ニ附シタリ右ニ付キ「チットニー」ハ登録セザル結果如何ニ付キ全然其ノ條約ヲ無効ト為スコキカ或ハ單ニ當事国ガ該條約ニ依リテ得ントシタル利益ヲ得ル能ハズ之ニ付キ聯盟ノ保障ヲ期待スル能ハズト謂フニ留マルヤヲ問ヒタルニ「ブルジョア」ハ不登録ノ結果ハ當事国ノ一方ガ聯盟ノ支持保護ヲ求ムルモ聯盟ハ其ノ要求ニ応ズル能ハズ但シ聯盟ハ世界ノ平和（脱）使命トスルモノナルヲ以テ前記ノ場合保護ヲ与フベキヤ否ヤ道義的ニハ之ヲ審査セザル可ラズト答ヘ事務局法務部長ハ當事者間ニ於テハ契約ハ自由ナリ只之ヲ登録セザル場合規約第十八条ニ依リ一方ハ相手方ノ

定トハ何ヲ意味スルヤ等ハ今日之ヲ決定スルコト甚ダ困難ナリ斯カル法律論ハ國際司法裁判所ニ一任スルコト然ル可キ旨ヲ述ベ「デストレー」ハ本日ノ問題トスベキハ單ニ登録ノ純粹ナル手續ノミニシテ法律論ニ至リテハ政府ハ登録セザル條約即チ人民ノ知ラザル條約ヲ以テ人民ノ權利義務ヲ制限スル能ハズトノ標準ニ依リ或ハ總會ニ於テ又ハ司法裁判所ヲシテ審議セシム可キモノナリト述べ結局本件ニ関スル法律上ノ問題ハ之ヲ後日ニ留保シ事務局提出ノ覚書中登録ニ関スル手續ノミ之ヲ承認スルコトニ決シタリ

（二）「ルクサンブール」聯盟加入要求問題

本問題ハ理事会ニ於テ決定ノ権限無ク聯盟規約第一条第二項ニ依リ總會ニ於テ定ムベキ問題ナリトシ之ヲ總會ニ提出スル事ニ決ス

（三）「アルメニア」ノ委任統治問題

本件ニ関スル首相會議ヨリノ書翰（往電「サン、レモ」會議第十六參照）ニ對スル回答トシテ首相會議ガ取リタル措置ニ對シ満足ノ意ヲ表スルト共ニ他日再ビ本問題ヲ審議セザルガ如キ事アル場合ニハ理事会ヨリ説明ヲ求メタル諸点（往電第四四号聯盟理事会四ノ一）ヲモ研究シ以テ米國以

外ノ国ヲシテ「アルメニヤ」ノ委任統治引受ヲ容易ナラシメ度ク理事会ハ之ガ為メ出来得ル限りヲ尽シテ首相會議ヲ援助スベキ旨ヲ送り度キ旨事務総長ヨリ申出アリ理事会ハ之ヲ承認シタリ

四 國際統計局設置問題

國際統計ハ目下二三ノ國際統計委員會及統計局等ノ取扱ヒツツアル処ナルガ聯盟規約第二四条ニ依レバ是等委員會等モ又國際聯盟管轄ノ下ニ置カルベキモノニシテ是ガ為メニ聯盟本部ニ統計中央局ヲ設ケ之ヲシテ秩序的ニ各國ノ統計ヲ蒐集發表セシムル事科学上將又經濟上必要ナルニ鑑ミ理事会ヨリ統計専門家ヲ糾合シテ委員會ヲ組織セシメ以テ前記計画ニ関シ何等カノ提案セシムル事可然トノ趣旨ヲ以テ事務総長ヨリ提出シ同時ニ (a) Bureau international du travail (b) Institut international d'Agriculture (c) Bureau international de Statistique commerciale (Bruxelles) (d) Bureau de Statistique (France) (e) Bureau de Recensement du Canada ノ代表者一名ヲ専門家トシテ推薦シタルガ右等協會中ニハ別ニ國際聯盟ノ下ニ之ヲ統一スルノ必要アリヤ否ヤヲ疑フモノアルヲ以

動車(?)被服消毒機械等ヲ主タル項目トシ約三百二十五万磅ノ經費ヲ必要トスル旨報告アリタリ右ニ関シ事務局ヨリ該費用負担ノ方法トシテ (イ) 万国郵便同盟ノ費用分担方法 (此ノ方法ニ依ル本邦費用負担額十六万二千五百磅) (ロ) 波蘭トノ通商關係ヲ基礎トスルモノ (本邦負担額一萬磅) (ハ) 汚染ノ危険程度ニ比例セシ (脱) 担額十萬五千磅) ノ三方法アル処右ハ何レモ公平ヲ欠クノ誹ヲ免レザルヲ以テ右三者ヲ併用シ (イ) ノ三割 (ロ) 及ヒ (ハ) ノ三割五分宛負担スルモ一策ナル旨 (此ノ方法ニ依ル本邦負担額八萬九千磅) 理事会ニ対シ提議ノ次第アリタリ依テ本使ハ先ツ事人道問題ナルカ故ニ慎重ノ考量ヲ要スヘキハ勿論ナルモ費用ノ負担亦重大問題ニシテ各国共議會ノ協賛ヲ經ザルベカラザル処ナルヲ以テ公平妥当ナル計算ノ基礎ニ抛ラザルベカラズ例ヘバ日本ノ如キハ商業關係若クハ伝染危険ノ程度ヨリ云フトキハ殆ント負担ノ問題ヲ生ゼザルベケレバナリト附言シタル処「ブルジョア」モ計算ノ妥当ナル標準ヲ見出スコト困難ナル処事務局提議ノ最後ノ方法ノ如キハ以テ大体満足スルノ外ナキカ如シト述べタルニ「バルフォア」ハ二個ノ標準アリトテ (イ) 利益問題即チ近接ノ程度ニ依

テ更ニ之ヲ研究シタル上報告スル様書記局ニ命令セリ
(四) 公法家會議ニ関スル事務総長報告

第二回聯盟理事会ノ決議第一ニ依リ招聘セラレタル公法学者中秋月氏後任トシテ安達氏出デ Drago ハ一身上ノ都合ニ依リテ招聘ニ応ゼザリシ外他ハ皆快諾アリタルヲ以テ結局右公法家委員ハ十名ヲ以テ組織シ会期ヲ六月十一日トシ会場ハ右委員ヲシテ選定セシム可キ旨事務総長ヨリ報告アリ理事会ハ之ヲ承認シタリ

(六) 交通會議報告

第二回聯盟理事会ノ決議第二ニ從ヒ交通會議ヨリ去ル三月二十七日ノ會議ニ於テ決議シタル報告書並ニ決議案 (交通會議電報參照) ノ提出アリ報告者「キノネス、ド、レオン」ハ右書類査閱ノ結果妥当ナルヲ認メタル旨ヲ報告シ依ツテ理事会ハ之ヲ承認スルコトニ決シタリ

(七) 波蘭窒扶斯予防問題

四月十四日以降倫敦ニ於テ開カレタル國際衛生會議 (本邦ヨリハ宮川博士及河原田書記官出席) ヨリ往電第四五四号第三回聯盟理事会ノ決議ニ基キ聯盟事務局宛詳細ナル調査書ヲ提出スルト共ニ該予防策實施ノ為メ食糧品病院材料自

リテ定メラルヘキモノニシテ英國ノ如キハ商業上ヨリハ關係深キモ近接ノ点ヨリ云フトキハ比較的關係淺ク而シテ歐洲以外ノ諸國ハ殆ント除外スヘキモノナリ (ロ) 慈善問題即チ一國カ類例ナキ厄災ニ遭遇セルトキ之カ救済ノ為メ寄附ヲ募ルハ正ニ國際聯盟ノ為スベキ処ニシテ米國、日本、豪洲ノ如キハ利害問題ヨリ云フトキハ殆ンド何等關係ナキモ義捐ノ為メナラバ応分ノ寄附可能ナルベキヲ説キ依テ右標準ニ抛リテ解決シ得ベキヲ述べタリ之ニ関シ猶ホ二、三意見ノ交換アリ本使ハ今回ノ問題ハ波蘭ノミナルモ更ニ露西亞ヨリ西比利ニ迄伝播スルトキ之カ救済ノ途ヲモ講ズベキヤ是亦考量シ置ク必要アルヘキヲ注意シ置キタルガ右「バルフォア」ノ意見ニハ各理事大体異議ナク依テ事務局側ヲシテ同氏提議ノ二個ノ標準ニ依リテ分担額ヲ再考セシムルコトニ決シタリ

在歐米各大使ハ転電セリ

一一八 五月十八日

在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

遣露視察團理事會議事手續其他ニ関シ報告及
決議ノ件

別 電 同日堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第五

〇号

五月七日ソヴィエット中央執行委員会ノ採択セル
決議

第四九号

(五月二十一日接受)

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事会ノ三

五月十五日午後五時開会往電第四七号六遣露視察団ノ件ニ
關シ其後執行委員ヨリ別電第五〇号ノ如キ電報(十三日
Reval 發十四日倫敦着)到達ノ旨事務総長ヨリ報告アリ
タルモ其ノ趣旨「タイムス」掲載ノ無線電信ト異ル処無キ
ヲ以テ理事会ハ前日ノ決定ニ対シ何等變更ヲ加ヘズ

次ニ往電第七二四号所報理事会議事手續ノ討議ヲ開始セル
モ何等成案ヲ見ルニ至ラズシテ予定時刻六時ニ至リ第一回
公会ニ移ル会衆百余名議長「チットニー」ヨリ一場ノ挨拶
ヲ兼ねテ理事会今日迄ノ討議事項中公衆ノ「インテンス
ト」アリト思フモノヲ選ビテ本公会ノ議題トシ他ノ聯盟刊
行物ニ譲リタル旨ヲ述ベ左記議題及報告者順ニ依リ既報
(往電第四七号及第四八号当該事項参照)ノ通り報告且決

議シ七時散会ス

一、婦人及小兒売買問題 伯刺西爾代表者

二、「オイベン、マルメディー」ニ関スル独逸政府ノ抗議

日本代表者

三、中央歐羅巴救済問題 英国代表者

四、國際法曹委員会報告 事務総長

五、西比利亞俘虜送還問題 伊国代表者

在米各大使へ転電セリ

(別 電)

五月十八日堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第五〇号

五月七日ソヴィエット中央執行委員会ノ採択セル決議

第五〇号

(五月二十日接受)

Résolution adoptée par le comité central exé-
cutif des Soviets de Russie le sept mai mil neuf
cent vingt.

Le comité central exécutif des Soviets, des
députés ouvriers, paysans, de l'armée rouge et des
Cosques salue chaque démarche qui démontrerait
que les gouvernements qui jusqu'à présent ont fait

la guerre à la Russie soviétique et se sont efforcés
de la séparer des autres par des cordons sanitaires
et des fils barbelés ont compris aujourd'hui l'innu-
tilité de leurs tentatives d'étranglement du grand
peuple de la Russie. La décision de Ligue des
Nations d'envoyer en Russie une délégation dans
le but d'étudier sa situation actuelle est considérée
par le comité central exécutif comme une mani-
festation du fait qu'une partie des puissances qui
composent la Ligue des Nations tâchent de renoncer
à la politique de lutte contre le peuple russe. Le
comité central exécutif salue cette décision quoique
jusqu'à présent la Ligue des Nations n'eut pas fait
sa moindre démarche pour communiquer officielle-
ment le fait de son existence au peuple russe. Mais
en même temps le comité central exécutif constate
que le gouvernement de la Pologne qui fait partie
de la Ligue des Nations a imposé au peuple russe
la guerre avant de daigner entrer avec lui en

pourparlers sur territoire neutre ou même allié,
que le gouvernement polonais ensuite essayait d'em-
parer territoires appartenant à la Russie ou à la
Ukraine soviétique et que dans cette politique
criminelle le gouvernement polonais non seulement
n'a point rencontré le moindre obstacle de la part
de la Ligue des Nations mais a même trouvé un
soutien actif de la part de certaines puissances qui
en font partie et qui ont toujours invariablement
soutenu toutes les révoltes de la classe dépossédée
des exploités contre le pouvoir soviétique. Le
gouvernement soviétique qui aspirait à la levée de
blocus de la Russie est vivement intéressé à ce que
les représentants de toutes les nations apprennent
à connaître la situation intérieure de la Russie.
Le gouvernement soviétique admet en conséquence
la venue en Russie des représentants de tous les
organes de la presse pourvu qu'ils donnent une
garantie quelle soit qu'ils n'abuseront point de

l'hospitalité du peuple russe. Le gouvernement soviétique la réserve à la délégation du congrès des trades-unions anglaises en qualité d'hôtes des unions professionnelles russes ; ils auront la pleine faculté d'étudier sous tous ses aspects la situation russe. En se basant sur ces considérations le comité central exécutif déclare consentir en principe à la venue de la délégation de la Ligue des Nations et il lui sera donné sur le territoire de la Russie soviétique de jouir de la situation dont puissent les représentants des autres puissances dans les limites d'un Etat souverain, en considérant en même temps comme évident que la Ligue des Nations qui professe de veiller non seulement à l'intégrité du droit international mais à tous les principes régissant les relations des nations civilisées entre elles n'enverra point en Russie comme représentants ou experts des personnes ayant trempé dans des conspirations dirigées contre le gouvernement russe. Attendu

néanmoins que certains membres de la Ligue des Nations soutiennent activement la Pologne qui se trouve en état de guerre avec la Russie soviétique et lui fournissent des armes et des instructeurs, le comité central exécutif pour des raisons militaires ne veut point admettre au moment actuel l'arrivée des représentants de la Ligue parmi lesquels se trouveraient des représentants des nations qui ont de fait renoncé à la neutralité dans la guerre imposée à la Russie soviétique.

Ferment convaincu que l'armée rouge prouve à la Pologne dans un avenir proche l'utilité de la paix avec la Russie soviétique et que cette dernière pourra bientôt revenir au travail pacifique et mettre fin aux restrictions imposées par l'état de guerre, le comité central exécutif a nommé une commission composée des camarades, Kameneff Litvinoff et Kourski qui aura le droit conjointement avec le commissaire du peuple aux affaires étrangères

d'autoriser le moment venu l'entrée en Russie des représentants de la Ligue des Nations sans que pour cela une nouvelle convocation du comité central exécutif soit nécessaire. Le Président de la session du comité central exécutif Kameneff, le Secrétaire Enukidze.

Hotta.

一一九 五月十九日 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際統計委員會ザール地方住民ノ請願ノザイ
エット政府宛回答案等審議ノ件

第五一号 (五月二十二日接受)
松井大使ヨリ

第五回聯盟理事會ノ四(五月十七日午前)
(一)國際統計委員會

十四日ノ決議第四ニ関シ Institut international des
Statistiques ヲツツ Bureau international du
Travail. Institut international d'Agriculture.

三 國際聯盟理事會ニ關スル件 一一九

Bureau international des Statistiques commerciales
ヨリ各一名ノ代表者ヲ出サシメニ統計家トシテ世界的名
声ヲ有スル Lucien March 及 R. H. Coats ヲ加テ委
員會ヲ組織セシメ同委員會ヲシテ他ノ統計家ヲ糾合セシ
ムルコト但シ委員ハ成ル可ク少数ナラシムルコトニ決議ス
リ度キ旨事務総長ノ提案ニ基キ本件報告者「ヂストーン」
ハ右提案ヲ朗読スルト共ニ de Eloia 及 Luigi Bodio
ノ二名ヲモ追加アリタキ旨ヲ提議シ理事會ハ之ヲ承認シタ
リ

(二)「ザール」地方住民ノ請願

「ザール」地方ノ施政改善ノ為同地方弁護士協會ヨリ行政
監督委員長宛ヲ以テ條約所定ノ原則ヲ敷衍セル意見書ヲ提
出シタルニ同委員長ハ之ヲ握リ潰シタル趣ヲ以テ右弁護士
協會ヨリ理事會宛説明ヲ求メ來レルガ報告者「コルミラ
ス」ハ理事會ガ其任命シタル該地方行政委員會ニ全權ヲ委
ヌルヲ要シ依ッテ右ノ如キ請願ハ總テ同委員會ニ提出セラ
ル可ク同委員會ノ必要ト認ムルモノノミ理事會ニ伝達セシ
ムルコトヲシタキ旨ヲ提議シタリ右ニ関シ對獨條約第五〇
條附屬第一七節ニ依レバ同委員會ハ獨立ノ政府ナラザル故

ニ該委員會ニ斯ノ如キ請願ノ採否決定ノ全權ヲ有セシムカラザルモサリトテ同地方住民ハ右委員會ヲ介セズシテ直接理事會宛請願ヲ提出スベキモノモアラズトノ説多ク依ツテ右委員會ハ住民ノ請願ヲ受理シ之ニ意見ヲ附シ以テ理事會ノ含迄ニ事務総長宛之ヲ伝達セシム可キコトニ決シタリ

㊦「ソヴィエット」政府ニ対スル回答案

「バルフォア」ヨリ(イ)「ソヴィエット」政府ノ回答遷延以テ調査員派遣ノ計画ヲ齟齬セシメ其ノ価値ヲ減殺セルヲ遺憾トスルコト(ロ)「ソヴィエット」政府ハ或国ノ委員ヲ拒ミ他ノ者ノ入国ヲ認メンコトヲ主張スル処聯盟派遣ノ委員ハ其ノ所属国ヲ代表スルモノニ非ズ全体トシテ国際聯盟ヲ代表シ聯盟ニ対シテノミ報告ヲ提出スベキモノナリ故ニ「ソヴィエット」政府ガ右主張ヲ固執スル時ハ本件計画ハ之ヲ中止スルノ外ナク其ノ責任ハ「ソヴィエット」政府ノ負フ可キ処ナリトノ二個ノ理由ニ基キ晚クモ六月十五日迄ニ最後ノ回答ヲ得ンコトヲ望ム旨ノ電報案ヲ提出シタルニ「デストレー」ハ右ハ余リニ詳細ナル議論ニ亘リ為メニ却ツテ「ソヴィエット」ニ逆ニ利用セラル可キ嫌アリト

テ単ニ「ソヴィエット」ニ於テ聯盟当初ノ申入レヲ拒絕シタルヲ了承ス但シ聯盟ハ何レノ国ノ軍事行動ヲモ援助シタルコトナシ故ニ聯盟委員派遣ノ真意ガ同政府ニ対シ徹底セザリシハ遺憾トスル処ナルモ本件ニ関シ同政府ニ於テ何等提案アラバ聯盟ハ之ヲ審議スルニ吝カナラザル可シトノ趣旨ノ対案ヲ朗読シタリ「バルフォア」ハ大体之ヲ賛成シタルモ「ソヴィエット」政府ハ聯盟ノ申入レヲ拒絕シタルニ非ズ主義上ハ之ヲ承認シ来リタルヲ指摘スルト共ニ「ソヴィエット」政府ニ新ナル提案ヲ求ムルガ如キハ面白カラズ単ニ彼等ノ諾否ヲ問ヘバ可ナル旨ヲ注意シタルガ理事会ハ「デストレー」案ヲ基礎トシ「バルフォア」ノ意見ヲ斟酌シテ新ナル回答案^(註)ヲ起草スルコトニ決シタリ

理事會會議事規則案

同案第二条ヨリ第九条ニ亘リテ逐条審議シタルガ特ニ重要ナル改削ナク主義上委員會案(往電第七二四号)ノ通り可決シタリ

在欧米各大使へ転電セリ

註 新ナル回答案ニ付テハ後出二二〇文書別電參看

一二〇 五月二十日 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露国実情調査委員派遣問題ニ関スル件

別電 同日堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第五
八号

ソヴィエット政府宛回答確定案

第五二号 (五月二十三日接受)

松井大使ヨリ

第五聯盟理事會ノ四ノ決議第三ニ関シ

「ソヴィエット」政府宛回答確定案別電第五八号ノ通

(別電)

五月二十日在伊国堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第五
八号

露国実情調査委員派遣ニ関シソヴィエット政府宛回答確定案

第五八号 (五月二十一日接受)

The Council of the League of Nations has very carefully considered the answer of the Soviet Government to the wireless telegram sent by the Council on March 17. The Council regrets that after the long delay in replying to the invitation of the

三 国際聯盟理事會ニ関スル件 一二〇

Council the Soviet Government has put forward conditions practically amounting to a refusal. The Soviet Government claim in their reply to differentiate between the States whose representatives may be authorized to take part in the proposed enquiry. The League of the Nations is a single international organ for the establishment of justice and peace. Its delegates do not represent any particular State; they represent the League itself. The League of Nations still hopes that the Soviet Government will modify its reply. If, however, it can not accept before June 15 the terms of the request as submitted to it on March 17, the Council must lay upon the Soviet Government the entire responsibility for frustrating a step prompted solely by the desire to improve international relations and the economic situation of the world.

Hotta.

一二一 五月二十日 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

理事会議事規則國際財政會議常設軍事委員會
等ノ問題討議ノ件

第五三号

(五月二十二日接受)

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事会ノ五(十七日午後)

(一) 理事会議事規則問題

午前ノ討議ニ引続キ第十条以下第十四条ノ審議ヲ了スニ
三ノ修正ヲ加ヘタルモ特ニ電報スベキ事項ナシ即チ之ヲ
以テ議事規則ノ討議ヲ終ヘタル次第ナリ右討議ニ基キ原
案修正ヲ加ヘタル上ハ直チニ各理事宛確定案回附ノ筈ナ
ルヲ以テ右入手次第電報ス

(二) 理事会ニ代表權ヲ有スル各国代表者任命方法並聯盟事
務關係書類送付先指定問題

往電第三〇三号特別委員會ハ本件ニ関シ理事会ニ代表權
ヲ有スル各国宛事務總長ヲシテ發送セシムベキ書翰案ヲ
提出シタルガ右ハ(イ)理事任命ニ関シ各国ハ規約上理事數
ヲ一名ニ制限セラレ居ルモ其ノ任命ノ条件ニ至リテハ何

等ノ拘束ヲ受ケ居ラザル次第ナリ故ニ各国ハ理事任命ヲ
永久トスルモ一時的トスルモ亦一回ノ理事会限リトスル
モ特殊ノ事項討議ノ場合ニハ他ノ代表者ヲ以テ一時交替
セシムルモ其ノ自由ナリ唯予メ理事氏名ト共ニ其ノ任期
若クハ任命条件ヲ事務局ニ通知セムコトヲ望ムト云フニ
存シ又(ロ)書類送付先ニ関シテハ聯盟本部所在地ト掛ケ離
レ居ルカ若クハ其他ノ事情ヲ有スル国ニアリテハ書類送
付ノ敏速且確實ヲ期スル為其ノ送付先ヲ指定シ得ル事至
当ナルヲ以テ關係国ニ対シ右書類送達先届出デ方勧誘ス
ルコト可然ト云フニ存シタリ依ッテ理事会ハ意見交換ノ
結果(イ)ニ関シ特殊事項討議ノ故ヲ以テ理事ヲ變更スルハ
討議方針ノ継続ヲ期スル上ヨリ見テ面白カラザルベシ此
ノ場合ニハ宜シク専門家ヲ帶同スルコトトスベシトノ多
數意見ニ依リ其ノ通り修正ヲ加ヘ(ロ)ハ其ノ儘之ヲ承認ス

(三) 國際財政會議問題

本件ニ関シ報告者ハ國代表者ハ國際財政會議問題ガ第二
回倫敦理事会ニ於テ決議セラレタル以來該會議準備委員
会ハ第三回巴里理事会ノ承認ヲ經テ既ニ各国ニ対シ會議
招集狀ヲ發送スルニ至リタルコトヲ略述シ今回ノ理事会

ニ於テ該會議ノ「プログラム」ヲ確定スル必要アル処準
備委員會ニ於テ作成シタル會議日程案ニ依レバ

一、議長ニ依ル開会

二、議事手続ノ採用

三、organization 委員會ノ指名

四、賠償問題及戰爭ニ基ク公債ニ関スル同盟側ノ決定ニ
就キ議長ヨリノ報告

五、(イ)外債高(ロ)財政狀態(租税、通貨、國際公債
emprunts internationalsノ狀態ヲ含ム)(ハ)對外貿
易条項(為替關係、「クレジット」、輸入制限及為替
ノ監督狀況ヲ含ム)(ニ)以上諸問題ニ関スル各国政府ノ
其ノ現行政策ニ関スル書面報告

六、租税、内債通貨及為替調整等ヲ包含スル對内財政策
問題ノ討議

七、為替下落ニ基ク影響、輸入制限、輸出政策、經濟復
興ノ諸条件、運輸、石炭、食料及原料(不明)並外國
ニ対スル「クレジット」(不明)問題ヲ包含スル貿易
平調恢復問題ノ討議

八、財政會議ヨリ聯盟理事会ニ提出スベキ報告

ノ八項アル旨ヲ述ベ右ノ中四及五ニ関スル誠実ナル報告
ヲ得テ初メテ六及七ノ討議ニ入り得ル次第ナルガ前記賠
償問題ノ研究決定ハ一ニ賠償委員會ノ權限ニ屬スルヲ以
テ本問題ニ関シ財政會議ト賠償委員會トノ間ニ連絡ヲ執
ルコト必要ナリ而シテ既ニ理事会ヨリ申出デノ結果此ノ
議賠償委員會ノ考量ニ上リ居ル次第ナルガ一方賠償問題
ニ対シ各国政府ニ於テ執ラムトスル政策ニ就キ各国ト理
事会トノ間ニ了解ヲ有スルコト極メテ必要ナリト思考シ
タルヲ以テ報告者ヨリ仏國首相ニ申出デ其ノ結果此ノ議
最高會議ノ審議ニ上リ「サン、レモ」ノ宣言トナリ同盟
國代表者ハ独逸宰相ヨリ同國其他ノ財政經濟狀態ヲ聴取
スルコトトナリタルモ財政會議ヲシテ効果アラシメンガ
為ニハ之ヲ以テ足レリトセズ同會議ニ対シ必要ノ情報ト
訓令トヲ与フベキ地位ニアル理事会ニ於テ独逸ヨリノ賠
償並ニ其ノ仕払方法ニ関スル同盟側ノ決定ト賠償委員會
監視ノ下ニアル独逸財政ノ現状トニ通曉スルヲ要ス斯ク
シテ初メテ独逸ヨリノ賠償ヲ前提トシ而シテ國際間信用
回復ノ第一歩タル國際公債ノ發行ヲモ考究スルコトヲ得
ベシ若シ理事会ニ於テ以上報告ノ趣旨ニ同意ナラバ最高

會議々長及賠償委員會議長ハ其ノ報告ヲ送付シ以テ理事會ニ於テ財政會議々長ニ対シ開會進行ニ必要ノ訓令ヲ与ヘ得ル様前記兩議長ノ回答ヲ求メムコトヲ提議シタル処英國代表者初メ一同右仏國代表者ノ報告ニ同意スルト共ニ同代表者ノ旁ヲ謝シ今後引続キ此ノ難問ニ執筆セムコトヲ希望セリ

猶財政會議開催ノ期日ニ就キ問ヲ發スルモノアリシガ仏國代表者ハ事情上述ノ如クナルヲ以テ前記兩議長回答到着ノ上ナルベキ旨ヲ答ヘタリ

四 常設軍事委員會問題

報告者仏國代表者ハ五月十二日羅馬行特別列車ニ諸國理事及軍事専門委員同乗セルヲ機會ニ本件委員會組織問題ニ関シ非公式ノ下相談ヲナシ置カンコトヲ發議シ日(本使並渡辺少將、大角大佐)英(理事ハ同乗セズ陸海空軍各武官ノミ)仏(理事及陸軍將官)伊(条約起草委員會同國委員)白(外務省參事官)西(理事及陸軍大佐)伯刺西爾(理事ノミ)代表者出席腹藏ナキ意見交換ヲナシタルガ其ノ際本委員會ノ性質ニ関シ最嚴格ニ理事會ノ諮詢機關タルコトニ全会一致又本使ハ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ委

タルノ外其ノ他ハ理事一同異議ナク之ヲ可決ス

尚仏國代表者ハ委員會ノ所管事項トシテ規約第一、第八、第九、第十六規定事項並規約第二十三條(一)及一九一九年九月十日調印ノ武器及軍需品賠償ニ関スル聯合國間協約ニ関連シ國際的取締局ヲ設クルノ準備事業アル旨ヲ指摘シ右所管事務ノ緩急ニ從ヒ速ニ委員會ノ事業ヲ開始センコトヲ勸奨シ一同之等ニ異議ナシ、本使又右報告ノ次第ヲ承認スルト共ニ帝國代表者ハ本国ヨリ來ルカ欧州滞在者中ヨリ之ヲ任命ス可キヤ未定ナルヲ以テ此ノ際帝國代表者ヲ指定ストセバ右ハ一時的トシ他日變更ノ余地ヲ与ヘラレンコトヲ希望スル旨附言シタル処一同之ヲ承諾ス

(五)以上ヲ以テ本日ノ討議ヲ終リタルガ解散ニ先立テ理事ノミノ秘密會議ニ於テ「バルフォア」ヨリ毒瓦斯ノ製造等ハ對獨條約ノ嚴禁スル処ナルガ或ハ其使用ハ爾ク慘酷ナル害ヲ致スモノニ非ズ反而反對ノ現象ヲ呈ストノ說アル一方毒瓦斯ノ製造ハ之ヲ一國ニ禁ズルモ他國ニ許ストキハ互ニ競争ヲ惹起シ遂ニ其ノ底止スル処ヲ知ラザル可ク殊ニ米國ノ如キハ大々的ニ之ガ製造ニ從事シ居レリト聞

員會構成ノ各軍代表者ハ各二名タルヲ要スル旨力說セリ越而十四、十五兩日羅馬ニ於テ各國軍事専門委員ノミ會合シ右汽車中ニ於ケル意見交換ノ結果ニ基キ別電第五四号委員會組成案ヲ作成シ仏國代表者ヨリ之ヲ本日ノ理事會ニ提出シタルガ右ハ大体ニ於テ往電第七二三号乙(イ)案ノ拡張トモ見ル可ク第一条ニ於テ各軍代表者ヲ主義トシテ一名宛トセルモ第四条ニ於テ副員任命ノ余地ヲ与ヘタルハ前記汽車中ニ於ケル本使ノ主張ニ對スル妥協ノ結果ニ係ル依テ逐條討議ニ及ビタルガ英國代表者ハ第一条ニ関シ本國政府ノ情報ニ依レバ軍人ノミヲ以テ委員會ヲ構成スルトキハ却而軍備拡張ノ傾向ヲ帶ブルニ至ル可シト理由ヨリ某國ニ於テハ聯盟加入ヲ躊躇スルニ至ル可シトノコトナルヲ以テ三名ノ軍人ノ外ニ一名ノ文官ヲ加フルコト然ル可シト思考スル処本件ニ付テハ目下本國政府ニ請訓中ナルヲ以テ回訓接到迄第一条確定留保スル旨ヲ述べタルガ他國委員ニ於テハ同条ニ對シ何等異議ナク本使モ亦之ニ贊成セリ、第二条以下ニ関シ伊國代表者ノ要求ニ依リ第五条第二項委員會會校ノ給与ヲ當該各國持チトシ第九条第二項ヲ削除シ「ノート」第二項ヲ削除シ

ク故ニ毒瓦斯ノ取締ハ畢竟國際協約ニ依ルノ外完全ヲ期シ難シト思考セラルル処他方ニ於テ毒瓦斯ノ性質トシテ其研究ハ普通ノ學術上ノ研究ト関連シ隱微ノ間ニ之ヲ行フコトヲ得可ク之ヲ徹底的ニ取締ルハ至難ノ事業ナル趣ナリ就而ハ之ガ製造ヲ禁止スルノ得失如何、將又之ヲ禁止ストセバ如何ナル措置ヲ講ズ可キカ常設軍事委員會ノ議題ト為サンコトヲ希望スル旨ノ訓令ヲ受ケタリトテ右ニ對スル各理事ノ意嚮ヲ質シタルニ別段決定ト謂フ程ノ決議ニアラザリシガ前項軍事委員會ヲシテ研究セシムルコトトシテハ如何トノ意見アリテ其ノ通ニ協議ヲ纏メ散會ス

在歐米各大使へ転電セリ

一二二 五月二十日 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

各代表者ノ報告書朗読及理事会承認ノ件

第五五号

(五月二十二日接受)

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事會ノ七

三 國際聯盟理事會ニ関スル件 一二三

五月十九日午前十時ヨリ当市「カピトル」ニ於テ第一回ノ公開理事會ヲ催ス從來ニナキ盛會ニシテ會衆又三百有余名ヲ算シタリ議長「チットニー」ノ開會ノ辭ニ始マリ「ブルジョア」之ニ答ヘテ伊太利政府並ニ國民ノ欲待ヲ謝シ其ノ好意ニ依リ世界ノ法律及正義ノ發生地タル羅馬ニ於テ今回ノ理事會ヲ開キ得タルヲ喜フ旨ヲ述ヘ続イテ「新國家ノ加入及總會ノ招集（希臘代表者）」「國際統計委員會（白耳義代表者）」「波蘭塞扶斯（伯刺西爾代表者）」「聯盟規約第九條ニ依ル常設委員會（仏國代表者）」「聯盟事務局職員（英國代表者）」「予算（西班牙代表者）」「國際財政委員會（仏國代表者）」「露西亞事情調査委員會（白耳義代表者）」「各國專門委員會ト理事会及ヒ總會トノ關係（西班牙代表者）」「交通會議（西班牙代表者）」即チ前回ノ公開ノ會議ノ際未タ公表ノ運ビニ至ラザリシ問題ニ付其後此等問題ニ関スル討議並決議ノ趣旨ニ基キ各代表者ヨリ報告書ヲ朗読シタルガ理事会ハ一々之ヲ承認シ正午散會シタリ

在欧米各大使ヘ転電セリ



(イ) 委任統治委員會

(ロ) 対境条約中ニ掲ゲラレタル少数民族

(ハ) 「チェッコスロヴァック」少数民族

(ニ) 公法家委員會ノ報告

(ヒ) 武器売買取締協約ニ対スル新加盟國

(ヘ) 阿片ニ関スル協約

(ニ) 聯盟加入ヲ要求セル國ニ對シテ適用ス可キ軍事規定ニ関スル常設委員會ノ報告

(ニ) 阿弗利加ニ於ケル酒精売買

(ニ) 伯林及「ブラッセル」協定ノ改訂

(ニ) 總會議事規則

在欧米各大使ヘ転電セリ



一二四 五月二十五日

在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

波蘭チブス予防聯盟事務局員任命聯盟ノ予算

等ニ関スル件

第八八九号

（五月二十七日接受）

第五回聯盟理事會ノ六（五月十八日午前）

(一) 波蘭塞扶斯予防問題

三 國際聯盟理事會ニ関スル件 一二四

一五四

一二三 五月二十日

在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

次回理事會開催ノ場所期日議題ニ関シ打合ノ件

第五六号

（五月二十二日接受）

松井大使ヨリ

第五回聯盟理事會ノ八

五月十九日公開ノ會議終了ノ後理事ノミ集マリテ次回理事會ニ関スル打合セヲ為シタルガ場所ハ西班牙「サン、セバスチアン」トシテ先ヅ西班牙代表者ヨリ同國政府ノ都合如何ヲ確ムルコト期日トシテハ七月二十七日ヨリ開會ノコトニ取極メタリ議題トシテ差当リ予見セラレ居ルモノ左ノ十五件ナリ

(一) 「ダンチッヒ」自由市ノ憲法

(二) 常設保健機關

(三) 第二予算

(四) 聯盟規約第十六條實施ニ関スル準備の措置

(五) 統治委任狀(B)(C)式（本件ニ就テハ色々議論アリ次回會議ニ討議ノ運ビニ至ル可キヤヲ虞ルル旨本使ヨリ注意シ置キタリ）

本問題ニ関シ十五日午後ノ決議^(註)ニ從ヒ事務局ノ統計並ニ財政專門家ハ（イ）聯盟一國ノ安危ニ對スル各國ノ共同利害

（ロ）波蘭トノ商業關係（ハ）距離ノ遠近ノ三点ニ根拠シ更ニ現在ノ國際為替相場及各國ノ財政能力ヲ參酌シ即チ國際為替關係ニ於テ不利ノ地位ニ立ツ國及戰爭ノ結果特ニ財政上窮迫ノ狀態ニアル國ニ對シテハ其ノ負担ヲ輕減スルコトトシ以テ右標準ニ依リ新ナル各國負担額一覽表ヲ提出シタリ但シ赤字同盟等ヨリノ寄附金モアルニ付キ当初本件ノ予防費用三百二十五萬磅ヲ二百萬磅ニ減額シタル趣ニテ其ノ結果右一覽表ニ依ル各國ヘノ振り當テハ英二十五萬六千磅支那十六萬一千磅英領印度十五萬九千磅米國十三萬九千磅和蘭十三萬四千磅日本十一萬參千磅ノ順序ニ始リ仏國六萬一千磅伊國四萬九千磅等ナリシヲ以テ本使ハ滿洲ニ於テ虎列刺腸塞扶斯流行ノ場合其ノ予防消毒等ニ付テハ既ニ日本一國ニテ其ノ負担ニ當リツツアル狀態ナリ故ニ若シ波蘭ノ塞扶斯更ニ露西亞ニ傳播シ西比利亞ニ侵入シ來ル曉ニハ或ハ日本モ又危險予防ノ趣旨ヲ以テ相當額ノ分担ニ応ジ得ベキモ問題ガ単ニ波蘭ノミニ關スル今日右一覽表ノ予定額ヲ負担スルコト困難ナリ殊ニ今回ノ分ハ前回事務局ヨ

リ提出シタル最後ノ分担方法ニ依ル九万八千磅ヨリ増額セラレ居ルハ意外トスル処ナル旨ヲ述ベタルニ「コロミー」ハ新提案ニ拠レバ希臘ハ羅馬尼及「チェッコスロヴァキヤ」ニ数倍スル費用ヲ負担セザル可ラザル処此等ノ国ノ面積及波蘭トノ隣接關係トヲ比較シテ右費用ノ割当テ甚ダ理由ナキヲ指摘シ「バルフォア」ハ印度濠洲加奈陀新西蘭及阿弗利加ノ負担額ヲモ合算スル時ハ英國ハ米國ノ分担額以上更ニ四十二万磅ヲ負担セザル可ラズ換言セバ世界中最も富裕ナル米國ノ負担ハ甚ダ僅少ナリト謂ハザル可ラズ而モ該一覽表計算ノ基礎トナリタル波蘭トノ商事關係ナルモノハ戰爭前ノ統計ニ依ルモノナルヲ以テ現状ニ当ラザルヲ注意シタリ爰ニ於テ「チットニー」ハ右等反対意見ニ鑑ミ之ヲ各政府ノ負担トスルヨリモ寧ろ各国民ノ一般義務ニ俟ツコト予防ノ目的ヲ達スル上却ツテ成功スベキ旨ヲ提議シタルガ波蘭ノ塞扶斯伝染狀況説明ノ為メ特ニ招致シタル同國衛生大臣ハ倫敦衛生會議ノ勸告ハ各國政府ニ於テ波蘭政府ヲ援助スル趣旨ナリシヲ以テ今此ノ方針ヲ變ヘテ一般公衆ノ同情ニ訴ヘ以テ其ノ寄進ノ結果ニ恵マレントスルハ波蘭ニ取リテハ之ヲ受クルコト困難ナル旨ヲ述ベタリ依ッ

ヲ妨ゲズ

(ロ)職員ハ任命前ノ功勞ニ基ク場合ヲ除ク外任期中勲章其ノ他ノ褒賞ヲ受クベカラザルコト(當職員ハ其ノ任期中ハ國際ノ資格ヲ有シ所屬國ヲ代表スルモノニアラザルガ故ニ自國ノ勲章ト雖其ノ任期中ハ之ヲ拝領スル能ハザルコト)

(ハ)事務總長ノ仮ニ(脱)給ハ總會ニ於テ予算ノ確認アル迄之ヲ其ノ儘承認スルコト

(ニ)事務局ハ仮ニ其本拠ヲ倫敦ニ定メタル処屢々移転スルハ徒ニ事務ノ進捗ヲ妨グルガ故ニ暫ク倫敦ヲ以テ其本部トスルコト而シテ右事務局ヲ聯盟本部所在地ニ移転セシムヘキ日取ハ總會ニ於テ本件ニ関スル審議アリタル後理事會ニ於テ之ヲ決定スルコト

(三)聯盟ノ予算ニ関スル問題

本問題ニ関シ報告者「キノネス、ド、レオン」ハ事務局提出ノ覚書ニ基キ左記趣旨ノ報告書ヲ朗読シタリ

(イ)事務局構成ノ第一期ハ一九二〇年三月三十一日ヲ以テ終ルモノト見做スコト而シテ會計検査ニ関スル理事会ノ内規ハ今次ノ理事会ノ審議ニ上リタル迄ニテ(往電第七二四号

テ結局理事会ハ本件所要費用二百万磅調達ノ為メ各政府ニ於テ(各所慈善団体ヨリノ寄附ハ別トス)充分ノ義捐アリ度キ旨事務總長ヲシテ各國政府ニ対シ通知セシムルコトニ決セリ

(ニ)聯盟事務局員任命問題

本件報告者「バルフォア」ハ事務局提出ノ覚書ニ基キ之ニ若干ノ説明ヲ加ヘテ左記件々ノ決議アリ度旨ヲ提議シ理事会ハ悉ク之ヲ承認シタリ

(イ)事務局ハ仮ニ(ロ)行政委員及少数民族問題(三)經濟財政(四)情報(四)國際事務局(規約第十四条)(五)法務(六)委任統治(七)政務(八)條約登錄(九)社會問題(十)運輸及交通ノ事務局ヲ設クルノ外事務局内部ノ庶務ノ為圖書、會計、文書、記録等ノ六課ヲ設ケテ事務總長ハ國際聯盟構成委員會ヨリ附与セラレタル権限ニ基キ之等局課ニ必要ナル職員ヲ任命シタルニ付規約第六條ニ依リ理事会ニ於テ右任命ヲ承認スルコト但シ職員ニハ可成各個人ヲ採用シ又新ナル人材ヲ登用シテ事務局ノ「ビューロクラティック」ニ流ルルヲ避ケザルベカラズ而シテ之レカ為メ右任命ニ期限ヲ付スルノ要アルヘク依ッテ任期ヲ任命ヨリ五箇年トス但シ再任

第十一條)未ダ實施セラレザル処英國政府ハ理事会ヨリノ

正式ノ要求アルニ於テハ其ノ會計検査官ヲシテ右第一期ノ聯盟會計ヲ審檢セシムルニ吝ナラサル意思アル趣ニ付キ事務總長ヲシテ英國大蔵省ニ対シ右趣旨ニ依リ要請ヲ為サシムルコト

(ロ)事務局提出ノ覚書所載本年三月末日迄ノ經費及本年四五六ノ三ヶ月ニ対スル予算(往電第七二九号)ヲ承認スルコト

(ハ)右經費ノ各國振り当テニ関シ規約第六條ニ基キ事務局ニ於テ作成シタル一覽表ヲ承認スルコト(往電第七二九号)

(ニ)聯盟經費ノ分担ニ関シ規約第六條ノ規定ハ之ヲ永久ニ適用スベカラズ各國國情ノ變化ニ伴ヒ更ニ公平ナル方法ヲ案出スルヲ要スル処之ガ為メニハ各國ノ面積人口貿易統計歳出歳入等ニ関スル最近ノ正確ナル情報ヲ必要トスルヲ以テ事務總長ヲシテ各國ニ対シ此等情報ヲ求メシムルコト該情報入手ノ上新ナル經費分担方法ヲ立テ從ッテ規約第六條ノ改正ヲ企ツルコト

(ホ)各國分担額払込ニ付キテハ為替相場ノ變動ニ依リ不断ノ不便ヲ避クル為メ聯盟専用ノ標準貨幣ヲ創造スル必要アル

可キモ問題甚ダ重大ニシテ直チニ之ガ解決ヲ見ルコト困難ナリ(脱)法ヲ使用スル国多数ニシテ法ハ十進法ヲ以テ計算シ得ル便宜アルニ鑑ミ聯盟ノ次期予算(七月以降)ハ金貨法ヲ以テ計上シ從ツテ各国ノ分担額モ法若クハ其ノ相当額ヲ以テ払込ム可キコト

右報告ノ(イ)「バルフォア」ハ新ナル分担方法ヲ案出スルニ當リテハ公平ヲ期シ各国ノ承服シ得ル充分ナル資格権限ヲ有スル大官ヲシテ審議セシムルコト然ル可キ旨主張シ依ツテ理事会ハ本件ヲ「ブラッセル」ニ開カル可キ財政會議ニ移牒シテ審議ノ結果報告ヲ提出セシムルコトトシ其ノ他ハ悉ク報告者ノ提議ヲ承認スルコトヲ決議シタリ

在欧米各大使へ転電セリ
註 前掲一一七文書(五月十八日在伊国堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第四八号ノ(イ)参照)

一二五 五月二十六日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第五回聯盟理事会ノ印象報告ノ件

第九〇一号 (五月二十八日接受)

今次羅馬ニ於テ聯盟理事会ヲ開キタルハ從來巴里及倫敦ニノミ之ヲ催シタルニ顧ミ權衡上伊太利ニ對シテモ満足ヲ与フル趣旨ニ出デタルモノニシテ之ガ為伊太利側ニ於テハ各理事ニ對シテハ皇帝陛下ノ御招引アリ外務省ヨリハ特ニ各理事附ノ委員ヲ派シテ隨時各方トノ連絡等ノ為便宜ヲ供セシメ會議場並ニ「セクレタリア」ノ為ニハ戰爭前奧太利大使館ニシテ目下殖民省タル Palazzo Chigi ノ宏壯ナル建物ノ一部分ヲ以テ之ニ當テ特ニ最後公開ノ會議ヲ「カピトル」宮城ニ開キ会場ノ内外ノ設備裝飾等總テ「ガラ」ノ式ニ依リテ其盛大ナルコト從來ノ理事会ノ遙ニ及バザリシ処ナリシ等以テ各国代表者ノ接待ニ努ムルト共ニ伊太利國民ニ對シ國際聯盟ノ存在及其活動ノ印象ヲ深カラシメンコトニ意ヲ用ヒタルカラ視フニ足ル

但シ議題ニ至リテハ聯盟ノ予算理事会ノ議事規則ニシテ聯盟其物ニ取リテハ實質的ニ重要ナル問題アリシモ公衆ニ對シテハ特ニ興味ヲ感ゼシム可キ時事問題モナク「バルフォア」氏自ラモ本使ニ對シ詰ラヌ問題ノミナリト云ヒシ位ニ付前記公開會議ノ際會衆ノ半途退場スルモノモ少カラザルヲ見受ケタルガ羅馬ノ各新聞モ単ニ理事会ノ議事概要ヲ掲

グルノミニシテ其内容及聯盟其物ニ就テハ何等評論ヲ加ヘタルモノ無カリキ

右ニ関シ在伊大使館ノ諜報者及紐育「イーヴニング・ポスト」記者本使ヲ來訪シ國際聯盟ニ對スル英仏人ノ態度甚ダ冷淡ニシテ伊太利又無頓着ナル処聯盟ノ前途ニ関スル本使ノ觀察如何ヲ尋ネタル位ナルガ今次理事会ノ一般ノ感興ヲ引カザリシハ一方理事会開催ノ前々日「ニッチ」内閣倒レ國民ハ寧ロ内政問題ニ没頭シ居タルコト其ノ主タル原因ナリトモ云フ可ク之ヲ以テ直チニ聯盟ノ前途ヲトスルハ早計ナル可キモ從來巴里倫敦ニ於ケル一般ノ氣受ト比較シ寧ロ尚冷淡ナリシヤニ見受ケラレタリ

英米伊へ転電セリ

一二六 六月十二日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

波蘭チブス予防救援金ニ関スル英國理事ノ聯盟事務總長宛申出ニ付請訓ノ件

附記 六月十二日珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五〇九号ノ仮訳文

第五〇八号 (六月十四日接受)

別電第五〇九号ノ通ナル電信案ヲ具シテ羅馬理事会英國理事ノ資格ニ於テ「バルフォア」氏ヨリ申出ノ次第アリタルニ依リ帝國政府及松井大使ニ至急電報アリタキ旨聯盟事務總長ヨリ六月十一日附通牒ニ接セリ

右ニ関スル回答振リ至急御回電アリ度シ

在仏大使へ転電セリ(十二日後六時半)

註 別電第五〇九号ヲ省略シ該電報ノ仮訳文ヲ附記トシテ左ニ採録ス

(附記) 六月十二日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五〇九号仮訳文
波蘭チブス問題ニ関シ英國理事ヨリ聯盟事務總長ニ提出ノ電信案

英國ハ羅馬ニ於ケル國際聯盟理事会ノ決議ニ基ヅク本官ノ要請ニ応ジ他国ニ於テ同様ノ措置ヲ執ルニ於テハ主義トシテ塞扶斯防遏費ヲ分担スルコトニ同意セリ遲滞ナク行動ヲ開始スルハ焦眉ノ急務タリ依ツテ英國ハ他ノ四国ガ同額ヲ支出スルニ於テハ初期ノ費用トシテ早速五万磅ヲ支出セントス日本政府ハ同目的ノ為メ之ト同一額ヲ支出セラル可キ

ヤ勿論右金額ハ日本政府ノ支出セラレンコトヲ希望シ居レ
ル全負担額ノ一部分タル可キモノト御了承ヲ請フ
註 前掲一二七文書ノ(參照)

一二七 六月十七日 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第六回聯盟理事会ニ於テ波斯俘虜送還テッシ
エン等ノ問題討議ノ件

第五二〇号 (六月二十一日接受)

第六回國際聯盟理事会第一

六月十四日、十六日通常會議ヲ開キ十六日公開會議開催ノ
筈ナリシ処往電第五一五号ノ如キ事情ナリシ為議事意外ニ
進捗シ十四日午前午後二回通常會議ヲ開キタルノミニテ大
體議シ更ニ十六日朝短時間理事ノミニ秘密會議ヲ開キタ
ル後公開會議ニ移レリ会場ハ何レモ「セント、ジェームス
」ニシテ出席理事ハ「英」、「カーゾン」卿(議長)「仏
」、De Fleuran 在英大使「伊」、Commendatore
Catalini 「ロ」、「モンシヨール」在英大使「希臘」、
Caclamano 在英公使「西班牙」、Marquis De Faura

伯刺西爾 Ipepos (在英大使十六日會議文ケ出席) 及本使
ニシテ波斯外務大臣 Firouz 親王ハ波斯問題討議中理事
トシテ列席シ「ナンセン」博士ハ俘虜送還問題審議ノ際報
告ノ為出席セリ

議事大要左ノ通

「カーゾン」卿議長席ニ着キ直ニ議事ニ入ル
一、波斯問題

予メ事務総長ノ配布セル書類ニ依ルニ滞英中ナル「フィ
ーズ」親王ハ五月十九日附書面ヲ以テ事務総長ニ宛テ十八
日朝十三隻ノ過激派軍艦ガ Enzeli ヲ砲撃シタルヲ以テ
軍使ヲ派シ砲撃理由ノ弁明ヲ求メタルニ艦隊司令官ハ莫斯
哥政府ヨリ警備ノ訓令ヲ受居ル処「デニキン」所屬艦船ハ
「エンゼリ」港ニ庇護ヲ求メ居リ通商上危険ナルニ付自己
ノ責任ヲ以テ砲撃セリト述ヘ進ンデ「デニキン」所屬船ノ
引渡ヲ求メ更ニ「ソヴィエット」政府ト英國政府トノ会商
ノ結果分明スル迄「エンゼリ」港ヲ占領スヘシト申出デタ
リ之ニ對シ波斯政府ハ「デニキン」ノ海軍力ハ中立港ニ庇
護ヲ求メタルモノニシテ既ニ國際法ノ規定ニ從ヒ武裝解除
済ナルモ尚本件ハ交渉ニ応ズベキコト然シ乍ラ砲撃ノ不法

至レリ

ニ對シテ抗議セザルベカラズ又「エンゼリ」ノ占領ヲ許容
シ能ハズト回答セリ右ノ事情ナルヲ以テ規約第十一条ノ規
定ニ從ヒ理事会ノ注意ヲ喚起センコトヲ欲ス云々ノ申出ヲ
ナシ更ニ二十九日及三十一日附書面ヲ以テ「ソヴィエット
」軍ノ占領地ヲ撤退セサルコト及波斯東北國境方面ヨリモ
「ソヴィエット」軍入寇ノ危険アルコトヲ指摘シ規約第十
一条第一項ニ依リ特別理事会ノ開催ヲ要請シタリ右要請ニ
基キ事務総長ハ理事会招集準備ヲ整ヘタルガ六月三日「タ
イムス」ハ二十九日附「テヘラン」特電トシテ「チチェリ
ン」ハ波斯政府ノ抗議ニ對シ「エンゼリ」砲撃ハ商船航行
ノ為ニ行ヘル自衛行為ナリシコト、裏海ノ航行再ヒ自由安
全トナリ又軍事の必要ナキニ至ラバ「ソヴィエット」軍ハ
波斯領土ヲ撤退スヘキコト、之ヲ好機トシ國民自決ノ基礎
ニテ露國波斯間ノ親近ヲ促進スヘキコト等ヲ申出デタルガ
波斯政府ハ右申出ニ望ヲ屬シ交渉ヲ繼續スヘシ云々ノ記事
アリタルニ鑑ミ事務総長ヨリ「フィールズ」親王ニ對シ右
ニ拘ラズ理事会ノ招集ヲ要請スルモノナリヤヲ確メ親王ヨ
リ波斯政府ハ對露交渉ト理事会ニ對スル申出トハ矛盾セズ
ト了解シ居ル趣ノ声明ヲ得終ニ今回ノ理事会ヲ招集スルニ

「カーゾン」卿ハ劈頭簡單ニ右ノ成行ヲ叙シ本件ハ規約第
十一条第一項及第十条ニ關連スルコトヲ説明シ理事会ガ此
ノ種ノ案件ヲ考量スルハ今回初メテナルヲ以テ之ヲ重要視
スヘキコトヲ指摘シタル後「フィールズ」親王ヲ入場セシ
メ其ノ陳述ヲ聴ケリ親王ハ過激派攻撃ノ狀況ヲ詳説シテ「
エンゼリ」港事件ノ外波斯東北國境狀況並西北國境地方
ニ於ケル露(不明)軍ノ提携、「レシュト」ニ於ケル過激
派共和國ノ設立等ニ言及シ規約規定ニ基キ聯盟諸國ニ於テ
必要ノ措置ニ出デンコトヲ求ムルヤ「カーゾン」卿ハ二点
ノ質問アリ(一)「ソヴィエット」政府ノ態度ニ付テ言及セラ
レザリシ様ナルガ「チチェリン」ハ波斯政府ノ抗議ニ對シ
既ニ裏海ノ航行自由安全トナラバ撤兵スヘキ旨ヲ答ヘタリ
ト伝ヘラレ又先日「クラッシン」トノ会商ノ際同人ニ對シ
本件ノ説明ヲ求メタルニ露國ハ何等敵意ヲ包藏スルモノニ
アラズ早速本件ヲ審査スヘキコト及露國軍艦ニ對シ既ニ「
エンゼリ」撤退ノ命令發送済ナルコトヲ回答シタルガ此ノ
点ニ關スル波斯政府ノ見解如何又(二)「エンゼリ」以外ノ地
点ニ於ケル露軍ノ攻撃ニ付テ説明セラレタルガ是等ハ果シ

テ露軍ノ攻撃ト云フヘキモノナリヤ或ハ単ニ波斯人ノ一方の叛逆ト云フヘキモノニアラザルカ「レシュト」ニ於ケル Kutchik Khan ノ共和国設立ノ如キ兒戲ニ類スルガ如シト尋ネタルニ親王ハ(一)ニ対シ「チチェリン」トノ無線電信往復ニ付テハ既ニ一言シタルガ右電信ノ所述ニ拘ラス露軍ハ波斯領土ヲ撤退セズ依テ「チチェリン」ノ六月五日附電信ニ対シ波斯政府ハ十二日發電信ヲ以テ(イ)露軍ノ撤退(ロ)宣伝ノ中止(ハ)押収財産ノ返還(ニ)将来不攻撃ノ保障(ホ)友好關係ノ設定ナル五ヶ条ヲ具シタル講和案ヲ莫斯科政府ニ申入レタリト答ヘ但シ波斯政府ハ莫斯科政府ヲ承認シ居ラザルヲ以テ右ハ全ク非公式交渉ナリト附言シ(二)ニ関シテハ波斯政府ガ之ヲ領土ノ侵害ト思考シ居ル旨ヲ答ヘタリ茲ニ於テ「カーゾン」卿ハ右十二日發電報ノコトハ今始メテ承知セリト述ヘ右ハ何人ヨリ莫斯科ニ送リタルモノナリヤ何日頃回電ヲ得ル見込ナリヤ等ノ質問ヲ重ネ親王ハ之ニ応ジテ倫敦ヨリ自分署名ニテ又「テヘラン」ヨリ總理大臣署名ニテ同時ニ全ク同趣旨ノ二電信ヲ「チチェリン」ニ送リタルコト及回電ハ何日来ルヘキヤ予測シ難ク又右二電ニ対シ二通ノ回電ヲ得ヘキヤ一通ノ回電ヲ得ヘキヤ確言スル能ハザル旨ヲ

涉ノ權限ヲ附与スベキヤト問ヒ「カーゾン」卿ハ(イ)右波斯政府ニ対スル勸告ハ現下ノ実情ニ鑑ミ規約第十条ニ所謂(脱)ノ義務ヲ履行スベキ手段ニ外ナラザルコトヲ述ベ(ロ)ノ点ニ付テハ非公式交渉ハ何等差支ナク波斯政府ハ現ニ交渉ヲ開始シ居ルニ非ズヤト答ヘ(ハ)ノ点ニ関シテハ波斯ハ獨立国ナルヲ以テ別ニ權限ノ附与ヲ要セズ又理事会ハハスル權能ナシト説明シタル後採決シタルニ一同同卿ノ所説ニ賛意ヲ表シタリ其ノ後数次「カーゾン」卿及親王ノ問ニ回答アリ「カーゾン」卿ハ波斯政府ハ将来再ビ万一其ノ必要ヲ認ムル場合ニハ理事会ヲ招集シ得ルヲ以テ今回ハ右勸告ニ從ヒ尚引続キ事務總長ヲ通ジテ理事会ト連絡ヲ保ツコト然ル可シ尚十六日公開會議席上ニテハ親王ニ於テ論争ヲ提起セラルルガ如キコトナカランコトヲ希望スト述ベ親王ハ右決定ニ不満足ナルコトヲ言明シ公会開催前今一回討議シタキ旨ヲ述ベタリ之ニ対シ「カーゾン」卿ハ右ハ全会一致ノ決定ナリト謂ヘルニ親王ハ自分不賛成ナレバ全会一致ニ非ズト主張シ結局事務總長「ド、フロリオ」及親王ノ三人ニテ右決議ノ趣旨ニ則リ決議文ノ作成ヲ試ムルコト提議セラレ親王モ之ニ同意ヲ表シタリ

答ヘタリ「カーゾン」卿ハ理事一同ニ対シ此上親王ニ質問スベキ事項アリヤ否ヤヲ尋ネ一同其ノ必要ナシトノ意向ヲ示スヤ然ラバ是ヨリ決議ニ入ルベキガ親王ハ之ニ参加スベキヤ否ヤト問ヒ親王ハ規約第四条ニ基キ参加ノ權利アルコトヲ主張シ議席ニ留マルコトナレリ

「カーゾン」卿ハ先ヅ理事会ガ「ソヴィエット」官憲ト直接交渉スルノ好マシカラザル理由トシテ(イ)露國ノ聯盟委員タラザルコト(ロ)同政府ノ未ダ承認セラレ居ラザルコト(ハ)遣露視察団問題交渉ノ不成績ナリシコトヲ列挙シ加之現ニ親王ヨリ説明アリタル如ク波斯政府ハ莫斯科政府ト細目ニ互レル交渉ヲナシ居リ十二日發電報(脱)本件ノ如キ最モ其ノ當ヲ得タルモノナルコトヲ認ム依ツテ理事會ニ於テ自ラ何等ノ処置ヲ執ルニ先ダ右電報ニ対スル莫斯科政府ノ回電ヲ待ツコトヲ勸告スト述ベタルニ親王ハ(イ)理事会ハ規約第十条ニ依リ何等カ措置ヲ執ルノ義務アルコトヲ指摘シ又(ロ)客年十月「クレマンソー」首相ノ波斯政府ニ宛テタル書簡ニ言及シ且ツ莫斯科政府ノ承認セラレ居ラザルコトヲ再説シテ波斯政府ガ正式ニ交渉スル能ハザルコトヲ述ベ(ハ)聯盟理事会ニ於テ波斯政府ニ右交

本件ハ其ノ後右三人ノ間ニ相談ヲ重ネタルモ決議ニ至ラズ四種ノ案ヲ十五日理事ノミノ秘密會議ニ提出シタルガ協議ノ結果公開會議公表ノ案文ヲ採用スルコトニ満場一致ヲ以テ決定セリ

二、遣露視察団問題

三、法学家會議問題

何レモ別段討議無ク公表案ノ通決定

四、俘虜送還問題

「ナンセン」博士出席シ予テ理事ニ配布シアリタル同博士報告ノ趣旨ヲ敷衍説明シ「バルチック」方面通路ハ既ニ開通シ便宜費用上最良ノ通路ナルモ尚「トルキスタン」南露等ニアル俘虜等ノ為メ新通路開通ノ必要アル事尚經費ノ幾分ヲ私的寄附ニ待ツノ必要アル事ヲ述ベ「カーゾン」卿ハ「トルキスタン」方面通路開通ノ至難ナル事ヲ指摘シ又私的寄附募集ノ時機方法ニ付意見ヲ述ベタル後満場一致ヲ以テ「ナンセン」博士ノ四(イ)提議ヲ可決シ公会席上ニテ「ナンセン」博士ニ於テ同博士報告ヲ朗読シ尚右四(イ)決議モ之ヲ公表スル事ニ決セリ尚希臘及塞爾比ニ於ケル勃牙利人俘虜問題ニ関シ公表案ノ通ノ決議ヲ見タリ

五、「テツシェン」問題

「チェッコスロヴァキヤ」国「ベネス」外相ヨリ本件ニ関シ規約第十五条ヲ引用シテ理事会ガ審査委員会ヲ「テツシェン」地方ニ派遣セン事ヲ申出デタルヲ以テ是非公式ノ考量ヲ加ヘタルガ本件ハ既ニ「ベネス」氏自身ノ提言ニ依リ仲裁判ニ附スル事ニ提議セラレ關係諸国ヨリ「チェッコスロヴァキヤ」及波蘭政府ニ申入レ回答ヲ待チツツアル実情ナルノミナラズ同地方ニハ既ニ同盟側人民投票監督委員出張シ居リ何等実情審査ノ必要無シテ理事会ハ何等ノ措置ヲ取ラザル事ニ決セリ

六、聯盟總會招集

拾六日理事ノミノ秘密會議ニ於テ事務総長ヨリ本件ニ関シ米國大統領ヨリ回答未達ナル旨ヲ披露シ其ノ文案ヲ具シテ回答督促方ヲ提言シ其ノ通決定セリ

在欧米各大使ヘ転電セリ

一一八 六月十七日 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

波斯ノ申出遣露委員國際法學者會議停廢送還
ノ四案件討議ノ件

件ナリシヲ以テ慎重審議シ波斯政府ノ難局ニ対シ同情の考量ヲ加ヘタル上満場一致ノ決議ニ到達シタリトテ大要別電甲第五二二号ノ如キ決議文ヲ朗読シ Firouz 親王ハ本件ガ同情の考量ヲ加ヘラレタルコトヲ謝シ右決議ニ同意ナル旨ヲ一言シ次デ

(二)ノ案件ニ付 De Fleuran ハ羅馬理事会以來ノ成行ヲ報告シ五月二十日附ヲ以テ事務総長ヨリ「チチェリン」ニ対シ六月十五日迄ノ期限ヲ附シ Soviet 政府ノ再考ヲ促シタル電報ヲ發シ五月二十六日附無線電信ヲ以テ「チチェリン」ハ前回同様ノ態度ヲ固持シ波蘭ノ攻撃ニ依リ誘起セラレタル事態ノ改善セラルル迄ハ聯盟視察団ノ入露ハ危険ノ虞アルヲ以テ実行困難ナル旨回答シ来レリ從ツテ今日ニ於テハ從來平和人道ノ大義ヲ旨トシ来レル理事会ハ単ニ此拒絕ヲ了承シ全責任ヲ Soviet 政府ニ嫁スル外致方ナキニ立至リ云々ノ宣言書ヲ朗読セリ

(三)ニ関シテハ事務総長ヨリ「チットニ」議長ノ承認ヲ經テ Vesnitch 氏 Serbs Croats, Slovenes 國首相就任ノ為其代リニ在瑞典諾威公使 Hagerup 氏ニ対シ招請ヲ發シ其受諾ヲ得ルコト及伊國 Fadda 教授ノ代リニ同國外務省法

別電一 同日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五

二二号

波斯問題ニ関スル理事会決議文

二 同日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五

二三号

ナンセン博士報告要領

第五二二号 (六月十九日接受)

第六回國際聯盟理事会第二

六月十六日午前開催公開會議ノ模様大要左ノ通

「カーゾン」卿ハ各国理事ニ対シ歓迎ノ意ヲ表シタル後十四日以来二回ノ重要會議ヲ重ネ(一)波斯ノ申出(二)遣露委員(三)國際法學者會議及(四)俘虜送還ノ四案件ニ考量ヲ加ヘタルヲ述ベ先ツ波斯外務大臣 Firouz 親王ヲ理事トシテ列席セシメタル上自カラ(一)ニ関シテ報告シ五月下旬「ソヴィエツト」海軍ハ波斯政府ニ何等通牒スルコトナク又同政府ヨリ何等挑発ヲ受クルコトナクシテ Enveli 攻撃ヲ行ヒタル趣ヲ以テ Firouz 親王ヨリ聯盟規約第十条及第十一条ニ基キ理事会開催ノ要求アリタル次第ナルガ本件ハ規約ノ規定ニ基キ理事会ノ行動ヲ求メタル第一ノ申出ニシテ重要ノ案

律顧問首席 A. Ricci Bohatti 氏ヲ又「フロマシエー」氏ノ代リニ巴里大学國際法教授 A. de la Pradelle 氏ヲ招請スルニ決定シタル事並ニ海牙平和宮ニ於ケル開會式ニ Bourgeois 氏出席シテ理事会ノ名ニ於テ各国委員ニ歓迎ヲ表センコトヲ依囑スルノ決議ヲ公表セリ

(四)ニ関シ Nansen 博士ハ其報告文ヲ朗読シ(大要別電乙第五二三号ノ通) Curzon 卿ハ同博士ノ提議ニ基キ理事会ヨリ(a)俘虜ノ帰還ニ便宜ヲ供与セル「エストニア」芬蘭兩國政府ニ感謝狀ヲ送ルコト(b)關係諸國政府ニ対シ適當ニ伝染病伝播ノ予防方法ヲ講スル条件ニテ俘虜ノ通過ヲ許可アリタキ旨ノ申入ヲ為スコト(c) International Committee on Relief Credits ニ代表者ヲ有スル諸政府ニ対シ右委員會ニ提供セラレタル資金ヲ俘虜送還ノ目的ニ使用スルノ許諾ヲ与ヘンコトヲ申入ルコト(d)赤十字國際委員會總裁 Ador 氏ニ対シ從來俘虜送還ニ関シ同委員會ノ為シタル事業ニ対シ謝意ヲ表スルト同時ニ將來 Nansen 博士ト協力アリタキ旨申入ヲ送ルコトニ決議シタル旨ヲ公表シ尚最近希臘、塞爾比亞、勃牙利間相互俘虜送還ノ問題提起セラレタルガ既ニ Nansen 博士ニ於テ之ヲ公表シ居ルニ付同博

士ヲシテ非公式ニ調査ヲ進メ其裁量ニテ処弁セシムルコトニ決定シタル旨ヲ報告セリ次イデ前回理事会開催地が伊國ナリシ關係ヨリ Katani 氏ニ於テ Curzon 卿ニ對シ議長ノ任ニ當リタル勞ヲ謝スルノ辭ヲ寄ヤ Curzon 卿之ニ答ヘタル上閉会ヲ宣セリ
欧米各大使ハ郵報セリ

(別 電一)

六月十七日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五二三号

波斯問題ニ関スル理事会決議文

第五二三号別電甲

(六月二十日接受)

Whereas Prince Firuz has informed Council of communications recently exchanged between his Government and Soviet authorities, and has stated conditions which were presented to Soviet authorities by Persian Government, in particular on June 12 after receipt of radio from Soviet; and whereas fulfilment of these conditions would restore territorial integrity of Persia, the respect for and preservation of which are guaranteed by members

Soviet authorities.

In the meantime Council requests Persian representative to keep it informed of the march of events through Secretary General of League of Nations.

Chinda.

(別 電二)

六月十七日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五二三号

ナンセン博士報告要領

第五二三号 別電乙

(六月二十一日接受)

「ナンセン」博士報告要領

四月十一日聯盟理事会ノ依頼ヲ受ケタルヲ以テ俘虜送還問題特ニ在西北利亚俘虜問題ノ調査ニ従事シ關係諸国代表者、赤十字國際委員会、諸國赤十字社、「ジェネヴァ」赤十字聯盟等ト商議協力セリ調査ノ結果俘虜現在數ハ到底正確ニ知ルコト能ハザルヲ明カニシタルガ旧露帝国内ニアル俘虜總數ハ二十五万人ヲ下ラザルベク独逸其他歐洲諸国内ニアル露国人俘虜及其他ノ俘虜總數モ又略ボ同断ナルベシ露国内ノ俘虜數ハ西部西北利亚中露南露ニ多ク東部西北利

of League by Article 10 of Covenant and would in this respect give satisfaction to legitimate requirements of Persian Government ; and whereas according to declarations made by them on several occasions and through various channels, Soviet authorities have already ordered evacuation of Persian territory, and have asserted their peaceful intentions towards Persia ; Council considers that Persian Government has acted in best interests of peace, and that it has rightly appealed to fundamental principle of cooperation laid down in Covenant in asking League of Nations to declare its willingness to maintain territorial integrity of Persia in accordance with Article 10 of Covenant.

The Council decides that before advising upon means by which obligations prescribed by Covenant shall be fulfilled, it is desirable, in order to give every opportunity for success of conversations now in progress, to await result of promises made by

亜ニ於ケル數ハ過大視セラレ居タル傾アリ之等俘虜ハ過去數年間物質的精神的ニ苦惱ヲ受ケ死亡者ノ數モ莫大ニシテ今日生存者ヲ帰還セシムルハ人道上政治上緊切事ナリ然ルニ彼等ノ帰還ニハ政治上ノ障害即チ(a)俘虜所在地方ノ政府ノ(不明)及通信ノ困難(b)露國ト外界トノ交通絶對断絶(c)俘虜所屬国政府ノ送還費調達不能ノ三原因ヨリ問題ヲ至難ナラシメタリ從ツテ休戦後數ヶ月間ハ浦塩斯德以外ノ通路ニ依リ帰還ヲ取計ハント試ムルモノスラ無カリシ実情ナリ乍併此道路ハ遠路ニシテ入費多ク到底全俘虜ヲシテ之ニ依ラシムルコト能ハズ然レドモ最早本年冬期以前ニ英米船ニテ浦塩通路ニ依ラシムヘキ「チェコスロヴァク」其他ノ俘虜ハ殆ド全部送還ヲ了スヘシト思考ス此上ニ大部分ノ俘虜ハ「ソヴィエツト」政府ノ協力ニ依リ又在歐露国俘虜ト交換ノ条件ニテ帰還セシムルノ外ナク赤十字國際委員会ノ發意ニテ最近露獨間ニ此趣旨ノ協定成立スルニ至レリ尚「エストニア」及芬蘭政府ノ好意ニ基キ Narva 經由ニテ俘虜交換ノ道開ケ尚 Bjorks (O.) 經由線モ遠カラズ開通セラルヘク之等婆羅の通路ヲ十分利用スルニハ露国内ニ於ケル鉄道便及ヒ独乙ノ北岸ニ至ル船便ノ良好ナルヲ要スル処

鉄道ノ便宜ハ想像以上良好ニシテ船舶ノ供給十分ナラバ冬期以前此経路ノミニテ六万人以上ノ俘虜ヲ交換シ得ヘシ依ツテ目下ノ処此通路ノ開拓ニ全力ヲ注グヲ要ス此目的ノ為船舶其他必要ノ物品調達ノ目的ニテ赤十字國際委員會ノ資金流用方ニ關シ同委員會ト交渉中ナルガ關係諸國ノ同意ヲ得ヘシト囑望シツツアリ万一交渉失敗セハ他ニ資金調達ノ方法ヲ見出スノ外ナシ又上述婆羅の通路ノミニテハ Turiestan 及南露僻陬ノ地方ニアル俘虜ヲ帰還セシムルニ便ナラザルヲ以テ彼等ノ為ニハ尚他ニ通路ヲ見出スヲ要ス之ガ為ニハ露國ト接壤スル諸國ノ協力援助ニ待タザルベカラズ故ニ諸國ガ「エストニア」芬蘭同様本件ニ關シ好意ヲ示サレンコトヲ切望シテ止マザルナリ

在欧米各大使ヘ郵報セリ

一二九 六月二十二日 閣議決定

波蘭ニ於ケルチブス予防救援ノ為ノ釀出金ニ

關スル件

曩ニ本年三月巴里ニ於テ開催セラレタル第三回國際聯盟理事會ニ於テ波蘭ニ於ケル窒扶斯予防救援ノ説起リ其ノ決議

ヲ以テ四月倫敦ニ開催ノ聯盟附屬國際保健衛生會議ニ附議スル事トナリ該會議ハ右窒扶斯予防救援ノ為聯盟ノ下ニ大規模ノ檢疫及治療方法ヲ行フヘキ救護委員會ヲ組織シ其費用ハ國際聯盟ヨリ釀出スヘシトノ決議ヲナシタル処本年五月羅馬ニ開カレタル第五回聯盟理事會ニ於テ右費用分担ノ基礎ニ就キ討議ノ次第アリ其結果右救護所要費用貳百萬磅調達ノ為ニハ聯盟事務總長ヲシテ各國政府ニ對シ通牒ヲ發セシムル事ヲ決議シタル趣當時在仏松井大使ヨリ電報ニ接シタル処今般聯盟事務總長ヨリ英國政府ハ前記通牒ニ對シ他國ノ參加ヲ條件トシテ本件窒扶斯予防費釀出方主義ニ於テ贊同ノ意ヲ表スルト共ニ本件急速実行ノ必要ヲ認メ日米仏伊ノ四國ヨリ同額釀出ノ條件ヲ以テ差當リ五萬磅ノ額ヲ何時ニテモ釀出スル旨申出タル趣ヲ以テ帝國政府ニ對シ右同様ノ趣旨ニ依リ英國政府釀出額ト同額ヲ釀出アリタキ旨事務總長ヨリ傳達シ来レリ然ルニ帝國政府ニ於テハ波蘭ニ於ケル病害ノ狀況ニツキ未ダ詳知スル処ナク假令之ヲ詳知スルモ其救済ニ對シ歐洲諸國ノ如ク痛切ナル利害ヲ感スル能ハザルハ帝國ノ地理的關係ニ顧ミ自然ノ數ニシテ又之ヲ慈善問題トシテ考量スルモ帝國ニ於テハ同國ノ窮狀ニ對シ

充分ノ同情ヲ有スルモ之カ救済ノ為國費ヲ寄与スルカ如キハ未タ先例ナキ事ニシテ議會ノ協賛ヲ經ルニ先チ予メ帝國政府ヲ拘束スヘキ言質ヲ与フルヲ得ザルノミナラズ帝國ト波蘭トノ諸般ノ關係尚稀薄ナルニ顧ミ帝國議會カ之ニ協賛ヲ与フルヤ否ヤニツキテハ帝國政府ニ於テ充分ノ自信ナク一旦提案シタル上否決サルルカ如キハ國交上面白カラザル影響アルヘキニツキ右費目ノ予算ヲ議會ニ提出スルニモ躊躇セザルヲ得ザル次第ナリ依テ帝國政府ニ於テハ差當リ本件提議ニ對シテハ応諾シ難キ旨前記ノ趣旨ヲ体シ婉曲ニ在外使臣ヲシテ事務總長ニ回答セシムル事ト致度

右閣議決定ヲ請フ

(欄外註記)

「大正九年六月二十二日閣議決定(内田外相印)」

一三〇 六月二十三日

内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛(電報)

波蘭チブス予防救援釀金問題ニ關シ回訓ノ件

第二八六号

貴電第五〇八号ニ關シ帝國政府ニ於テハ波蘭ニ於ケル病害

三 國際聯盟理事會ニ關スル件 一三〇

ノ狀況ニツキ未ダ詳細ノ報道ニ接セズ又詳細ノ事情ヲ知悉シタリトテ其ノ救済ニ對シ歐洲諸國ノ如ク痛切ナル利害ヲ感ズル能ハザルハ帝國ノ地理的關係ニ顧ミ自然ノ數ナルノミナラズ之ヲ慈善問題トシテ考量スルモ帝國政府ハ同國ノ窮狀ニ對シテハ充分ノ同情ヲ有スルモ之ガ救済ノタメ國費ヲ寄与スルガ如キハ未ダ先例ナキコトニシテ帝國議會ノ協賛ヲ經ルニ先チ予メ帝國政府ヲ拘束スベキ言質ヲ与フルヲ得ズ且帝國ト波蘭トノ諸般ノ關係尚稀薄ナルニ鑑ミ帝國議會ガ之ニ協賛ヲ与フルヤ否ヤニツキテモ帝國政府ニ於テ充分ノ自信ナク一旦提案シタル上否決サルルガ如キハ國交上面白カラザル影響アルベキニツキ右費目ノ予算ヲ議會ニ提出スルニモ躊躇セザルヲ得ザル次第ナリ依テ貴官ハ前記趣旨ヲ体シ帝國政府ニ於テハ差當リ本件提議ニ對シテハ応諾致シ難キ旨ヲ婉曲ニ聯盟事務總長ニ回答セラレタシ尤モ今後五大國ノ一タル帝國ノ立場トシテ本件提議ヲ飽迄拒絶スルコト面白カラズト認メラルル場合生ズルニ於テハ他國ト同額ノ釀金ハ到底六ヶ敷キコトナランモ幾分ノ釀金ニ付テハ尚再考ノ余地ナキニシモアラズト思考セラル右御合置アリタシ

右在仏大使へ転電アリタシ

一三一 七月十五日 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第七回聯盟理事会ニ於テアーランド島所屬問題等討議報告ノ件

第六〇七号 （七月十六日接受）

一、「アランド」島所屬問題ヲ主題トシ聯盟理事会本月九日以後倫敦ニ開催サル之ヨリ先本官代理出席スヘキ旨松井大使ヨリノ電報アリ依テ予メ本官帝國政府代表者トシテ出席スヘキ旨ヲ通告シ「セント、ジユース、パレーヌ」内閣催ノ同理事会ニ出席セリ
列席理事

英、「バルフォア」

仏、「ブルジョア」（同氏帰仏ノ為メ十二日ハ在英大使）

伊、「インペリアリ」（在英大使）

西班牙、「キノネス、デ、レオン」（在仏大使）

白、「モンシユール」（在英大使）

伯刺西爾、「ガスタオ、ダ、クンニャ」（在仏大使）

徒ニ瑞典國論ノ沸騰ヲ来シ瑞芬國交ヲ危殆ニ瀕セシムルモノニシテ本問題ハ元国内關係ニ起因セルモノナラムモ今ヤ既ニ國際の影響ヲ有スルニ至レリ瑞典ハ一千九百十八年一月四日芬蘭ニ承認ヲ与ヘタルモ右ハ単ニ其ノ正当政府タルコトヲ承認セルニ止マリ未タ其ノ國境線ニ承認ヲ与ヘタルモノニアラズ又瑞典ハ同島ノ併合ヲ望ムモノニアラズ單ニ島民ノ感情ニ動かサルルモノナリ

（芬蘭ノ主張）同島ハ地理上芬蘭ニ屬スル而已ナラス通商關係亦芬蘭ト密接ナリ住民中瑞典人ノ比例ハ同島特異ノ事態ニアラズシテ芬蘭全土ト大差ナク境界線ヲ引カムニモ同島ヲ含マズシテ之ヲ確定セムコト難シ自決權ハ本件ニ適用ナク少数民族權ノ適用コソ至当ニシテ其ノ權利ハ自治權ノ附与ニ依リ實在セリ

右両代表力陳述ヲ重ヌルニ当リ瑞典側力併合ハ島民大多數ノ希望ナルヲ主張セルニ對シ芬蘭側ハ右ハ瑞典側ノ教唆運動ニ基クモノナルト島民ガ露國過激派ノ西漸ヲ恐レ予メ瑞典ニ合シ其ノ厄ヲ免レムト欲セルカ為メナルヲ弁シ同國沿海地方住民ノ瑞典人ナルニ願ミ「アランド」島ニシテ一旦分離セムカ他地方モ之ニ倣ヒ芬蘭ハ遂ニ其ノ

希臘、「カクラマノス」（在英大使）

二、「アランド」島所屬問題

（一）九日午前開會劈頭「バ」氏ハ本件ノ報告者トナルヘキ關係上議長ヲ「ブルジョア」氏ニ譲ルコトトナリ議長ハ先ヅ英國政府カ friendly right トシテ聯盟規約第十一条ニ基キ聯盟ニ注意セル「アランド」島所屬問題ノ討議開始ヲ宣シタル後同討議ニハ瑞典ハ規約ニ依リ又芬蘭ノ代表者ヲモ臨時ニ加入セシムルコト妥当ナルヘキ旨ヲ理事会ニ諮リ瑞、芬両代表者（瑞典總理大臣並ニ在仏芬蘭公使）ヲ招致セリ両代表ハ理事ノ質問ニ応シ今後モ歴史、地理、法律及ヒ經濟ノ各方面ニ亘ル材料ヲ基礎トシテ作成セラレ予メ聯盟ニ提出セル意見書ノ趣旨ヲ布衍シテ陳述スル処アリタルカ其ノ大要左ノ如シ

（瑞典ノ主張）島民ハ各般ノ方面ヨリ之ヲ見テ瑞典人ト言フヘク常ニ瑞典ニ復歸セムコトヲ望ミ現ニ最近ノ人民投票ニ於テ九割六分ハ復歸ノ希望ヲ表示セリ自決權ハ須ク茲ニ適用セラルヘキモノニシテ芬蘭政府ノ与ヘタル自治的制度ハ島民ノ欲セザル処ナリ芬蘭政府カ目下同島ニ對シ採リツツアル軍隊派遣、主動者逮捕等ノ高圧手段ハ

存在ノ意義ヲ失フニ至ラムト訴ヘ又英國政府ハ其ノ承認ニ當リ何等ノ留保ヲモ為サズ「アランド」島ヲモ其ノ國境ノ一部トシテ認メ露國過激派政府亦同島ヲ芬蘭ノ一部トシテ確認シ（此ノ点ニ關シテハ事務局側ヨリ「チチュリン」ハ同島ヲ芬蘭領トシテ認メザル趣旨ノ參考電報ヲ提出シ公使ノ弁明アリタリ）タルコトヲ叙述シタルヲ特記スヘキ点ナリトス

右聴取後理事会ハ瑞典代表ノ要求竝ニ芬蘭代表ノ同意ニ基キ「アランド」島代表者ノ陳述ヲ聴クコトトセリ

（二）九日午後紛争國代表ヲ除キ理事会秘密會ヲ開キ協議スル処アリタルカ特ニ注意ヲ惹キタルハ「アランド」島防備問題ニシテ同島防備撤廢ノ必要ニ願ミ紛争國ノ本点ニ關スル態度ヲ明カニシ置クコトトシ次ニ聯盟規約ニ準拠シ如何ニ本紛争ヲ処理スヘキカニ付主トシテ英仏理事ヨリ意見ノ提供アリ法律顧問ノ献策ヲモ加味シ左ノ通り決定セリ

先ヅ本件ハ芬蘭ノ主張セル如ク果シテ國內問題ナリヤ否ヤヲ探究スルヲ要ス若シ國內問題ニアラズトセバ第十五条第三項ニ依リ解決ヲ計リ猶ホ解決不可能ノ場合ニハ第

十五條第四項ニ依リ勸告ヲ与フヘク若シ国内問題タル場合ニハ第十五條第三項ノ方法ヲ採ラズシテ他ノ方法ヲ講究スヘク但シ戰爭ノ危険アルニ於テハ第十一条第一項ノ手段ヲ採ルヘシ

(三)十日午前通常会ヲ開キ前日ノ決議ニ基キ先ツ島民代表者ノ陳情(島民ハ芬蘭政府ノ与フル自治權ヲ拒ミ瑞典復歸ヲ希望ストノ趣旨)ヲ聴キタル後再ヒ兩國代表ノ弁論ニ移リ其ノ後議長ヨリノ質問ニ依リテ將來同島無防備ニ関シテハ兩國共ニ同意ナルコトヲ確メ得タリシガ兩者再ヒ前日陳述ノ筋ヲ追ヒテ反覆縷述シ公使ハ本件ノ性質国内的ノモノナルヲ力説シテ自治權ハ能ク瑞典ノ杞憂スルカ如キ革命勃發ヲ予防シ得ヘシト主張シ首相ハ之ニ對シ公使ノ觀測ハ樂觀ニ過ク現状ノ儘ニ放棄セバ必ズヤ革命等ノ紛乱惹起スヘシ併合ハ素ヨリ瑞典ノ意思ニアラズシテ只島民自發ノ希望ノ存スル処ヲ示スニ過ギズト弁駁スル等何等新展開ヲ見ズシテ午前ノ會議ヲ終了シタルガ前記秘密會決定ノ処分方針ヲ兩代表ニモ示シ右ハ茲ニ兩代表ヲモ加ヘタル理事会全会ノ決定方針トナレリ

(四)十日午後、前日午後同様秘密會ヲ開ク「バ」氏ヨリ紛

ニ提出ノ運ビトナラムコトヲ希望スル意嚮ナリシ)

(五)十二日午後四時公開理事会開催、「バ」氏本件ノ經過ヲ發表シ前記委員ノ任命ニ付更メテ各理事ノ外瑞、芬兩代表ノ賛成ヲモ得茲ニ其ノ局ヲ結ヒタリ

本件ハ聯盟ノ措置スヘキ此ノ種問題初メテノ場合ニシテ興味アリ世人ノ注意ヲ惹クヘカリシ処公開理事会ハ上記ノ如ク極メテ形式的報告會ニ止マリ当事者討論ノ實際ヲ周知セシムル能ハズ為メニ外間ニハ理事会ノ態度ニ對シ不滿ヲ抱ケルモノアリタルガ如シ公開理事会ニ於テハ本問題ノ外別項記述ノ財政會議ニ関スル事項而已ヲ發表セリ

三、前記「ア」島問題以外審議セル問題次ノ如シ

(一)、「サール」地方最高法院判事恩給

六月末「サール」地方行政委員ヨリ事務總長ニ宛講和條約上ノ義務ニ依リ同地方最高法院ヲ設置スヘキ其ノ判事ハ事務ノ性質上高級者ニシテ從テ俸給モ巨額タルヲ要シ且ツ各國ノ法令ニ見ルニ判事ハ終身官又ハ少クモ恩給權アリ同地方ニ於テ恩給ヲ与ヘズシテ聘僱セムトスルコト困難ナルノミナラズ同委員會ガ永久的タラザル關係上

争國ノ主張ハ充分ニ聴取シタルモ直チニ之ニ依リ裁定ヲ下シ難キコト各理事ノ一致スル処ナルヘシ依テ先ツ本件ハ国内事項ナリヤ否ヤヲ決定スルト同時ニ兩代表陳述ノ事實ニ就テ現状調査ヲ為スヲ要ス右目的ノ為メ二個ノ委員會ヲ設クルコト可ナルヘシトノ提案アリタルカ伊國大使ハ右二個ノ委員ヲ同時ニ指名スルニ於テハ紛争ノ法律的性質ニ関シ理事会ハ國際的ノモノト為スノ意見ニ傾ケルカ如ク誤解セラルル虞ナキニアラズト注意シ結局差当リ法律的研究委員ノミニ付兩當事國ノ同意ヲ求ムルコトニ決シタリ而シテ右委員ノ權限ヲ確定スルコト左ノ如シ

委員會ハ本件ハ規約第十五條第八項ニ云フ国内事項ナリヤ否ヤ並ニ「アランド」島無防備ニ関スル國際的義務ノ現状ニ関シ意見ヲ提出スヘシ

次テ事務總長ノ注意ニ依リ兩國ヨシテ事態ヲ今日以上ニ不良ナラシメザルヲ誓ハシムルコトニ決シタル後瑞芬兩代表ヲ招致シ右委員任命ニ関スル同意並ニ現状維持ニ就テノ保障ヲ求メ何レモ兩代表ニ於テ異議ナキモ右委員トシテ三名ノ國際法大家指命ヲ事務局ニ委ネタリ(理事ノ多数ハ右委員ノ報告ハ「サン、セバスチアン」理事会迄

人ヲ得ルコト不可能ナリ依テ同委員ハ常設國際裁判所判事ニ對スルト同一ノ責任ヲ該法院判事ニ對シテモ採ラムコトヲ聯盟ニ望ミ若シ聯盟自身ニ於テ恩給ノ支出ヲ為シ得ザル場合ニハ國際諸國ニ對シ判事ヲシテ其ノ本國ニ於テ昇進及ヒ恩給ノ權利ヲ留保セシムル様交渉アリタキ旨ヲ申請シ來レリ右ニ對シ(報告者希臘公使)講和條約ニ依レバ同地方ハ自ラ財政ヲ措弁シ得ルモノニシテ且ツ聯盟ハ同地方ニ對シ財政的援助ヲ与フヘキ義務ナキニ依リ聯盟ハ恩給ノ保障ヲ為シ難ク又第二ノ要求ニ関シテハ行政委員ハ講和條約ニ依リ行政ノ全權ヲ与ヘラレタルモノナレハ直接關係國ト交渉スル方可然ト回答スルニ決ス

(二)、第一回總會開催地

本件ニ関シ事務總長ヨリ第五回理事会ノ決議ニ基キテ發シタル「ブラッセル」ヲ選定アリタキ旨ノ電報ニ對シ大統領ヨリ六月二十一日附ヲ以テ十一月一日ヨリ十五日ノ間ニ招集スルコトハ異議ナキモ

(イ)、聯盟規約ハ「ジュネヴァ」ヲ聯盟所在地ト定ムルコト

(ロ)、瑞西政府ハ同地ニ第一回總會ノ開催ヲ望メルコト

等ノ理由ニ基キ不同意ヲ唱ヘ來リ総長ハ重ネテ
(イ)、聯盟規約ハ聯盟ノ所在地ヲ定ムルモ右ハ第一回總會
開催地ニ關係ナキコト

(ロ)、聯盟ハ未タ右瑞西政府ノ希望スルモノヲ承知セザル
コト

(ハ)、当初聯盟所在地トシテ白都ガ「ジェネヴァ」ト共ニ
候補地トセラレシガ右後者カ之ニ決シタル關係上前者
ハ第一回總會開催地トシテ有力ナル理由アルコト

等ヲ述ヘ大統領ノ再考ヲ求メタル処大統領ハ依然自説ヲ
執リ不日「ジェネヴァ」ニ於ケル總會招集状ヲ送付シ來
ルヘキ旨七月九日回電アリタリ依テ理事会ハ之カ措置振
リ等ヲ議シ白耳義大使ノ發議ニテ從來ノ往復ハ総長名義
ナリシニ依リ更ニ理事会ノ名ヲ以テ大統領ノ考量ヲ請フ
コト可然トノコトニ一決シ且ツ國際財政會議ニ關連シ理
事会ニ來合セタル「アドール」氏カ瑞西政府ハ「ブラッ
セル」變更ニ異議ナキ旨ヲ語リタルニモ顧ミ「バルフォ
ア」氏電文案ヲ起草シ理事会之ヲ容レタリ

四、「サン、セバスチアン」理事会ノ議題（括弧内報告者
国名）

権限ニシテ印度ヨリノ申出ハ受理セザルヲ得ズ依テ議題
トナス必要アリト説明シ猶ホ關係書類ハ数日中ニ理事ニ
配付スル旨ヲ附言セリ（内）委任統治問題ハ此ノ上遷延シ
難シトノコトニテ遂ニ議題ノ内ニ容レルルコトトナレ
リ

猶ホ本理事会中配付セラレタル印刷物一切本報告ト共ニ
松井大使ニ転送ス

一三二 七月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

サン、セバスチアン理事会ニ出席ノ為随員帶
同出發ノ旨報告ノ件

第二二六号 （七月三十日接受）
San Sebastian 聯盟理事会ハ本月二十七日開会ノ筈ナリ
シ処三十日ニ日延トナリ本使一行（長岡參事官夫妻、栗
山、谷、横山、宮腰、僕二名）九名二十八日夕特別列車ニ
テ二十九日正午頃 San Sebastian 着ノ予定ニ付急ヲ要ス
ル電信ハ Ambassador Japonais San Sebastian 宛御
發送ヲ請フ尚常設軍事委員會ハ八月三日彼ノ地ニ開催ノコ

(一) 理事会ト總會トノ關係（英）
(二) 「サール」境界劃定委員經費支弁（希）
(三) 聯盟規約第十六条ニ關スル準備手段（伊）
(四) 國際労働理事会加入ニ關スル印度ノ要求（日）
(五) 第二回予算（西）

(六) 常設保健機關（伯刺西爾）
(七) 白都國際協會ノ設立スル大学ニ對スル聯盟ノ庇護（仏）
(八) 白都國際協會ニ對シ聯盟ヨリ千五百磅支出（仏）
(九) 聯盟規約第二十二条ヨリ生スル聯盟ノ責任（白）
(十) 万国赤十字協會回答來翰（希）

(十一) 陸海軍及ヒ航空問題ニ關スル常設顧問委員ノ設置（仏）
(十二) 國際法律家委員會（仏）
(十三) 交通ニ關スル大使會議所感（西）

此ノ外総長ヨリ波蘭ニ對スル窒扶斯防止、俘虜、統計委
員会ノ設置及ヒ「アランド」島問題ニ關スル処置ニ付報
告アル筈

右議題中四ニ關シ本官ハ労働理事会ニ於テ講究中ニ屬ス
ル趣ヲ注意シタル処総長ハ右ハ國際労働局長ヨリモ申出
アリタルガ主要産業國ヲ決定スルハ規約上聯盟理事会ノ

トトナリタルヲ以テ我陸海軍側（渡辺伊丹兩少將前田岡田
兩大尉）及海軍側（大角大佐小林少佐）一行ハ各八月一日
当地發二日先方着ノ予定
在西班牙公使ニ転電ス

一三三 八月一日 在仏国松井大使（サンセバスチアン
出張中）ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第八回聯盟理事会ニ於テルール、ザール及國
際鉄道國際交通會議準備委員會國際統計委員
会並アーランド島ノ諸問題討議報告ノ件

第二号 （八月四日接受）
第八回聯盟理事会ノ第一
七月三十日午後五時「サン、セバスチアン」俱樂部事庁（
Palacio de la Diputacion）ニ於テ開会出席者左ノ通
英「バルフォア」、仏「ブルジョア」、伊「チットニー
」、西「キノネス」（議長）、希臘 Sfassio、白「イー
マンス」、伯刺西爾 Da Cunha、事務総長及本使
議事要領左ノ通
(一) 「ルール」地方境界劃定委員會ノ費用ハ本年一月十六日

「パリ」聯盟理事会決議第三條ニ依リ同地方政府ノ負担タル処本件費用案外ノ多額ニ上リ之カ支出ニ困難ヲ感ズルニ付キ是ヲ關係國間ニ分配セシムル様本理事会ノ再考ヲ求ムル旨行政委員長ヘ申出デアリ會議ハ前記決議ヲ取消シ従前最高會議決定ノ通仏独兩國ノ分担ニ帰セシムルニ決シ其旨兩國政府及同地方政府並ニ同委員長宛通告スルコトトス

(二)「ザール」地方行政委員長 Rautt 氏ノ休暇中同氏代理トシテ Moltke 伯ヲ又仏國副委員トシテ Morize 氏ヲ任命ノ件承認ス

(三)國際鐵道ニ關スル通切符、関税及旅行等ノ問題ヲ聯盟交通委員會ノ研究ニ附スル為メ是ヲ同委員會ニ移牒シ置ケル旨事務総長ヨリ報告アリ承認セラル(去年十月十二日大使會議決議参照)

(四)國際交通會議準備委員會ハ本年五月十九日聯盟理事会ノ決議ニ基キ聯盟第一回總會ノ承認ヲ經テ今後成ルベク速ニ國際交通會議第一回總會ヲ開クノ準備ヲ為シ且ツ此ノ交通會議ニ提出スベキ各種議案(交通(脱)電報参照)ヲ審議確定シタル結果

(イ)米國ガ國際交通上重要ノ地位ヲ占メ居ルニ鑑ミ是ガ参加

案ヲ起草セシメ次回ニ於テ裁決スル事トス

(五)赤十字事業ニ對シ聯盟ノ援助ヲ求ムル旨ノ同本部長 Ador ノ來翰ニ對シ聯盟ハ該事業ニ満腔ノ同情ヲ表シ是ニ精神的援助ヲ惜マザルベキ旨ノ回答案ヲ可決ス

(六)國際統計委員會ノ構成ニ關スル本年五月拾九日理事会決議ニ基キ委員氏名確定ノ分ニ付事務総長ヨリ報告アリタル処「チットニー」ヨリ右委員ヲ拾名限リト為スベキ旨提議シタルヲ以テ本使ハ帝國政府ニ於テモ將來委員ヲ任命シ得ルノ余地ヲ存セシメ度キ事ヲ主張シ其ノ場合ニハ勿論拾一名ニ増員シ得ル事ト決定セリ

(七)「アーランド」島問題ニ關シ七月十二日倫敦理事会ノ決議ニ基キ Larnade (仏) Staytuen (蘭) Huber (瑞西)ノ三委員ハ八月三日巴里ニ第一回會合ノ事トナリタル旨事務総長ヨリ報告アリ本件ニ關聯シ次回理事会ノ招集期日問題トナリ

(A)先ヅ前記三委員ノ研究ノ結果ヲ聴取シ是ヲ瑞典及芬蘭兩國政府ニ通告スル為メ理事会ハ右三委員ノ會合後直チニ開催セラルベキヤ否ヤニ付議論アリタルモ何等纏リ着カズ

(B)本件ガ聯盟規約第拾一條ノ臨時理事会招集ノ理由トナル

ヲ求ムルノ必要アルコト

(a)右交通會議開會迄ニ聯盟ニ加入スル國モアルベク又同會議ニ於テ聯盟以外ノ國ノ専門家ヲモ招致スルノ必要アルベキヲ慮リ且(b)本件ハ専門事項ニ屬スルガ講究ニ多クノ時間ヲ要スルニ顧ミ今ヨリ予メ前記諸議案及關係書類ヲ參考ノ為メ聯盟國タルト否トヲ問ハズ各國政府ヘ送附シ置クノ要アルコト

(イ)右交通會議議長ハ聯盟理事会ニ於テ指名アリタキコトノ三点ニ付理事会ノ考慮ヲ求メ來レリ

右ノ内(イ)米國招請ノ件ハ大体異議無カリシモ(ロ)關係書類ヲ各國政府ニ送附スルノ件ニ關シ「ブルジョア」ヨリ独逸其ノ他聯盟國タラザルモノヲ該會議ニ招集スルヤノ誤解ヲ避クル為メ單ニ Information トシテ送附スルモノナル事ヲ明記スルノ必要アルヲ注意シ「バルフォア」ノ提議ニ依リ本理事会終了迄ニ事務総長ヲシテ右送附書案ヲ起草提出セシムルニ決ス又「ブルジョア」ハ本件準備委員會ノ決議事項ハ單ナル提案トシテ先ヅ理事会ニ報告シ次デ理事会ヨリ是ヲ各政府ニ通知スベキモノナル事ハ羅馬ニ於ケル第五回理事会決議ニ徴シ明カナリト注意シ此ノ点ヲ明記セル決議

ヤ否ヤ過般波斯問題ノ場合ヲ例トシテ其ノ判定ハ理事会自ラ是ヲ為スベキヤ事務総長ノ裁量ニ依ルベキヤノ議論アリタルモ是又決定ニ至ラズ

(C)尚臨時招集ノ場合ニ付現在ノ理事ハ他ニモ夫々重要職務ヲ有シ居リ突然各地ニ出張スルハ困難多キ旨「チットニー」ヨリ申出デ是ニ關シ理事会本部常設ノ都合如何ニ付総長ノ意見ヲ求メタルニ「ジェネヴァ」聯盟第一回總會後三ヶ月以内ニハ本部設備ヲ完了シ得ル見込ナル旨答弁アリ七時閉會、尚閉會後「チットニー」ヨリ此ノ際常設軍事委員會ヲ当地ニ開催ノ事トナリタルハ如何ナル次第ナリヤ本來戰爭廢止ヲ唱道シ乍ラ軍事會議ヲ今直チニ開催スルハ伊國輿論ノ疑念ヲ抱ク処アリト云ヒタルガ「ブルジョア」ハ同會議ハ軍備制限実行ノ第一着歩タルヲ以テ輿論ノ誤解ヲ解クニ難カラザルベク又西國皇帝陛下ノ御希望モアリ旁々同國政府ノ此ノ際ノ欲待ニ報ユル為メ第一回軍事會議ヲ茲ニ開ク事又宜ナラズヤト述べ「チットニー」モ納得セリ

~~~~~

一三四

在仏國松井大使（サンセバスチアン  
出張中）ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

理事會ト總會トノ關係國際聯盟協會聯合會ニ  
對スル援助及補助金國際交通會議總會等討議  
ノ件

第三号

（八月四日接受）

第八回聯盟理事會ノ第二

七月三十一日午前十時開會、会場及出席理事前回ニ同ジ

第一、理事會ト總會トノ關係

報告者「バルフォア」ハ両者ノ關係ハ上下兩院又ハ執行權  
ト立法權トニ比スルコトヲ得ズ特別ノ例外ヲ除キ各々同一  
ノ權限ヲ有シ其ノ作用互ニ交錯シ居レリ又之ガ分界ヲ明  
確ニセントセバ却テ各種理論上ノ難問ニ遭遇スベキヲ以テ  
今暫ク此ノ儘トシ置ク方「エラスチシティ」アリテ聯盟ノ  
運用上便宜ナルベシ即チ實際上ハ總會ヨリモ理事會ガ頻繁  
ニ開會スルヲ以テ聯盟ノ事業ノ大部分ハ理事會ニ於テ之ヲ  
處理シ得ベシト雖モ總會モ亦同一ノ權限ヲ有スル次第ナル  
ヲ以テ理事會ニ於テ總會ヲ無視スルノ態度ニ出デズ各個ノ

之ガ審議ヲ避クル趣旨ニ修正スベシト提議シ各理事モ之ニ  
賛成シ右バルフォア、ブルジョア案ニ基キ英仏白及（不明  
）ヨリ成ル小委員會ヲシテ左ノ決議案ヲ作成セシメ之ヲ次  
回ニ審議スルコトトス

右討議中「バルフォア」ハ十一月ノ總會カ言語風習ヲ異ニ  
シ且各自同等ノ地位ヲ有シ各々 Velo ヲ有スル百五十有  
余ノ各國代表者ノ集合ニシテ其間國內ノ議會ニ於ケルカ如  
キ訓練ナク先ツ以テ何人ヲ議長トシテ議事ヲ開カシムヘキ  
カノ難問ヲ解決セザルベカラザル等總會ノ議事ノ困難ニシ  
テ且混雜スルコト想像スルニ難カラスト總會ニ對スル所感  
ヲ述ヘタルガ之ニ關聯シ「チットニー」ハ總會ノ假議長ハ  
國會ニ於ケルカ如ク年長者ヲ擬スルコトヲ得ズ又國會ノ議  
長ガ政府反對ノ態度ニ出ヅルトキハ政府ヲ難局ニ陥ラシム  
ルコト難カラザルト同様ノ理由ニテ總會ノ議長ガ理事會ニ  
敵意ヲ有スルモノナルトキハ理事會ヲ難局ニ立タシムルコ  
ト容易ナルヘク又斯クノ如クナルトキハ理事會ト總會トノ  
關係ニ付總會ニ於テ理事會ニ不利ナル決議ヲ為スヘキハ明  
ラカナリ故ニ總會開會劈頭理事會側ヨリ然ルベクタクトヲ  
弄シ總會ノ議長ニハ理事會ノ議長ヲ擬スルコト緊要ナリト

場合ニ於テ「タクト」ヲ用ヒ機宜ノ措置ヲ取リ以テ兩者ノ  
關係ノ（脱）ノ不備ヲ善用スルノ賢明ナルニ若カズ尤モ理  
事會限リトシテ吾人ハ左ノ原則ヲ定ムルコト難カラザルベ  
シト述ベ左ノ決議案ヲ提唱ス

一、理事會又ハ總會ノ一方ガ處理シタル事項ハ他方ニ於  
テ再議セザルコト

二、理事會ハ總會ニ對シ其ノ事業ノ概要ヲ報告スルコト  
三、聯盟ノ組織ニ關スル事項ハ仮令規約ノ文面上理事會  
ニ於テ之ヲ處理シ得ル權能アリト解セラルル場合ニ於テ  
モ（例之法文上單ニ理事會ノ權限ニ一任シアル場合ノ如  
シ）總會ヲシテ之ヲ處理セシムルコト

右提議ニ對シ「ブルジョア」ハ昨年「ホテル、クリーヨン  
」ノ委員會ニ於テモ兩者ノ關係ニ付第三条討議ノ際既ニ問  
題トナリタリモ委員會ガ此ノ点ヲ明確ニスルノ危険ナルヲ  
慮リ故意ニ其ノ儘トナシ置キタル行懸ヲ述ベ「バルフォア  
」案ニ賛成シ唯決議案ノ第一ノ如クナストキハ一方ノ機關  
ノ「モノポリ」ヲ認ムル結果ヲ惹起スベシトテ同条ヲ一方  
ノ機關ガ既ニ決定シタル事項ニ付テハ他ノ機關ハ之ガ再議  
ヲ為サザルコト尚一方審議中ノ事項ハ成ルベク他方ニ於テ

述ベ各理事モ之ニ同感ノ意ヲ表セリ

理事會ト總會トノ關係ニ關スル原則ハ素ヨリ理事會内部ノ  
大綱ト見ルヘク總會ヲ拘束セザルハ勿論ナルモ總會ヲシテ  
成ルヘク之ニ同意セシムルコト必要ナリ其ニハ何等カノ方  
法ニ依リ之ヲ總會ノ各員ニ知ラシムル必要アリトノ議出デ  
事務總長ヨリ本件ニ關スル理事會討議ノ趣旨ヲ總會各員ニ  
通告シ置クコトニ決ス然ルニ他方總會ニ於テハ必ズ本問題  
ガ劈頭第一ニ起ルヘキ惧アル処斯クノ如キトキハ聯盟力幾  
多重要ナル問題アルニモ拘ラズ其ノ内部ニ於テ總會ト理事  
會トガ互ニ權限ヲ爭ヒ聯盟ノ大事業ヲ閑却シ居ルモノナリ  
ト世間ヨリ非難ヲ受クル嫌アリテ面白カラズトノ議出デ事  
務總長ヲシテ本問題ヲ議セラレザル様總會ノ議事日程ヲ作  
成セシムルコトトス將又「ブルジョア」ヨリ問題ガ愈々總  
會ノ議ニ上ル場合ニハ總會側ト理事會側ニ於テ各委員ヲ任  
命シ其ノ mixed commission ヲ設ケ之ヲシテ兩者ノ關係  
ニ付立案セシムルノ方得策ナルヘシトノ所見ヲ述ベ各理事  
モ之ニ賛同ノ意ヲ表シ居レリ

尚右會議中理事ハ同時ニ總會ニ於ケル當該國ノ代表者ナリ  
ヤトノ質問出デタルガ右ハ派遣國政府ノ意思ニ基クモ元ト



理事ハ当然ニハ總會ニ於ケル代表者ニ非ズ当該國ハ理事ヲシテ之ヲ兼ネシメ得ルコト勿論ナルベシ尤理事會ト總會トハ全然別箇ノ団体ト見ルベク理事會ハ總會ニ吸収セラルル次第ニハ非ザルヲ以テ總會開會ノ際ハ理事會ハ理事會トシテ之ニ臨ムコト必要ナルベシトノ意見アリタリ

第二、「ブラッセル」ニ於ケル Union des Associations Internationales ノ計画ニ係ル國際的講演會ニ對スル聯盟ノ援助並ニ同事務局ニ於テ蒐集ノ各種万国會議ノ決議彙纂出版ニ對スル補助金ノ件

(イ)白耳義ニハ団体又ハ個人ノ發起ニ係ル各種國際的學會數百アリ其ノ内二百余ノ國際協會ハ十年前ヨリ「ユニオン」ナルモノヲ組織シ居レルガ本年秋右事務局ハ外國大學ノ教授ヲ招聘シ國際的講習會ヲ催シ國際聯盟ニ關スル講演ヲモナサシムル計画ヲ立テ右講習會ニ對シ聯盟ノ「パトロナーシュ」ヲ求メ來レル旨ヲ述ベ右様ノ計画ニハ賛成ナルモ之ニ對シ「パトロナーシュ」ヲ与フルコトハ尙早ナルヲ以テ單ニ事務總長ニ於テ事業奨励ノ回答ヲ為サシムベシト提議シ可決ス

(ロ)「ブルジョア」ハ右ノ外前記「ユニオン」ハ各種万国會

議ノ希望及決議ヲ彙纂シ發行スル計画ヲナシ居ル処右ニ對シ出版費補助方ヲ聯盟ニ申出來レリトテ右彙纂(Code)ハ聯盟自身ノ事業ニモ有益ニ付既決予算ノ内ニ於テ千五百磅ヲ補助金トシ支出センコトヲ提議シ可決セラル

第三、國際交通會議總會ノ件

前回討議ノ本件修正決議案ヲ事務總長ヨリ提出可決シ趣旨ハ前電所報ノ通ナリ尚「ブラッセル」代表者ニ於テ右總會開會地ヲ當國「バルセロナ」トセンコトヲ提議シ一同同意セリ

第四、在西比利亞國入俘虜ト在獨露國入俘虜トノ交換ニ關スル「ナンセン」來翰

「ナンセン」ヨリ事務總長ニ宛テ前記俘虜ノ交換の送還ニ付テハ同人ノ斡旋ノ為メ今ヤ其実行ノ運びニ至リタル処今回獨逸政府ニ於テ「ソヴィエツト」政府ハ獨逸ニ對シ右交換送還ニ応ズルニ先ダチ東西比利亞ニ歸還スベキ露國俘虜ニ付テハ予メ浦塩ヨリ各人ノ故郷迄自由ニ通過シ得ルノ保障ヲ得タシトノ條件ヲ附シ來リタル処獨逸政府トシテハ右要求ヲ満足セシムルコト能ハザルモ聯盟理事會ニ於テ同様ノ保障ヲ与フル場合ニハ浦塩行船腹ヲ以テ露國俘虜ヲ送還

シ且ツ其費用ノ立替ニ応ズルコトヲ得ベシトノ趣回答シ來リ右送還問題モ行惱ミノ狀態ニ陥リタルニ付至急右獨逸ノ要求ヲ理事會ニ附議アリ度キ旨ノ書面ヲ送り越セリトテ總長ニ於テ右來翰写配布シ審議ヲ求メタルモ來翰ノ趣旨中不明ノ点アルヲ以テ本件ハ事務局係員ト本使トニ於テ尚研究ノ上理事會ニ報告スルニ決ス本件ニ關シテハ必要ノ場合ニハ追テ御請訓ニ及ブコトアルベシト存ズルモ不取敢右電報ス

欧米各大使へ転電セリ

一三五 八月五日

在仏國松井大使 (サンセバスチアン出張中) ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

常設國際保健機關ノ設置印度ノ大工業國加入

要求等ノ問題討議ノ件

第四号

(八月九日接受)

第八聯盟理事會第三(八月二日午前)

一、常設國際保健機關設置ノ件

報告者伯刺西爾代表者ハ國際保健機關構成案ヲ見ルニ至レル來歴(第二回聯盟理事會決議並ニ在英大使發大宛第三

三 國際聯盟理事會ニ關スル件 一三五

八五号及第四〇二号参照)ヲ述ベタル後原案ニ二三修正ヲ加ヘタルモノニ付理事會ノ採用ヲ求ムルト共ニ之ヲ第一回聯盟總會ニ附議センコトヲ求メ一二修正ノ後理事會ハ之ヲ可決ス

甲、右構成案ノ修正

(イ)構成案前文ニ本機關構成ノ由來トシテ諸種ノ平和條約(殊ニヴェルサイユ條約第十三編全文)ニ基キ聯盟ノ負フコトアルベキ事業ノ遂行ヲ容易ナラシメンガ為云々ノ文句中同括弧内ヲ削ル蓋シ右ノ文句ハ本機關職能(在英大使發大宛四〇二号参照)ノ規定アルニ拘ラズ尙本機關ヲシテ労働事務局ノ權限ニ触レシムルノ虞ナシトセザル旨「アルベール、トーマ」ヨリ注意ノ次第アリタルニ基ク

(ロ)「エグゼキューチヴ、コミチー」ヲ「パーマネント、コミチー」ト改称ス

(ハ)保健機關ノ職能ニ關スル規定ノ以後ニ右職能ノ実行ニ當リテハ羅馬聯盟理事會ニ於テ採用セラレタル各種専門委員會ト聯盟理事會及總會トノ關係ニ關スル決議(往電第九五〇号)ノ精神ニ從フコトノ文句ヲ挿入ス

(イ) 既存条約ノ改定ナシ諸条約案ノ起草ニ関スル規定(在英大使發大臣宛第四〇二号第四)ニ関シ聯盟事務總長ハ本件總會ニ於テ可決シ同議長及医務官ヨリ署名ノ条約案聯盟理事会ニ提出シ且該關係国政府ニ通報スベク同国ハ一年以内ニ右条約案ヲ批准スルカ若クハ事務總長ニ対シ之ヲ批准セザルニ決セル旨並ニ其ノ理由ヲ通告スベク一方總會ノ各員ハ成ルベク速ニ當該代表国ノ決定ヲ求ムル為条約案ヲ其ノ国關係当局者ノ議ニ附スベキコトニ改定増補ス該条約案批准以後ノ手續及效力ニ関スル規定以下ハ原案ノ通

## 乙、理事会ニ於ケル主要議事

(イ)、右甲中(イ)ノ点ニ関シ条約案ハ總會議長及ビ医務長ノ署名ヲ帶ブルモ從來条約ノ批准ニ必要ノ形式タル各国全權ノ署名調印ヲ有セシムルノ規定無キコト恰カモ「ヴェルサイユ」条約第四〇五条労働条約關係規定ノ如クナルニ顧ミ本使ハ右批准ニ関スル困難ヲ如何ニスベキヤニ付理事会ノ注意ヲ喚起シタル処結局「ヴェルサイユ」条約ハ批准ニ関スル一新例ヲ開キタルモノナリ同第四〇五条ハ其一例ナリトノ説重キヲ為シ確然決定スル処無クシテ

## 二、大工業国加入ニ関スル印度ノ要求

本件ニ関シテハ華盛頓労働總會準備委員会時代ヨリ労働側ニ於テ処決ニ苦シミ居ル経緯アリ理事会ニ於テ一刀兩断ノ解決ニ出ヅルハ素ヨリ不可能ナリ左リトテ猥リニ之カ解決ヲ遷延スルハ労働条項第三百九十三条ノ規定ニモ顧ミ甚ダ面白カラズ結局本件ニ利害關係ナキ国ノ一専門家若クハ理事会ノ小委員会ヲシテ専門的研究ヲ遂ゲシメ其ノ結果ニ就キ理事会ニ於テ最後ノ決定ヲ為スノ外ナキ処小委員会ニ於テ直接利害關係国タル本邦代表者ヲ出シ得ルノ機会甚ダ少キ而已ナラズ速ニ適當ノ代表者ヲ得ルコト極メテ困難ナルベキニ顧ミ本使ハ事務局側ト打合セ右専門家ノ候補者トシテ二三ノ諾威人(イ)アルヲ確メタル上大要左ノ通り理事会ニ報告スルコトトセリ即チ先ツ八大工業国ニ関スル倫敦準備委員會決議ノ模様ヨリ華盛頓(脱)シ本年一月十三日印度大臣ヨリ聯盟ニ対シ右印度ノ抗議ノ要求ヲ公然確認スルト共ニ右要求ヲ支持スヘキ統計的材料ヲ送附シ来レルコトヲ述ヘ此ノ上ハ第三百九十三条ノ規定上聯盟理事会ニ於テ何分ノ決定ニ出ヅルノ外ナキ処本決定ノ基礎タル所謂主要工業国タルコトノ決定ハ極メテ困難ナルニ鑑ミ公平ナル一

## 終レリ

(ロ)、本条約ノ効力ニ関シ批准セル国ノミ拘束スルノ規定アルニ鑑ミ英國代表者ハ本件条約ハ元總テノ国家ニ対シ効力アルコト願ハシキニ斯カル規定ヲ要スルハ面白カラザル結果ヲ来スベシト注意シタルガ仏国代表者ハ從來國際條約ニ留保ヲ附シテ批准シタル例無キニ非ズ國際紛議平和的處理條約ノ如シ故ニ留保シテ批准セバ可ナルベシト答ヘ一同之ニ与ス

(イ)、本件機關附隨ノ支出ニ関シ「メデカル、セクレタリー」ニ於テ參ケ月毎ニ予算ヲ編成ストノ規定アルニ対シ英國代表者ハ英國ノ措置ニハ急ヲ要スル場合アルベキニ鑑ミ右規定ニハ不便アルベキ旨ヲ指摘シ一年予算トセンコトヲ(脱)伊国代表者ノ提議ニ基ツキ常時費ニ関スル予算ハ之レヲ一年トスルニ差支無キモ急ヲ要スル場合ハ臨時費トシテ別ニ各国政府ノ同意ヲ得ルコトニ一致ス尚右予算ハ「メデカル、セクレタリー」ヨリ條約委員會ニ提出シ同「コンミチー」ハ之レヲ理事会ニ提出シ其承認ヲ求ム可キコトニ修正ス(此点労働事務局ノ予算ト趣ヲ異ニス)

専門家ニ於テ印度ノ要求ヲ審査セシムルト共ニ自余利害關係諸国ヨリ申出ノ次第ヲモ聴キ且ツ一方「ゼノア」労働理事会ニ於テ本件ニ関シ聯盟理事会ノ諮問ニ応スルヲ厭ハザル旨ヲ決議セルノ事情ニ顧ミ労働側ノ努力ヲ尊重スルノ意味ニ於テ労働側ニ於テ過去並ニ將來論議ノ次第ヲ考量シ本件ニ関スル研究ノ結果ト其ノ研究材料トヲ理事会ニ提出セシメンコトヲ提議シタル処帝國代表者主張ノ下ニ理事会ノ大勢ハ理論ハ兎モ角困難ナル審議ノ結果事實上既ニ成立シ八箇月以來活動シ来レル労働理事会ニ対シ今俄ニ其ノ構成ノ基礎ニ手ヲ触レ印度ノ一国家ヲ脱退セシムルハ甚タ好マシカラザル而已ナラズ右条約實施以前ノ既成事實ヲ翻スハ理論的論拠ニモ疑ナキ能ハズ(此法律論ハ仏国代表者ノ主張ニ係ル)現在労働理事ノ任期タル三箇年ハ暫ク此ノ儘置キ一千九百二十二年理事改選期ニ至ル迄労働事務局側トモ協力シ主要工業国判断ノ基礎ニ就キ充分ノ研究ヲ遂ケ以テ印度其ノ他ノ要求ニ応スルノ準備ヲ為シ置クヘキコト可然トノ議ニ一致シ本使ニ於テ英仏代表者ト協議ノ上右ノ趣旨ノ決議文ヲ次回ニ提出スルコトナレリ猶ホ閉會後仏國聯盟局長ハ我係リ書記官ニ対シ英國以外ノ国ノ態度トシテハ

右延期說ヲ唱フルコト甚ダ「デリケート」ナリシガ「バルフォア」ヨリ此ノ点異議アリシハ望外ノ幸ナリト語レリ  
(理事会議事第五、第六及ヒ第八ハ当地發往電第九号第一〇号及ヒ第一八号トシテ巴里帰還後追電ス)  
在欧米各大使へ転電セリ

~~~~~  
在仏国松井大使(サンセバステアン
出張中)ヨリ
一三六 八月五日
内田外務大臣宛(電報)

理事会ト總會トノ關係ニ關スル決議案及規約

第十六条ノ実行方法ノ準備手段ニ關スル件

第五号

(八月七日接受)

第八回聯盟理事会議事ノ第四(八月二日午後)

第一、理事会ト總會トノ關係

前日討議ノ結果本問題ニ關スル理事会決議案ノ作成ハ委員會ニ附託セラレタル処同委員會ヨリ左記案ノ報告アリテ之ヲ可決ス猶本決議ハ之ヲ總會ニ通知スルコトトス
規約又ハ条約規定ニヨリ理事会又ハ總會ノ権限カ特ニ明定セラレ居ル場合ヲ除キ理事会ハ左記ノ事項ヲ認ムルノ要アルヘシ

会ノ議事ニ加ヘシムルコト而シテ其ノ準備的手段トシテ理事会ハ總會ニ對シ兩者各同數ノ代表者ヨリ成ル國際封鎖委員會ノ設立ヲ提議スルコト猶右委員會ニ代表者ヲ有セザル國ハ其ノ利害ガ直接ニ問題ト為ル場合ニハ之ガ出席ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

右討議中第十六条第一項ニ依レバ聯盟國ハ總ヘテ違約國ニ對シ通商上又ハ財政上ノ封鎖ヲ宣言スルヲ要スルモ非聯盟國ニ對シテモ右封鎖ノ宣言ヲ為サシムルコトヲ得ルヤノ問題ヲ生ジタルガ聯盟國ハ封鎖宣言ノ義務アルモ國際法上非聯盟國ヲ強要シテ違反國ニ對シ封鎖ヲ宣言セシムルコトヲ得ザルモノト解スヘク蓋非聯盟國ニシテ聯盟國ノ要求ニ応ゼザル場合ニハ聯盟國ハ如何トモ為スコト能ハザルベク然スレバ結局非聯盟國中弱小國ノミニ對シテ右封鎖ヲ強要シ得ルノ不公平ナル結果ヲ来スヘク尤モ本案ヲシテ実効アラシムルニハ總テノ國家カ聯盟ニ加入スルヲ前提トスヘク特ニ規約作成當時ハ亜米利加ガ當然之ニ加入スルモノト予定シアリタルニ依リ叙上ノ不便ハ之ヲ予見セザリシニ依ルモノナリ右ノ如ク聯盟國ハ違反國ニ對スル封鎖ノ結果ハ之ヲ非聯盟國ニ及ホスコトヲ得ザルニ止マル処同条第一項末段

(イ)兩者ノ一方ガ共同ノ活動範圍ニ屬スル事件ヲ処理シタルトキハ他方ハ同一事件ニ付キ單獨ニ何等ノ措置ニ出ヅルハ穩当ナラズ

(ロ)規約又ハ或ル条約中兩者ノ権限明記シアラザル場合ニハ理事会ハ右権限ヲ確定スル為總會ニ對シ總會及理事会ノ代表者ヨリ成ル委員會ノ任命ヲ提議スルコトヲ得
(ハ)理事会ハ總會ニ對シ其ノ事業ノ報告ヲ提出スルハ有益ナルヘシ

其ノ他理事会ノ議長ヲ總會ノ仮議長ニ推薦スルコト及事務總會ノ議事規則ヲ作成スルコトヲモ決議ス

第二、規約第十六条ノ実行方法ノ準備手段

報告者伊國委員「チットニー」ハ規約第十六条ヲシテ force preventive ヲ保タシムル為ニハ今日ヨリ同案実行ノ手段方法ヲ予メ考究シ置クコト緊要ナリ而シテ右ハ理事会ノ権限ニ屬シ居ル事項ナリト雖問題ノ性質ガ世界全般ノ利害ニ影響スルコト少カラザルヲ以テ寧ロ總會ヲシテ解決セシムベシト述ベ理事会ニ於テ左ノ趣旨ノ決議ヲ採用センコトヲ提議シ可決セラル

規約第十六条ノ適用ニ必要ナル手段ノ審議ヲ第一回聯盟總

ニ依リ聯盟國ハ同時ニ非聯盟國々民ト違約國々民トノ交通ヲ防遏スルノ義務アリ(仏文 faire cesser l'empêcherノ意味ニ解スヘシ)而シテ此ノ防遏ノ義務ハ主トシテ非聯盟國々民カ自己ノ領土内ニ在ル場合ニ行ハルルハ勿論ナルモ世界戰爭ノ実例ニ見ルカ如ク非聯盟國民ヲシテ(脱)ノ入國ヲ禁シ以テ違約國民ト交通スルヲ防止スルカ如ク苟モ自己ノ権内ニ在ル場合ニハ之ヲ遂行シ得ルモノトストノ解釈ヲ採用シ之ヲ議事録ニ留メ置クコトトス
在欧米各大使へ転電セリ

~~~~~  
在仏国松井大使(サンセバステアン  
出張中)ヨリ  
一三七 八月五日  
内田外務大臣宛(電報)

第八回理事会ノ公開會議ニ於ケル各担任者ノ報告及決議ノ件

第六号

(八月八日接受)

理事会議事第五

八月三日午前十時ヨリ当地県會議事堂ニ於テ聯盟理事会ノ公開會議ヲ開ク会衆約百名左記日程通り各担任者ノ報告アリ

十一時ニ採決ヲ了シ十一時半閉会ス  
各決議内容ハ既ニ電報濟ノ通リトス

一、在「ブラッサル」Union des Associations Internationales ニ対スル援助ノ件（仏国代表者）

二、(a) Sarre 地方境界劃定委員會費用ノ件

(b) Sarre 地方行政委員長代理選定ノ件（希臘代表者）

三、規約第十六条活用ノ準備ニ関スル件（伊国代表者）

四、國際交通會議準備委員會ヨリ申出ノ件（西班牙代表者）

五、國際保健機關設置ノ件（ブラジル代表者）

六、國際統計委員會組織ノ件（事務總長）

一三八 八月五日  
在仏国松井大使（サンセパスチアン出張中）ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第八回理事会ニ於テ委任統治ニ関スル聯盟ノ

義務ニ付討議ノ件

別 電 一 同日松井大使宛内田外務大臣宛電報第二二二號

白国代表者ノ意見書要領

二 同右電報第一三三號

英國代表者ノ意見書要領

三 同右電報第一四號

理事会ヨリ最高會議宛書翰案

第一一號 （八月七日接受）

第八回聯盟理事会議事ノ第七（八月四日午前）委任統治ニ  
関スル聯盟ノ義務

前日白国及ビ英國代表者側ヨリ別電第一二二號並ニ第一三三號  
要訳ノ意見書ヲ送附シ来リ仏国側ヨリモ数日前意見書ノ送  
附アリタルガ本日會議開会ニ当リ「ブルジョア」ハ右ハ同  
氏ガ一法律家ニ命ジテ作成セシメタルモノニシテ何等仏国  
代表者トシテノ意見トシテ配布シタルモノニ非ズ自分ハ白  
耳義代表者ノ意見ト全然同一意見ナリトテ伊国法律家作成  
ノ意見書ヲ撤回シ（意見書ハ別ニ電報セズ）日程ニ入ル  
報告者白耳義代表者ハ前独領殖民地ノ主權ニ付テハ対独条  
約第一一八条ニ依リ主要聯盟国ニ移転シタルコト疑ナク而  
シテ主要聯合國ハ其結果委任統治国ヲ選定シ且委託地域ヲ  
確立シ得ル事ニ付テハ何人モ爭ハザル所ナリ而シテ主要聯  
合国ハ此ノ点ニ関シ今日迄如何ナル措置ヲ執リタリヤト云  
フニ受任国ノ選定及ビ委任地域ノ確定ニ付テハ昨年既ニ其

間ニ諒解成立シ委任狀ノ形式ニ付テモ特別委員會ニ於テ研  
究ノ上日仏兩國ノ一部の留保アルノ外所謂C式委任條約案  
ノ起草ヲ見タル次第ヲ述ベ然カラバ聯盟トシテ今後尚如何  
ナル措置ヲ採ル可キヤト別電ノ意見書ヲ讀ミ上ケタル上  
右ニ開陳シアル理由ニ依リ理事会ニ左ノ趣旨ノ結論ヲ採用  
セン事ヲ提議ス

(一) 理事会ヨリ最高會議若クハ大使會議ニ督促シ主要聯合國  
ニ於テ受任国ヲ選定シ且委託地域ヲ確定センコト並ニ主要  
聯合國間ノ右作成セラレタル委任條約案ヲ理事会ニ移牒セ  
ン事ヲ要求スルコト、理事会ガ右通告ヲ受ケタル時ハ白国  
意見書所載ノ通り正式ニ受任国ノ指定ヲ諒承シ且被指定国  
ニ対シ理事会ハ同國ガ委任ノ權ヲ付与セラレタルモノト認  
ムル旨ヲ通告スルト共ニ委任狀ノ内容ヲ移牒スルモノトス  
(二) 第二十二條第九項ニ基キ各受任国代表者ヨリ成ル常設委  
員会ヲ設置スルコト然シテ其組成ニ関シテハ事務總長ヲシ  
テ立案セシム可キコト

右白国代表者ノ報告終ルヤ「ブルジョア」ハ改メテ其趣旨  
ニ賛成ノ意ヲ表シ「バルフォア」ハ既ニ意見書配布済ミノ  
コトトテ別ニ意見ヲ述べズ「チットニー」ハ土耳其條約調

印前ノ今日日本理事会ノ議事ハA式委任統治ニハ關係ナキモ  
ノト了解スル旨ヲ述べタル上受任国ハ白国側意見書ニ云ヘ  
ル如ク單ニ統治国人民ニ対シテノミ責任ヲ負フニ止マラズ  
世界ノ輿論ニ対シテモ一種道德上ノ責任ヲ負フモノナリ然  
ルニ世人中委任統治ノ制度ヲ以テ仮装シタル併合トサヘ非  
難スルモノアルニ顧ミ受任国ハ公平ニ施政ヲ為スノ見地ヨ  
リ第九項ノ常設委員會ニ於テハ受任国ノ代表者ハ単ニ  
voix consultative ヲ有セシムルコトトシテハ如何ニト提  
議ス次ニ本使ハ英仏白代表者等ノ意見書ニ開陳シアル議論  
ハ敬服スルトコロナルモ今日聯盟ト委任統治トノ關係ニ付  
法律の見地ヨリ論議スルガ如キハ徒ニ問題ヲ紛糾セシムル  
ノミニテ實際上必要ナキモノト認ム現ニ白耳義代表者ノ云  
ヘル如ク本件ニ付テハ主要聯合國ノ間ニ合意ノ存スルアリ  
委任狀ノ形式ニ付僅ニ日仏ノ一部の留保アリト云フモ主要  
聯合國間ニ遠カラズ諒解成立スルコトト認メラルルニ付テ  
ハ差当リ理事会ガ此問題ヲ審議スル必要モナク寧ロ主要聯  
合国ガ到達スヘキ諒解ノ結果ヲ待ツヲ穩當トス故ニ本使ハ  
前記一般的留保ノ下ニ白耳義代表者ノ提案ニ賛成スルモノ  
ナリ而シテ常設委員會ノ構成ニ関スル「チットニー」ノ意

見ハ又サルコトナガラ受任国ハ受託地域ノ施政ニ対シ責任ヲ負ヒ少カラザル費用ヲ負担スルコトヲモ考慮セザルベカラザルヲ以テ其代表者ニ投票權ナシト為ス同氏ノ提議ハ尚研究ノ余地アル旨述べタリ

バルフォアハ *voix consultative* ノ意味ハ明瞭ナラザルモ単ニ出席權ノミヲ有スルモノトスレバ利害關係ノ最深ク且委託地域ノ事情ニ精通セル当事者ガ討議ニ加ハラザル結果トナリ事實上委員會ハ其任務ヲ遂行スルコト能ハザルニ至ルベキノミナラズ受任国ニ対シ監督權ヲ有スルハ理事會ニシテ常設委員會ニアラザルヲ以テ「チットニー」氏ノ云ヘル懸念ハ寧ロ當ラズト云フベシトテ反對シ議論ノ結果白国案ノ如ク受任国及ビ非受任国ノ代表者ヲ同数トセズ非受任国ノ代表者ヲ受任国代表者ヨリモ多数トスルコト但シ委員會ニ於テ意見ノ一致ヲ見ザル場合ニハ少数者モ其意見ヲ理事會ニ報告スルコトヲ得ルコトトシ而シテ委員會ノ組織ノ細目ニ至リテハ事務總長ヲシテ立案セシムルコトトス終リニ本使ハ白国代表者ノ意見書ニ開陳シアル理由ハ既述ノ如ク一般的ニ同意ヲ留保シ置キタルモ同意見書中b式委任狀ニハ土着人民ノ利益ノ外受任国以外ノ聯盟諸國ノ利益

ニ關スル規定ヲ設クベキニ反シc式委任狀ニハ土着人民ノ利益ニ關スル規定ノミヲ掲グベシ(別電第二二号ノ(二)ノ(4)トアル処第二二条第五項及第六項ノ解釈ニ付テハ主要聯合國ノ間ニモ意見ノ相異スル処ニシテ右ノ文句ハ日本委員ガ委任統治委員會ニテナシタル留保ニ關係スル問題ナルニ付右ハ仮令白国委員ノ意見ヨリスルモ理事會ニ於ケル報告中ニ記載スルハ理事會ノ解釈ニ最累ヲ及ボス虞アル旨ヲ述ベ之ヲ削除セシム

尚前記白代表ヨリノ別電第一二二号(一)ノ(一)理事會ノ書翰ハ同代表者ヲシテ立案セシムルコトトナシタル処同日午後ノ會議ニテ同代表者ヨリ別電第一四号ノ通ノ文案ヲ提出シ可決セラレタリ

在欧米各大使へ転電セリ

#### (別電一)

八月五日在仏国松井大使發内田外務大臣宛電報第二二号

白国代表者ノ意見書要領

#### 第一二二号

(八月七日接受)

委任統治問題ニ關スル白耳義代表者ノ意見書要領

(一)委託地域ノ確定及受任国ノ選定ハ主要聯合國ニ於テ之ヲ

為スモノナルコトハ聯盟規約中ニ規定ナキモ對独条約第一

一九条及一一八条ヨリ当然推定セラルルノミナラズ對土条約ニハ之ヲ明定シアリテ疑ノ余地ナキ処受任国カ該地域内ニ於テ統治ヲ行フハ受任国トシテ國際聯盟ノ名ニ於テ之ヲ為スモノナルヲ以テ統治委任狀作成ノ手續ハ(4)先ツ主要聯合國ニ於テ其ノ中ノ一國又ハ第三國ヲ受任国トシテ選定シ(5)其ノ選定セル受任国及委託地域ヲ公然聯盟理事會ニ通知ス(6)理事會ハ右受任国ノ選定ヲ了承セル旨公然宣言スルト同時ニ受任国ニ對シ委任文言ヲ通知シ同國委任ノ權利ヲ賦与セラレタルモノト認ムル旨通告スルコトニアリトス

(二)委任狀ノ文句ノ作成ニ關シ規約第二二条第八項ハ權限、監理又ハ施政ノ程度ハ聯盟國間ニ予メ合意ナキトキハ理事會之ヲ決スル旨ヲ定メ居ル処

(4)各種ノ委任狀中ニハ右以外ニモ規定スヘキ事項多クB式委任狀ニハ第五項ニ依リ土着人民ノ利益ノ外受任国以外ノ聯盟諸國ノ利益ニ關スル規定ヲ設クヘク又C式委任狀ニ於テハ第六項ニ依リ土着人民ノ利益ニ關スル規定ノミヲ掲クヘシB式及C式ノ場合ニハ受任国ハ委託地域内ニ於テ其ノ主權ノ行使ニ付唯第五及第六兩項ノ制限ヲ受ク

ルノミニ付此ノ二種ノ委任狀ニハ權限其ノ他ノ程度ニ關

スル規定ハ必ズシモ必要ニアラズ之ニ反シA式ニ於テハ第四項ハ自治的施政ニ關スル保証ヲ規定スルノミナルヲ以テ第八項ニ所謂權限其ノ他ノ程度等ニ關シ問題ヲ生ス(2)然ラハ第八項ノ解釈如何

(a)第八項ニ所謂「予メ聯盟國間ニ合意無キトキ」ノ意味如何ニ依リ理事會ニ於テ權限其他ノ程度ヲ明定スベキヤ否ヤヲ決セラルベキモノナル処所謂聯盟國トハ總テノ聯盟國換言スレバ聯盟總會ヲ指スモノナリトノ說(七月一日「タイムス」所載「セシル」卿書簡)ナキニ非ザルモ斯ノ如キハ殊ニ總會ナル字句ヲ用ヒザリシ條約作製者ノ意思ニハ非ザルベク現ニ對独條約調印後直チニ主要聯合國專門家會議ヲ倫敦ニ開キ各種委任狀案ヲ討議セルノミナラズ實際上斯カル問題ハ多人数ノ會合タル聯盟總會ニ附議スルコト不可能ナルニ付此說ハ本條項ノ趣旨ニ反ス

(b)蓋シ本條項起案當時ニ於テ委任統治ニ關スル條約ハ平和條約ト同時ニ若クハ其前ニ調印セラル可シト予想シ且聯盟創立ノ際ハ其創立者タル同盟及聯合國ノミガ其加盟國即チ聯盟國ナリト考ヘタル條約制定者ノ意思ヨリセバ所謂聯盟

国トハ平和条約ニ調印セル聯盟国ノ意ニ解スルヲ当然トス  
 (c)然ルニ平和条約調印後ノ今日右ノ意味ノ聯盟国間ニ合意  
 ヲ成立セシムルコト不可能ナルヲ以テ理事会ハ理論上(権  
 限等ヲ明定スル)ノ権能ヲ有スル筈ナルモ實際上今直チニ  
 此権能ヲ行フハ機宜ニ適セザルベシ蓋シ一方ニ於テ(a)式ノ  
 場合ニ関シ権限其他ノ程度ハ受任国ノ如何及委託地域住民  
 ノ如何ニ依リ異ナルベキニ付理事会ハ主要聯合國ヨリ受任  
 国ノ選定及委託地域確定ノ通告ヲ待チテ始メテ之ヲ決定ス  
 ルノ外無キト他方ニ於テ(b)式及(c)式ノ場合ニ関シ委任状文  
 句ノ作製ニ右必要アルニ鑑ミ主要聯合國専門家ノ研究ノ結  
 果ヲ参照スルコト適當ナル可キ(不明)ナリ

依ツテ理事会ハ主要聯合國ニ對シ受任国ノ選定ノ通知ト同  
 時ニ委任状文言ニ関スル其提案ヲモ回示センコトヲ求ムベ  
 シトノ点ハ「カーゾン」卿ガ「メソポタミア」ニ関シ上院  
 ニ於テ為シタル演説ニ徴シ英國政府モ同意見ナリト考フ  
 (三)國際聯盟ノ監督權ニ関スル研究ハ此ノ新奇ノ現象ニ對シ  
 從來ノ法律上ノ觀念ヲ如何ナル程度迄準用シ得ベキヤニ付  
 テモ聯盟監督權行使ノ責任ハ委託地域内ノ住民ニ對スル道  
 徳上ノ責任ニ過ギズ實際問題トシテハ受任国ガ委任統治ニ

ルモ可ナルベシ

在欧米各大使ヘ転電セリ

### (別 電 二)

八月五日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第一三号

英國代表者ノ意見書要領

### 第一三号

(八月七日接受)

委任統治問題ニ関スル「バルフォア」ノ意見書要領

(一)一切ノ獨領殖民地及土耳其帝國ノ一部分ニ関スル主權ハ  
 對独条約又ハ對土条約ニ依リ主タル同盟及聯合國ニ既ニ移  
 転セラレ又ハ近ク移転セラルベキ処是ヲ主要聯合國ノ共有  
 ト為ス時ハ實際上少カラザル不便ヲ生ズベキヲ慮リ特定ノ  
 国家ヲ受任国トシテ指定シ國際聯盟ノ名ノ下ニ統治ノ任ニ  
 当ラシムル事トセリ

(二)右ノ通聯盟規約ハ受任国ニ与フルニ委任統治ノ權限ヲ以  
 テシタルモ其ノ委任ノ性質ハ各場合ニ依リ異ルト共ニ其ノ  
 統治ノ權限モ無制限ニアラズ受任国ハ其ノ委託地域ニ関ス  
 ル報告ヲ理事会ニ提出スベク理事会ハ其ノ委任統治ガ条約  
 ノ精神及文言ノ通行ハレタルヤ否ヤヲ監視スルノ任ヲ有ス  
 (三)此ノ点ハ聯盟規約ノ条文上疑無キ処ナルモ聯盟ガ右監督

付聯盟ニ對シ如何ナル責ヲ負フヤノ点ガ重要ニシテ理事会  
 ハ如何ナル程度ニ於テ是ヲ監督スベキヤガ問題トナル処本  
 制度制定ノ精神ニ顧ミル時ハ統治ノ全体ニ亘リ公平ナル監  
 督權ヲ行フモノト解スベク從ツテ第八項ノ方法ハ統治全般  
 ノ事務ヲ包含スベシ尤モ右監督權ノ行使ハ受任国ノ施政ノ  
 妨害トナラザル様周到ノ注意ヲ要スベシ

四第二十二條九項ニ規定セル常設委員會ハ委任ニ関スル第  
 一回報告後初メテ会合スレバ足り且受任国未定ノ今日其ノ  
 組織ヲ決定スル能ハザルモ左ノ諸点ハ將來ノ參考ニ資シ得  
 ベシ

(イ)各受任国ヨリ各委任關係ニ付一委員ヲ出スコト委員會ガ  
 情報ヲ得ル為ニ便宜ナルベシ

(ロ)委員會ハ意見ヲ提供スルニ止マリ自ラ裁断スルモノニア  
 ラザルモ如何ナル委員モ其ノ本國ノ報告ニ関スル裁決ニハ  
 参与セザルヲ可トス又一國ガ多數ノ委員關係ヲ有スルモ一  
 票以上ノ權利ナシトスベシ

(ハ)受任国ヲ代表スル委員ト同數ノ非受任國委員ヲ加ヘテ委  
 員会ノ意見ノ公平ヲ期スベシ他ノ委員ハ聯盟理事会ニ於テ  
 受任国以外ノ殖民地行政ニ經驗アル国民中ヨリ是ヲ選任ス

權以外ニ委任状ノ文言条件ヲ作成スルノ責務アリヤト云フ  
 ニ自分限リトシテハ此ノ事無シト思考ス右ハ「ヴェルサイ  
 ユ」条約調印国ハ同条約實施以前ニ委任状文言ヲ決定シ得  
 ベシト思ヒ居タリシ事情ニ鑑ミ明ナルノミナラズ聯盟ハ之  
 元聯合國ガ世界改造ノ重大事業ヲ達成スル機關ノ一部分ヲ  
 為スモノニシテ聯盟ガ委任状文言ヲ制定スルハ右機關ガ機  
 関自身ノ構成ヲ考察スルノ觀ヲ呈スベク斯ノ如キハ機關ノ  
 事業ニアラザル事察スルニ難カラズ

(四)理論ハ前述ノ如クナルガ實際上聯合國ハ「シリヤ」「メ  
 ソポタミヤ」「パレスチナ」等ニ於ケル委任統治ガ聯盟ノ  
 下ニ「サブミット」セラルベキ事ヲ声明シ英國首相及外務  
 大臣モ亦右ハ一國ノ委任統治ニ適用セラルベキ事ヲ下院ニ  
 於テ明言セル如ク若シ委任状ガ聯盟ニ「サブミット」セラ  
 ルベキモノトスレバ聯盟ノ此ノ際取ルベキ措置トシテハ(イ)  
 聯合國ノ討議セル文句ヲ更ニ修正スルカ(ロ)若シクハ右委任  
 状ガ單ニ規約ノ原則ニ適合シ居ルヤ否ヤヲ審査スルニ止ム  
 ルカノ点ニアリト云フベシ

(伍)自分ノ私見ニ依レバ聯盟ニ於テ委任文言ノ改廢修正ヲ行  
 フハ地方的事情ヲ詳細ニ且専門的ニ考究スルノ必要ヲ生ズ

ベク從テ理事モ關係國ノ殖民大臣又ハ外務大臣ヲシテ是ニ代ラシメザルベカラザルノ不便ヲ生ズルニ至ルベキヲ以テ自分ハ最高會議ハ聯盟ニ對シ委任狀ノ作成ヲ援助スル事ヲ求メタリト雖モ右要求ヲ單ニ前頭第二ノ手段ニ止メシメン事ヲ希望スルモノナリ從テ聯盟及聯合國ノ定メタル委任狀ハ規定所定ノ一般の方針ニ適合シ居ルヤ否ヤヲ檢スルヲ以テ足レリト信ズ

(別 電三)

八月五日松井大使發内田外務大臣宛電報第一四号

委任統治問題ニ関シ理事会ヨリ最高會議宛書翰案

# 第一四号

L' Article 22 du Pacte de la Société des Nations établit que les colonies et territoires qui, à la suite de la guerre, ont cessé d'être sous la souveraineté des Etats qui les gouvernaient précédemment et qui sont habités par des peuples non encore capables de se diriger eux-mêmes dans les conditions particulièrement difficiles du monde moderne, "seront administrés par des Puissances mandataires agis-

sant au nom de la Société et acceptant comme mission sacrée de civilisation" la responsabilité d'assurer le bien-être et le développement de ces peuples.

D'autre part, le Traité de Versailles a par son Article 119 transféré aux Principales Puissances Alliées tous les droits possédés autrefois par l'Allemagne sur les territoires situés hors d'Europe.

Et nous entendons qu'une disposition semblable sera probablement insérée dans le Traité de Paix avec la Turquie concernant les territoires qui cesseraient de faire partie de l'Etat Ottoman.

Le Conseil de la Société des Nations induit de ces clauses qu'il appartient aux Principales Puissances de déterminer laquelle d'entre elles ou bien quelle tierce Puissance elles désignent pour exercer le Gouvernement dans les territoires sus-visés comme mandataire et au nom de la Société des Nations.

Votre Excellence reconnaitra que comme le

Traité de Versailles est entré en vigueur depuis le 10 janvier 1920, il est hautement désirable que l'application du régime des mandats prévue par l'Article 22 du Pacte ne soit pas davantage retardée.

Le Conseil a décidé de prier les Principales Puissances Alliées de lui faire connaître officiellement dans le plus bref délai possible les Puissances qu'elles ont désignées pour l'exercice des mandats prévus par l'Article 22 et les limites des territoires faisant l'objet de ces mandats.

Le Conseil prie d'autre part les Principales Puissances Alliées de lui communiquer en même temps les termes et conditions des mandats qu'elles proposent l'adoption au Conseil suivant les prescriptions de l'Article 22, paragraphes 5 et 6.

Le Conseil se permet d'attirer l'attention des Gouvernements des Principales Puissances Alliées sur la nécessité d'une prompte réponse. L'Assemblée de

la Société des Nations qui se réunira le 15 novembre ne manquera certes pas de s'intéresser vivement aux mesures qui auront été prises pour assurer l'application de l'Article 22.

En ce qui concerne les territoires qui ont cessé en fait de faire partie de l'Empire Ottoman, le Conseil espère de même que les Principales Puissances Alliées voudront bien aussitôt qu'il leur sera possible lui faire connaître officiellement les Puissances qu'elles auront désignées comme Mandataires, la délimitation des territoires faisant l'objet des différents mandats, ainsi que le degré d'autorité, d'administration ou de contrôle qu'elles proposent au Conseil d'attribuer aux Puissances mandataires en exécution de l'Article 22, paragraphes 4 et 8.

Le rapport ci-joint de M. Hymans adopté à l'unanimité par le Conseil et dont je me permets de vous envoyer un certain nombre d'exemplaires,

expose les vues du Conseil sur la manière suivant laquelle le Conseil comprend la mission que le Pacte lui a confiée.

Matsui.

一三九 八月六日

在仏国松井大使（サンセバスチアン  
出張中）ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第八回理事会ノ第二回公開會議ニ於ケル各担  
任者ノ報告及決議報告ノ件

第一六号

（八月十日接受）

第八回聯盟理事会議事第十

八月五日午後四時理事会第二回公開會議ヲ当「パラチオ、  
デル、インスチトゥト、プロヴィンチアル」（県立中学校  
講堂）ニ開ク会衆数百名議長西班牙代表者ノ挨拶アリタル  
後左記日程ノ通り各担任者ノ報告アリ順次採決ヲ了シ六時  
閉会之ニテ第八回理事会終了ス各報告並ニ決議ハ既報ノ通  
リ

- 一、常設國際司法裁判所（仏国代表）
- 二、労働理事会ノ構成ニ関スル制度ノ講究（日）
- 三、聯盟第二期予算（西）
- 四、國際保健會議（仏）
- 五、委任統治ニ関スル聯盟ノ義務（白）
- 六、常設軍事委員會（仏）
- 七、「ヘヂャーズ」王ノ来翰（英）
- 八、俘虜送還問題（事務総長）
- 九、「バルセロナ」ヲ交通會議第一回總會ノ開催地ト為ス  
ノ件（「ブラジル」）

一四〇 八月七日

在仏国松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

ヘヂャーズ王ヨリ聯盟ノ幹旋要請並次回理事  
会ノ開催地時期及議題ニ関スル件

第一二六三号

（八月十日接受）

サン、セバスチアン第一八号

第八回聯盟理事会ノ第九（八月五日午前十一時半）

第一、「ヘヂャーズ」王ノ来翰

「シリヤ」ニ於テ仏国占領軍ニ依リ逮捕セラレタル「リバ  
ン」地方ノ一部有力者（Membres du conseil adminis-  
tratif Libanais）ノ解放方ニ付「ヘヂャーズ」王ヨリ国  
際聯盟ノ幹旋ヲ求メ来レルニ関シ理事ノミノ秘密會議ヲ開  
ク之ヨリ先事務総長ヨリ対土条約ハ未タ調印セラレズ戦争  
ハ依然繼續シ居ルモノト認ムヘク本件ハ仏国占領地内ノ出  
来事ナルニ依リ聯盟トシテハ此ノ際之ニ關係スル能ハザル  
ヲ以テ「ヘヂャーズ」王来電ハ之ヲ仏国政府ニ取次クニ止  
ムル旨ノ回答案ノ配布アリ會議ニ於テ報告者「バルフォア  
」ハ聯盟ハ現戦争ノ結果トシテ現出シタル平和ノ守護的機  
関ナルヲ以テ戦争其自身ヲ安排シ得ルモノニアラズ而シテ  
「シリヤ」地方ニハ猶戦争状態存続シ同地方ハ依然敵国ノ  
一部ヲ為スモノト認ムヘク其大部分ハ軍事占領ノ下ニアリ  
テ未タ対土条約ニ定メタル委任統治ノ制度行ハレ居ラザル  
ニ付「ヘヂャーズ」王ニハ事務総長ノ文案ノ趣旨ニテ回答  
ヲ發スル方然ルヘク尤モ理論ハ上述ノ如キ次第ナルモ「ヘ  
ヂャーズ」王ハ事实上敵国ニ非ズ寧聯合側ニ立チテ戦争中  
貢獻シタル処モ少ナカラザルニ付文句ハ成ル可ク丁寧ニシ

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一四〇

テ婉曲ニ断リタキ旨ヲ述ブルヤ「ブルジョア」ハ本件ハ仏  
国占領軍ガ「ヘヂャーズ」王ノ手先トシテ仏軍ニ対シ陰謀  
ヲ企テタルモノヲ処分シタル丈ニテ「ヘヂャーズ」王カ聯  
盟ニ申出ヅヘキ筋合ニアラズ故ニ聯盟トシテハ之ニ取合フ  
必要ナク婉曲丁寧ナル文句ヲ用ユル必要モ無カルヘク明カ  
ニ拒絶スルヲ適當トスト反对シ「チットニー」又國際法上  
戦争現ニ行ハレ軍事行動トシテ占領軍カ為シタル措置ニ付  
聯盟カ容喙スルハ正当ニアラズ此ノ点ハ明瞭ニ為シ置キタ  
キ旨ヲ述べ右三代表者ノ理由ハ其ノ根本ニ於テハ別ニ相異  
シ居ルニアラザルモ英ハ「エミル、ファイサル」ヲ擁立  
シテヘヂャーズ王国ヲ創設シタル行掛アルモ同地方ハ仏  
国ノ勢力圈内ニ入ルコトトテ仏国ニ対シ氣兼スル事情アリ  
伊国トシテモ小亜細亞ニ於テモ将来自己ノ圈内ニ入ルヘ  
キ地方ニ於テ徒ラニ聯盟カ介入スルカ如キコトナカラシ  
欲シ何レモ利害關係ノ緊切ナルモノアルヲ以テ文句ノ末  
葉ニ付議論スルコト一時間余ニ渡リ結局前記事務総長案ノ  
趣旨ニ「バルフォア」ノ主張ヲモ加味シタル回答文ヲ採  
決ス

第二、第九回理事会ノ開催地時期及ビ議題



第九回理事会ハ之ヲ巴里ニ於テ九月中旬開催スルコト而シテ其ノ議題トナルヘキ見込アリトシテ事務総長ヨリ理事会ニ提出シタルモノ左ノ通

一、「オイペン」「マルメデイ」ニ関スル聯盟ノ決議

二、常設軍事委員会ノ報告

三、塞扶斯及俘虜問題

四、國際司法裁判所構成案

五、「オーランド」問題ニ関スル法律家ノ報告

右ノ内第一問ハ人民投票ノ結果ヲ第九回理事会ニテ必ズ審議スル必要アルニ付今ヨリ之ガ報告者ヲ定メ置クヲ要ストノ議出デ各理事ヨリ本使ヲ推薦シタルモ本使ノ離任間際ナルト後任者着任前ニモアリ本邦理事ニ於テ引受クルコトトセズ「ブラジル」代表者ヲ其報告者トスルコトトセリ

在欧米各大使ヘ転電セリ



ヲ許ストセバ之ヲ制限シ得ルヤ(ハ)禁ズトセバ有効ニ之ヲ禁ズル方法アリヤ(ニ)本件ニ関シ國際的制限ヲ設クルニ付キ軍事委員会ノ意見如何ノ四点ニ関シ仏國代表者ハ(イ)本件条約ハ同二十六条ニ依リ速カニ批准スベシトアルモ之ヲ批准シタル國未ダ一國モ之無キコト(ロ)同条約「プロトコル」ニ依レバ締約國全部ハ同条約実施ニ至ル迄ト雖モ一締約國ニ於テ執リタル条約規定違反ノ措置ハ其ノ何タルヲ問ハズ締約諸國ノ意思並ニ条約ノ精神ニ反スル旨ヲ宣言シ居レルコトノ二点ヲ指摘ス其他本報告中注意スベキハ英國政府ニ於テ七月五日附事務総長宛「ノート」ヲ以テ軍事委員会構成規則第一条ニ対スル「バルフォア」ノ留保(第五回理事会五ノ四)ヲ解カシメタル旨記載セル点並ニ前記委員会ニ対スル訓令中軍備準則ヲ講究スベキ諸國ノ分ニ「モナコ」芬蘭「リヒテンスタイン」ノ三国ヲ加ヘ居レルコト之ナリ

二、俘虜送還問題(事務総長報告)

六月中旬ノ理事会以後「ナンセン」ノ計画ハ着々其ノ緒ニ着キ此ノ分ニテハ嚴冬ニ先立チ同氏ハ俘虜ノ大部分ヲ送還シ得ル見込ナル由

三、波蘭塞扶斯問題

一四一 八月八日 在仏國松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

常設軍事委員会俘虜送還波蘭チブス印度ノ八大工業國加入要求公法家會議等ノ問題討論ノ件

第一二六七号 (八月十日接受)

「サン、セバスタアン」発大臣宛第九号

第八回國際聯盟理事会議事第六(八月三日午後)

一、常設軍事委員会成立ノ件

報告者仏國代表者ハ第五回聯盟理事会ノ決議ニ基キ關係八國各代表者ヲ任命シ之等代表者ハ各國理事歡迎ノ中ニ茲ニ發会式ヲ挙ゲ愈軍事委員会ノ成立ヲ見ルニ至レル旨ヲ述ベタルガ一方本件ニ関シ事務局提出ノ報告書ヲ見ルニ右ハ(一)各國代表者「リスト」(二)労働理事会ニ於ケル「レオン、ブルジョア」報告(三)羅馬ニ於ケル二決議(委員會構成規則及ビ之ニ対スル訓令)(四)毒瓦斯問題ニ関スル質問書(五)武器売買条約ニ関スル事務総長覚書ヨリ成リ内(四)ハ英國代表者ノ起草ニ係リ(イ)毒瓦斯ノ使用ハ果シテ残酷ナリヤ(ロ)其ノ使用

本件ニ関スル事務総長報告ノ主タル点ハ塞扶斯予防用寄附金必要ナル所

(一)応急費二五〇、〇〇〇(二十五万)磅釐出方ニ関シ「バルフォア」ニ於テ英、仏、伊、日、西班牙ニ訴ヘタル結果ヲ見ルニ英仏ハ他ノ四國ノ応諾ヲ条件トシテ之ニ応ジ日伊ハ拒絕西班牙ハ一廉ノ寄附金ヲ為スコキ旨答ヘタル由

(二)他ノ二百万円募集ニ関スル各國ノ態度ヲ見ルニ希臘ハ一萬磅加奈陀ハ二十万弗独乙ハ同國医師ヲ在倫敦救助委員ノ中ニ列セシムル時八百万麻克(紙幣)ヲ出スヲ厭ハザル旨ヲ申出デ来レル処(理事会ハ事務総長ヲシテ右委員満員ニシテ非聯盟國タル独乙人ヲ容ルルノ余地無キ旨ヲ答ヘシムル事トセリ)他ノ多数ノ政府ハ未ダ回答スルニ至ラザル由(三)尙当日理事会ハ波蘭公使ノ陳述ヲ聴キタルガ「バルフォア」ハ救助ノ計画既ニ成リ居レルニ単ニ金錢ノミノ為メニ計画実行ノ運ニ至ラザルヲ遺憾トシ其結果「ブルジョア」ノ提議ニテ「バルフォア」ニ於テ更ニ各國ニ訴フルノ書ヲ起草スル事トナレリ

四、八大工業國ニ関シ印度ノ要求前回ノ行キ懸リニ基キ本使ヨリ決議案ヲ提出シタル処理事会ハ一、二文句ノ修正ヲ

施シタル上之ヲ可決ス即チ別電<sup>(註)</sup>ノ通

五、公法家會議委員任命ノ件 伯刺西爾公法家 Bolaqua  
自國ヲ離ルル事能ハザルノ故ヲ以テ其代理者 Ferrades  
ヲ正式ニ委員ニ任命方理事会ニ於テ承認ス  
六、公法家會議ノ件

報告者仏國代表者ハ「ラブラドル」ヲシテ本會議ノ經過ヲ  
詳細報告セシメタル後此ノ際理事会ニ於テ公法家會議ノ成  
果ニ付詳細ナル討議ヲ為シ得ベキニ非ザルヲ以テ國際司法  
裁判所構成案ノ確定的審議ハ之ヲ次回理事会ニ譲ルヲ可ト  
スヘシ但右審議ノ時期ニ至ル迄ノ措置トシテ(一)右構成  
案写及同理由報告書ヲ各聯盟國ニ送付シ各國ノ意見ヲ問フ  
ヲ得ベク(二)一方理事会ヨリ例ヘハ三人ノ小委員會ヲ構  
成シ次回迄ニ理事会意見ノ大体ヲ準備シ置クコト然ルベシ  
トノ提議ヲ為シタル処先ツ(一)ニ關シ白國代表者ハ該構  
成案ハ理事会ノ審議ヲ經タル限り「アヴァン・プロジェ」  
ニ過ギザルヲ以テ規約第十四條ノ規定上此ノ際聯盟國ニ廻  
付スルノ要ナカルベシ先ヅ理事会ニ代表者ヲ有スル國ノミ  
ニ之ヲ送付シ各理事ニ於テ本國政府ト協議ノ上次回理事会  
ニ於テ該案ヲ決定シ聯盟總會ニ移牒スルヲ可トスヘシト述

#### (一)國際財政會議

報告者仏國代表者ハ財政會議ニ必要ノ資料トシテ兼ネテ最  
高會議ニ要求中ナル独乙ノ賠償問題ニ関スル情報「スパ」  
會議ノ結果入手ノ運ビニ至ラズ財政會議ヲ延期スルノ止ム  
ヲ得ザルニ至レル成行ヲ述べ且倫敦理事会ニ於テ自己ニ委  
託セラレタル使命此所ニ終リヲ告ゲタル旨報告スルト共ニ  
(1)世界各國財政經濟ノ現状ニ鑑ミ此上財政會議ノ日取ヲ決  
定セザルハ聯盟ノ威信ニモ顧ミ甚ダ好マシカラザルコト(2)  
但來ル九月中旬ニ至ルモ或ハ独乙ヨリノ賠償問題ニ関スル  
財政會議ノ決定ニ接スル事能ハザル場合無之ヲ保シ難キヲ  
以テ會議ノ開催ヲ更ニ遷延セザルガ為ニハ今ヨリ議題ヲ制  
限シテ確ナル分ノミニ止メ置クヲ要ス可シ右會議開催前右  
決定ニ接スル場合ニハ之ヲ議題中ニ加フルヲ得可シト別  
電甲ノ如キ會議事項並ニ九月二十四日「ブラッセル」ニ於  
テ財政會議開催ノ件ヲ提議シ(3)独乙其他ノ旧敵國人ニ對ス  
ル招請狀ニハ嚴格ニ日程ニ掲ゲラレタル問題ノミニ限り独  
乙ト協商側トノ懸案ニハ一切触レザル旨ヲ特ニ明ニシ置ク  
可キコト並ニ會議ノ模様ヲ知ラシメンガ為ニ賠償委員會ヨ  
リ代表者一名ヲ派遣センコトヲ求ム可キ旨ヲ附言セル處理

ベシガ事務総長ハ公法家ヲ出席セシメタル國ハ事實上構成  
案ヲ知り居レリ故ニ理事出席國ノミニ送付スルトノ議ハ実  
ハ無意味ナリ故ニ他ノ聯盟ニモ A titre d'information  
トシテ送付セバ如何ト反問セシニ英國代表者ハ理事会ヨリ  
ハ情報トシテ各聯盟國ニ送付スルモ之ヲ受ケタル聯盟國ニ  
於テハ各自各派ノ意見ヲ定メ之ヲ總會代表者ニ訓令スルニ  
至ルベシ數多キ聯盟國ニ於テ一々此ノ途ニ出ヅルトキハ如  
何ニシテ議ヲ纏ムルコトヲ得ベキヤ元本構成案ハ各國著名  
ノ公法家苦心慘憺ノ賜ナルヲ以テ聯盟各國間之ニ對シ議論  
百出セザル様今ヨリ一定ノ説得方法ヲ講ジ置クコト然ルベ  
シト提議シ結局「バルフォア」ニ於テ各聯盟國宛右趣旨ノ  
書翰案ヲ起草シ之ヲ次回ニ提出スルコトナレリ  
在歐米各大使ヘ転電セリ

註 別電省略

一四二 八月十日 在仏國松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

#### 國際財政會議予算公法家會議等ニ関スル件

第一二七三號 (八月十二日接受)

「サン、セバスチアン」第八回聯盟理事会(八月十日午後)

事會ハ右報告ノ次第ヲ承認スルト共ニ「バルフォア」主唱  
ノ下ニ「ブルジョア」ニ於テ今後モ引続キ本件ニ執掌セン  
コトヲ求メ「ブルジョア」之ヲ諾ス尚會議事項ニ關シ「バ  
ルフォア」ハ若シ必要ナラバ其政治問題ニ渡ラザル限り  
予定以外ト雖モ討議シ得可キ事トセンコトヲ求メ又「イー  
ーマンス」ハ前記會議事項中各國財政狀態ノ書面報告(別  
電甲「パート」第二)ノ如キハ独乙賠償問題判然セザル限  
リ之ヲ發表スルニ遲疑スル國無シトセザル可シトテ之ヲ討  
議セザラン事ヲ求メ「ブルジョア」ハ財政會議議長「アド  
ール」ト協議ノ上此等ノ点ニ付手加減ス可キヲ約セリ

#### (二)予算

予算關係事務局提出ノ書類ハ(イ)第一期予算決算報告及(ロ)第  
二期予算ヨリナリ(ハ)ハ本年三月三十一日迄ニ至ル事務局予  
算ニ関スル収入支出現金勘定表同期日ニ於ケル貸方借方及  
ビ一九一九年五月五日ヨリ右期日ニ至ル迄一切ノ収入支出  
表(現金勘定ニ非ズ)ヲ包含シ(ウ)初メ四月一日ヨリ本年末  
迄ノ予算トシ直接費四、四五〇、〇〇〇(第五回聯盟理事會  
ノ決議ニ依リ金「フラン」ヲ單位トス)間接費一、八三〇、  
〇〇〇労働事務局費三、七五〇、〇〇〇(三月倫敦ニ於テ

決定セラレタル労働事務局予算ノ四分ノ三ニ当ル由）合計千万ヲ計上シ居タルガ「サン、セバスタアン」ニ於テ之ヲ変更シ七月一日ヨリ本年末ニ至ル予算トシ直接費一、七五〇、〇〇〇労働事務局費三、二五〇、〇〇〇（四、五、六月間ニ労働事務局ニ立替タル五十万金フランヲ前掲数字ヨリ控除シタル由）ノ外新ニ準備金トシテ一、七二五、〇〇〇合計千万法ヲ計上スルニ至レリ本件報告者西班牙代表者ハ右ノ事情ヲ説明シ初メ事務局ニ於テハ第五回理事会ノ決議ニ會計年度ハ三月三十一日ヲ以テ終ルトノ決定アリタルト各国分担額ノ払込往々期ヲ失シ聯盟ノ活動上準備金ヲ要スルニ顧ミ四、五、六月分ヲ二重ニ計上シタル次第ナルガ理事会代表者中右四、五、六月分ハ羅馬ニ於テ既ニ計上決定セラレタルノ事実ヲ指摘シ更ニ之ヲ計上スルノ容易ナラザルニ依リ茲ニ改メテ七月一日以降ノ予算トシタル所一方準備金ヲ設クルノ必要極メテ切ナルモノアルニ顧ミ（例ヘバ七月一日ニ於テ聯盟国三十八ノ中ノ其ノ一期払込未了ノ国二十一其ノ金額十二万八千百十七磅ニ達セル由）前記ノ如ク計上スルニ至レル次第ナリト述べ尙理事中労働事務局予算ノ多額ナルニ驚クモノアリト雖モ第三九九条ノ規定上

右予算ノ全体ニ付テハ聯盟理事会モ同事務局モ之ヲ左右スルノ権能ヲ有セズ各国ハ労働理事会自国代表者ニ必要ノ訓令ヲ下スノ外ナカルベシト弁明シ右七月一日以降ノ第二期予算（別電乙号報告）ニ対シ理事会ノ同意ヲ求ムルト共ニ前記第一期經常費報告ニ関シテハ羅馬ニ於ケル決議ニ基キ事務総長ヨリ英国會計検査官ニ提出シ同検査官ニ於テ其ノ正当ナルヲ認メタル次第ナレバ之ヲ承認センコトヲ求メ理事会ハ右夫々決議ス

然ルニ右予算討論中理事会歳費漸次増加シ居レルコトヨリ聯盟本部決定ノ件端ナクモ問題トナリ聯盟本部一定セズ各所ニ理事会ヲ開クハ密ニ費用嵩ムノミナラズ討議方針ノ統一ニモ害アリトテ「チットニー」ヨリ羅馬理事会ノ決議ヲ指摘シ總會閉会後三ヶ月ニシテ「ゼネヴァ」ニ移転スルコトトナリ居レル旨ヲ述ブルヤ事務総長ハ總會後三月ニシテ本部確定ノ議ハ定リ居ルモ之ヲ何処ニ決定スベキヤハ定マリ居ラズト述べ結局議事録ニ徴シタル所事務総長ノ主張ノ如クナリ居レルモ「チットニー」ハ之ヲ信ぜズ固ク自己ノ主張ヲ執ツテ動カズ「バルフォア」ハ本件ハ前日ノ討議ニ所謂總會ト理事会ト其ノ権限問題ニ関ス而シテ本部確定ノ

議ハ聯盟ノ（不明）ノ問題ナルヲ以テ總會ノ決定ヲ待ツコ

トトスベシ羅馬ニ於ケル決議モ本理事会第一回会合ノ討議モ唯總會後三月ニシテ本部移転スト定メタルノミニテ其ノ場所ト時トハ一定スル所ナシト述ブルヤ「チットニー」ハ規約第七条ヲ指摘シテ本部決定ノ権ハ全然理事会ニアリト反撃シタルガ「バルフォア」ハ右条文ヲ見ルヤ自己ノ主張ヲ取消シ「チットニー」ノ所説ニ同意セリ茲ニ於テ事務総長ハ若シ理事会ニ於テ總會ニ關係ナク同會議後三月ニシテ本部ノ「ゼネヴァ」移転ニ決定ノ意嚮ナラバ今ヨリ其ノ準備ニ着手スルヲ可トスベシト提議シ一同之ニ異議ナク決シ三月内ニ「ゼネヴァ」ニ移リ得ル様今ヨリ事務総長ヲシテ必要ノ措置ヲ講ゼシメ且ツ之ニ伴フ費用ノ釀出ヲ承認スルコトトシ總會ニ対シテハ其ノ開会早々右ノ次第ヲ報告スルニ決定セリ

(三) 公法家會議報告ノ件続キ

「バルフォア」ハ既報理事会ノ委託ニ基キ起草セル各国政府案ヲ本日ノ理事会ニ提出セルガ理事会ハ直チニ之ヲ可決ス即チ別電丙号ノ通り

尚ホ「ブルジョア」ハ前日提議中第二点タル構成案研究ノ

為メ理事会ノ小委員会組織ノ件ニ付キ再ビ理事会ノ考量ヲ促シタル所結局他ニ繁務ヲ有スル理事ノ身分トシテ一定ノ地ニ止マリ小委員会（脱）不可能ナリトノ意見ニ一致シ仏国以外七国代表者ハ本件ニ付キ本国政府ト交渉ノ上其ノ意見若クハ希望ヲ「ブルジョア」宛郵報スベク同氏ヨリ之等ヲ総合シテ小数ハ小数ノ意見トシ多数ハ多数トシ一ノ予備報告ヲ作成スルコトトナレリ

在欧米各大使ニ転電セリ

註 別電省略

一四三 八月二十日 在仏国松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

聯盟事務局ノゼネヴァ移転ニ關聯シ本邦理事

事務所ノ設置ニ付意見具申ノ件

第一三三五号 （八月二十二日接受）

第八回聯盟理事会第八ノ二後段ニ関シ聯盟本部從テ事務局ノ「ゼネヴァ」移転モ来ル十一月中旬總會後三月内ニ決定セラレ既ニ事務局幹部ニ於テハ右移転準備ニ着手シ聞ク処ニ依レハ右移転ハ存外速ニ決行ノ運ニ至ルヘシトノコトナルガ一方「サン、セバスタアン」理事会ノ際「ドラモンド」

ハ本使ニ対シ事務局「ゼネヴァ」移転ノ上ハ各国ニ於テモ「ゼネヴァ」ニ理事事務所ヲ設ケ事務局ト接触ヲ保ツコトトナルヘキガ同事務所ニ公使格ノ人ヲ派遣シ置カルルトキハ大抵ノコトハ其ノ人ト協議シ決定シ得ベク重大事件ニノミ専任理事ノ会合ヲ煩ハスコトセバ都合宜シカルヘキ旨ヲ述ベタルコトアリ仏国ニ於テモ事務局ト聯絡ノ為公使格ノモノヲ「ゼネヴァ」ニ派遣シ置クノ計画アルコト往電第七七五号報告ノ通ニテ其ノ他諸国ニ於テモ事務局トノ聯絡ノ為夫々相当ノ措置ヲ講ズルニ至ルヘシト思考セラルルニ付テハ此際往電第八一七号上申本邦理事事務所組織ノ件至急御詮議ヲ進メラルル様致シタシ右ニ関シ從來理事会ノ経験ニ徴スルニ議題並關係書類漸次増加ノ傾向ヲ有スルヲ以テ聯盟ノ前途ニ異変ナキ限り總會後ニ於テモ既ニ相当事務ノ幅轆ヲ見ルニ至ルヘシト想像セラレテ之ニ相当ノ理事「スタッフ」ヲ要スヘシト思考セラルルトコロ茲ニ注意スベキハ聯盟關係書類ハ英仏両文ヨリ成リ居ルモ理事会ノ議事ニ当リテハ「バルフォア」ヲ除ク外各国理事總テ仏語ヲ用ヒ而シテ同氏モ亦仏語ヲ解スルヲ以テ仏語ハ之ヲ翻譯セズ翻譯ニ附スルハ「バルフォア」ニ於テ英語ヲ用ヒタル場

合ニ限ラレ居ルガ如キ状況ナルニ顧ミ理事「スタッフ」モ成ルベクハ英仏両語ニ通ズルモノヲ以テ之ニ充ツルコト便宜ナルヘシト思考ス依テ

一、在歐各大使ニ於テ理事兼任ノ場合モ事務所ニ要スル「スタッフ」如何ト言フニ少クナクトモ先ツ既ニ上申ノ通差シ当リ理事留守役ニ当リ将タ常務ノ処理ニ当ルヘキ公使若クハ参事官格ノモノ一名書記官一名官補書記生各一名ノ外ニ大使タル理事ノ下ニアリテ右理事事務所トノ聯絡ニ当リ理事会開催ノ場合ニハ理事ニ随行シテ事務所詰書記官等ト共ニ會議事務ニ当ルヘキ書記官一名都合五名ヲ要スヘシ二、専任理事任命ノ場合ニハ右五名ノ「スタッフ」ヲ事務所專屬ノ要アルヘシト思考ス

在英大使ハ転電セリ

一四四 九月十三日

在仏国松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第九回聯盟理事会ノ議題及報告者ニ付事務局  
ヨリ通知越ノ件

第一四三四号

(九月十四日接受)

往電第一二六三号第二ニ関シ第九回聯盟理事会ハ巴里ニ於テ九月十六日ヨリ開催セラルヘク同議題及報告者左ノ通決定ノ旨事務局ヨリ通知アリタリ

(一)「オイベン」「マルメディ」問題 伯刺西爾代表者

(二)「オーランド」島問題報告 英

(三)「ザール」行政委員会報告 希臘

(四)希臘勃牙利間双互移民条約 仏

(五)旅券問題(第八回聯盟理事会第一ノ三参照) 白

(六)四月一日乃至六月三十日聯盟決算審査方ノ件 西班牙

(七)「ゼネヴァ」ニ於ケル諸契約ニ関スル正式決議(往電第

一二七三号ノ二後段参照) 西班牙

(八)一九二一年予算ニ関スル覚書 西班牙

(九)「ブラッセル」理事会ノ議題及報告者選定(未定)

(十)「チエックスロヴァック」塊太利及勃爾牙利少数民族条

約ニ基ク聯盟ノ責任 伊太利

(十一)波蘭「リトアニア」間紛争問題 (未定)

右在欧米各大使ハ転電セリ

一四五 九月二十二日

在仏国松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第九回聯盟理事会ニ於テ「オーランド」島問題波蘭リスアニア紛争オイベン、マルメディ問題ザール行政委員会報告武府財政會議等ノ問題  
討議ノ件

第一四六九号

(九月二十四日接受)

第九回聯盟理事会ノ一

九月十六日以来仏国上院議長官舎ニ於テ同国理事司会ノ下ニ第九回聯盟理事会ヲ開ク公開セザル会合重ナルコト八回二十日午前ノ公会ニ終ル(公会ハ別ニ電報ス)列席各国理事英「フィッシャー」文部大臣仏「ブルジョア」伊国「フエリス」西班牙「キノネス」白耳義「イーマンス」伯刺西爾「ダクンニヤ」希臘「カクラマノス」(在英公使)日(本使十七日ハ差支アリ三浦公使代理出席)ニシテ議事要領左ノ通

(一)「オーランド」問題

第八回聯盟理事会第一ノ七所報三法曹委員会ハ七月十二日倫敦理事会決議ニ基ク同委員会審査事項ノ第一点タル本件

カ芬蘭ノ国内問題ナリヤ否ヤノ点ニ関シ凡ソ確定ノ存在ヲ有スル国家ニ取りテハ其ノ領土ノ処分ハ一ニ其ノ主權ノ發動スヘキモノニシテ所謂人民自決權ニ則リ其ノ領土ノ一部の分離ヲ来タスノ權ハ現行國際法上当該人民ニモ他国家ニモ認めラレザル処ナリ故ニ確定国家ニ取りテハ其ノ領土ノ一部の分離問題ハ全ク国内問題ト言ハザル可ラス然レトモ右原則ノ適用アルハ確定ノ国家並ニ其ノ確定ノ存在ヲ有スル間ニ限ルモノニシテ国家成形ノ途ニ在ルモノ若クハ革命混沌ノ状態ニ在ルモノニ取りテハ其ノ適用ヲ見ズ斯卡ル状態ハ國際社会全体ニ變更ヲ来タスノ傾向ヲ有シ政治上法律上國際社会全体ノ利害關係ヲ有スル所ニシテ人民自決權ノ適用ヲモ予見シ得ヘキ次第ナリ今「オーランド」島民分立希望表示當時ニ於ケル芬蘭ノ状況ヲ見ルニ国家成形ノ途ニアリタルヲ知ルベク從テ斯卡ル事態ニ發生セル「オーランド」島分離問題ハ同国限りノ国内問題ニ非ズシテ規約第十五条第四項ニ依リ理事会ニ於テ正当トスル解決方法ヲ勸奨スヘキ問題ナリ尤モ露國勞農政府モ本件ニ関シ深甚ノ利害關係ヲ有シ同国ノ同意ナクシテ「オーランド」ノ帰屬ヲ決定スルノ非違ヲ唱ヘ居レドモ露國ノ現状ハ他ノ利害關係国

ニ對シ問題ノ解決ヲ遮ルモノニ非ズ露國ハ追テ國際間ニ承認セラレタル政府確立ノ上右ノ解決ニ加入スルヲ得ヘシトノ趣旨ヲ芬蘭過去及近代ニ於ケル幾多ノ事情ニ照シテ論結シ又倫敦理事会決議第二点タル「オーランド」島無防備ニ對スル國際的義務ノ限界ニ関シ右義務ヲ規定セル一八五六年三月三十日ノ協約当事国（英、仏、露）ハ素ヨリ同日附巴里條約当事国（墺、仏、英、露、普魯西、「サルヂニヤ」、「土耳其」）モ這次大戦ニ於テ各々互ニ戦ヒタルニ非ザルヲ以テ右協約並ニ條約ハ依然有効ナルヘク且ツ右ノ義務ハ歐洲全体ノ利害關係ノ為メニ設ケラレタルモノニシテ所謂國際地役ニ非ザルヲ以テ「オーランド」島ニシテ何レノ國ノ領土トナルモ要役地ト承役地ト混同ニ依リテ前記義務消滅スルコトナク各利害關係国ハ同島領有国ニ對シテハ義務ヲ尊重セシムルノ權アルト同時ニ領有国ハ之ヲ守ルノ義務アルモノトスルノ趣旨ヲ詳述シタル報告書ヲ提出シタルニ付拾六日午前ノ理事会ニ於テ瑞典代表者「ブランテング」（同国首相）ハ些細ノ点ヲ除キテハ総ベテ右報告ノ趣旨ニ満足ノ意ヲ表セルモ「フィンランド」代表者「エンケル」（在仏公使）ハ右報告第一点ノ結論ニ對シ國際法上先例無キ

独断ナリトノ意味ヲ述フルト共ニ該報告中引用ノ事實ニ對シ一一論駁ヲ試ミ就中七月九日附「ブランテング」ヨリ理事会ニ宛テタル書翰ヲ引用シ同書翰ニ依レハ「オーランド」島民ヲシテ「プレビシット」ニ依リ「フィンランド」ノ主權ノ下ニ留マルヘキヤ瑞典ニ併合セラルヘキヤヲ定メシメラレン事ヲ云々ノ文句アリテ明カニ「オーランド」ハ「フィンランド」ノ主權ノ下ニアル事ヲ表明シ居レル処法曹委員會ハ斯クテハ「オーランド」問題ヲ以テ「フィンランド」問題トスルノ外無キヲ以テ其ノ報告中右書翰ヲ引用スルニ當リ主權ノ字ニ代フルニ「ドミネーション」ノ字ヲ以テシ居レリト述ブ越エテ拾八日午前ノ理事会ニ於テ瑞典代表者ハ右「フィンランド」代表者ノ駁撃ニ對シ右書翰中ノ主權ノ字ハ *Souveraineté de fait* 若シクハ *Domination* ノ字ニシテ「スーヴレーヌテ、ド、フェ」ヲ意味スルモノニアラズ此ノ最後ノ意味ニ関シテハ瑞典ハ嘗テ是ヲ承認（脱）ランド」代表者ハ幾多ノ先例ヲ引用シテ主權ノ性質ヲ説キ事實上ノ主權無クシテ法律上ノ主權ヲ想像シ得ベカラザル次第ヲ述ブ且ツ一定ノ文明ヲ有スル諸邦ガ何レノ主權ノ下ニモ屬セズトハ想像シ得ベカラザルヲ以テ「オーラン

ド」ニ對スル所謂法律上ノ主權ハ何国ニ屬スルヤ曩ニ瑞典ガ「フィンランド」ニ對シ其ノ領事認可狀ヲ求メタルハ是ヲ如何ニ解スベキヤト論難頗ル努メタルモ理事会ノ意向ハ拾七日並拾八日午前理事ノミノ秘密協議ニ於テ既定マル処アリ本件報告ノ任ニ當レル英國代表者ハ右協議ニ基キ先ツ法曹委員會論斷ノ妥當ナル旨ヲ指摘シテ「オーランド」問題ガ規約第十一条及第四条ニ依リ理事会ノ權限ニ屬スル旨ヲ報告スルヤ議長ハ予メ打合置キタル処ニ基キ規約第十五条第六項ヲ引用シテ此ノ報告ノ全会一致採用ニハ紛爭當事国ノ同意ヲ必要トセザル旨ヲ闡明シ從テ八國理事ノミノ一致ヲ以テ是ヲ採用シ次テ本件ノ根本的解決方法ニ関シ英國代表者ハ議長ヲシテ三人委員ヲ任命セシメ理事会ニ於テ紛爭各當事国ノ正当利益ヲ考量シテ当該地方ノ平和ヲ維持シ得ヘキ一時的若シクハ永久ノ方法ヲ確証シ得ル様報告ヲ提出セシメン事ヲ提議シ是ニ對シ議長ヨリ「フィンランド」瑞典兩代表者ノ意見ヲ求メタル処瑞典代表者ハ「オーランド」島民ノ為メニ感謝ノ意ヲ表シ「フィンランド」代表者モ亦右提議ニ同意シ即チ全会一致是ヲ採用ス右ノ報告ヲ二分シ且理事会權限ノ決定ニ際シ規約第十五条第六項ヲ適

用シタルハ各理事ニ於テ「フィンランド」代表者ノ右ニ対スル反対強硬ナルヲ思ヒ、素リニ全会一致ヲ求ムル時ハ「フィンランド」反対ノ場合、理事会ハ権限問題ヲ以テ既ニ蹉跌スルニ至リ、甚ダ面白カラザル結果ヲ来タスノ虞アルヲ慮リ、先ヅ以テ理事会ノ権限ヲ確立シ而シテ後根本的解決方法ニ関スル紛争、当事国ノ同意ヲ求ムルノ政策ニ出デタルモノナルガ右拾五条第六項ノ適用問題ハ向後慎重考究ヲ要スル重大問題ナリト思考ス

在欧米各大使ヘ転電セリ

(二)波蘭「リトアニア」間紛擾問題

波蘭東方国境ハ一九一九年十二月八日最高會議決定ノ仮国境線ノ外未タ決スル処ナク、同線西部ナル「セーニ」「スワルキー」「オーギュスト」地方ハ波蘭ト「ポリシェビキ」トノ開戦以來波蘭「リトアニア」間互ニ奪還ノ巷ト化セシカ九月初メニ至リ、一旦波蘭軍ノ手ニ復シタル同地方ハ再ヒ「リトアニア」軍ノ略取スル処トナレリ

事務総長寛書ニ依ルニ、右ノ事態ニ鑑ミ九月五日波蘭外相ハ同総長ニ電報シテ「リトアニア」軍ヲシテ右ノ地方ヨリ撤退セシムルト共ニ其背後ニ於テ「ポリ」軍ト協力スルヲ恫

メシメンカタメ聯盟ノ干渉ヲ求メ来リ、次テ「リトアニア」政府モ又事務総長ニ対シ波蘭ノ主張ヲ駁シテ、自国ノ立場ヲ弁明スルト共ニ、本件ヲ倫敦ニ於テ兩國間商議解決センカタメ英國政府ノ斡旋ヲ求メ居レルモ、右商議開催ノ運びニ至ラザルトキハ聯盟ノ調停ニ附センコトヲ希望スル旨ヲ通シ来リタルガ、事務総長ハ議長ト協議ノ上之ヲ今回理事会ノ議題ニ上シ英國政府モ亦聯盟ノ本件ニ対スル執掌ヲ希望スル旨申送レル由ニテ、理事会ハ十七日午後、十八日午後ノ会合ニ於テ波蘭代表者「バデレウスキー」「リトアニア」代表者「フォルデマール」ノ陳述ヲ聴取スルト共ニ規約第十七条ニ基キ非聯盟国タル「リトアニア」代表者ヲシテ同国ノタメニ聯盟国ト同一ノ義務ヲ承諾セシメ、一方本件報告者白耳義理事ヲシテ右両代表者ト接触シテ本件解決案ノ準備ニ努メシメ、同理事成案ニ対シ十九日ノ秘密會議ヲ経テ更ニ同日午後兩國代表者列席ノ上慎重攻究ヲ遂ケ結局左ノ事情即チ一、前記最高會議決定、仮国境線以西ニ於ケル「リトアニア」軍ノ存在ハ波蘭ノ忍ブ能ハザル処ニシテ波蘭政府ノ見解ニ依レバ右ノ結果波蘭「リトアニア」兩國間戦争ヲ免カルベカラザルコト

二、「リトアニア」代表者ノ言ニ依レバ右国境線ハ嘗テ「リトアニア」ニ通告セラレタルコトナク、従ツテ同国ハ之ニ従フノ義務ヲ有セザルノミナラズ、一九二〇年七月十二日同

国ハ勞農政府トノ条約ニ依リ他ノ国境線ヲ撰ビテ一部變更ヲ決定シ、他ハ後日波蘭トノ協定ニ依リ之ヲ補フコトトセルコト

三、目下「カルヴァリヤ」ニ於テ波蘭「リトアニア」兩國間直接講和談判中ニシテ、本件ノ最終的解決ハ敢テ兩國ノ求メザル処ナルヲ以テ、此点右談判ノ成功ヲ祈レハ可ナリ、只刻下理事会ノ干渉ヲ必要トスルハ兩國ヲシテ其占領地帯ノ境界ヲ承認セシムルニアルコト

四、但シ茲ニ注意スヘキハ波蘭ト「ポリ」トハ戦争中ニシテ「リトアニア」ノ一部ハ現ニ勞農軍ニ占領セラレ居ルノ狀況ナルヲ以テ、勞農軍ニシテ「リトアニア」領土ノ中立ヲ尊重セザル時ハ波蘭ノミ其中立ヲ尊重スルコト甚タ難ク波「リ」兩國間占領地帯境界線ノ確定ハ有名無実ニ終ルヘキ処「リトアニア」代表者ノ言ニ依レバ九月五日「チチェリン」ハ「リトアニア」政府ニ対シ若シ同政府ニシテ波蘭ガ「リトアニア」ノ中立ヲ尊重スヘキ旨保証シ得ルニ於テハ

「リトアニア」領土ヲ全部撤兵スルニ異議ナキ旨宣言セルコト等考量ノ上全会一致左ノ通決定セリ

一、兩國間ノ休戦ハ理事会調停上ノ必要条件ナルヲ以テ、兩國ニ於テ直チニ戰闘停止ニ関スル有ラユル手段ヲ講スル様早速兩國政府ニ強請スル事

二、兩國政府ニ対シ左ノ調停ヲ提議スルコト

(イ)「リトアニア」政府ハ波蘭トノ直接談判ニ依リ其ノ領土権確定スル迄、本件仮境界線トシテ前記最高會議決定ノ境界線ヲ承認スルト共ニ、同線以西ノ地帯ヨリ撤兵スル事

(ロ)波蘭政府ハ後日其ノ領土権ヲ確定スルニ至ル迄「ポリセビキ」トノ戰闘ニ當リ右境界線以東「リトアニア」占領地帯ノ中立ヲ尊重スル事、但シ「リトアニア」ニ於テ「ポリセビキ」当局者ヨリ右中立尊重ノ保障ヲ得ルヲ要ス

三、両政府ニシテ右提議ヲ承諾スル時ハ一委員會ヲ任命シ、両当事国ニ於テ本協約上ノ義務ヲ確守スル様嚴重ニ是ヲ監督スル事

四、兩國政府ノ回答ヲ受ケ事宜ニ依リテハ右監督委員ヲ任命シ、及次回理事会ニ報告ヲ提出セシムル為メ、理事会ノ代表者ヲ指定スル事

尚各國理事協議ノ結果日西兩國理事ニ於テ右代表者ノ任務ニ当ル事トナリ監督委員トシテハ在波蘭英仏日伊軍代表者ヲ以テ是ニ当ル事トナレリ目下波蘭ニハ正式ニ我陸軍代表者アル訳ニアラザルモ聯盟理事会ニ於ケル帝國ノ地歩ニ鑑ミ右監督委員ヲ派スルヲ有利ト認メタルヲ以テ陸軍部ト協議ノ上必要ノ場合ニハ目下「ワルソー」駐在山脇大尉ヲシテ右任務ニ當ツル事ニ取計置キタルヲ以テ御含ミ置キヲ請フ

(三)「オイペン」「マルメーディ」問題

「ヴェルサイユ」条約第三十四条ノ規定ニ基キ白耳義政府ハ八月十九日附ヲ以テ聯盟事務局ニ同条ニ規定セル民意公表ノ結果ヲ通告シ来タル趣ニテ本件ニ関スル事務局覽書ハ右民意公表実施ノ成行並ニ是ニ對スル独逸ノ抗議白耳義ノ陳弁ヲ縷述批評シ居レル処其ノ内白国ニ於テ民意公表実施ニ當リ一九一四年八月一日以後「オイペン」「マルメーディ」地方ニ居住スルニ至リタルモノニ對シ意思發表ノ機會ヲ与ヘザリシ事ヲ以テ酷ナリトスルノ意見ナリ報告者伯刺西爾理事ハ是ヲ以テ或ハ英國側ノ意向ニ出ヅルニアラザルカラ恐レタルモノカ拾六日午前ノ秘密會議ニ於テ独逸側抗

議ノ取ルニ足ラザル事ヲ述ブルト共ニ右事務局側ノ意見ニ對スル各理事ノ所見ヲ叩キタルガ白耳義理事ハ右期日以後居住ノモノニモ意思發表ノ權ヲ与フル時ハ單ニ反對意思發表ノ目的ヲ以テ多數ノ来住者ヲ見ルニ至ルヘク民意公表ノ結果ハ正當ナラザルニ至ルベキ旨ヲ詳細陳弁セリ右ニ對シ秘密會議ハ何等反對ノ意見ヲ述ブルモノ無ク十六日午後ノ普通會議ニ於テ伯刺西爾代表者ハ(一)民意公表ノ條件ヲ定ムルハ當該地方ノ主權者タル白耳義政府ノ權限ニ屬シ白耳義當局ノ定メタル條件ハ條約ノ文字精神ニ合セル事(二)白国政府送附ノ記録ニ依ルニ六三、〇〇〇名ノ住民中當該地方ノ独逸復帰ヲ希望セル者ハ二百七十一名ノ少數ニ過ギザルヲ以テ條約ニ基ク右地方ノ白耳義ニ對スル割讓ハ其ノ儘有効ナリトスベク民意壓迫ニ對スル明白ナル証左無キ限り他ノ決定ヲ下ス事能ハザルベキ処独逸側ノ証拠書類ハ重ヲ置クニ足ラザル事等ヲ述ベ「オイペン」「マルメーディ」ニ對スル主權ノ白耳義ニ對スル確定的移轉ヲ認メン事ヲ提議シ英國理事先ヅ贊成シ全会一致是ヲ承認ス

(四)「ザール」行政委員會報告

本年二月ノ理事会ハ「ヴェルサイユ」條約ノ規定ニ從ヒ

五名ノ行政委員中ヨリ其一名ヲ「ザール」住民ニシテ仏國人ニアラザル「アルフレッド、ボック」ニ任命セル所同人ハ八月六日電報ヲ以テ其意見ニ反シテ編成セラレタル旧独逸官吏任用令ニ對スル人民ノ不滿ニ顧ミ辭職スルノ外ナキニ至レル旨ヲ申出デタリ然ルニ此電報ト前後シテ「ザール」地方行政委員長ヨリ同地方鉄道郵便電信從業者大罷工開始ノ報事務總長ニ到達セル由本件報告者希臘理事ハ條約ノ規定ニ從ヒ一ケ年ノ任期ヲ以テ任命セラレタル行政委員ガ政治上ノ理由ヲ以テ辭職シ得ルノ權ヲ有スルヤ否ハ暫ク措キ同人ト他ノ四委員トノ往復ニ查スルニ今後相互ノ間到底圓滿ナルヲ得ベカラザル如クナルヲ以テ同人ノ辭職ヲ聽許シ其ノ後任トシテ「ドクトル、ベクター」ヲ前任者ト同様ノ條件ヲ以テ任命センコトヲ提議シ且ツ右任用令ガ「ボック」ヲ含ム小委員會ノ準備ニ係ルモノニシテ其ノ規定ハ極メテ「デモクラチック」ナルノミナラズ其ノ適用ニ當リテモ自由ヲ旨トシ居レルコト行政委員長ノ報告ニ依ルモ明ナルヲ以テ理事会トシテハ重大ナル事由ナキ限り「ザール」行政ニ干渉スルノ好マシカラザルコト並ニ行政委員ハ定期理事会ニ對シ重

要事件ノ報告ヲ怠ラザルヲ以テ「ボック」ノ要求タル「ザール」地方民情調査員若クハ委員會派遣ノ無用ナルコトヲ述べ最後ニ行政委員ノ報告ニ查スルニ同委員ノ事業ハ困難ナリト雖其ノ前途ハ充分ニ信用ヲ置クニ足レリトノ趣旨ヲ報告シ理事会ハ一々之ヲ可決ス

(五)希臘勃牙利間少數民族相互移住混合委員

千九百十九年十一月二十七日「ニューイー」ニ於テ希臘兩國間ニ調印セラレタル兩國少數民族相互移住ニ関スル協約第八條ニ依レバ同協約効力發生後三ヶ月間ニ右協約實施ノ為メニ混合委員會ヲ設ケ希臘兩國ニ於テ各一名ノ委員ヲ、聯盟理事会ニ於テ右兩國以外ノ国籍ヲ有スルモノヨリ二名ノ委員ヲ任命シ理事会任命ニ係ルモノノ内一名ハ議長タルコトノ規定アリ同協約ハ去八月九日希臘兩國ノ批准交換ニ依リテ實施セラレタルヲ以テ来ル十一月九日以前本件委員會ヲ設クルノ必要ヲ生シ從テ理事会ヨリ右二名ノ委員ヲ任命スルノ要ヲ見ルニ至レリ然ルニ右任命ニ関スル協約ノ規定精密ナラザルヲ以テ本件報告者仏國理事ヨリ十六日午前ノ理事会ニ於テ

(一)實力ヲ有セザル聯盟ノ現情ニアリテハ土耳其少數民

族保護ニ関スル場合同様、(第四回聯盟理事會議事参照) 理事会ニ於テ一旦委員任命ノ上ハ締約國ノ命令ト責任トノ下ニ其職務ヲ遂行セシムルヲ可トスヘキコト

(二) 右委員不在ノ場合ニハ委員自ラ副委員ヲ任命スヘク而シテ其ノ趣ヲ事務総長ニ電報セシム副委員ト理事會トノ連絡ハ充分ナルヘキコト

(三) 第一回ノ議長ハ抽籤ニ依リテ之ヲ定メ六ヶ月毎ニ交代スルコト

(四) 委員ノ俸給ハ右委員會ヲシテ研究セシメ其最後ノ決定ヲ議長ニ一任スルコト

等ヲ提議シ理事会ハ一々はヲ承認スルト共ニ議長ニ於テ事務総長ト協議ノ上本件委員ヲ任命スヘキコトニ決定ス(六)(九)(省略)

(十) 「アルメニア」保護ニ関スル首相會議ニ対スル理事会ヨリノ覚書ニ関シ十九日ノ理事會ニ於テ英國代表者ヨリ同覺書所載ノ諸提議殊ニ財政上ノ保障ニ関スル件ニ付キ第四回理事會當時話合ノ行懸モアリ此ノ際事務総長ヨリ最高會議ニ対シ右諸提議ヲ来ル總會ニ付議スルヲ希望スル

点ヲ承認スルト共ニ(三)ニ関シ財政會議ハ各國政府ヲ拘束シ得ベキモノニアラザルハ勿論ナルモ議決ニ際シテハ各代表者各一票トシ全會一致ヲ要スヘク而シテ理事會ニ於テ財政會議ノ模様ヲ(不明)カ為メ單純多數若シクハ少數ノ意見ヲモ報告セシムル事ニ一決ス

#### (三) 次回理事會

次回理事會ハ十月二十日「ブラッセル」ニ於テ開會ノコトトナリ予定議題及ヒ報告者左ノ通り決定セラル

#### 一、「オーランド」問題(英國代表者)

二、少数民族ニ関スル條約ニ基ク理事會ノ責任、本件ハ今回理事會ノ議題ニ予定シアルタルモ遂ニ討議ノ運ニ到ラザリキ(伊太利)

#### 三、「ダンチツヒ」自由市憲法問題(日本)

#### 四、常設國際司法裁判所問題(仏)

#### 五、「モノポリ」等ニ関スル聯盟ノ決議問題(伊太利)

#### 六、常設軍事委員會報告(伯利西爾)

#### 七、一九二一年度予算(西班牙)

#### 八、「ブラッセル」財政會議(仏)

#### 九、俘虜送還(事務総長)

ヤ否ヤヲ問合サシムル事ヲ提議シ理事会ハ是ヲ承認ス(二)「ブラッセル」財政會議

本件ニ関シテハ「サン、セバスタアン」理事会ノ決定ノ通仏國理事ニ於テ引キ続キ斡旋スル事トナリ居レル処同理事ハ拾九日ノ理事會ニ於テ(一)財政會議議題第三編第九章ニ関シ各章所載事項ガ會議決議ノ目的トナリ得ルヤ否ヤニ付キ異論アル処倫敦理事會ニ於テ決議ノ通(第二回聯盟理事會ノ三別電第八号)右ハ単ニ事実ノ開陳ニ係ルモノニシテ討論決議若シクハ希望表示ノ目的ト為スベキモノニアラズ但シ万一ノ誤解ヲ避ケンカ為メ財政會議長ニ対シ此ノ点ヲ明確ニシ置クノ必要アルヘキ事(二)「サン、セバスタアン」理事會ニテ協議ノ通諸條約ノ規定ヲ規律スヘキ問題若シクハ目下協商側トノ間ノ懸案ニ屬スルモノハ會議ノ討議以外ナル事(三)準備委員會ノ手ニ成レル議事規則案第二条ノ方法ニ関シ各代表者ハ各一票ヲ有スヘシトアリ独逸ノ如キニ三個モ表決權ヲ与フルハ好マシカラズ一國一票トスヘシトノ意見モアル処一方本會議ノ専門的方面ニ重ヲ置ク時ハ各代表一票トスル事望マシキ次第ナルガ是ヲ如何ニスヘキヤト述ヘ理事會ハ(一)(二)ノ

#### 十、塞扶斯問題(英國)

各大使ニ電シ第一一ノ(三)ノミ在白公使ニ電ス

一四六

九月二十二日

在仏國松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

#### 第九回理事會ノ公開會議ニ於テオーランド島

#### 問題波蘭リスニア紛争ニ関シ決議ノ件

第一四七〇号

(九月二十四日接受)

#### 第九回聯盟理事會ノ二

二十日午前九時半仏國上院議長官舎ニ於テ公開ノ會合ヲ催ス各國理事ノ外瑞典、フィンランド、波蘭「リスニア」代表者モ亦出席ス會衆五十有余名從來ニ例ナキ小集會ナリシガ右ハ議題ニ対スル公衆ノ無頓著ヲ意味スト言ハンヨリ寧ろ開會時間ノ割合ニ早カリシト一ニハ当地ニ於ケル理事會ノ會合既ニ数次ニ及ヒ會議ノ模様ニ対スル公衆ノ好奇心薄ラギタルガ為ナリト見ルヘキカ如シ議長「ブルジョア」ハ開會ノ辞トシテ前會以來議長ノ地位ニ在リタル西班牙大使ニ対シ(從來會議地理事ヲ以テ議長トシ旧理事ハ新會合迄議長タルノ例ナリ)本理事會議議題準備ノ勞ヲ謝シ本使ノ



帰朝ニ対シ惜別ノ意ヲ表シタル後今回ハ從來ニ比シ種々ノ國際的重要政治問題ヲ議題トスル所斯ノ如ク新興國ヨリ直接聯盟ニ対シ其難問ノ解決ヲ求メ来ルモノ益々多キヲ加フルハ聯盟ノ前途ニ対スル吉祥ニシテ理事会ハ其決ヲ採ルニ當リ今日迄嘗テ全会一致ヲ為サザリシコトナシト述ヘ次テ理事会ハ左ノ議題及報告者順等既ニ報告ノ通逐次決議シ午前十一時散会セシガ「オーランド」問題決議後「フィンランド」代表者ハ「理事会ハ「フィンランド」並ニ瑞典代表者ノ同意ヲ求ムルコトナクシテ「オーランド」問題審議ノ権限アル旨ヲ決議シ而シテ議長及報告者ノ言ニ依ル右決定ハ何等本件ノ根本的解決ニ影響ナシトノコトナルヲ以テ「フィンランド」政府トシテハ法曹委員會報告ノ論結ガ理事会ニ対シ何等ノ予断ヲモ与フルコトナシト諒解スルノ外ナク從テ予カ同意セル理事会ノ解決手續実行ニ當リテハ「フィンランド」政府ハ予テ声明ノ通「オーランド」島ノ主權ヲ有スルモノニシテ同島ノ人民投票ニ対シ絶対ノ決定權ヲ有スルモノナリトノ見解ヲ留保セザルヲ得ズ」トノ趣旨ヲ宣言シテ議場ヲ驚カシ又波瀾「リヌアニア」紛争問題決議後而國代表者ハ理事会ノ斡旋ニ対シ滿腔ノ謝意ヲ表スルト

共ニ而政府ニ於テ理事会ノ提議実行ノ為有ラユル手段ヲ惜マザルベキ旨ヲ述ヘ而國民和解ノ徵象トシテ而代表互ニ握手シ大ニ会衆ヲ感動セシメタリ

一、「オーランド」問題（英國代表者）

二、波蘭リヌアニア紛争（日）

三、「ザール」行政委員會報告（希臘）

四、一九二〇年四月一日乃至六月三十日決算審査ノ件（西班牙）

五、第三回予算（一九二〇）（同）

六、「ゼネヴァ」ニ於ケル不動產購入契約ノ件（同）

七、「オイペン、マルメディ」問題（伯刺西爾）

八、少數民族移転ニ関スル希勃協約關係（仏）

在歐米各大使へ転電セリ

一四七 九月二十五日

在仏國松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第九回理事会ニ関シ感想報告ノ件

第一四八一号

（九月二十七日接受）

第九回聯盟理事会ノ三

今回ノ理事会ハ從來ニ比シ種々國際的難問題ノ解決ニ當リ

其決議モ聯盟ノ現状ヲ以テシテハ一種ノ英断ナリト謂フヲ得ベキ処右ハ理事会開会ノ都度報告ノ如ク理事会ニ対スル各國ノ輿論ノ反響抄々シカラザルモノアルニ鑑ミ各國理事ニ於テ理事会ノ立場ヲ考慮シタルモノニシテ「オーランド」問題ノ解決ニ當リ規約第十五条ヲ援用シテ先ヅ本問題ニ対スル理事会ノ権限ヲ確立シタル如キ又波蘭「リトアニア」紛争事件ニ関シ而國代表者ノ陳述ハ往々不明瞭ナリシニ拘ラズ理事会ハ忍耐ヲ以テ之カ聴取ニ當ルト共ニ規約第十七条ヲ承認セシメテ「リトアニア」ノ立場ヲ拘束シ且ツ報告主任白耳義代表者ニ於テ公式ノ会合以外非公式ニ而代表者ト終始接触シテ双方ノ希望ヲ聴取スルニ遺漏ナキヲ期シ以テ本件解決ニ努メタルガ如キ各國理事苦心ノ存スル処察知スルニ足ルベシ唯而問題ノ性質一刀兩断ニ便ナラズ謂ハバ解決ノ一步ヲ進メタルニ過ギザルモ理事会ノ現状ニアリテハ所期以上ノ効果ナリト謂フベシ而シテ当地新聞界ハ大統領改選ノ重要問題ニ没頭シ注意ヲ払フモノ少ナカリシガ右各國理事ノ熱心ト其ノ挙ゲ得タル効果トニ鑑ミ聯盟ノ前途ニ好意的批評ヲ加フルモノナキニアラズ

在歐米各大使ニ転電セリ

一四八 十月十八日

在仏國松井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第十回理事会ニ出席ノ為隨員帶同武府二向フ

旨報告ノ件

第一六〇四号

本使ハ長岡參事官、谷、沢田而書記官、吉沢官補、井上書記生帶同聯盟理事会出席ノ為メ十月十八日当地発「ブラッセル」ニ向フ留守中大使會議ハ三浦公使ニ委任セリ

一四九 十月二十一日

在仏國石井大使（武府出張中）ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

第十回聯盟理事会ニ於テアルメニヤ俘虜送還

波蘭チブス及オイペン、マルメディ並各種委

員會費用等ノ問題討議ノ件

ブラッセル第二号

（十月二十三日接受）

第十回聯盟理事会ノ一

二十日朝白國理事「イーマンス」宅ニ於テ理事ノミノ懇談會ヲ開ク出席者左ノ通

英、バルフォア、仏、ブルジョア、伊、チットニー、西班牙、キノネス、白、イーマンス、希臘、カクラマノス、伯國、ダクンニヤ、日、本使先づ司法裁判所問題ニ関シ筆記ヲ省略シテ自由ニ意見交換ヲ行ヒタリ（此懇談会ハ明朝継続スル筈ニ付本件ハ其上ニテ報告ス）

午後白國學士院内ニ於テ公開セザル第一回ノ理事会ヲ開ク  
主要議事左ノ通

一、「アルメニヤ」ノ将来

本件報告者英國理事ヨリ「アルメニヤ」ノ将来ニ関シテハ米國ハ之ガ「マンダー」ヲ引受ケズ其引受ケタル國境確定ノ点ニモ何等其緒ニ就カザルニ一方在巴里「アルメニヤ」代表者ヨリハ土耳其「ナシヨナリスト」軍ノ同地侵入ニ関スル愁訴アリ而シテ「アルメニヤ」ノ保護ハ財力、兵力ノ二方面ヨリスルヲ要スル処世界財政界ノ現況ニ於テハ「アルメニヤ」ノ公債ヲ引受クル國モナカルベク英國トテモ目下ノ狀況ニ於テハ軍需品等ヲ供給シ得ルノ外到底「アルメニヤ」ノ公債ニ応スルコトヲ得ズ又兵力救援ノ方面ヲ見ルニ「アルメニヤ」最近ノ事態ハ一種ノ内乱ニシテ本来國際問題ヲ執掌スベキ聯盟ノ干与スヘキ処ニアラズ左リトテ之

ヲ放任シ置クベキニアラザルヲ以テ最高會議（セーヴル條約調印ノ四大國）ニ對シ右「アルメニヤ」ノ窮狀ヲ訴フルト共ニ本件ニ関スル理事会ノ態度ヲ述ベ同時ニ「アルメニヤ」代表者ニ對シ理事会ノ執リタル措置ヲ知ラシメンコトヲ提議シ其通決定ス

二、俘虜送還問題

事務總長ヨリ本件ニ関シ「ナンセン」博士其後ノ努力並送還事業進捗ノ模様ニ関スル報告アリ理事会ハ之ヲ承認スルト共ニ「ナンセン」博士ノ勞ヲ謝スルコトトセリ

三、波蘭窒扶斯

本件ニ関シ事務總長ノ報告ニ次デ報告者英國理事ハ其ノ各國ニ對スル訴ノ不成功ニ終レルヲ嘆ズルト共ニ地理上其ノ他ノ理由ニ依リ本問題ノ重大ナル所以ヲ諒解スル事能ハザル多數ノ國家ヨリ充分ノ同情ヲ博シ得ザルハ已ムヲ得ザル次第ナリ依テ此ノ際理事会トシテハ（一）其ノ事業ノ不成功ヲ世上ニ告白スルカ（二）是ヲ來タル聯盟總會ノ議題トシ同總會ニ責任ヲ轉嫁スルカノ二途其ノ一ヲ選ブノ外無シト述ベタルガ前記事務總長報告中本件ニ関スル各國ノ態度ヲ述ブルニ當リ日本ト伯刺西爾トヲ併舉シテ兩國ハ未ダ何等公ノ回

答ニ接セザル旨ヲ指摘シ事態稍々説明ニ価スト認メタルヲ

以テ本使ハ日本政府ハ英國理事ノ人道ヲ旨トスル高尚ナル訴ニ對シ將又聯盟ノ一員トシテ充分ノ責務ヲ感シ居ルモノナリト雖モ如何センスル問題ハ一國ノ地理的境遇ト離レ考フルヲ許サザルモノアリ若シ阪ニ支那滿洲香港、馬尼刺、比律賓等ニ窒扶斯起リタリトセンカはカ救援ニ赴クハ容易ナルベク又現ニ是ヲ為シツツアリ然レ共一万哩ノ彼方ニ起レル救援事業ニ對シ曩ニ日本ノ分担ニ擬セラレタル五万磅醵出方議會ノ承諾ヲ得ルハ至難ニシテ拒絕ニアラズ若シ理事会ニ於テ是ヲ希望センカ余ハ日本ヨリモ何分ノ寄附ヲ為ス様本國政府ニ請訓スルノ勞ヲ惜マズ但シ日本政府回答遲延ノ事情ハ是ヲ諒トセラレン事ヲ望ムト述ベタル処仏國理事ハ本使ノ陳述ヲ諒トスルト共ニ前述「バルフォア」提案ノ第二途ニ賛成シ來ル總會ニハ聯盟各國ヨリ各三名ノ代表者ヲ出スベク世界著名ノ人士一堂ニ集会スル事ナレバ此ノ機ヲ利用シ弁舌ニ巧ナル医学界ノ大家連ヲシテ盛ニ「マニフェステーション」ヲ為サシムベ（脱）事務總長ヲシテ今ヨリ是カ準備ヲ為サシムベシト提議シ一同是ニ異議無シ就テハ來ル聯盟總會ニ於テ本件ニ関スル「マニフェステーション」

ョン」行ハルル事ト思考セラルル処其ノ際前記日本ヨリノ

回答無キ事何等カ宣伝ニ利用セラルル事アリテハ甚ダ面白カラザルニ付キ此ノ際本使ヨリ英國理事ニ對シ可然回答スルト共ニ二十万法丈日本政府ヨリ寄附スル事トナリタル旨申添方御承認アリタシ至急御回訓ヲ請フ

四、「オイペン」「マルメデイ」問題

第九回理事会ニ於テ「オイペン」「マルメデイ」ヲ白耳義領土ニ確認シタル事ハ既報ノ通ナル処之ニ對シ独乙外相ハ十月二日付ヲ以テ斯ル決議ヲナスノ權能ハ聯盟總會ニ屬シ理事会ノ權限外ナル旨ヲ指摘シ抗議シ來レル趣ヲ以テ本件報告者伯刺西爾理事ハ規約第三条總會ノ權限ニ関スル規定ヲ見ルニ兩者其文句ヲ同ジウシ特別ノ規定ナキ限り兩者間權限ニ差異アル筈無シ依ッテ理事会トシテハ今更ニ本問題ヲ審議スルノ要ヲ認メズ独乙ニ對シテハ宜シク此ノ趣旨ヲ以テ回答ス可シト提議シ一同異議無シ

五、理事会任命各種委員會費用問題

本件ニ関スル負担ヲ如何ニス可キヤニ関シ報告者伯刺西爾理事ヨリ之ヲ各國理事ニ詢リ意見交換ノ結果理事会ハ各種委員會費用負担問題ヲ一律ニ決定スルハ困難ナル可ク宜シ

ク各場合ニ付之ヲ決ス可キモノト認ムルト同時ニ大体一般ノ利益若クハ理事会其ノモノノ委託ニ基ク事業ノ費用ハ(脱)トキハ之ヲ聯盟予算ヨリ支出スル事(例ヘバ波蘭空扶斯委員會「ナンセン」博士事業海牙公法家委員會「オーランド」問題法律家委員會等ノ費用)或ル問題ニ関シ当事國ノ希望又ハ同意ニ依リ之ヲ解決ニ當リ直接受責國アル場合(例ヘバ波蘭「リトアニア」事件)ニハ之ニ関スル委員會ノ費用ハ当事國ノ分担トスル事ニ決ス

一五〇 十月二十五日

在仏国石井大使(武府出張中)ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

## 第十回理事会ニ於テ委任統治委員會設置問題

## 討議ノ件

ブラッセル第九号

(十月二十七日接受)

十月二十二日午後聯盟理事会ニ於テ千九百二十一年度聯盟予算討議ノ際本使ハ委任統治委員會經費トシテ十萬法ヲ計上シアルニ言及シ元來同委員會ハ委任統治國ヨリ其ノ統治ニ関スル年報提出ヲ俟チ之ヲ審査スルヲ以テ其ノ職トスルモノニシテ統治國間ニ委任條約締結セラレタル後少クモ一

年ヲ經ルニ非ザレバ行動シ得ザル性質ノモノナリ故ニ本員ハ茲ニ計上セラレタル金額ニ付キ反對スルモノニ非ザルモ主義トシテ委任統治條約未ダ確定セザル今日同委員會設置ヲ提起スルヲ尚早ト見做ス旨ヲ述ベタルニ委任統治問題ノ報告者タル「イーマンス」ハ規約第二十二條第九ノ末尾ヲ援用シ同委員會ノ任務ハ必ズシモ報告審査ノミニ止ラズ廣ク委任統治遂行ニ関スル諸問題ニ付キ意見ヲ具申シ得ルモノト解スル旨ヲ答ヘ但シ右ハ予算問題ニ非ズシテ主義ノ問題ナルヲ以テ委任統治委員會構成問題審議ノ際意見ヲ交換シ度キ旨ヲ希望シタルヲ以テ本使モ之ヲ承諾シ置キタリ次イデ二十三日午前会合ノ際來ルベキ總會ニ提出スル為メ事務總長ニ於テ作成シタル聯盟成立後理事会ノ遂行ニ着手セル事業ニ関スル浩瀚ナル報告書提出セラレタルガ委任統治委員會ニ開スル部分ニ付キ從來ノ了解ト異リ誤解ヲ生ジ易キ点アリ特ニ該報告案中理事会ハ右委員會ニ於テ一委任統治國ノ委員ハ自國ニ関スル問題ニ對シテハ投票權ヲ有セシメザルヲ可トストノ提議ヲナセル旨掲ゲラレ居ルヲ以テ本使ハ之ヲ指摘シ右ハ「サン、セバステアン」ニ於ケル本邦理事ノ主張ニ異ル旨ヲ述ベタルニ「イーマンス」「デット

ニー」等右提議ハ「サン、セバステアン」ニ於テハ全会一致ヲ以テ贊成シタル処ナルヲ答ヘ議論沸騰シタルガ本問題討議モ又委任統治委員會設置問題審議ノ際ニ譲ルコトトシタリ右両度ノ会合ニテ該委員設置ニ関スル事務局提案(往電第一五六三号)ノ根拠モ大体推測シ得タルガ尚事務局並報告者側ニテハ(イ)委任統治ノ公平ヲ保チ輿論ノ非難ヲ受ケザランガ為メニハ右委員會ニ於ケル非受任國ノ委員ハ總會ヲシテ任命セシムルコト必要ナルコト(ロ)規約第二十二條第八項ニ依レバ理事会ハ委任統治ノ形式条件ヲモ決定シ得ル權限アルヲ以テ主要聯合國側ヨリノ同条件等ノ通告ヲ要スルニ於テハ理事会ハ右固有ノ權限ニ基キ委任統治委員會ヲシテ該条件等ヲモ審議セシムルヲ適當トシ從テ速ニ同委員會ヲ設置スルノ必要アリトノ意嚮ヲ有スル旨聞込ミタルヲ以テ二十三日午後同委員會構成問題討議ニ先チ特ニ「バルフォア」ヲ訪ヒ今回理事会ニ於テ解決困難ノ問題ヲ多ク總會ニ附議セントスル風潮アルヲ遺憾トスル旨ヲ述べ殊ニ委任統治ノ如キ大問題ヲ議論百出スベキ總會ニ提出シ統治國以外ノ委員ヲシテ委任統治ノ形式条件ニマダ容喙セシメ更ニ之ヲシテ各國ガ殆ンド其ノ私有領土トシテ

行フベキ敵國領土統治ニ對シ監督ヲ行ハシメントスルガ如キハ南洋ノ僅少ナル島嶼ヲ割當テラレタル日本ハ仮リニ之ヲ忍バントスルモ之ニ十倍スル島嶼統治ノ任ニ膺ルベキ濠洲等ノ到底黙認スル能ハザルベキ処ナル而已ナラズ其ノ影響ハ直ニ「パレストアイン」及「メソポタミヤ」等ニモ及ボシ英本國ニ對シテモ同意シ得ベカラザル結果ヲ生ズベキヲ指摘シタルニ「バ」氏ハ自分ハ規約起草ニハ与ラザリシモ既ニ規約成立ノ上ハ之ヲ遵守スルノ外ナカルベキヲ答ヘタルニ依リ更ニ條文ヲ示シ委任統治委員會ノ全然理事会ノ諮問機關ニシテ總會ト無關係ナルヲ説明シタル処同氏モ始メテ事務局案ノ横暴ナルニ驚キ(脱)旨ヲ述べ同案成立ニ反對スベキヲ約シタリ斯テ理事会ニ於テ本問題審議ニ入ルヤ「イーマンス」ハ先ヅ主要聯合國首相宛事務總長書簡(往電第一五六二号)ニ對スル十月十六日附仏國政府回答(既ニ電報濟ノ谷書記官ガ「グー」ヨリ入手シタル草案ト同一ノモノ)ヲ朗読シタル上委任統治ノ形式条件等ニ付テハ規約第二十二條第八項ニ依リ理事会ニモ之ヲ決定スルノ權限アルモ右仏國政府回答中ノ同政府希望ニモ顧ミ暫ラク之ガ審議ヲ待ツコトトス可シ但シ委任統治委員會ニ付テハ仏國

政府ニ於テモ之ガ設置ヲ希望セル処ニモアリ旁々之ヲ總會ニ提出シテ其議ニ問フ事トスベク而シテ同委員會ノ構成方法ニ付テハ前記事務局案ヲ採用スルコト可然旨ヲ主張シタルニ「バルフォア」ハ同委員會ノ構成ハ全ク理事会ノ権限ニ屬シ總會ノ干与スベキ処ニ非ザルヲ述べ「ブルジョア」本使モ之ニ賛成シタルガ「バルフォア」ハ更ニ本件ニ付テハ英領殖民地側モ亦重大ナル利害關係ヲ有スルニ依リ同殖民地代表者ノ意見ヲモ承知シタル上ニ非ザレバ今直チニ「イーマンス」提案ヲ討議スルヲ得ザル旨ヲ附言シ尚ホ該委員會ニ於テ非受任國側委員ヲ少ナクモ一名多數ナラシメントスルハ素自分ノ提案シタル処ナリシ処受任國ヨリノ委員ハ自國ニ関スル問題ニ付キ投票權ヲ有セズトセバ斯ル問題ニ付テハ非受任國側ハ常ニ二票ノ多數ヲ持ツコトナル可シトテ之ヲ非難シ本使モ亦非受任國委員ヲ一名大多數トシタル当然ノ結論トシテ受任國政府委員ニモ常ニ投票權ヲ有セシメザル可カラズ今回審議シタル國際裁判所ニ於テモ判事ヲシテ其本國ノ問題審理セラルル場合ニハ尚ホ審判ニ參加セシムルヲ認メタル旨ヲ指摘シタルニ「チットニー」ハ輿論ニ對シ委員會ノ公平ヲ保障スルガ為メ利害關係國委員

一五一 十月二十七日 在仏國石井大使(武府出張中)ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

在露羅國俘虜送還オーランド島問題理事会ノ  
事業報告書等討議ノ件

ブラッセル第一〇号 (十月二十九日接受)

第十回聯盟理事会ノ内(十月二十三日午前)

一、在露羅馬尼俘虜送還問題

聯盟ニ於テ着手シタル在露羅國俘虜送還事業ノ結果羅馬人ニシテ「バルチック」ヲ經テ既ニ本國ニ帰還シタルモノ四千人ヲ越エ露羅國政府ハ其ノ送還費負担ヲ約束シナガラ「ナンセン」氏再三ノ督促ニ拘ラズ何等回答ナキ趣ニテ今回同氏ノ請求ニ依リ理事会ヨリ羅馬尼首相宛本件費用払込方督促スルコトニ決ス

二、オーランド問題

第九回理事会ノ決議ニ基キテ設ケラルベキ本問題審査委員會ハ付白耳義外相 Beyens 瑞西前大統領 Calonsler 及伊太利上院議員 Ferraris ノ三氏ヲ以テ之ヲ組織シタル処米國委員ヲ加フルコト可然トノ提議モアリタルヲ以テ同國政府ノ内意ヲ確カメタルニ同政府モ之ヲ承諾シタ

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一五一 一五二

ニ投票權ヲ与ヘザルヲ要スル旨ヲ主張シ決定ヲ見ルニ至ラズ右所論ニ對シ「イーマンス」ハ前記仏國政府回答中ニモアルガ如クA式委任統治條約ハ關係國政府ヨリ遠カラズ聯盟ニ對シ送附セラルベキニ付テハ今ヨリ委員會ヲ設置シ右條約接到ト共ニ直ニ同委員會ヲシテ之ヲ審査セシムル必要アルヲ主張シタルガ「バルフォア」ハ右條約ニ就テハ理事會ヨリ特別ノ委員ヲ命ジ一応規約違反ノ箇所ナキヤヲ審査セシムレバ足ルモノニシテ第九項ノ委員會ノ容喙スベキ限ニアラズ此ノ点日本理事ト同意見ナル旨ヲ述べタリ依ツテ「イーマンス」ハ日英理事ハ該委員會設置ヲ不当ト認メラルルモ理事会トシテハ委任統治問題ニ関シ何等措置ヲ執リタル旨總會ニ對シ報告スル必要アリ然ラザレバ輿論ハ必ズ理事会ノ怠慢ヲ責ムベシトテ尚ホ右委員會設置論ヲ唱ヘントシタルモ本使ハ尚ホ「イーマンス」報告書中此ノ場限リ同意ヲ表シ難キ点数多アリトテ其ノ二、三ヲ指摘シ之ニ對シ又々議論ニ花咲キタル結果「イーマンス」ハ不滿ノ顔ニテ次回ニ報告書ヲ訂正シテ更ニ討議スベシト云ヒ八時閉會ス

ル旨「バルフォア」ヨリ報告ノ次第アリ理事会ハ之ヲ了承セリ

三、理事会ノ事業ニ関スル報告書

聯盟成立以來理事会ノ取リタル措置並着手シタル事業ヲ總會ニ報告スル為事務局ニ於テ作製シタル五十四頁ニ亘ル報告書提出セラレタルカ委任統治委員會ニ関スル部分ニ付本使ヨリ注意スル処アリタルハ往電第九号冒頭ノ通ニシテ其他ノ部分ニ付テモ今回ノ理事会ニ於テ一々審査スルノ暇ナク依ツテ右ハ単ニ事務總長ヨリノ報告書ヲ總會ニ提出セシムルコトトセリ

在歐米各大使ヘ転電セリ

一五二 十月二十八日 田中通商局長ヨリ  
内田外務大臣宛

波蘭ニ於ケル窪扶斯予防救援費釐金方ニ関スル件

本年三月第三回國際聯盟理事会ニ於テ波蘭ニ於ケル窪扶斯予防救援ノ説起リ其ノ決議ヲ以テ本件ヲ四月倫敦ニ開催ノ聯盟附屬國際保健會議ニ附議スルコトナリ該會議ハ右予防救援費二百萬磅ヲ國際聯盟ヨリ釐出スヘシトノ決議ヲ為

シ第五回聯盟理事会ニ於テ之ヲ可決シ右決議ニ基キ聯盟事務總長ヨリ帝國政府ニ對シ該救援費中ヘ帝國分担金トシテ不取敢五万磅釐金方勸誘アリタルガ帝國政府ニ於テハ閣議ノ結果差當リ右勸誘ニ応シ難キ旨在英永井代理大使ヲシテ聯盟事務總長ニ回答セシムル所アリタリ

然ルニ「バルフォア」氏ハ「サン、セバステアン」聯盟理事会ノ決議ニ基キ原總理大臣ニ宛テ八月二十一日附ヲ以テ更ニ帝國政府ニ於テ右予防救援費中ヘ釐金方再應勸誘シ来リタリガ越エテ十月「ブラッセル」第十回聯盟理事会開催ノ際理事懇談会ノ席上ニ於テ英國理事ハ本件ニ関シ各國ニ對スル勸誘ノ不成功ニ終リシ次第ヲ陳述シ進ンテ今日ニ於テハ

一 本件予防救援事業ノ不成功ヲ世上ニ告白スルカ

二 本件ヲ来ル聯盟總會ノ問題トスルカ

二途其ノ一ヲ採フ外無シト斷シ仏國理事ハ第二案ニ賛成シ来ル聯盟總會ニ於テ盛ニ宣伝ヲ為サシムヘク事務總長ヲシテ今ヨリ之カ準備ヲ為サシムルコトヲ滿場異議ナク可決シタル趣ナルガ右理事会ノ席上聯盟事務總長ガ本件ニ関スル各國ノ態度ヲ報告スルニ當リ日本ト伯刺西爾トヲ併挙シテ

分テ各項目ノ詳細ナル説明書ヲ附シ提出アリタルニ對シ報告者西班牙理事ヨリ右予算承認アリタキ旨提議アリタルガ右(ロ)ノ内事務局員ノ旅費トシテ十五万法ヲ計上シアル所本部ヲ「ゼネヴァ」ニ定メタル上ハ事務局員ノ旅費ヲ予見スル必要無シト(脱)此ノ一項ヲ削除スル事トシ(ハ)ノ内委任統治委員會ノ經費トシテ十万法ヲ計上セルニ對シ「チットニー」ハ非受任國ハ委任國ノ利益ノ為メニスル本經費負担ヲ肯ゼザルベキヲ指摘シ兎モ角モ伊國ハ本項經費ニ付留保スベキヲ陳ベタルガ本使モ同委員會設置ノ期日尚早ナルヲ主張シ他ニ往電第九号ノ通尚各國ノ負担額払込ミ方法ニ付「バルフォア」ハ英國大藏省ノ意見ナリトテ毎年三月一日ヲ以テ払込期日トシテ期日前ニ払込ム國ニ對シテハ六分ノ払戻シヲナシ期日以後ノ國ニ對シテハ六分ノ利子ノ追加ヲ要求スルトスベキヲ提議シタル所伊國ハ自國ノ予算編成前則チ毎年秋聯盟ヨリ伊國ノ払込額ノ通知ヲ受クベキヲ条件トシテ翌六月一日ニハ払込ヲ得ベシト陳ベ仏國ハ同國ノ予算編成ハ毎年八月頃ナルヲ以テ遅クモ夫迄ニハ通知ヲ要シ而シテ翌年ノ払込ハ六月一日前ニハ困難ナル旨ヲ答ヘ本使モ日本トシテ四月一日前払込不可能ナル処之ガ為毎年六

両國ヨリハ未ダ何等公式ノ回答ニ接セザル旨ヲ指摘シタル事情モアリ来ル聯盟總會ニ於ケル宣伝ニ際シ帝國政府ニ於テ釐金セザル事ヲ何等帝國ニ不利ナル宣伝ニ利用セラルル事アリテハ甚ダ面白カラズト思考セラルルニ付此際石井大使請訓ノ通り帝國政府ヨリ十万法ヲ本件予防救援費中ヘ寄附スルコトト致度シ

右高裁ヲ仰ク

一五三 十月二十八日

在仏國石井大使(武府出張中)ヨリ  
内山外務大臣宛(電報)

聯盟ノ豫算事務局職員俸給支払方法及少數民

族保護問題討議ノ件

ブラッセル第一三号

(十月三十日接受)

第十回聯盟理事会ノ六(十月二十三日午後)

聯盟第三期予定一九二一年度

(イ)「ゼネバ」事務所設備費二百万法

(ロ)規約第六條ニ依ル事務所ノ直接經費六百十五万法

(ハ)規約第二十四條ニ基ク間接經費三百五十万

(ニ)流通資金二百三十五万

(ホ)労働事務局費七百万合計二千百万法ノ予算ヲ更ニ細目ニ

分宛ノ罰金ヲ課セラルルハ甚ダ面白カラザルヲ述ベタリ依ツテ結局本件ハ財政委員會トシテ各國ノ會計制度參酌ノ上適當ノ払込期日ヲ設ケシムルコトトシタリ(後ニ事務總長ヨリ聞ク処ニ拠レバ南米諸國ノ払込成績頗ル不良ナルニ鑑ミ右奨励並ニ制裁ヲ設クルノ必要アリトノ提案ヲナシタル趣ナリ)

二、事務局職員俸給支払方法

事務局員ノ俸給ハ始メ磅ヲ以テ定メタル処聯盟ノ經費ニ對シ各國ノ分担額ハ金法ヲ以テ払込マル可キコト羅馬理事會ノ際決定セラレタル通りナルニ依リ「ゼネヴァ」移転後ハ事務局員ノ俸給ハ金法ヲ以テ仕払フコトトシ度キ旨並ニ戰前及ビ最近ノ磅ト金法トノ為替相場等ヲ參酌シ一磅ヲ金法二十二換算シ之ニ依リテ局員ノ俸給ヲ支払ヒタキ旨事務總長ヨリ提議ノ次第アリ理事会ハ之ヲ承認シタリ

三、少數民族保護問題

對奧條約第六一條乃至第六八條及ビ對勃條約第四九條乃至五十條ノ規定ニ関スル波蘭少數民族ノ場合ト同様(第二回聯盟理事会ノ決議第六參照)之ヲ聯盟ノ保護ノ下ニ置クコトヲ決セリ

一五四 十月二十八日

在仏国石井大使(武府出張中)ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

## 委任統治問題ニ関シ討議ノ件

ブラッセル第一五号

(十月三十日接受)

第十回聯盟理事会ノ(八)(二十四日午後)

一、波蘭「リスアニア」紛争(別号)

二、委任統治問題

報告者白国理事ハ昨日意見交換(往電「ブラッセル」第九号)ノ結果改定セル報告ナリトテ其要旨ニ

(一)受任国統治区域並委任協約問題ニ関シ

既報仏国首相ノ回答ヲ引用シタル上主要聯合國ニ於テ一致ヲ遂ゲ理事会ニ協約案ヲ提出スルハ極メテ望マシキ次第ナルモ此ノ一致成立セザル場合ニハ受任国ノ行フ権限等ニ付理事会ニ於テ之ヲ定メ得ベキコト規約ノ予見スル所ナリ規約遵守監視ノ責任ヲ有スル理事会トシテハ本件ニ関シ總會ニ報告ヲ提出スルヲ要ス可ク從ツテ總會解散前ニ主要聯合國ニ於テ理事会ニ提出ス可キ委任形式ノ協定ニ至ラン事切望ス但シ主要聯合國ニ對シ出来得ル限りノ余裕ヲ与ヘンガ

(a)委員ハ其代表スル受任国提出ノ報告ニ関シテハ票決ノ權ナシ

(b)委員ハ票決ノ權ナキ諮問委員二名マデ帶同スルコトヲ得

(c)委員會ハ毎年一回通常會ヲ又理事会ノ招集ニ依リ臨時會

ヲ開キ理事会ノ建議ニ係ル問題ヲ審議ス

(d)委員會ハ本部ヲ「ジュネーヴ」ニ置ク

(e)委員ハ日当五磅ノ外旅費ノ償還ヲ受ク

(f)委員會ノ費用ハ聯盟ノ負担トス但シ受任国代表者ハ支給ヲ除ク右支給ハ受任国ヨリ事務局ニ償還スルモノトスルコトノ案ヲ提出シタリ

右ニ對シ英國理事ハ前日ノ議論ヲ繰返シ委員會ニ於テ受任国側ヲ常ニ投票迄モ少数ニ置クノ必要ノ如何ヲ反問シタルガ伊国理事ハ「サン、セバスタアン」ノ決議ヲ繼スモノナリトテ極力之カ變更ニ反對シ白国理事ハ「委員會ガ単ニ理事会ノ諮詢機關ニ過ギザルコト確定シタル今日委員會内表決ノ多数少数ハ重キヲ置クニ足ラザルヤニ思考ス」ト述ヘ英國理事敢テ争ハズ本使モ次回理事会ニ於テ本委員會構成問題決定ノ際更ニ争フ機會モアルヘシト思考シ暫ク不問ニ附シタルガ其ノ際事務総長ノ提議ニ依リ委員會ノ議事規則

為メ理事会ハ「ジュネーヴ」總會ノ終リニ至ル迄右報告ヲ差控フルニ異存無キハ勿論ナリトノ趣旨ヲ述ベ此ノ趣旨ヲ主要聯合國ニ通知セン事ヲ提議シ

(c)委任統治委員會ノ構成問題ニ関シ「サン、セバスタアン」理事会決議ノ結果事務総長ニ於テ本委員會構成案(往電第一五六三号)ヲ提出シタルモ本問題ノ重要ナルニ鑑ミ其ノ最終的解決ハ之ヲ次回理事会(總會開會前「ジュネーヴ」ニ開催ノ筈)ニ延期スルヲ可トスベシ但シ理事会ニ於テ委任統治制度ノ急速實現ノ意切ナルヲ示サン為將又次回討議ノ基礎ニ供センガ為今ヨリ一定ノ案ヲ提出シ置クモ無用ニ非ザルベシトテ本件既報事務総長案ニ依リ

(d)委員會 commission des mandats(サン、セバスタアン決議ニハ commission des contrôle トアリシヲ本使ノ希望ニ副ハンガ為白国理事ニ於テ改メタルモノ)委員ヲ十五名トシテ受任国タル日英仏白南阿濠洲「ニュー、ジーランド」七邦ハ各一名ヲ任命スルノ權ヲ有シ他ノ八名ハ聯盟國ニシテ非受任国タル諸國提出ノ候補者中ヨリ理事会之ヲ選出ス但シ之等ハ其所屬國ヲ代表セズ其ノ選出ハ当該人物ノ技倆ニ基ク

ハ理事会ノ承認ヲ条件トシ委員會自ラ之ヲ定ムルコトナリタルヲ以テ本問題ハ之ヲ次回理事会ニ於テ委員會議事規則ノ問題ト為サムコトヲ主張シ得ヘキモ右受任国代表者ニ投票權ナシトスルノ点ハ他国理事一般ニ「サン、セバスタアン」ニ於テ決定セラレタリト思考シ居レル処ニシテ本使ヨリ然ラバ非受任国側委員ヲ多数トスル意味ヲナサザルニアラズヤト反問セルニ對シ事務総長ハ其ノ反問モ尤モナルモ「サン、セバスタアン」ノ決議ハ双方ノ主張ニ根拠ヲ与フル如クナリ居ルヲ以テ其ノ儘報告スルノ外ナシト述ヘタリ次デ本使ハ前記(一)委任狀等ニ関スル白国理事報告ノ部分ニ Conseil aura à faire rapport à l'assemblée sur cette question トアリテ恰モ理事会ニ於テ總會ニ對シ委任狀等ニ関スル報告ノ義務ヲ有スルガ如ク聞ユルヲ以テ規約ヲ指摘シテ之カ非ヲ説キタル処英國理事先ヅ之ニ左袒シ白国理事ハ之ヲ Conseil renseignera sans doute l'assemblée ニ云々ト改メムコトヲ提議シ一同之ヲ採用シタリ猶ホ今報告ノ部分ニ理事会ハ「ジュネーヴ」總會ノ終リ迄其ノ報告ヲ差控フ云々トアリテ之ヲ経過セハ仮令主要聯合國ニ於テ將ニ協定ナラムトスル場合ニ於テモ直チニ報告(

自ラ關係主要聯合國ノ在再決セザルヲ非議スルコトナルベキ)ヲ為サムトスル意アルモノノ如クナルヲ以テ本使ハ例ヘバ英仏政府間ニ斯カル場合生シタリト假定シ而政府ハ斯カル攻撃的報告ヲ總會ニ持チ出サルルヲ承諾スルヤト問ヒタルニ仏白両理事共ニ斯カル場合ニハ当該國政府ノ回答ヲ待ツベキコト勿論ナリト述べ英國理事モ之ニ同意セルヲ以テ本使ハ其ノ了解ノ下ニ此ノ点ニ付深ク論及セザルベシト斷リ置キ進ンテ本問題ニ付前回来努メテ胸襟ヲ開キ腹藏ナキ意見ヲ吐露シタルハ之ヲ以テ誤解ヲ避クル唯一ノ方法ト信シタレバナリ同一ノ理由ニ依リ再ビ余ノ感想ヲ茲ニ述フルヲ許サレタシト前提シ前日来意見交換ノ結果規約第二十二條ノ実行ニ際シ事ノ順序ハ(一)委任ノ文言条件ハ主要聯合國間ニ之ヲ協定スルコト(二)仏國首相ガ理事会議長ニ宛テタル回答中ニ述ブルガ如ク關係國間ニ交渉継続中ハ理事会ニ於テ委任統治問題ノ根本ニ立入り詮議セザルヲ可トスルコト(三)主要聯合國ニ於テモ右文言条件ニ付一致シタルトキハ之ヲ理事会ニ通知スヘキコト(四)理事会ハ右ノ通知内容ガ規約ニ適合スルヤ否ヤヲ審査スベキモ之ヲ為ニハ「バルフォア」ノ云フガ如ク事務局法律家ニ託スレバ僅ニ五分間ニ

ルニ一致スルコト是レナリ此解釈ハ最早動カスベカラザル処ト見ルノ外ナク從ツテ我委任統治問題モ此上無限ニ遷延スルヲ許サザル事情ノ下ニアルコトヲ御了承アリタシ在欧米各大使ヘ転電セリ

一五五 十月三十日 在仏國石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

理事会議事規則追補及委任統治委員會等ノ間

題ニ関スル件

ブラッセル第一四号 (十一月一日接受)

第十回聯盟理事会ノ七(十月二十三日午後)「ブルジョア

」風邪ニテ外出不可能ノタメ各理事ノ宿舍タル「パラス、ホテル」ニ於テ開會

一、理事会議事規則追補

現在理事ノ多クハ本國ニ於テ公ケノ職務ヲ有スルニ依リ理事會ノタメ頻繁ニ其現職ヲ離レテ會合スルコトハ事情ノ許サザル処ナリトノ理由ニ依リ「ブルジョア」「チットニー」ノ提議ニ基キ左ノ通ノ議事規則ヲ可決シタリ

(イ)理事会ハ予メ自ラ定ムル日ニ於テ通常二ヶ月ニ一回會合ス

テ濟ムナラント信ス(五)斯クテ各受任國ハ其ノ受任区域ヲ統治シ一年ノ後理事会ニ年報ヲ提出スヘキコト(六)而シテ後初メテ委員會ハ報告受領審査ノ任務ヲ受クルニ至ルヘキコトノ六点ニ歸スル旨ヲ述ヘ同僚ノ所見如何ト質シタルニ滿場一致之ニ同意シタルヲ以テ本使ハ同僚一同ノ意見ガ右諸点ニ付一致スルヲ確カメ満足ニ堪ヘザル旨ヲ言明シ茲ニ白國理事報告可決セラル

斯クテ(一)聯盟總會ヲシテ委任統治問題ニ容喙セシムルノ措置ヲ排除シ(二)新設セラルヘキ委員會ヲシテ年報掲載事項ノ外進ンテ委任統治条件ヲモ監督セシメントスル魂胆(三)主要聯合國間ノ不調和ヲ機トシ一方理事会ニ於テ權力拡張ノ為自ラ委任条件ヲ決定セントスル野心他方委任条件ニ関シ調和ヲ得ザリシ点ニ関シ理事会ノ席上ニ於テ多數ノ圧迫ニテ反対者ヲ覆サシメントスル或方面ノ陰謀等(以上ノ形勢アリタル為本使ハ「バルフォア」ニ私的會談ノ必要ヲ感ジタルナリ)ヲ一先ツ排斥シ得タルモ茲ニ特ニ注意ヲ請ヒタキハ規約第二十二條第八項ハ誰レニ計ルモ「ヴェルサイユ」條約効力發生前委任統治条件成立セザルトキハ理事会ハ關係國ノ手ヨリ離レテ自ラ其条件ヲ議決スルノ權アリ)トス

(ウ)緊急重大ナル理由ニ依リ議長及ビ事務總長ノ實際必要ト

認ムル場合理事会ハ特別ニ招集セラルルコトアルベシ

(ハ)既ニ理事会ニ於テ報告(脱)要アラバ報告者ハ問題ノ研究調査ニ対スル訓令ニ付審議スルコトヲ得但シ之ガ為メ該問題ニ付理事会ノナスベキ決議ヲ妨クルコトナシ

(ニ)理事会ノ臨時會ニ於テハ同會合ヲ必要トシタル特別緊急ノ問題ノ外討議スルヲ得ズ其他ノ問題ハ通常會議ニ讓ル  
二、司法裁判所ノ用語問題(往電第一六号ノ通)

三、委任統治委員會問題(往電第九号ノ通)

一五六 十月三十一日 在仏國石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

武府財政會議報告及財政經濟委員會組織並原

料品独占問題討議ノ件

ブラッセル第一八号 (十一月二日接受)

第十回聯盟理事会ノ(四)(二十五日午前)

一、「ブラッセル」財政會議報告及ビ財政經濟委員會組織ノ件

本件ニ関シ報告者仏國理事ハ財政會議關係報告書類ヲ提出

シ同會議ノ經過ヲ述ブルト共ニ今後同會議ノ事業ヲ繼續セント欲セバ同會議ニ於テ推奨シ居レルガ如ク財政經濟常設委員會ヲ組織スルノ必要アルベク從ツテ理事會ニ於テ(イ)各國政府ニ對シ財政會議ノ報告ヲ送付スルト同時ニ其決議ヲ推奨シ(ロ)財政經濟常設機關ノ組織ヲ研究シ依テ聯盟總會ニ之ガ設置ヲ提議スルノ要アルベシ而シテ既ニ交通問題ニ於テ採用シタルガ如ク財政經濟ニ關スル總會ヲモ開クノ組織ニ出デントセバ之ガタメ相当ノ研究ト準備ノ時日ヲ要スベキ處一方「ブ」府財政會議ノ或モノハ速ニ之ガ實現ヲ必要トシ他方理事會トシテモ財政經濟專門委員會ノ意見ヲ求ムルノ必要ナシトセズ就テハ來ル聯盟總會ニ對シ「一九二一年中財政經濟第一回總會會議ヲ開キ大體既成各種專門委員會ノ組織ニ倣ヒ財政經濟常設委員會ヲ組織シ同委員會トシテ聯盟規約ニ基キ聯盟國ニ於テ財政經濟上執ルベキ措置ノ繼續的研究ニ從事セシムルコト並同常設委員會成立ノ上ハ正ニ理事會ニ於テ任命セントスル財政經濟仮委員會ニ代ラシメンコト」ヲ提議スルト共ニ一方理事會ニ於テ(イ)「ブラッセル」財政會議勸告案ノ迅速適用方ニ關シ(ロ)次回財政經濟會議議題ノ準備ニ關シ(ハ)理事會ノ諮詢ニ係ル財政經濟問題

公式ニ事務總長ニ對シ右問題研究準備委員會ニ本邦委員ヲ有セザリシ為メ不都合ヲ生ズル事少カラズ將ニ設置セラレントスル財政經濟仮委員會ニハ是非本邦委員ノ加入ヲ希望スル旨ヲ述ベタルニ同總長ハ我希望ニ添ハン事ヲ約セリ其ノ後事務總長ヨリ右財政部本邦委員トシテ森財務官ヲ任命アリ度キ旨内話アリタルニ付キ詮議ノ上回答スベキ旨答ヘ置キ目下同官ノ承諾取附中ニ付キ右御承認ヲ請フ

## 二、原料品ノ「モノポリー」(伊國提案)

右問題ニ關シ報告者伊國理事ハ國際聯盟ノ目的タルヤ大小國家間平等ヲ期スルニアルモ是ヲ以テ政治上法律上ノミニ限ル時ハ有名無実ナリ經濟上ノ獨立無ケレバ政治上ノ獨立又危シ然ルニ世界原料品ノ分布ハ開闢以來不公平ニシテ其ノ輸出分量並価格ハ一ニ是ヲ有スル國ノ方寸ニ係ルノ情況ナリ依テ原料品高価ナル時はヲ輸入スル國ノ生産力ヲ相殺シテ其ノ國為替相場下落ノ一大原因トナルモノナルガ更ニ是ヨリモ恐ルベキハ原料品國ニ於テ啻ニ其ノ好ムガ儘ニ原料品ノ輸出ヲ調節スルノミナラズ直接間接其ノ外交官憲ノ支持スル大資本家ノ合同ニ依リ外國原料品ニ其ノ「モノポリー」ノ手ヲ延バスニアリ(例ヘバ石油)本問題ハ一部既

ニ關シ理事會ニ意見ヲ具申セシメンガタメ今ヨリ直ニ右仮委員會(財政經濟兩部各十名ヨリ成リ互ニ別レテ研究ニ從事シ一般問題ニ關スル意見具申ノ場合若クハ一方ニ於テ他方部會トノ合議ヲ必要トスル場合合シテ一委員會トナス)ヲ組織シ「アドール」ヲ議長トシ以上ノ次第ヲ各國政府ニ申送ランコトヲ求ムルヤ英國理事ハ右財政部ノ迅速設置ニハ何等異存ナキモ經濟部ニ關シテハ同國商務省ノ意向ヲ確カムルヲ要スト述ベ伊國理事ハ歐洲經濟界ノ要求ヲ説イテ之ヲ遺憾トセシガ結局財政部ノミ直チニ之ヲ設置シ經濟部ハ「ゼネヴァ」ニ於テ總會開會前之ヲ設置スルコトニ一致ス又委員會ノ任命ニ關シ英伊兩理事ハ政府代表主義ヲ執リ伊國理事ハ理事會列席ノ八國ヨリ各二名ヅツヲ出シ事務總長ヲシテ残り四名ヲ物色セシメンコトヲ提議シ本使モ之ニ贊成セルガ仏國理事ハ國家ニ關係ナク技術家ヲ選ブベシトテ政府代表主義ニ反對シ白國理事ノ委員數増加説モアリ結局財政經濟兩部共二十名乃至十二名ヲ以テ組織シ人選ニ關シテハ事務總長ヲシテ案ヲ立テシムルコトトナリ右諒解ノ下ニ仏國理事ノ報告可決セラレタリ依テ本使ハ同日午後聯盟予算分担問題ニ關スル委員會ノ報告アリタルヲ機トシ非

ニ華盛頓労働會議ニ於テ失業問題ノ見地ヨリ「ゼネヴァ」國際坑夫會議ニ於テ石炭ニ關シ又「ブラッセル」財政會議ニ於テ刻下世界の經濟危機ノ一原因トシテ論議セラレタリ故ニ余ハ今深く是ヲ論ゼザルモ伊國ノ如キ本問題ノ為メ經濟上ノ發達ヲ阻害セラレ居ル國ノ代表者ハ伊國ト同様ノ態度ニ出デン事ヲ望ム正義公平ノ勝利ヲ期シタル大戦争ハ不公平ノ結果ヲ生メリ一九一六年巴里經濟會議覚書ハ聯合國間市場ノ開放ヲ約セリ規約第二三条ハ聯盟國間通商上公平ナル待遇ヲ約セリ是ヲ「モノポリー」乃至極度ノ保護政策行ハルル現情ニ比スルニ如何ナル矛盾ゾヤ規約第二三条ハ是ヲ實現スルヲ要ス世界ヲ驅テ一方大資本合同ノ暴利ト他方共產無政府主義跳梁ノ岐路ニ迷ハシムルハ人道ノ為メ文明ノ為メ危險ナリ各聯盟國ニ對シ正義ト平和トヲ保障スルヲ要スト述ベ近ク聯盟總會ノ開催ニ顧ミ總會ノ一委員會ヲシテ右「モノポリー」防止ニ關スル具體的の考案ヲ提出セシメン事ヲ提議スル筈ナリシモ同理事會ノ財政經濟仮委員會設置セラルルニ至リタルヲ以テ此ノ委員會ヲシテ是ヲ研究セシムルモ可ナリト述ブルヤ伯刺西爾理事ハ予メ示シ合セタルモノノ如ク伊國提議ヲ同委員會ニ附託シ財政經濟總會



議ノ議題タラシムル様速カニ提案セシメン事ヲ動議ス  
右ニ對シ英國理事ハ伊國理事ニ於テ經濟上ノ独立ナケレバ政治上ノ獨立危シト云フモ世界中英國ハ最も多ク原料品ヲ輸入スル邦ノ一ナリ一概ニ原料品ト云フモ石炭鉄「フォスファート」等ハ空氣水等ト異ナリ其分量ニ限アリ例ヘバ伊國ニ多量ノ「フォスファート」アリト仮定センニ之ヲ採掘セザルトキハ他日同國ノミ之レヲ有スルコトナル從テ一國ハ他國ノ原料品ニ對シ幾何ノ容喙權ヲ有スルヤヲ疑フ惟フニ現下ノ原料品難ハ所謂「モノポリー」ノ結果ニアラズシテ消費ト生産費ノ不權衡ニ基クモノニシテ労働者力戰前ノ如ク働カザルコト其主ナル原因ナリ且一方石炭鉄等ノ問題ハ一國ノ政治上極メテ重要ナル關係ヲ有スルモノニシテ將ニ設置セラレントスル專門委員會ノ執掌事項トシテハ余リニ重大ナリ故ニ問題ノ性質ヲ明カニシ之レヲ專門委員ノ研究ニ附スルニハ敢テ異存ナキモ伊國理事提議ノ形式ニ於テハ右ニ賛成スルコトヲ得ズト述ヘ伊國理事ハ「モノポリー」ヲ排斥セントスルモ同時ニ原料品所有國ノ利益ヲ尊重スヘキハ勿論ナリ英國理事ハ石炭等ノ産額ニ限りアリテ妄リニ他ニ融通スベカラザルヲ云ヒ他ノ物資ニ依頼センコトヲ

ヲ諷スルモ石油又「モノポリー」ノ目的物ナリ然シテ水力電氣ノ応用ニモ自ラ限度アリ如斯ニシテ原料品ニ乏シキ邦ハ經濟上ノ獨立ヲ得ザル為メ政治上ノ獨立ヲモ脅カサルニ至ル原料品國ノ其原料ニ對スル処分權ヲ疑フモノニハアザルモ其処分ハ世界各國ノ利害ヲ感スル「ソリダリティ」ノ問題ナリト弁明シ仏國理事ハ英伊兩理事ノ趣旨ヲ聞クニ必ズシモ納鑿相容レザルニアラズ特ニ石炭鉄等ノ問題トセズ廣ク原料品全般ノ問題トシテ研究スルコトトセバ如何ト述べ白國理事ハ英伊ノ主張ヲ其儘將ニ設置セラレントスル委員會ニ報告シ其研究ニ委センコトヲ提議ス英國理事ハ右英伊双方ノ論議ニ關係ナク原料品全般ノ問題トシテ委員會ノ研究ニ附スルニハ敢テ反對セズ伊國理事又之ニ同意シタルヲ以テ理事会ハ英伊兩理事ヲシテ協議ノ上右委員會附託ニ關スル決議文ヲ起草センコトニ決定セルガ（本件討議ニ際シ本使ハ緘黙注視ノ態度ニ出テタルガ安達公使宛電第四三号ノ次第モアリ本件ニ關スル本使ノ所見ハ別ニ電報ス）同日午後ノ理事会ニ於テ左ノ英伊共同案ヲ採用セリ  
理事会ハ多數國家ガ其福祉乃至ハ存在ニ必要ナル原料品ノ輸入ヲ確保スル上ニ於テ幾何ノ困難ヲ感シツツアルコトヲ

充分保留シ財政經濟委員會經濟部ヲシテ（イ）右諸國家需要ノ程度性質（ロ）右困難ノ原因（「ブ」府財政會議ノ審議ヲ經タル信用難及為替相場變動ニ基クモノハ之ヲ除ク）殊ニ「モノポリー」ノ影響如何ヲ研究セシムヘシ而シテ其報告ハ來ル財政經濟總會ノ討議ニ欠クベカラザルモノナルヲ以テ可成速カニ右研究ノ結果ヲ理事会ニ報告セシムルコトトスヘシ  
在歐米各大使ヘ転電セリ

一五七 十一月一日 在仏國石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

#### 第十回理事会公開會議ニ於ケル議題及報告決議ノ件

第一六七一号 （十一月三日接受）

#### 第十回聯盟理事会ノ十四

二十七日午後及二十八日午前兩度学士院ニ於テ開會、來會者百有余名、左ノ議題及報告者ニヨリ既ニ報告ノ通り決議ス

第一、二十七日午後ノ公會

一、(イ)少数民族保護実行方法（伊國代表者）

三 國際聯盟理事会ニ關スル件 一五七

(ウ)對奧對勃條約少数民族保護條項ニ關スル聯盟ノ保障（同上）

二、國際司法裁判所（仏）

三、(イ)同裁判所公用語（希臘）

(ウ)海牙公法家委員會ノ希望（同上）

四、一九二一年度予算案（西班牙）

五、「ブラッセル」財政會議（仏）

第二、二十八日午前ノ公會

一、波蘭「リスアニア」間ノ紛争（白耳義）

二、「オーランド」島問題（英）

三、「ダンチッヒ」自由市ノ憲法（日本）

四、委任統治問題（白）

五、軍事委員會報告（仏）

六、議長ニ對スル謝辭（英）

以上ヲ以テ第十回聯盟理事会ヲ終リタルヲ以テ本使一行（長岡參事官ハ独逸經由「ゼネヴァ」ニ向フ）二十八日歸巴ス  
在歐米各大使ヘ転電セリ

一五八 十一月二日 在仏国石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

波蘭リスアニア紛争ニ関スル件

第一六七〇号

(十一月四日接受)

第十回聯盟理事会ノ十三(「ブラッセル」第十五号別電) 往電第一五九八号ニ関シ理事会ハ一方波蘭「ボルセビキ」 間ノ仮講和締結他方「ツェリゴウスキー」將軍ノ「ウイ ルナ」占領ヲ以テ全ク新事態ヲ醸シタルモノト認ムルノ見地 ヨリ二十四日午後ノ秘密會議ニ於テ監督委員會議長ノ報告 ヲ徴シタル上善後策ニ付協議スル処アリ英國理事ハ波蘭ノ 背信行為ハ之ヲ争フベカラザルモ未ダ世間ハ充分之ヲ了解 シ居ラザルガ如クナルヲ以テ今一応紛争当事国双方トモ公 正ナリト思惟スルガ如キ解決案ヲ提議シ波蘭ニシテ之ヲ聞 カザル乎其ノ非ヲ天下ニ暴露スルニ至ルガ如キ「フォルミ ユラ」ヲ案出スルノ必要アリトノ説重キヲナシタルモ結局 何等決定ニ至ラザリキ次イデ二十六日午前ノ會議ニ於テ「 リスアニア」及波蘭ノ代表者ヲ招致シテ各々其ノ主張ヲ聴 取シタルニ要スルニ前者ハ波蘭軍隊ガ休戦規約ヲ守ラズシ テ前進シ「ウイ ルナ」ヨリ更ニ「コブノ」ニ迫ラントシツ

シ

(イ)聯盟理事会ハ係争地方ヲ通ズル道路及鉄道ニ対シ監督權 ヲ有スベシ二十七日公開會議ニ先チ波蘭及「リスアニア」 代表者ヲ招致シ右「プレビシット」ニ関スル原則承認ヲ求 メタルニ双方代表者先ヅ之ヲ本国政府ニ取次グベキヲ約シ 十日間ノ猶予ヲ以テ解決スベキヲ諾シタリ  
在欧米各大使ニ転電セリ

一五九 十一月二日 在仏国石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

海牙公法家會議提出ノ三希望ヲ總會附議ノコ  
トニ決シタル件

別 電 十一月一日在仏国石井大使宛内田外務大臣宛電報  
第一六七七号  
常設國際司法裁判所ノ管轄權ニ関シ希臘理事ノ報  
告ニ附加セラレタル希望

第一六七六号

(十一月四日接受)

第十回聯盟理事会ノ(十二) 拾月二拾六日午後ノ會合ニ於テ海牙公法家會議提出ニ係ル 左記三希望ヲ承認シ是ヲ總會ニ附議スル事ニ決シタリ

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一五九

ツアルヲ懇ヘ後者ハ右出動シツツアルハ「ツェリゴウスキ キー」將軍ノ率キル軍隊ニシテ波蘭ノ正規軍隊ニ非ズ而シ テ同將軍ハ波蘭ヨリ見レバ謀叛罪ヲ以テ問ハルベキモノニ シテ其ノ行動ハ波蘭政府ノ意思ニ反スルモノナルニ依リ同 政府ハ之ガ為メ責任ヲ取ル能ハザルヲ諒解スルニアリタリ 同日午後ノ會議ニ於テ該紛争ノ解決方法ニ付審議ヲ重ネタ ル結果係争地方人民ノ自決ニ依リ同地方ノ所屬ヲ決セシム ルノ外ナシト云フニ議纏リ再ビ双方代表者ヲ招致シテ其ノ 意嚮ヲ尋ネタルニ「リスアニア」側ハ主義トシテ異議ナキ モ差当リ「コブノ」ヲ脅シツツアル軍隊ニ対シ取締ラレ度 キ旨ヲ希望シ波蘭側ハ今直ニ之ヲ承諾スルノ權限ヲ有セズ 但シ波蘭政府トシテハ賛成スベシト思考スル旨ヲ答ヘタリ (イ)國際聯盟ノ保護並監督ノ下ニ自由投票ヲ行ハシメ以テ係 争地方ノ住民ヲシテ「リスアニア」及波蘭ノ何レニ歸屬ス ルヤニ付自由ニ其ノ意思ヲ發表セシム  
聯盟理事会ハ右地方ノ限界ヲ定メ並ニ投票ノ自由ヲ確保ス ル為メ其ノ条件及日取ヲ定ムベシ

(ロ)係争地方ヲ占領セル軍隊ニ対シ其ノ国籍如何ヲ問ハズ其 ノ撤退及武装解除ノ為メ聯盟理事会ハ必要ノ手段ヲ講ズベ

第一希望

一、理事会若シクハ總會ハ可成速カニ海牙平和會議類似ノ 國際會議ヲ招集シ左記目的ヲ遂行スベキ事

(イ)現行國際法ノ規定特ニ最近ノ戦争ニ依リ其ノ影響ヲ受ケ タル部分ヲ更ニ確立ス

(ロ)戦争ニ際シ又ハ生活情態ノ變化及戦後ノ國際關係ニ伴ヒ 必要ヲ生ジタル改正及追加ヲ審査確定ス

(ハ)意見ノ相異ヲ調停スル為メ並争闘ノ原因ヲ為セル規定ノ 一般的協定ヲ成立セシムル為メ努力ス

(ニ)現ニ適當ナル方法ニ依リ解決セラレザル点而シテ是ニ対 シ國際司法上精密ナル決定及共通ナル協定ヲ必要トスル 点ニ付キ特ニ考量ヲ希望ス

「Institut de droit international, American Insti- tute of international law, L'union juridique inter- nationale, L'international law Association 及 L'in- stitut Iberique de droit comparé」ニ依嘱シ本件目的実 現ノ為メ適當ナル方法ヲ講ゼシメ並國際法ニ関スル草案ヲ 提出セシメテ先ヅ是ヲ各国政府ニ提示シ更ニ後ニ國際會議 ニ上程スル事

三、新國際會議ノ着手スベキ事業ヲ明瞭ナラシムル為メナルベク是ヲ國際法増進會議ト命名スル事

(脱)ノ会合ヲ催シ以テ本件事業ノ完成ヲ計ルベキ事

第二希望

左記綱領ニ基ク國際司法高等法院ノ設立ヲ希望ス

一、該高等法院ハ仲裁々判所ニ於ケル各国代表者中ヨリ選バレタル各一名宛ノ判事ヲ以テ構成ス

二、該法院ハ國際間ノ公ノ秩序及國際法ニ對スル犯罪ニシテ聯盟總會若シクハ理事会ヨリ提起セラルル事件ニ對シ管轄權ヲ有ス

三、同法院ハ一ノ犯罪ヲ審理シ刑罰ヲ定メ並其ノ判決ヲ執行スルニ適當ナル方法ヲ定ムルニ必要ナル權限ヲ有ス

第三希望

一九一三年海牙ニ設立セラレ其ノ後事業ヲ中止シ居リタル Académie de Droit International ヲシテ速カニ活動セシムル事

但シ右第三希望ハ直接理事會ニ於テ干与スベキ限リニアラザルヲ以テ単ニ情報ヲシテ總會並海牙「アカデミー」ニ取次グ事トス尚國際司法裁判所構成法案中ノ強制的応訴義務

不成立ニ終リタル結果聯盟事務局側ヨリ右第一希望中(一)ノ(ホ)トシテ國際法會議ヲシテ國際爭議ニ関スル強制管轄問題ヲモ審議セシムルノ一項ヲ追加セシメン事ヲ提議シタルモ本使並「バルフォア」反對ノ結果右提議ヲ撤回セシムル事トナリタリ然ルニ最後ノ公開會議ニ於テ希臘理事ノ朗讀シタル報告末段ニ別電第一六七七号ノ如キ希望ヲ附加シ居ルヲ發見シタルモ既ニ理事会閉會前ノ事ナリシヲ以テ新タニ抗議スルノ暇モ無ク單ニ事務總長ノミニ對シ右追加ノ希望ハ予テノ諒解ニ反スル処ナルヲ以テ本使ハ「ジュネーヴ」ニ於テ更ニ是ヲ問題トスベキヲ留保シ置キタリ

在歐米各大使へ転電セリ

(別電)

十一月一日在仏国石井大使宛内田外務大臣宛電報第一六七七号  
常設國際司法裁判所ノ管轄權ニ関シ希臘理事ノ報告ニ附加セラレタル希望

第一六七七号

La Société des Nations recommande que la Conférence pour l'avancement du droit international si elle est convoquée, soit chargée de considérer

et de formuler les modalités en vertu desquelles il pourrait être confié à la Cour Permanente de Justice Internationale la compétence de statuer, sans convention spéciale, et en dehors des cas prescrits (??) en vertu des traités en vigueur, (que?) cette Cour a compétence, sans accord entre les parties. 在歐米各大使へ転電セリ

Ishii.

一六〇 十一月二日 在仏国石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

ダンチツヒ憲法少数民族保護聯盟規約修正提  
議統計委員會軍事委員會等ニ関スル件

第一六七九号

(十一月四日接受)

第十回聯盟理事會ノ十一、二十五日午後

(一)「ダンチツヒ」憲法

本使ハ報告者トシテ事務總長ヨリ配附シタルガ如ク「ダンチツヒ」市憲法案ハ既ニ成リ居レドモ條約ノ規定ニ從ヒ聯盟ニ於テ本憲法ヲ保証シ且「ダンチツヒ」市ヲ聯盟保護ノ

三 國際聯盟理事會ニ関スル件 一六〇

下ニ置クノ決定ニ出ヅルニ先ダテ理事會ニ於テ慎重考慮ヲナシ殊ニ對獨條約一二四條ニ予見セル條約トノ關係ヲ考究スルノ要アル処該條約案其他關係書類ハ數日前ニ至ル迄之ヲ入手スルノ運ビニ至ラザリキ(大使會議電報參照)

本件ノ討議ヲ次回理事會ニ延期シ其間次回討議ノ基礎ニ供スベキ報告ノ準備ニ從事センコトヲ提議シ其ノ通り決定ス

(二)少数民族ニ對スル保護實行方法

本件ニ関スル二十二日午後ノ會議ニ於テ伊國理事ハ聯盟ノ与フベキ保護ノ性質ハ條約ニ明定セラレタル通ナル処其實行方法ニ付テハ

(イ)少数民族ニ對シ條約ニ依リ保証セラレタル処ニ違反アリ若シクハ違反ノ惧アル場合ニ聯盟理事ハ之ヲ理事會ニ訴フルヲ得ル事而シテ右ノ方法ニ依リテ聯盟ハ始メテ該保護ヲ完ウシ得ルモノナルヲ以テ右理事ノ權利ハ同時ニ其義務ナル事

(ロ)少数民族自身モ亦各出訴ノ權利ヲ有スル事ヲ開陳シ右出訴アリタル場合事務局ノ採ルベキ手續ヲ詳述セル覺書ヲ提出シ理事會ノ承認ヲ經タル上各理事ヨリ其政府へ取次アリタキ旨ヲ提議シタル処英國理事ハ理事ニ於テ不愉快ナル起

訴ノ義務ヲ負フハ面白カラザル事ヲ主張シテ伊國理事トノ間ニ議論ノ交換アリタルモ何等決定ニ至ラザリシガ本日午後ノ會議ニ於テ伊白兩國理事ハ聯盟ニ對シ少數民族保護條約ノ違反若シクハ違反ノ惧アリトノ愁訴若シクハ報道アルヤ否ヤ議長及其都度議長ニ於テ指名スベキ他ノ二名ノ理事會議シ右報道若シクハ愁訴ヲ審査スル事然ルベシト提議シ其通り決定ス

### (三)「スカンデナヴィヤ」三國ノ規約修正提議

事務総長ヨリ右三國ニ於テ來ル總會ニ對シ規約修正提議ノ意嚮アル旨ヲ報告スルヤ伊國理事ハ右提議ノ一部分ハ議事手続ノ問題ニ過ギズ故ニ總會ニ於テ議事規則ヲ定ムルモ之ヲ議スルヲ得ベシト陳ベタルカ英國理事ハ現在ノ規約ハ未ダ何等ノ試練ヲモ經ザル第一回總會ニ於テ規約改正問題ヲ議スルハ尚早ナリ今後一年ヲ經バ加盟國モ増加スベク從ツテ更ニ有効ニ規約改正問題ヲ論議シ得ルニ至ルベシト陳ベ

### 四統計委員會

「サン、セバスチアン」理事會決議ノ結果十月十一日ヨリ

シ次第ナリシ処右報告ガ假事務局員ノ説明ニ依リ在「ベルン」國際郵便聯合局監督ノ任ニ當レル瑞西政府ハ聯合側ニ於テ右聯合局費用分担方法改正方希望スルニ於テハ之ト協力スルニ吝ナラザルコト從ツテ規約改正ノ道ニ出ヅルコトナクシテ聯盟予算分担方法ノ現状ヲ變更シ得ルノ望アルコト判明シタルヲ以テ理事會ハ右委員會ノ提議ヲ總會ニ附議スルコトニ決ス

### (四)旅券及通信手続ノ簡易取扱

本件ニ関シ交通委員會(十月十五日ヨリ巴里ニ開催筈間事務官出席)ヨリ(イ)一般旅券及ビ税関手続等ノ簡易取扱方及(ロ)聯盟職員ニ對シ特別旅券発給方ニ関スル提議ノ報告(右委員會電報参照)アリ理事會ハ前者ニ関スル提議ヲ各國政府ニ通報スルト共ニ後者ヲ聯盟總會ニ附議スルコトニ決ス

### (五)軍事委員會報告

本件ニ関シ報告者仏國理事ハ要領別電ノ如キ報告ヲ提出シタルガ英國理事ハ毒瓦斯問題ニ関シ仏國理事報告中ニ軍事委員會研究ノ結果ニ依レバ毒瓦斯ノ使用ハ残酷ニシテ非人道的ナルニ相違ナキモ其研究及ビ製造ハ之ヲ取締ルノ途ナ

巴里ニ於テ統計委員會開催セラレ(丸毛參事官列席)タルガ該委員會ハ全会一致ノ報告ヲ作製スルニ至ラズ拾巻名ノ委員中九名ハ主トシテ大陸代表者(日本委員含ム)ニシテ現ニ活動シツアルガ統計局ノ独立ヲ維持セムコトヲ主張シ他ノ二名(英國加奈陀代表者等)ハ聯盟配下諸専門的機關ノ一ヲ為スベキ統計部監督ノ下ニ各國統計局ヲ統一セム事ヲ主張シ理事會ニ對シ同様ノ報告ヲ提出シ來リタルガ

### (五)聯盟予算ノ分担方法改正

本件ニ関シ「ブラッセル」財政會議委員會ノ報告アリ(國際財政第二一號参照)右分担方法改正ハ場合ニ依リテハ規約第六條ノ變更ヲ必要トス可ク理事會ニ於テ一旦規約改正ノ「イニシエチヴ」ヲ取ラザルコトニ申合セタル以上右分担問題ヨリ規約變更問題ヲ惹起スルハ甚ダ好マシカラザリ

キコトヲ報告スルト共ニ國際法ノ條規ヲ擧ゲテ其使用ヲ罰シ居レルヲ指摘システハ一旦戰爭ノ場合徒ラニ正直ナル國民ヲシテ毒瓦斯ノ使用ヲ愛好スル不正直ナル國民ノ犠牲タラシムルノ虞アリ寧ロ本件ニハ手ヲ触レザリシモノト思惟シ事態ヲ從來ノ儘ニ放任スルヲ可トスベシト主張シ仏國理事ハ既ニ海牙平和條約中ニ毒瓦斯使用禁止ノ規定アルノミナラズ軍事委員會ニ於テ本件ノ研究ヲナシタルコトハ新聞紙上ニ公表セラレタル処ニシテ理事會ニ於テ之ニ言及セザルハ不可能ナリト述べ種々議論ノ末英、伊、仏理事等ノ意見ヲ綜合シテ理事會ニ依リ毒瓦斯ノ使用ヲ罰スルト共ニ軍事委員會ヲシテ更ニ毒瓦斯製造ニ関スル有効ナル取締且ツ方法ヲ講究セシメ一方毒瓦斯使用國ニ對スル制裁ニ関シ各國政府ノ意見ヲ求ムルコトニ決定シ尚ホ聯盟新加入國ノ軍備準則ニ関シ加入申込國ハ將來理事會ニ於テ推奨スルコトアル可キ軍備制限ニ関スル「プログラム」ヲ受諾スルノ義務アル旨ヲ仏國理事報告決議中ニ明カニシ置ク可キコトヲ決定ス其他ハ同理事報告並ニ決議原案ノ通り同意ス

在欧米各大使へ転電セリ

一六一 十一月三日 内田外務大臣ヨリ  
在白国安達公使宛(電報)

波蘭チブス予防救援費十万法釐出ニ付指示ノ件

第四七号

石井大使へ

貴電第二号ノ二波蘭窒扶斯救援費釐金方ニ関シテハ帝國政府ニ於テ差当リ応諾困難ナル事情アルコトハ今日モ尚在英大使宛往電第二八六号ノ通ナルモ貴電後段御申越ノ次第モアリ旁々今回限リトシテ十万法丈繰合支出ノコトニ決定シタルニ付理事会ヘハ右ニ依リ可然回答シオカレタシ尚我政府トシテハ出来得ヘケンハ右ニテ本件ヲ打切トナシタキ底意ナルニ付其御含ニテ可然御折衝アリタシ  
右在英大使へ転電アリタシ

一六二 十一月六日 在仏国石井大使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

波蘭チブス予防救援費十万法釐出ノ旨理事会

議長宛通報ノ件

第一七〇二号 (十一月八日接受)

貴大臣宛在白公使宛電報第四七号ニ関シ五日附ヲ以テ理事

会現議長「イーマンス」宛日本政府ヨリハ遠隔ノ地ニ在ル日本国民及議會ヲシテ波蘭「チブス」ノ危険ヲ諒解セシムルハ甚ダ困難ナルヲ感ズルモ「チブス」鎮庄計画ノ高尚ナル動機ニ出ヅルニ顧ミ本計画ニシテ実現セラルルニ至ランカ十万法ヲ釐出スルニ異議ナシトノ趣旨ヲ通報シ置ケリ右通報中本計画実現ノ為メ差当リ必要ナル二十五万磅分担ノ勧誘ヲ受ケ居レル五大國中英國ハ他ノ大国ニ於テモ五万磅釐出ヲ条件トシテ自国モ同額ヲ釐出スベシト唱ヘ居レル処伊国ハ釐出ヲ拒絶シ西班牙ハ其ノ釐出額ヲ明言セザル現状ニ鑑ミ日本ニ於テ釐出額ヲ通報スルモ或ハ本計画実現ノ運ビニ至ラザルコトアルヲ予想セルモノニシテ從テ貴電十万法ハ追テ当方ヨリ更ニ上申ノ上御送附相成ル様致度シ  
在英大使へ転電セリ

一六三 十一月十六日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

第十一回聯盟理事会ニ於テ財政仮委員会ノ構成ダンチツヒ憲法委任統治委員会ノ構成波蘭

リスアニア紛争ニ付討議ノ件

第一七号 (十一月二十二日接受)

第十一回聯盟理事会ノ一

十四日午後聯盟本部ニ於テ第十一回理事会ヲ開ク出席者英「フィッシャー」、仏「ブルジョア」、伊「チットニー」、西「キノネス」、白「イーマンス」(議長)、希臘「カクラマノス」、伯刺西爾「ダクンニヤ」及ビ本使

總會議事要領左ノ通り

(一) 財政仮委員会ノ構成

本件ニ関シ報告者仏国理事ヨリ「ブラッセル」理事会決議ノ結果議長ニ於テ財政部委員トシテ Avenol (仏)、Blackett (英)、Figueras (西)、Ter Meulen (蘭)、森財務官、Pospisil (「チェコスロヴァク」)、Strakosch (南西)、Lepreux (白)、Torquist (「トルマンチン」)、Balzarotti (伊)、Wallenberg (瑞典)(米人ニハ今ノ処招請ヲ発セズ)十一名(財經兩部トモ十二名ヨリ構成スルコトナリ居レリ)ノ就任ヲ求メタル処右ノ内、仏、英、蘭、日、「チェコスロヴァク」、南阿、白、瑞典ノ八ヶ国人ニ於テ右招請ニ応シタルコト竝ニ經濟部委員トシテ Carneiro (伯刺西爾

)、Heer (瑞西)、Della Torre (伊)、関場書記官、Serruye (仏)、H.L.Smith (英)ノ六名其他ニ対シ就任方申込ムコトナリ居レル旨ヲ報告シ理事会ハ之ヲ承認ス

(二)「ダンチツヒ」憲法

既報ノ通り「ダンチツヒ」憲法案ハ既ニ成リ右憲法ト密接ノ關係ヲ有スル波蘭「ダンチツヒ」間ノ条約案モ亦成レリト雖波蘭ハ右協約中規定ナキ「ダンチツヒ」ノ防備ニ関シ自カラ其任ニ当ルノ權ヲ享有センコトヲ欲シ大使會議ノ採用スル処トナラズ為メニ右協約ノ調印ヲ拒ムニ至レル処一方大使會議ハ右協約乃至憲法問題ノ如何ニ不拘本月十五日ヲ以テ事實上「ダンチツヒ」自由市政府成立ヲ認ムルノ決議ヲ為シタリ

茲ニ於テ波蘭保護ニ熱心ナル仏国ハ今回ノ理事会ヲ機トシ同会ヲシテ波蘭ニ「ダンチツヒ」防護權ヲトルノ宣言ヲナサシメントノ意向ヲ有セシモ此点ニ関スル英仏意見ノ扞格ハ既報ノ通りナルヲ以テ(大使會議電報参照)本使ハ本件報告作製ニ當リ英國理事ノ意向ヲ確カメ其反對ヲ買ハザル程度ニ於テ仏国ノ希望ヲモ參酌シ右防護問題ニ関シ波蘭ハ

必要ノ場合此權能ヲ受クルニ適當ナリト思考スルモ此權ハ独リ波蘭ニノミ之ヲ与フベカラズ又波蘭ニ之ヲ与フルトスルモ其都度理事会ニ於テ審議決定スヘキモノナリトノ趣旨ヲ述ベ前記憲法及ビ協約案ノ要点ニ付條約ノ規定ニ矛盾スルコトナキヤ否ヤヲ批評シ尙ホ任期満了ノ故ヲ以テ辭職ヲ申出デタル「サー、レジナルド、タワー」ノ後任ノ件ヲ提議セシガ(委細郵報)波蘭代表者「パデレウスキー」ハ右憲法竝ニ協約文ヲ以テ講和條約ノ規定竝ニ精神ニ反スル旨ヲ唱ヘテ理事会ニ於テ波蘭ニ「ダンチッヒ」ノ防護權ヲ与ヘンコトヲ主張シ同時ニ右防護權ノ獲得ハ來春トモ云ハズ再ビ來襲スルニ至ルベキ「ボルセピスト」ノ防衛即チ西歐文明擁護ノ為メ極メテ必要ナル旨ヲ述ベタルガ「ダンチッヒ」代表者「ザーン」ハ右ニ對シ一方波蘭ノ主張ヲ反駁スルト共ニ若シ「ダンチッヒ」防護權ヲ与フルノ必要アリトセバ之ヲ波蘭ニ与ヘズ其「オー、コミセール」所屬國ニ与ヘンコトヲ希望シタリ茲ヲ以テ理事会ハ双方主張ノ如クナル上ハ更ニ篤ト研究ノ必要アルヲ以テ兩國代表者ハ成ルベク速カニ書面ヲ以テ其主張ヲ提出セシメ同時ニ本使ヲシテ事務局法律顧問ト共同研究ノ上之ヲ次回會議(日取未定)

在ルモノノ如ク仏國理事ハ事務總長ト英國理事トノ說ノ間ニ折衷ヲ試ミ受任國ヲ非受任國ヨリ少數ナラシムル主義ノ下ニ委員數ヲ六、七名トシ受任國ハ順番ニ委員會ニ参加スル事トセン事ヲ提議セルモ伊國理事ハ委員會ノ地位ヲ強大ナラシメントスル事務總長案ヲ支持シ意見ノ一致ヲ見ルニ至ラズ結局事務局法律顧問ノ意見ヲ聴キタル上更ニ次回ニ討議スル事トナレリ

#### (四)波蘭「リスアニア」紛争

本件ニ關シ「ブラッセル」理事会決定ノ人民投票實行監督ノ為メ「ブラッセル」以外ノ理事会代表國ヨリ共同出兵ノ手筈ニ至レル事既報ノ通りナル所其後「ツェリゴウスキー」進軍シテ已マズ未ダ人民投票實行ノ期ニ至ラザル旨仏國理事ヨリ報告アリ次回ハ關係各國ニ對シ常ニ其軍隊繰出シノ準備ヲナシ居ルト共ニ右出兵ノ場合軍隊費用負担ノ件ニ關シ軍隊ノ給料及食料ハ當該國持トシ其他ノ費用ハ一時聯盟予算ヨリ立替後日人民投票區域人口ニ比例シ係争當事國ヲシテ償還セシムル事ニ決ス

在欧米各大使ヘ転電セリ

ニ報告セシムルコトニ決定セリ

(三)委任統治委員會ノ構成

本件ニ關シ報告者伊國理事ヨリ第十回聯盟理事会ノ際報告ノ構成案ヲ議場ニ提出スルト共ニ本件ニ關シテ英國理事ニ於テ其植民地政府ノ意向ヲ確ムル事トナリ居リタル旨ヲ報告スルヤ英國理事ハ委員會ノ構成委員數原案ノ如ク多數ナル時ハ委員會ノ費用尙ムニ至ル可キヲ以テ精々五名位ノ委員會トシ若シ員數減少ノ為メ受任國代表者ヲ包含スル事困難ナリトセハ英國ノ關スル限り受任國代表者ヲ含マザル事トスルモ可ナリト述ベ伊國理事ハ直チニ之ニ賛成セシカ事務總長ハ委員會ノ構成ヲ右ノ如クスル時ハ(イ)委員會ハ受任國タル大國ノ意向ヲ憚リ其報告ニ對シ何等徹底の批評ヲ試ムルノ勇ナカル可ク(ロ)植民行政各方面ノ指揮者ヲ網羅スルノ機會乏シキニ至ル可ク且ツ(ハ)報告審査ニ當リテハ受任國代表者ヲ招集スルノ要アル次第ナレバ費用ノ点ヨリ云フモ大差無カル可シト主張シ本代表モ構成案ニ依ルニ委員會費用中受任國代表者ノ分ハ後日當該國ヨリ償還スル事トナリ居レルヲ以テ重キヲ置クニ足ラザル旨ヲ述ベタルガ英國理事ノ真意ハ費用ノ点ヨリモ寧ロ委員會ノ機能ヲ殺滅スルニ

一六四 十一月十九日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

#### ダンチッヒ市ノ防備及憲法問題討議ノ件

別電

同日在ジュネーヴ聯盟總會代表宛内田外務大臣宛  
電報第三五号

右問題ニ關スル決議文

第三四号

(十一月二十三日接受)

石井大使ヨリ

第十一回聯盟理事会ノ二

十七日午後六時ヨリ「ダンチッヒ」憲法問題ニ關シ理事会ヲ開ク右會議劈頭同憲法問題ニ關スル決議文ヲ審議シタルガ仏國理事(會議中「ブルジョア」突然発病依ツテ「ゲー」之ニ代ル)ハ「ダンチッヒ」ノ軍備ニ關シテハ必要アル場合防護ノ任ヲ波蘭ニ委ヌルコト最適当ナルヘキ旨既ニ大使會議ヨリ聯盟理事会ニ對シ推薦シ來リタル所ナルニモ鑑ミ右必要アル場合トハ如何ナル場合ノ謂ヒナリヤ予メ之ヲ規定シ置クノ要アリ而シテ波蘭ニ右ノ權限ヲ委任シタル場合聯盟ハ波蘭ニ對シ如何ナル条件ノ下ニ如何ナル程度ノ監督ヲ行フベキヤモ定メ置カザルベカラズ旁々之ヲ軍事委

員会ニ移牒シテ審議セシムルコトヲ決議アリタキ旨ヲ主張シタルガ「フィッシュャー」ハ大使會議推薦ノ趣旨採用ニ付テハ敢テ異議ナク此ノ趣旨ハ既ニ日本理事ノ報告中ニ尽サレ居ル所ナリ而シテ「ダンチツヒ」ノ防備ハ単ニ陸軍ノミノ問題ニアラズ海軍力ニ依ラザルベカラザル場合モアルベキニ拘ラズ問題ヲ波蘭ノミニ限り波蘭ハ「ダンチツヒ」ヲ占領シ得ヘキ場合ノミヲ予見審議スルガ如キハ英國政府ノ到底承認スル能ハザル所ナリト述べ「チットニー」ハ自分ハ最高會議又ハ大使會議等何等ノ權威ニモ服セズ不羈獨立ノ聯盟理事トシテ案ズルニ平時ヨリ已ニ「ダンチツヒ」占領ヲ予見シテ之ニ關スル規定ヲ設クルトキハ「ダンチツヒ」ノ自由ハ没却セラレ斯克ノ如キハ條約ノ精神ニ反スルモノナリトテ他國側主張ニ反對シタルガ「グー」ハ波蘭ニ委任スル場合ヲ規定スト雖モ之カ為聯盟ガ他國ニ委任スル權利ヲ除外スルモノニアラズ只大使會議ヨリ波蘭ガ最適任者ナリト認ムル旨推薦アリタルニ鑑ミ波蘭ニ委任スル場合ヲ期待ノ定メ置カントスルノミナルヲ弁明シ「フィッシュャー」ハ波蘭ニ依ル「ダンチツヒ」ノ防備ト云フ形ニテハ斷ジテ同意スル能ハザルモ「ダンチツヒ」ノ一般防備ヲ如何

左記決議ヲ為ス

(A) 波蘭政府ハ必要アル場合自由市防備ノ任ヲ國際聯盟ヨリ受クルニ最モ適當ナリト認メラル

(B) 聯盟軍事委員會ニ委嘱シ「ダンチツヒ」防備ヲ最モ有効ナラシムベキ措置ヲ考究セシム

二、前記ノ次第ヲ「ダンチツヒ」市ノ憲法議會ニ通告スルノ權限ヲ同市ノ高級委員ニ付与ス同委員ハ憲法議會ニ對シ左記趣旨ニ依リテ訂正セラレタル憲法確定案ヲ三週間以内ニ同委員ニ提出スベキヲ求ムベシ

(茲ニ憲法草案ノ改定ヲ要スベキ個所七点ヲ掲グ)

三、高級委員ハ同時ニ憲法議會ニ對シ「ヴェルサイユ」條約第一〇四條ニ依リ主要聯合國ニ依リ交渉セラレタル「ダンチツヒ」自由市及波蘭政府間ノ協約案ガ聯盟理事會ニ於テ承認セラレタル事並自由市ノ「スタチュート」ニ違フガ如キ変更ハ予メ聯盟ノ同意ヲ經ルニアラザレバ該協約中ニ是ヲ為ス事能ハザル旨ヲ通告スベシ

四、「サー、レジナルド、タワー」ヨリ高級委員トシテノ確定任命ヲ受クル能ハザル旨開陳アリタルニ顧ミ理事會ハ「タワー」今日迄ノ勞ニ對シ謝辞ヲ呈スル事ヲ事務總長ニ

ニスヘキヤニ付軍事委員會ノ意見ヲ徵スルニ對シテハ別ニ異議ナキヲ說キタル結果該趣旨ニ依リテ決議スルコトナリタリ右意見交換ノ結果別電第三五号ノ通決議文ヲ可決シ午後八時散會尚本件報告及決議ハ波蘭側ニ對シテモ満足ヲ与ヘタルモノノ如ク「パデレウスキー」ハ直ニ巴里ニ赴キタル由ナルガ波蘭「ダンチツヒ」間ノ條約調印ノ為總會ニ對スル波蘭代表者ハ十八日本使ヲ來訪シテ特ニ本件ニ對スル本使ノ勞ヲ謝シタリ

在米大使ニ電シ在歐洲各大使ヘ郵送セリ

(別電)

十一月十九日在ジュネーヴ總會代表免内田外務大臣宛電報第三

五号

ダンチツヒ市ノ防備及憲法問題ニ關スル理事會ノ決議文

第三五号

一、理事會ハ左記宣言ヲ為シ

(A) 「ダンチツヒ」自由市ハ「ヴェルサイユ」條約第一〇二條ニ依リテ設立セラレタル日ヨリ國際聯盟保護ノ下ニ置カル  
(B) 自由市代表者ノ制定ニ係ル同市憲法亦同時ニ國際聯盟保障ノ下ニ置カル

委託ス

五、理事會議長日本理事及事務總長ニ委嘱シ高級委員選任ニ關シ理事會ニ對シ提議ヲ為サシム

六、高級委員任命ニ至ル迄ノ費用ヲ聯盟事務局ヨリ前貸シシタルモノハ自由市ノ負担タルベシ

七、關係者ニ對スル本決議ノ通告ハ事務總長是ヲ為ス  
在歐洲各大使ヘ郵送セリ  
在米大使ヘ電セリ

一六五 十一月二十五日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

アルメニア問題調停ニ關スル件

第五四号 (十一月二十九日接受)

石井大使ヨリ

往電第五三号ニ關シ二十四日理事會ニ於テ總會ヨリ國際聯盟ノ獨立機關タル理事會ニ對シスル指図ガマシキ注文ヲ受クベキ理由ナキモ斯克總會ノ意向ガ明確ニ提示セラレタル以上ハ理事會ハ決議文ノ形式ニ拘泥セズ其精神ヲ酌ミ臨機ノ処置ヲ採ルヲ穩當ナリトシ第一案トシテ電信ヲ以テ米國

大統領ニ「アルメニア」問題調停ノ任ニ当ランコトヲ依頼セントノ議出デ各理事皆此議ニ同意ヲ表シタルモ各員何レモ大統領ガ之ヲ受諾スベシトハ思考セズ次デ「イーマン」ス」ヨリ瑞西及「スカンデナヴィア」ノ諸国ハ該問題調停ノ任ニ当ルベキ意向ヲ有スルヤニ伝聞スル旨申出デタルニ對シ「バルフォア」氏ハ斯カル小国ガ其任ニ當リタリトテ大國ニ向ヒテ費用ト金トノ支給ヲ仰グノ外手ヲ出スノ余地無カルベク畢竟不得要領ニ終ルベシト注意アリタルモ斯クテハ理事会ハ袖手傍觀ノ態度ニ出デタリトノ排議ヲ招クベキニ付結果ノ如何ハ暫ク置キ總會ノ決議ニ對スル理事会ノ行動トシテ此際四十余ノ聯盟國及米國政府ニ對シ理事会ヨリ同文ノ電報ヲ發シ「アルメニア」問題調停ノ意向ノ有無問合セ米國ニ對シテハ特ニ米國民ガ「アルメニア」現下ノ窮狀ヲ救フノ人道的行動ニ出デラレンコトヲ望ムトノ別電ヲ副フルコトトナセリ

右電文ハ二十五日開カルベキ理事会ニ於テ決定ノ上發送スルコトトナルベク之ニ對シ帝國政府ハ地理的困難ノ事情ニ依リ本件調停ノ任ニ當ルコト能ハザル旨ヲ本使ヲ通ジテ回答相成可然ト思考ス

一六七 十一月二十九日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

#### 委任統治委員會ノ構成委任統治協約等ノ問題

##### 討議ノ件

第六八号

(十二月一日接受)

石井ヨリ

第十一回聯盟理事会ノ四(二十九日午前)

##### 一、委任統治問題

##### (i) 委任統治委員會ノ構成

本件ニ關シ事務總長ハ往電第六四号意見交換ノ趣旨ヲ加ヘタル新構成案ヲ提出シ理事会ハ之ニ對スル最後ノ審議ヲナシタルカ其中注意スヘキ点左ノ通り

(a) 既報委員ハ其就職期間其所屬官吏タルベカラズトノ点ニ關シ仏國理事ノ發議ニ依リ右官吏中ヨリ大学教授、司法官、弁護士ヲ除外セザルコト然ルベシトノ議論起リ議長、白國理事ヨリ委員タル間直接其所屬國政府ニ左右セラルル職務ニアルヲ得ザルノ形ニ改メンコトヲ提議シ本使ヨリ本邦ニ於テ帝國大学教授ガ官吏タルコトヲ指摘シテ議場ノ注意ヲ惹起シタル処各個各別ナル法制トノ關係ニ論入スレバ

在米大使へ轉電シ在歐州各大使へ郵報セリ

一六六 十一月二十五日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

#### アルメニア調停問題ニ關シ聯盟加盟國及米國

##### 二發電ノ件

第五五号

(十一月二十九日接受)

石井ヨリ

往電第五四号ニ關シ二十五日理事会ニ於テ聯盟加盟國ニ對シ同文ノ電報又米國ニ對シテハ右同文ニ加フルニ米國民ノ人道的決心ヲ促スノ意ヲ加味セル一通ノ電報ヲ發スルコトトナレリ尚又聯盟加盟國宛ノ同文電報ニ對シ一々諾否ノ答電ヲ求ムルトキハ調停ノ勞ヲ取ルヲ欲セザル國ガ「アルメニア」ノ慘狀ヲ坐視スルガ如キ回答ヲナサザルヲ得ザルコトトナリ迷惑ヲ与フベキニ付調停ノ勞ヲ取ル意向ヲ有スル國ノミヨリ回答ヲ期待スル意味ニ書改ムベキ旨「バルフォア」氏ヨリ提議アリ其通り可決セラレタルニ付帝國政府ヨリ何等答電ニ及バザルコトトナレリ

在米大使ニ轉電シ在歐各大使ニ郵報セリ

底止スル処ヲ知ラザルヲ以テ結局政治的職務ニ在ルヲ得ズトノ意味ニ解スヘキコトニ一致ス

(b) 年報ノ票決ニ際シ年報提出國代表者ヲ委員會ヨリ退席セシムヘキヤ否ヤノ点ニ關シ新構成案ニ依レバ年報審議ニ當リテハ當該國代表者ハ充分自由ニ之ニ參加スルコトヲ得ルトトモニ右審議終了後委員會ニ於テ理事会ニ提出スヘキ意見ノ文言ヲ決定スルコトトナリ居リ又受任國タル委員ハ其所屬國ノ報告ニ關スル委員會ノ意見ノ起草ニ參加セザルコトトナリ居ル処伊國委員モ別ニ異議ヲ挾マズ其通り採用セラル

(c) 既報委員會ニ於テ受任國代表者トノ總會ヲ利用シテ年報以外ノ關係問題ニ關スル受任國代表者ノ説明ヲ求ムルヲ得云々ノ点ニ關シ意見交換ノ結果委員會ニ於テ理事会ヨリ受任國及非受任國ニ「サブミット」スルノ価値アリト思考スル委任統治關係各種問題ヲ受任國代表者ト共ニ審議スル為右總會ヲ利用スルコトヲ得ルノ形式ニ改ム尚旧構成案ニ依レハ諸年報ハ右總會後一括シテ理事会ニ提出スルコトナリ居ルノ点ヲ新案ハ右提出ハ必ズシモ總會後一括シテ之ヲナスヲ要セズ委員會ノ裁量ニ依リ年報ノ一部分ヲ總會前理



事会ニ提出スルモ可ナルコトニ改メ居ル処理事会ハ其通り採用ス

(d) 尚新旧構成案共ニ(一)委員会ハ理事会ノ承認ヲ条件トシテ其ノ議事規則ヲ定ムル事(二)委員会ハ「ゼネヴァ」ニ集会スヘク而シテ同会ハ委任統治制度適用ニ関スル各種ノ問題ニ関シ諮詢ノ為メ専門家ヲ招集スル事ヲ得ル事(三)委員ハ委员会開催ノ期間百金貨法日当ヲ受クルノ外其ノ旅費ノ償還ヲ受クベク委員会ノ費用ハ聯盟ノ負担タルベキ事ヲ規定シ居レル処理事会ハ其ノ通是ヲ採用ス

#### (e) 委任統治協約問題

上述ノ如ク理事会ハ委任統治委員会構成問題ヲ議シシ他ノ日程ニ移ラントスルヤ「バルフォア」ハ突如トシテ委任統治協約問題ヲ提起シA式委任統治協約案問題ハ仏國ノ関スル限り既ニ解決シ昨日入手シタル本國政府ノ電報ニ依ルニ英國政府ノ(脱)数日中ニ是ヲ理事会ニ通報シ得ルノ情況ニアリ而シテA式ノ分ハ「セーヴル」条約ノ未ダ批准セラレザル今日左迄是ヲ急グノ必要無クB式協約案モ關係國間ノ協議極メテ良好ニ進行中ナリ只最心痛ニ堪ヘザルハC式協約案ナル処一方總會ニ於テハ委任統治協約問題ノ成行如

何ニ依リテハ自ラ取リテ是ヲ討議セント待チ構ヘ他方独逸ヨリハ此ノ形勢ヲ利用シテ總會ト理事会トノ間ヲ離間中傷セント試ミ(往電第四五号参照)事態甚ダ重大ナリ若シモ總會解散以前關係國ニ於テ本問題ヲ解決スル事能ハザレバ重大ナル過失ヲ犯スモノナルヘシト述ヘ本使ヨリ關係國間ニ協議成ラザル場合干涉シ得ヘキハ總會ニアラズシテ理事会ニアルベシト注意スルヤ「バ」氏ハ斯ノ如クシテ總會ノ口ヲ緘スル時ハ關係國政府モ理事会モ真面目ニ問題ノ解決ニ從事シ居ラザルノ外顧ヲ呈スルヲ恐ルト云ヒ伊國理事ハ「バルフォア」ノ立場ヲ支持スルト共ニ更ニ關係國政府ニ督促シテ問題ノ急速解決ヲ促スヘシト提議シ議長亦此ノ際關係國ニ對シ理事会ヨリ新タナル督促ヲ發スルノ適當ナルヲ唱ヘタルガ「バルフォア」ハ是ニハ耳ヲ貸サズC式協約案問題ノ現状ニ関シ本使ノ説明ヲ求メタリ依テ本使ハ赤道以北ノ旧独領群島ノ統治形式ニ關シテハ何等問題ナシ只問題ノ解決困難ニシテ行詰リノ情況ニアルハ赤道以南ノ旧独領即チ濠洲ノ委任統治ニ服スヘキ諸島ナル処之ニ對スル日本ノ主張ハ這次ノ大戰ニ於テ人命ト財力トノ重大ナル犠牲ヲ払ヒタル日本トシテハ委任統治政治ノ結果之等諸島ニ

對スル本邦人ノ境遇ヲ戰前ヨリモ甚シク不利ナラシメラルルハ忍ビ得ザル処ナルヲ以テ此趣旨ヲ以テ英國政府經由濠洲政府ト交渉シ居リ今ヤ日本政府ノ申込ミニ對スル濠洲政府ノ回答ヲ待チツツアル次第ナリト答フルヤ「バ」氏ハ本使ノ説明ヲ諒トシ自分トシテハ日本ノ立場ヲ諒解スルト共ニ規約第二十二條ノ規定ノ面白カラザルヲ認ムルモ此際規約ノ改正ヲ行フハ極メテ困難ナルヲ以テ吾人ノ為スヘキ処ハ現在ノ規約ノ下ニ於テ最善ノ努力ヲ為スノ外ナシトテ規約ノ規定ヲ讀ミ上ゲタルガ此時議長ハ自ラ規約案起草委員会ニ參加シタル証人トシテ茲ニ披露スヘキコトアリト前置キシ右委員会ニ於テ規約第二十二條五項、六項問題トナリタル際自分ハ第五項通商貿易ニ關スル機會均等ノ各項ヲ第六項ニモ適用シ何等土民ノ利益ト背馳スル所以ヲ知ラザル旨ヲ唱ヘタルカ「コロネル、ハウス」「スマッツ」「セシル」等ハ右適用ナキコトハ既ニ最高會議ノ確定議ニシテ之ニハ一指ヲ染ムルヲ許サズト云ハレ引キ下リタルコトアリト述べタリ依テ本使ハ本件ハ長キ間ノ論議ニ亘リ其往復文書モ浩瀚ナルガ目下本件關係國間ノ懸案ニ屬シ未ダ之ヲ理事会ニ取上ゲタルニアラザル今日一々個々ニ之ヲ論議スル

ノ暇ナカルベキヲ以テ今ハ之ニ論入セザルモ今一応關係國ニ督促スルコトニハ異議ナシト述べ事務總長ハ本使ヨリ右論議ノ次第ヲ報ジ日本政府ニ督促ノ電報ヲ發スルコトヲ得バ極メテ幸ナルベシト注意シタルニ「バルフォア」ハ電報ヲ以テ督促方更ニ之ヲ繰リ返スモ何日本問題ヲ解決シ得ヘキヤヲ知ラズ若シ本使ガ責任ヲ負ヒ当地ニ於テ關係國代表者ト協議シ總會終了前満足ナル解決ニ達スルヲ得バ幸ナリト述べタルヲ以テ本使ハ本件ハ目下倫敦日本使臣ニ於テ直接英國政府ト交渉中ニテ最近日本政府ノ申出デニ對シ英國政府ハ濠洲ヨリ回答ヲ取次グベキ旨約束シ日本側ニ於テハ此回答ヲ待チ居ルモ未ダ之ニ接スルヲ得ザル次第ナリト説明シタル処「バルフォア」ハ當惑ノ体ニテ其秘書官ヲ差招キタルモ何等更ニ發言セズ結局議長ノ提議ニ依リ理事会ヨリ電報ヲ以テ關係國政府ニ本件即決方督促状ヲ發スルト共ニ日本ノ関スル限り本使ヨリモ右議事ノ模様ヲ具シテ帝國政府ノ注意ヲ喚起スルコトトナレリ

在欧米各大使へ転電セリ

一六八 十二月一日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

波蘭リスアニア間係争地方ニ人民投票施行ニ  
関スル件

第七六号

（十二月三日接受）

石井代表ヨリ

第十一回理事会ノ五

波蘭及「リスアニア」紛争ニ付テハ双方ニ於テ係争地方ニ  
「プレビシット」ヲ行ハントスル「ブラッセル」聯盟理事  
會ノ決議ヲ原則トシテ承諾シタルニ鑑ミ理事会ニ於テハ先  
ヅ係争地方ノ秩序維持ノ目的ヲ以テ軍隊ヲ派遣スル計画ヲ  
立テ英仏西ノ三国ヨリ各二個中隊白耳義ヨリ一個中隊ヲ派  
遣スルコト已ニ承諾済ニテ更ニ十一月二十一日ノ理事会ニ  
於テ派遣軍ノ國際的性質ヲ益々明カナラシメ以テ「プレビ  
シット」ノ公平ヲ交渉セシムルコト必要ナルニ依リ係争地  
方ノ近接國ニ対シ若干ニテモ兵力ヲ派遣方懲慝スルコト然  
ル可キ旨ヲ決議シ其結果事務總長ヲシテ丁抹諾威瑞典及和  
蘭ノ意向ヲ確メ他方派遣軍ノ指揮關係輸送方法等ニ付テハ  
軍事専門家ヲシテ審議セシメツツアル処二十三日理事会ニ

段ヲ講ズル能ハザルモ聯盟理事会ノ同情アル道義的支持  
ヲ受クヘキ保障アルニ於テハ個人の調停ヲナスノ意アリ  
之ガ為自分ノ意嚮ヲ執行スベキ一人ヲ指定スヘキニ付本  
問題ノ係争者双方ニ交渉スヘキ端緒手續ヲ理事会ヨリ注  
意セラレタキ旨ヲ回電シ

第二、西班牙政府ハ兵力及物資以外ニ於テ外交手續ニ依ル  
調停ノ任ニ當リ得ルノ意ヲ示シ

第三、伯刺西爾ハ単独又ハ他國ト共同ニテ本件解決ニ貢獻  
スルノ意アルヲ示セリ

依ッテ理事会ハ先ツ米國大統領ニ対シ其返電ヲ附シ西班牙  
及伯刺西爾モ之ニ協力スルノ意思ヲ示サレタルコトヲ告ケ  
三国協同シテ此任ニ當ラレンコトヲ請ヒ大統領返電ノ末段  
係争者双方ニ接近スヘキ手續ニ関シテハ至急考慮ノ上追電  
スヘキ旨ヲ電報シ西班牙及伯刺西爾ニ対シテハ米國大統領  
外二國返電ノ旨ヲ告ケ三国協同シテ此任ニ當ル為右三国政  
府間ニ委細協議アリタキ旨ヲ電報スルコトトセリ追テ各理  
事ノ本國政府中君府ニ代表者ヲ有スルモノハ至急各政府ヨ  
リ右使臣ニ前記係争者双方ニ接近スル方法ニ付同僚ト協議  
上申スヘキ旨ノ訓電ヲ發スルコトトナセリ

於テ「リスアニア」代表者「ワルデマル」ハ突然一ノ宣言  
書ヲ朗読シ波蘭側ガ休戰條約ヲ無視シ尚戰鬪行為ヲ継続ス  
ルニ対シテハ規約第十六條ノ適用アランコトヲ主張スルト  
共ニ一方第十五條第九項ニ依リ當該紛争ヲ總會ノ議ニ附セ  
ラレタキ旨ヲ求メタルガ理事会ニ於テハ理事会ガ該紛争ニ  
関スル申出ヲ受理シテヨリ已ニ二十四日以上ヲ經過シ居ルヲ  
以テ最早之ヲ總會ニ提出シ能ハザル旨ヲ宣シ既定方針ノ通  
「プレビシット」ノ準備ヲ進行セシムルコトトシタリ

一六九 十二月二日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

アルメニア問題ニ関シ米西伯三国ノ回電ニ関  
スル件

第八二号

（十二月四日接受）

石井ヨリ

十二月一日ノ理事会ニ於テ往電第五号所載ノ電報ニ対ス  
ル米國西班牙及伯刺西爾ノ回電ヲ議題トセルガ

第一、米國大統領ハ本件ニ関シ兵力又ハ物資的援助ヲナス  
ノ權能ヲ有セズ目下議會閉會中ナレバ此方面ニ付何等手

在米大使ニ轉電シ在欧洲各大使ニ郵報セリ

一七〇 十二月二日

在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

委任統治問題ニ関スル件

第八三号

（十二月四日接受）

石井ヨリ

一日ノ理事会ニ於テ委任統治ニ関シ理事会ガ既往執り來リ  
タル經過ヲ叙述シ最後ニ各受任國ハ速カニ委任統治條件ニ  
関シ一定ノ申出ヲ為シ理事会ヲシテ規約第二十二條第八項  
ニ依ル義務ヲ履行スルノ已ムヲ得ザル場合ニ至ラシメザル  
コトヲ希望スト附加セルニ過ギズ

本件協議中仏國理事代理「ヴィヴィアニ」氏ヨリ近頃新聞  
電報ニ依レバ委任統治問題ノ決定ニ関シ米國政府ハ奇怪ナ  
ル意見ヲ懷カルルガ如ク一方聯盟ニ加入セズ聯盟規約ノ命  
ズル各般ノ義務ヲ免レ一方規約ノ命ズル統治問題ノ決定ニ  
容喙ノ權有リトハ如何ニモ不可思議ナリト言ハレタルガ他  
ノ理事ハ何レモ苦笑シテ之ニ共鳴スルモノ無ク遂ニ立消ト  
ナリタリ

在米大使へ転電シ在欧洲各大使へ郵報セリ

~~~~~

一七一 十二月四日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

常設軍事委員会ハ理事会ヨリ米國ニ対シ代表
者派遣方招請アリ度旨ヲ決議シ之ヲ理事会ニ
通告ノ件

第九三号 (十二月六日接受)

石井大使ヨリ

第十一回聯盟理事会ノ五

常設軍事委員会ハ其ノ十一月二十五日ノ会合ニ於テ同委員
会ノ任務ハ各委員ノ本国政府ノ代表者タル資格ト何等關係
ナク單ニ聯盟理事会ノ諮詢機關トシテ軍備縮少ニ関スル学
理ヲ考究スルノミニシテ後日更ニ理事会ヨリ訓令ヲ受クル
ニアラザレバ何等実行ニ着手スル能ハザルモノナルニ顧ミ
而シテ既ニ聯盟ニ於テ企図シタル公法家會議並「ブラッセル」
財政會議ニハ米國代表者モ参加シタルニ顧ミ軍備縮少
問題ノ考究ニ當リテモ同國代表者ノ協力アルニ於テハ本件
聯盟側計画ノ世界輿論ニ対スル權威益々大ナルヘシトノ理

由ニ基キ理事会ヨリ米國政府ニ対シ其ノ代表者派遣方招請
アリタキ旨決議シタル趣ニテ理事会ニ対シ右決議ノ次第通
知アリタリ

理事会ハ十二月一日ノ会合ニ於テ右軍事委員会ノ提議ヲ承
認シ同委員会提出ノ理由ノ外米國代表者該委員会ニ参加ス
トスルモ同委員会ノ報告ニ対シ米國政府ハ必スシモ之ニ拘
束セラルルヲ要セズ其ノ協力ハ何等其ノ自由ヲ束縛スルモ
ニアラザル旨ヲ附記シ同政府ニ対シ軍備問題考究ニ関シ
其代表者派遣方ヲ招請スルコトヲ決議シタリ
在米伊大使へ転電シ英仏独へ郵報セリ

~~~~~

一七二 十二月六日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

波蘭リシアニア紛争聯盟加入申出国オイペン、  
マルメディ少数民族保護等ニ関スル件

第九六号 (十二月九日接受)

石井大使ヨリ

第十一回聯盟理事会ノ四(其二)

二、波蘭「リシアニア」紛争  
「ヴィルナ」地方民ニ依ル投票ノ自由保護ノ為派遣スベキ

各國軍隊ノ出發輸送給養ヲ如何ニスベキヤニ付協議ノ結果

理事会ハ「ワルソー」ニ軍司令官ヲ有スル仏國ニ対シ本件  
幹旋引受方申込ムト共ニ理事会ト軍隊派遣國政府間ノ連絡  
ニ充ツル為仏國政府ニ於テ其將校ヲ任命センコトヲ希望ス  
ルコトニ一致ス

三、「アルバニア」壤地利「アゼルバイジャン」並勃牙利  
ノ聯盟加入申出ニ顧ミ理事会ハ軍事委員会ヲシテ之等諸邦  
ノ軍備準則ヲ研究セシムルニ決ス

四、「オイペン」「マルメディ」問題

本件ニ関シ独逸政府ヨリ「ブラッセル」理事会ノ決議ニ服  
セズ更ニ十一月十四日付ヲ以テ本件ニ対スル總會ノ干涉權  
ヲ主張シ來レルニ対シ理事会ハ事務總長ヲシテ右「ブラッ  
セル」決議ヲ維持シ独逸ノ抗議ヲ却クルノ回答ヲ發セシム  
ルニ決ス

五、「アムステルダム」万国「サンデカリスト」協會幹部  
ヨリ「マリエンウェルデル」地方人民投票委員会ニ於テ民  
意ニ反シ「ヴィスチュラ」河右岸地方ヲ波蘭ニ与ヘタリト  
テ抗議シ來レルニ対シ理事会ハ本件ガ大使會議ノ管轄ニ属  
スルコトヲ指摘スルト共ニ右抗議書ヲ同會議ニ轉達スベキ

旨回答スルニ決ス

六、聯合各國ニ対シ「ユーゴースラヴ」「チェコスロヴァ  
キア」條約關係少数民族保護ノ件

本件ニ関シ理事会ハ波蘭少数民族保護法令ニ倣ヒ右條約關  
係少数民族ヲ夫々聯盟保護ノ下ニ置クコトニ決ス  
在欧米各大使へ郵報セリ

~~~~~

一七三 十二月七日 在仏國松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

アルメニヤ問題ニ関シ聯盟理事会ヨリ原總理

大臣宛電報ニ関スル件

第一八〇五号 (十二月九日接受)

一、十一月二十五日附ヲ以テ聯盟理事会ヨリ我總理大臣宛
左ノ趣旨ノ電報ニ接セリ

理事会ハ十一月二十二日總會ノ裁決シタル決議即チ「アル
メニア」「ケマリスト」間ノ慘劇中止方ニ関シ理事会ニ於
テ必要手段ヲ取ランコトヲ希望スル旨ノ通知ニ接シタルヲ
以テ理事会ハ茲ニ右ノ決議ヲ聯盟諸國並曩ニ「アルメニ
ア」ノ國境確定ヲ受諾セル關係モアリ米國大統領ニ送附ス
ル次第ニシテ理事会ハ貴國政府ガ單獨又ハ他國ト協同シテ

聯盟ノ名ニ於テ右任務ニ参与スルノ意向ナキヤヲ至急承知シタシ

二、右ノ招請ニ対シ米、西班牙及伯刺西爾ヨリ回答ニ接シタル旨ヲ以テ十二月三日理事会ヨリ左ノ要旨ノ電報アリタリ

I、維遜大統領ヨリハ「アルメニア」救援ノ為メ米國軍隊ヲ提供スルコトヲ得ザルモ若シ主要列強ノ援助アルニ於テハ調停ノ勞ヲ取ルヲ得ルコト

II、西班牙政府ハ德義上及外交上ノ援助ヲ与フルヲ辞セザルコト

III、伯刺西爾ヨリハ单独又ハ協同シテ尽力スルノ意志アルコト

尚右回答ニ接シタルヲ以テ理事会ハ維遜大統領ニ対シテハ本件引受ニ対シ感謝スルト同時ニ西班牙及伯刺西爾兩國ニ対シテハ維遜大統領ト協力センコトヲ求メタリ右様ノ次第ニ付本件ニ関シ帝國政府ヨリ別ニ回答ノ要ナカル可キノミナラズ右電報ハ長文ニ付郵送ス



ノ底意アルコト稍明カトナレリ理事会ハ「リ」國代表ニ向テ今回派遣セントスル軍隊ハ其數二千ニ上ラズ「プレビシット」監視ノ警察隊ニ過ギズ之ヲ軍隊ト呼ブハ誤レリ「ソヴィエット」政府ノ斯カル誤解ヲ正スハ「リ」國ノ当然取ルベキ処ナリト注意シテ兩國代表ヲ引取ラシメタル後會議ニ移レルガ果シテ「ソヴィエット」ニ結ビ又ハ之ヲ口実トシテ今ニ至リ理事会調停ヲ辞スルコトヲ明言スルニ至ルハ不都合ノ至リナレドモ理事会トシテ其調停ヲ強制スルノ法無ク其權威ヲ維持スル上ニ容易ナラザル時局ニ遭遇スルコト故種々意見交換セルガ別ニ妙案モ無ク且ツ時局ノ進展ヲ待チ其間軍隊派遣ノ事ハ着々進行スル外觀ヲ作ルモ実ハ恐ラク実行ヲ延バスコトニ申合セタリ

米、伊ヘ電シ英、仏、独ヘ郵報セリ



一七五 十二月九日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

委任統治問題ニ関シ總會ニ対スル理事会ノ報告書ニ付説明ノ件

第一一四号 (十二月十一日接受)

一七四 十二月七日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

波蘭リスアニア紛争ニ関シ「リ」國側ヨリ理事会ニ対シ軍隊派遣延期方申出ノ件

第一〇一号 (十二月九日接受)

石井ヨリ

波蘭「リスアニア」間ノ争議ニ関シテハ聯盟理事会ニ於テ此種調停ヲナス第一回ノコトナレバ万一行違ナク理事会ノ權威ヲ維持セントカメツツアル処去ル四日「リスアニア」代表ハ「リ」國ト「ソヴィエット」露西亜間條約ニ依リ締結セラレタル國境線以西ニ「ソヴィエット」ニ反対スル國ノ軍隊ヲ許スベカラズトノ條款アリテ近頃「ソヴィエット」政府ヨリ理事会ノ送ラントスル軍隊ハ「コルチャック」「ユデニッチ」「ランゲル」等ヲ援助セル國ノ兵員ヨリ構成セラルルニ付此軍隊ヲ右地方ニ許スハ條約違反ナリトノ抗議アリ就テハ地方状況改良スルヲ待ツ為右軍隊派遣ヲ暫ク延期センコトヲ乞フ旨申出デ昨六日ノ理事会ニ於テ「ポ」、 「リ」兩國ノ代表ヲ招キ研究ノ結果「リ」國ハ今ニ至リ「プレビシット」ヲ好マズ理事会ノ調停ヲモ辞スル

石井大使ヨリ

貴電五〇号ニ関シ

一日ノ理事会ハ委任統治問題ニ関シ理事会ガ從來採リタル措置ノ經過ヲ總會ニ報告スルノ案ヲ討議シタル次第ナルガ其結果採用セラレタル報告書ハ其附属書トシテ往電第九九号最高會議決定文ノ外「サン、セバステアン」「ブラッセル」並「ゼネヴァ」理事会ノ際採用セラレタル報告決議並事務總長説明書等ヲ添付シ右報告等ニ依リ本件問題ガ其根本ニ立入り究明セラレ居ルコトヲ指摘シ本報告ニ於テハ右決議ヲ簡單ニ摘記スルヲ以テ充分ナルべく詳細ノ点ニ至リテハ總會各代表者ニ於テ右諸報告書ニ付テ之ヲ知ランコトヲ望ムトテ先ヅ受任國選任問題委任協約問題並委任統治委員會構成問題ノ順序ヲ以テ右從來ノ報告並決議ノ要点ヲ引用シツツ簡單ニ其經過ヲ叙述シ最後ニ再ビ委任協約問題ニ返リ理事会ニ於テ十一月三十日附ヲ以テ更ニ新タニ關係國ニ対シ協約案通報方督促ノ電報ヲ發シタルコト並今日迄ノ処仏國ヲ除クノ外理事会ニ対シ右通報ヲ為シタル國無キ旨ヲ述べタル後往電第八三号前段所報ノ如キ希望ノ文句ヲ附加シタルモノナリ而シテ右末尾ノ文句ハ報告書原案ニ於テ

ハ「此上ハ理事会ハ自ラ委任条件ノ起草ニ着手スル以前右協約案ノ通報受領ノ為尙幾何ノ時日ヲ待ツベキヤヲ決定セザル可ラズ」

トノ文句ヲ用ヒ居リシヲ本使ノ注意ニ依リ右第八三号ノ如キ文句ニ修正シタル次第ナリ

一七六 十二月十一日

在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ダンチツヒ及ヘチアース王ノ仏國軍隊ニ関スル抗議並委任統治協定案ニ関スル件

第一三一号

（十二月十三日接受）

石井ヨリ

十日ノ理事会ニ於テ

第一「ダンチツヒ」ノ「ハイ、コンミッシヨナー」後任未ダ見当ラザルニ付聯盟書記局交通局長「アットリコ」氏（伊太利人ニシテ公使格ヲ有ス）ヨシテ一時代理セシムル事ニ決ス

第二「ヘデアーズ」王ヨリ「レバノン」ニ於ケル仏國軍隊ノ行動ニ関シ聯盟ニ対スル第二回ノ抗議電報アリ之ニ対シ

理事会ヨリ主要聯合國ニ其要領ヲ通知シ右通知ノ趣ヲ「ヘデアーズ」王ニ回答トシテ申送ル事ニ決ス

第三 軍事委員會ノ報告ニ付討議スル筈ナリシガ仏國理事欠席ノタメ之ヲ延期シ其代リトシテ臨時ニ第六委員會委任統治問題分科会長ヨリ理事会議長ニ宛タル委任統治協定案其他關係書類ノ通牒ヲ求ムル照会ヲ読ミ上ゲタル上之ニ対スル回答案ヲ議題ニ供セリ右回答案ノ要旨ハ理事会ハ今ヤ各受任國ヲシテ其委任領土ニ関スル統治条件ヲ至急提出セシムル事ニ尽力中ナルガ右提出ノ上ハ其条項ガ聯盟規約第二二条ノ規定ニ適応スルヤ否ヤヲ審査スベク此処ニ不取敢既ニ英仏両政府ヨリ提出セラレタル委任統治協定ノ謄本ヲ「インフォメーション」トシテ提出ス、理事会ハ提出セラレタル協定又ハ其他ノ事項ニ関シ總會ヨリ何等勸告ヲ受クル事ヲ喜ブモノナリト云フニアリ、本員ハ先ヅ本件ガ理事会ノ專屬事項ナルガ故回答案末項ノ恰モ總會ノ干涉ヲ促スガ如キ文句ヲ加フルノ不当ナルヲ主張シ仏國理事代理其他ノ賛成ヲ以テ右末項削除ニ決ス、次デ伊國理事ヨリ回答案ニ所謂英仏政府提出委任統治ノ協定ナルモノハ伊國政府ノ未ダ関知セザル所ナレバ嚴格ニ云ヘバ之ヲ協定案トシテ

第一四六号

（十二月十五日接受）

軍事情報交換問題ニ関スル理事会ノ諮問ニ対シ軍事委員會ノ復命報告ノ委細ハ我軍事委員ヨリ電報濟ミト存ズ

本件昨十二日ノ理事会ニ上リタルガ右ニ関シテハ本使ノ予想セル如ク英國ハ右復命報告ノ提案者ナレバ勿論異議無カルベク仏國ハ本國政府ノ態度如何ニ拘ラズ「ブルジョア」理事ガ熱心ナル軍備縮少論者ナルニ鑑ミ右復命ニ対シ強キ反対無カルベク伊國理事「チットニー」氏欠席ノ為メ其ノ代表者タル「シャントム」氏ハ社会黨員ニシテ軍備縮少論者ナレバ是又右復命ニ反対セザルノミナラズ寧ロ賛成スベク結局右復命報告ヲ理事会ニ於テ喰止ムルハ本使ノ双肩ニ懸ル事トナレリ

本件ノ議ニ上ルヤ先ヅ軍事委員長ノ説明ヲ聞キタル後（軍事委員全部出席）各理事何レモ口ヲ開カズ議長ガ該報告ヲ承認サレタルモノト認メ進ンデ該報告ヲ總會ニ提出スルモ妨無カルベシト宣スルニ及ビ本使ハ該復命報告ハ技術的見地ヨリ出デタル軍備縮少實現ノ理想案ニ過ギズシテ今日理事会ガ取テ実行セントスル手段ニ供スルノ材料タルニ適セズ間ク処ニ依レバ軍事委員會ノ何人モ斯カル情報ノ交換ヲ

何処迄モ譲ラザル事ニ一致セリ
在米伊各大使ニ転電シ在英仏独各大使ニ郵送セリ

一七七 十二月十三日

在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

軍事情報交換問題ニ関シ理事会ガ軍事諮問委員會ニ諮問セルニ対スル同委員會ノ復命報告ノ取扱ニ関スル件

三 國際聯盟理事会ニ関スル件 一七七

理事会ヨリ迫ラルルモ何レノ政府モ是ニ応ズル事能ハザルベシト信シ居ル由ナレバ斯卡ル理想一片ノ報告ハ一先ヅ是ヲ軍事委員会ニ引キ戻シ理事会ガ直チニ各国政府ニ交換スルノ材料タルニ適スベキ実行の報告ヲ為サシムルヲ適當トスベク若シ右ノ手段ニシテ不穩当ナリトセバ少クモ右復命報告ハ今日直チニ理事会ノ取テ以テ実行スベカラザルモノニシテ是ヲ実行スベキ適當ノ時機ハ理事会ニ於テ追テ審議スベキ事ヲ明カニ諒解シ置ク事必要ナリ今直チニ該報告ヲ總會ニ移牒スルガ如キハ以テノ外ノ事ニシテ本員ハ断然反

二五四

對ナリト陳述シ「イーマンス」及事務總長等ガ兎角總會ノ意ヲ迎フルガ如キ言論ニ對シ右ノ趣意ヲ幾度カ繰リ返シ論議シタル後遂ニ理事会ハ右復命報告ヲ其ノ儘受領スルモ右復命ニ依リテ各国政府ニ交渉ヲ進ムルノ適當ナル時機ニ關シテハ後日ノ審議ニ讓ル事トナリ且右報告ハ總會ニ送附セザル事トナレリ

米伊ハ電報セリ

英仏独ハ郵報セリ

事項四 國際聯盟總會ニ関スル件

一七八 一月三日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際聯盟協會聯合会ノ第一回及第二回總會ニ
於テ國際聯盟ニ関シ為サレタル決議ニ付報告

ノ件

第三号 (一月五日接受)

貴電講第九四一号ニ関シ國際聯盟協會聯合國第一回總會ハ客年一月二十六日乃至二月三日ノ間巴里ニ開催セラレ英仏米伊白塞爾比羅馬尼支那ノ八ヶ国代表者参加仏ノ Léon Bourgeois 議長トシテ英仏両国家ニ基キ國際聯盟規約ノ根本原則トシテ(一)國際爭議ノ平和の解決方法殊ニ國際仲裁裁判所ノ設置(二)國際法ノ發達各国民ノ自由及國際の秩序ノ維持未開民族ノ保護ヲ目的トスル國際理事会ノ設置(三)國際爭議解決ノ各種ノ方法ヲ実施スヘク調停委員會ノ設置(四)軍備制限(五)秘密條約禁止(六)條約尊重ノ保障ヲ提供スル一切ノ国家ハ總テ平等ニ聯盟ニ加入シ

四 國際聯盟總會ニ関スル件 一七八

得ルコト等ヲ決議シ其他(一)平和條約中 Wilson 氏十
四ヶ条ノ原則ニ反スル條項ヲ加ヘザルコト(二)國際聯盟
ハ労働條件ノ改善ニ努力シ國際労働局ヲ設置シテ労働情況
ノ研究監督ヲ為サシメ定期ニ國際労働會議ヲ開催シテ労働
法制ノ改良ヲ計ルコト(三)國際教育局ノ設置(四)軍備
並ニ武器ニ関スル各種ノ制限(五)世界各国ニ國際聯盟協
會ノ設立ヲ勧誘スルコト(六)各國聯盟協會ノ永続的聯合
會ノ設立(七)各國大学ニ國際協力ニ関スル講義ヲ開設ス
ルコト等ヲ決議セリ

第二回總會ハ三月十一日乃至十三日ノ間倫敦ニ開催セラレ
米、英仏希臘支那「ユーゴースラヴ」羅馬尼ノ七ヶ国参加
英ノ Lord Shaw of Dimfermline ヲ議長トシテ二十(不
明)ノ決議ヲナセリ其内重ナルモノ下ノ如シ(一)信教自由
ノ保障(二)聯盟總會ノ權限ヲ成ル可ク広クスルコト(三)
總會ト理事会トノ連絡ヲ円満ナラシムル為メ理事会員ハ必
ズ同時ニ總會員ノ一人タルヘキコト(四)總會乃至理事会